

# 令和4年度 山口支部医療費分析

# 目次

令和4年度 山口支部医療費分析の概要 . . . 2

～事業所及び加入者～

I. 山口支部の事業所数及び平均加入者数 . . . 12

～医療費～

II. 一人当たり医療費の全国比較（診療種別） . . . 17

III. 医療費の三要素の全国比較（診療種別） . . . 24

IV. 一人当たり医療費の疾病大分類別の全国比較及び経年変化（診療種別） . . . 34

V. 一人当たり医療費の疾病中分類別の全国比較及び経年変化（診療種別） . . . 44

VI. 山口支部医療費の県内での比較 . . . 69

VII. 山口県医療提供体制にかかる全国との比較 . . . 75

～健診～

VIII. 山口支部健診実施率 . . . 79

IX. 山口支部健診結果データの全国との比較 . . . 84

X. 山口支部の健診結果の県内比較 . . . 99

XI. 山口支部の問診票結果の県内比較 . . . 116

# 令和4年度 山口支部医療費分析の概要

## I. 山口支部の事業所数及び平均加入者数

＜年度別 適用事業所数及び平均加入者数の推移＞

- 山口支部の適用事業所数は令和2年度から毎年約400社程度伸びているものの、被保険者数被扶養者数はともに減少している。
- 全国の適用事業所数は令和2年度から毎年約84千社程度伸びており、被保険者数はここ数年増加していたが令和4年度に減少に転じた。被扶養者はここ数年減少している。

(適用事業所数及び平均加入者数)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
山口	事業所数(社)	22,912	23,347	23,764
	被保険者(人)	259,340	258,704	254,889
	被扶養者(人)	164,323	160,644	154,764
全国	事業所数(社)	2,365,928	2,449,935	2,533,479
	被保険者(人)	24,883,571	25,130,238	25,126,161
	被扶養者(人)	15,409,154	15,218,247	14,815,979

※ 平均加入者数とは各月末時点で現存している加入者数を合計し12で除した数

＜令和4年度 山口支部の性別年齢階級別平均加入者数＞

- 男性は被保険者の割合が高く、女性は被扶養者の割合が高い。

(令和4年度 山口支部の性別 被保険者被扶養者別 年齢階級別 平均加入者数)

		0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
男性	被保険者	0	1,014	16,594	25,160	37,511	33,826	27,286	7,685	149,076
	被扶養者	19,274	24,635	6,232	1,117	482	371	920	492	53,521
女性	被保険者	0	927	16,148	18,116	26,309	25,908	14,954	3,452	105,814
	被扶養者	18,242	24,032	7,959	8,781	12,696	12,685	12,821	4,026	101,243
男女計	被保険者	0	1,940	32,742	43,276	63,820	59,735	42,240	11,137	254,889
	被扶養者	37,516	48,667	14,191	9,898	13,179	13,056	13,741	4,517	154,764

＜令和4年度 山口支部の性別業態別被保険者被扶養者別平均加入者＞

- 男性の被保険者の多くは「建設業」「製造業」に加入しており、女性の被保険者の多くは「医療・福祉」が多い。

(令和4年度 山口支部の性別 業態別 被保険者被扶養者別 平均加入者)

業態大区分	男性		女性	
	被保険者	被扶養者	被保険者	被扶養者
農林水産業	1,556	447	586	863
鉱業、採石業、砂利採取業	618	226	100	409
建設業	28,011	8,964	5,678	18,166
製造業	32,673	10,635	12,983	20,904
電気・ガス・熱供給・水道業	979	377	265	822
情報通信業	1,890	656	841	1,201
運輸業、郵便業	15,888	4,172	2,501	9,282
卸売業、小売業	17,775	6,522	12,616	12,193
金融業、保険業	698	325	465	602
不動産業、物品賃貸業	2,561	986	1,714	1,908
学術研究、専門・技術サービス業	3,840	1,339	2,562	2,810
宿泊業、飲食サービス業	3,000	1,036	2,367	1,936
生活関連サービス業、娯楽業	3,565	1,554	4,488	2,582
教育、学習支援業	923	390	1,323	711
医療、福祉	14,988	10,493	44,832	13,862
複合サービス事業	2,122	886	1,846	1,535
サービス業(他に分類されないもの)	13,244	3,720	7,421	8,011
公務(他に分類されるものを除く)	1,108	232	2,150	733

## Ⅱ. 一人当たり医療費の全国比較（診療種別）

＜加入者1人あたりの医療費（診療種別）の全国比較（令和4年度）＞

- 山口支部の一人当たり医療費は全国的にも高い。
- 特に入院一人当たり医療費が伸びており、全国では前年比がマイナスとなっているが、山口支部はプラスとなっている。

（年齢調整前 加入者一人当たり医療費）

	入院	入院外	歯科	合計
山口	60,710円	131,095円	22,573円	214,378円
順位	10位	11位	12位	10位
前年比	+3.87%	+9.08%	+0.81%	+6.64%
山口-全国	+7,528円	+5,541円	+355円	+13,424円

（年齢調整後 加入者一人当たり医療費）

	入院	入院外	歯科	合計
山口	58,263円	127,526円	22,242円	208,032円
順位	11位	14位	12位	11位
前年比	+4.03%	+9.60%	+0.79%	+7.00%
山口-全国	+5,082円	+1,972円	+24円	+7,078円

（参考：全国の加入者一人当たり医療費）

	入院	入院外	歯科	合計
全国	53,181円	125,555円	22,218円	200,954円
前年比	-0.26%	+8.59%	+1.78%	+5.34%

## Ⅲ. 医療費の三要素の全国比較（診療種別）

＜医療費の三要素＞

- 入院の一人当たり医療費が高い要因として、受診率が高いことと、レセプト1件あたりの日数が高いことがあげられる。
- 入院外と歯科の一人当たり医療費が高い要因として、受診率が高いことがあげられる。

（年齢調整前 一人当たり医療費と医療費の三要素）

		一人当たり医療費 (円/人)	受診率 (件/人)	1件あたり日数 (日/件)	1日当たり医療費 (円/日)
合計	山口	214,378円	8.87件	1.52日	15,899円
	順位	10位	4位	12位	32位
	前年比	6.6%	4.9%	-2.5%	4.3%
	全国	200,954円	8.30件	1.50日	16,143円
入院	山口	60,710円	0.10件	10.28日	56,230円
	順位	10位	13位	5位	37位
	前年比	3.9%	0.8%	-2.7%	5.9%
	全国	53,181円	0.09件	9.29日	62,301円
入院外	山口	131,095円	6.96件	1.37日	13,694円
	順位	11位	6位	19位	35位
	前年比	9.1%	5.9%	-1.6%	4.7%
	全国	125,555円	6.46件	1.37日	14,162円
歯科	山口	22,573円	1.81件	1.57日	7,973円
	順位	12位	11位	23位	28位
	前年比	0.8%	1.6%	-3.8%	3.1%
	全国	22,218円	1.74件	1.56日	8,141円
前年比		1.8%	1.6%	-3.0%	3.2%

#### Ⅳ. 一人当たり医療費の疾病大分類別の全国比較（診療種別）

<年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（疾病大分類別）の全国比較（令和4年度）>

- 山口支部の一人当たり医療費を疾病大分類別にみると、「新生物」「循環器系の疾患」「呼吸器系の疾患」の順で高い。
- 「新生物」「循環器系の疾患」の高い要因として、入院が高いことがあげられ、「呼吸器系の疾患」は入院外が高い。

（入院+入院外（上位3分類））

疾病大分類	山口			全国	山口-全国
	順位	山口支部 構成割合			
02新生物	26,771	13	12.9%	25,624	1,147
09循環器系の疾患	24,084	16	11.6%	23,332	751
10呼吸器系の疾患	17,980	12	8.6%	17,696	283
⋮					
総計	208,032	11	100.0%	200,954	7,078

（入院（上位3分類））

疾病大分類	山口			全国	山口-全国
	順位	山口支部 構成割合			
02新生物	14,030	6	24.1%	12,545	1,485
09循環器系の疾患	10,179	13	17.5%	9,894	285
13筋骨格系及び結合組織の疾患	4,589	20	7.9%	4,360	229
⋮					
総計	58,263	11	100.0%	53,181	5,082

（入院外（上位3分類））

疾病大分類	山口			全国	山口-全国
	順位	山口支部 構成割合			
10呼吸器系の疾患	16,048	12	12.6%	15,715	333
09循環器系の疾患	13,905	20	10.9%	13,438	467
04内分泌、栄養及び代謝疾患	13,501	31	10.6%	13,739	-238
⋮					
総計	127,526	14	100.0%	125,555	1,972

#### Ⅴ. 一人当たり医療費の疾病中分類別の全国比較（診療種別）

<年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（疾病中分類別）の全国比較（令和4年度）>

- 「新生物」の中分類をみると以下の中分類が上位3分類となる。
- そのうち、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」は全国と比較しても高く、特に入院が高い。

（「新生物」の中分類（上位3分類））

疾病中分類 （新生物）	入院				入院外				入院+入院外			
	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国
0210他の悪性新生物	4,406円	5位	3,821円	584円	3,339円	25位	3,385円	-46円	7,745円	10位	7,206円	539円
0211良性新生物及び その他の新生物	2,387円	7位	2,131円	256円	2,075円	42位	2,336円	-261円	4,462円	25位	4,467円	-5円
0205気管、気管支及び 肺の悪性新生物	1,519円	3位	1,167円	351円	1,778円	9位	1,581円	197円	3,297円	4位	2,748円	548円
⋮												
合計	14,030円	6位	12,545円	1,485円	12,741円	33位	13,079円	-338円	26,771円	13位	25,624円	1,147円

- 「循環器系の疾患」の中分類をみると以下の中分類が上位3分類となる。

- そのうち、「他の心疾患」が全国と比較しても高く、特に入院外が高い。

（「循環器系の疾患」の中分類（上位3分類））

疾病中分類 （循環器系の疾患）	入院				入院外				入院+入院外			
	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国
0901高血圧性疾患	148円	20位	141円	8円	9,330円	25位	9,417円	-86円	9,479円	25位	9,557円	-79円
0903他の心疾患	2,780円	33位	3,008円	-227円	1,949円	3位	1,619円	329円	4,729円	16位	4,627円	102円
0902虚血性心疾患	1,605円	30位	1,737円	-131円	908円	30位	967円	-58円	2,514円	31位	2,703円	-189円
⋮												
合計	10,179円	13位	9,894円	285円	13,905円	20位	13,438円	467円	24,084円	16位	23,332円	751円

- 「呼吸器系の疾患」の中分類をみると以下の中分類が上位3分類となる。

- そのうち、「喘息」が全国と比較しても高く、特に入院外が全国で1番高い。

（「呼吸器系の疾患」の中分類（上位3分類））

疾病中分類 （呼吸器系の疾患）	入院				入院外				入院+入院外			
	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国	山口	順位	全国	山口- 全国
1010喘息	137円	33位	161円	-23円	4,088円	1位	3,540円	547円	4,225円	2位	3,701円	524円
1006アレルギー性鼻 炎	27円	31位	43円	-16円	3,684円	16位	3,590円	94円	3,711円	16位	3,633円	78円
1003他の急性上気道 感染症	64円	9位	54円	10円	2,507円	40位	3,123円	-615円	2,571円	39位	3,176円	-605円
⋮												
合計	1,932円	26位	1,982円	-50円	16,048円	12位	15,715円	333円	17,980円	12位	17,696円	283円

## VI. 山口支部医療費の県内での比較

＜山口支部加入者1人あたりの二次医療圏別各医療費の比較（令和4年度）＞

- 二次医療圏別で見ると、1人当たり医療費は宇部・小野田圏、長門圏が高く、周南圏、柳井圏が低い傾向にある。
- 一人当たり医療費が高い要因として、宇部・小野田圏は入院外が高いこと、長門は入院が高いことがあげられる。

（二次医療圏別一人当たり医療費（診療種別））

診療種別名	入院	入院外	歯科	合計	平均加入者数	山口県内在住との差			
						入院	入院外	歯科	合計
宇部・小野田	64,741	142,386	22,945	230,071	76,836	2,838	9,828	350	13,016
長門	70,728	133,499	19,195	223,422	10,270	8,825	941	-3,400	6,366
下関	67,252	133,522	21,974	222,748	76,195	5,349	964	-621	5,693
岩国	61,898	136,146	24,549	222,593	30,739	-5	3,589	1,954	5,538
山口県内在住者	61,903	132,558	22,595	217,055	372,110	0	0	0	0
秋	65,830	126,277	23,193	215,300	13,645	3,927	-6,281	598	-1,756
山口支部（県外含む）	60,710	131,095	22,573	214,378	409,653	-1,193	-1,463	-22	-2,677
山口・防府	58,277	131,163	23,009	212,449	79,577	-3,626	-1,394	414	-4,606
柳井	66,465	124,535	20,499	211,499	18,932	4,562	-8,023	-2,096	-5,557
周南	53,293	123,455	22,500	199,249	65,917	-8,610	-9,103	-94	-17,807
県外	48,885	116,599	22,359	187,843	37,544	-13,018	-15,959	-236	-29,213

＜加入者1人あたりの医療費（診療種別）の山口支部業態平均の比較（令和4年度）＞

- 山口支部業態平均との差をみると、公務、運輸業・郵便業が高く、鉱業・砕石業・砂利採取業、情報通信業が低くなっている。
- ただし、令和4年10月から適用拡大の影響があり、特に「公務」は加入者が大きく減少しているため留意する必要がある。

（業態大分類別一人当たり医療費（診療種別））

業態大分類名	入院	入院外	歯科	総計	業態平均との差				加入者数
					入院	入院外	歯科	総計	
1018公務（他に分類されるものを除く）	66,397	156,948	31,242	254,587	7,999	28,297	8,879	45,176	4,222
1007運輸業、郵便業	77,096	135,039	22,734	234,870	18,699	6,388	371	25,459	31,842
1009金融業、保険業	77,708	126,032	24,776	228,516	19,311	-2,620	2,414	19,105	2,090
1003建設業	66,332	132,970	21,510	220,812	7,934	4,319	-853	11,401	60,818
1016複合サービス事業	58,939	135,793	23,151	217,884	542	7,142	789	8,472	6,389
1017サービス業（他に分類されないもの）	58,301	136,147	23,325	217,773	-96	7,496	962	8,361	32,396

続き（業態大分類別一人当たり医療費（診療種別））

業態大分類名	入院	入院外	歯科	総計	業態平均との差				加入者数
					入院	入院外	歯科	総計	
1011学術研究、専門・技術サービス業	56,296	134,428	24,554	215,278	-2,102	5,777	2,191	5,866	10,550
1010不動産業、物品賃貸業	59,108	131,712	24,250	215,070	711	3,061	1,887	5,659	7,169
1015医療、福祉	53,242	134,534	22,314	210,091	-5,155	5,883	-49	679	84,175
業態平均	58,397	128,651	22,363	209,411	0	0	0	0	401,658
1012宿泊業、飲食サービス業	63,289	121,095	21,769	206,154	4,892	-7,556	-594	-3,258	8,339
1005電気・ガス・熱供給・水道業	53,635	129,458	22,745	205,837	-4,762	807	382	-3,574	2,443
1008卸売業、小売業	57,901	124,604	22,503	205,008	-497	-4,047	141	-4,403	49,106
1001農林水産業	59,908	115,999	21,284	197,191	1,511	-12,652	-1,079	-12,220	3,451
1014教育、学習支援業	47,977	121,986	23,185	193,149	-10,420	-6,665	823	-16,262	3,347
1013生活関連サービス業、娯楽業	52,534	117,507	22,238	192,279	-5,863	-11,144	-125	-17,132	12,189
1004製造業	51,740	116,371	21,442	189,553	-6,657	-12,280	-921	-19,859	77,195
1006情報通信業	44,484	121,165	22,401	188,050	-13,914	-7,486	38	-21,362	4,587
1002鉱業、採石業、砂利採取業	38,184	126,625	21,850	186,659	-20,214	-2,026	-513	-22,753	1,352

## VII. 山口県医療提供体制にかかる全国との比較

- 山口県の医療提供体制は全国平均と比較すると、人口に対する病院数、一般診療所及び病床数は多く、平均在院日数が長い。医師数は全国平均並み。

	山口県		全国
		順位	
人口10万人対病院数（軒/10万人）	10.6	9	6.5
人口10万人対病院病床数（床/10万人）	1,854.1	6	1,194.9
人口10万人対一般診療所数（軒/10万人）	93.2	12	84.2
人口10万人対一般診療所病床数（床/10万人）	100.0	14	64.4
平均在院日数（日）	37.2	4	27.3
人口10万人対医師数（人/10万人）	284.6	22	274.7

出典：・医療施設調査（厚生労働省）令和4年（令和4年10月1日現在）

・令和4年病院報告（厚生労働省）

・医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）令和4年（令和4年12月31日現在）

## Ⅷ.山口支部健診実施率

### <年度別健診実施率>

- 山口支部及び全国の健診実施率は年々増加している。
- 山口支部の事業者健診の取得率が低下しているものの、全国よりは高い状況となっている。

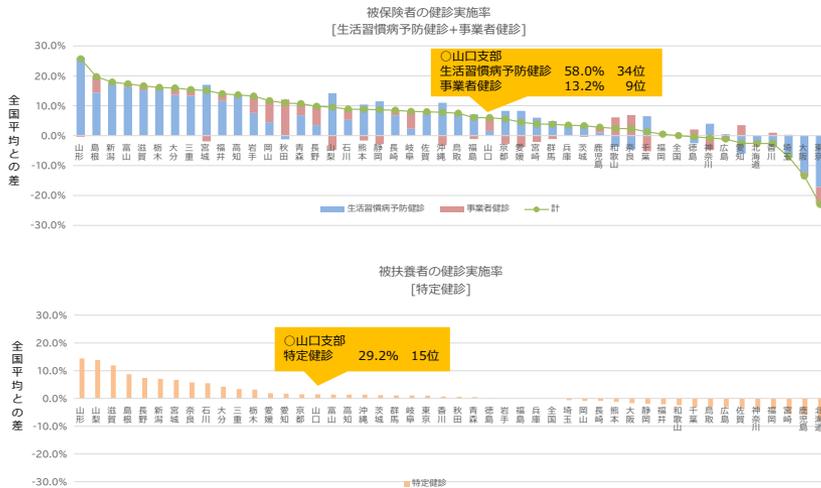
### (健診実施率の推移)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
生活習慣病予防健診	山口	52.6%	55.5%	58.0%
	全国	51.0%	53.6%	56.4%
事業者健診	山口	14.7%	13.4%	13.2%
	全国	8.0%	8.5%	8.8%
特定健診	山口	23.3%	27.1%	29.2%
	全国	21.3%	26.2%	27.7%

※協会けんぽ事業報告書より作成

### <令和4年度 健診実施率の全国比較>

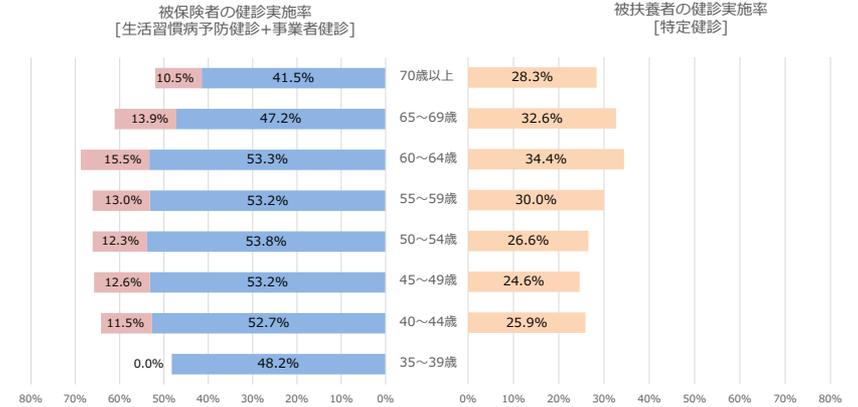
- 山口支部の健診実施率は全国平均よりも高く、特に事業者健診の取得率が9位と高い。



### <令和4年度 被保険者被扶養者別 年齢階級別 健診実施率>

- 被保険者は年齢層に大きなばらつきはないが、35～39歳、65歳以上の健診実施率が若干低い。
- 被扶養者は60歳台の実施率が高く、その他の年代は若干低い。

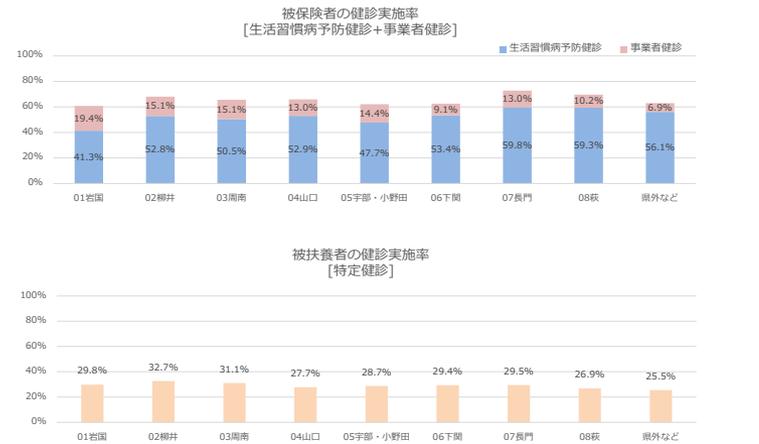
### (令和4年度 被保険者被扶養者別 年齢階級別 健診実施率)



### <令和4年度 地域別 健診実施率>

- 被保険者は長門圏、萩圏が比較的高く、岩国圏、宇部小野田圏が比較的低い。
- 被扶養者は柳井圏、周南圏が比較的高く、県外など、萩圏が比較的低い。

### (令和4年度 地域別 健診実施率)

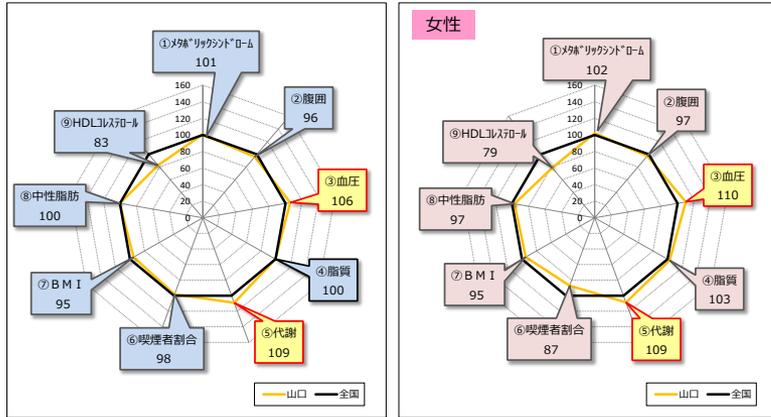


※住所は被保険者の住所で集計

## IX. 山口支部健診結果データの全国との比較

○ 山口支部加入者の健診結果をみると、**男女ともに血圧、代謝が高い。**

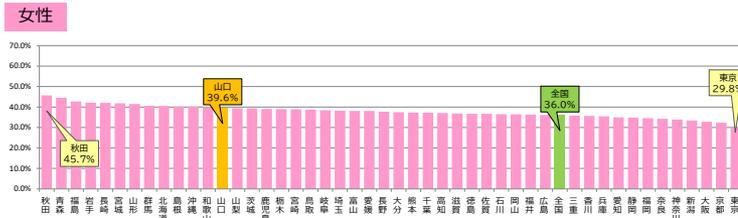
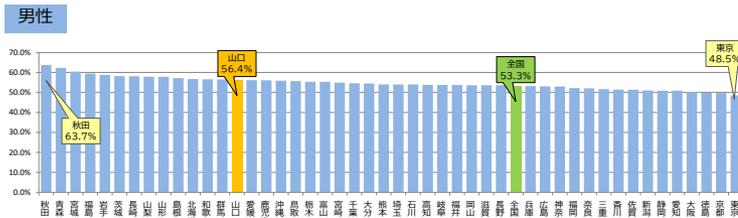
(各種リスク保有率の全国比較 (令和4年度))



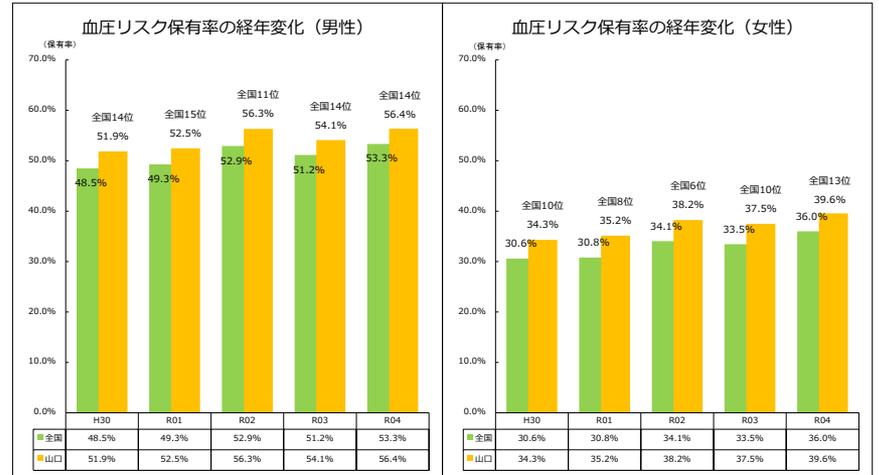
### <血圧リスク>

○ 山口支部加入者の血圧リスクは**男性は全国14位、女性は全国13位と全国と比較して高く、男女ともに年々増加している。**

(血圧リスク保有率の全国比較 (令和4年度))



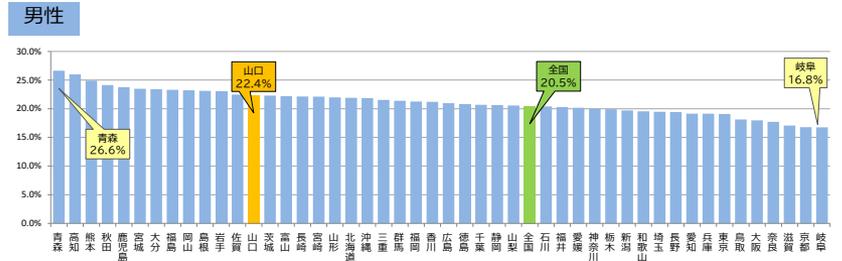
### (血圧リスク保有率の経年変化)



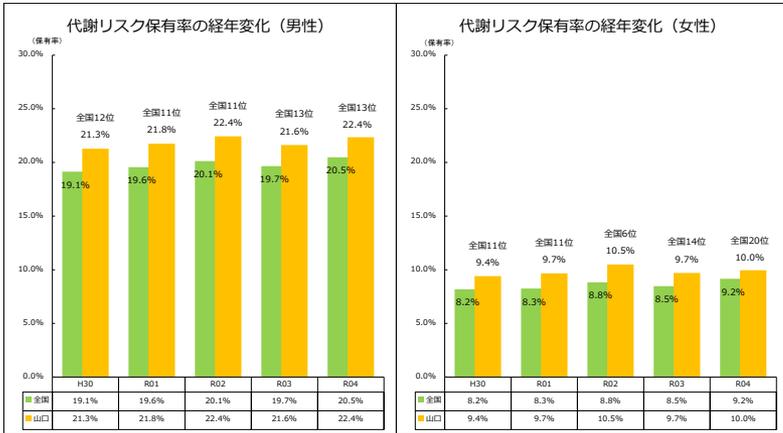
### <代謝リスク>

○ 山口支部加入者の代謝リスクは**男性は全国13位、女性は全国20位と全国と比較して高く、男女ともに年々増加している。**

(代謝リスク保有率の全国比較 (令和4年度))



(代謝リスク保有率の経年変化)

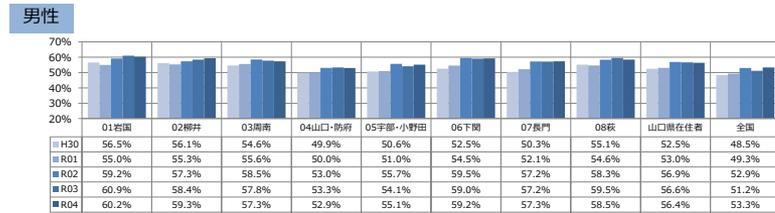


X. 山口支部の健診結果の県内比較

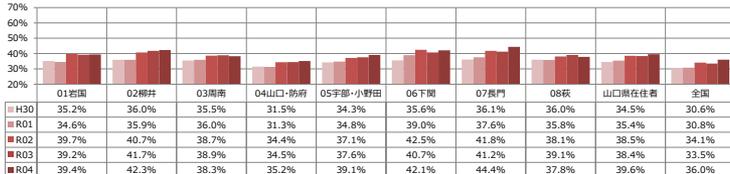
<血圧リスク>

- 血圧リスクを二次医療圏別にみると、全圏域で5年前と比べて男女とも増加傾向にある。
- 男性は岩国圏、柳井圏が比較的高く、女性は長門圏、柳井圏が比較的高い傾向にある。

(血圧リスク保有率の二次医療圏別経年変化)



**女性**

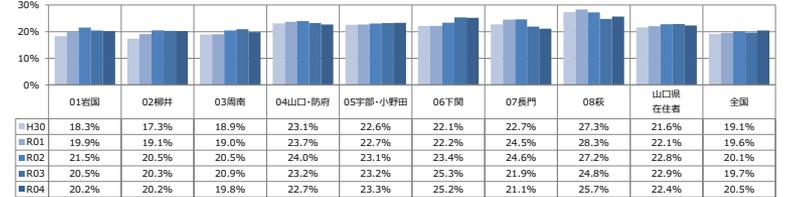


<代謝リスク>

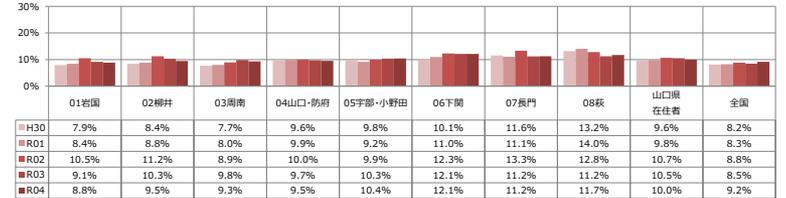
- 代謝リスクを二次医療圏別にみると、ほとんどの医療圏で5年前と比べて男女とも増加傾向にある。また、男女ともに萩圏が高い傾向がある。
- 男性は岩国圏、柳井圏が比較的高く、女性は長門圏、柳井圏、下関圏が比較的高い傾向にある。

(代謝リスク保有率の経年変化)

**男性**



**女性**



XI. 山口支部の問診票結果の県内比較

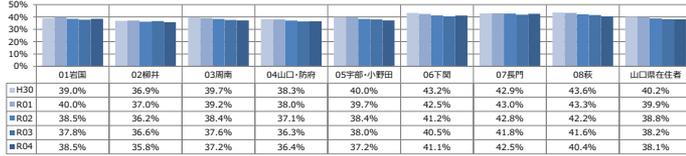
<喫煙率>

- 健診受診時の問診票において、『現在、たばこを習慣的に吸っている』との質問に対して『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、男性は減少傾向にあるが、女性は同程度で推移している。

※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者)

(喫煙率の二次医療圏別経年変化)

男性



女性

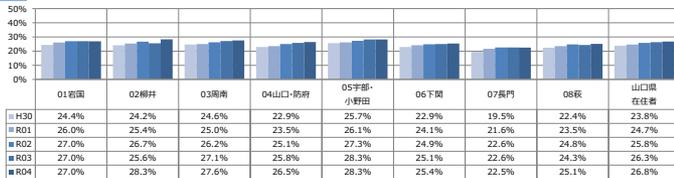


<運動習慣>

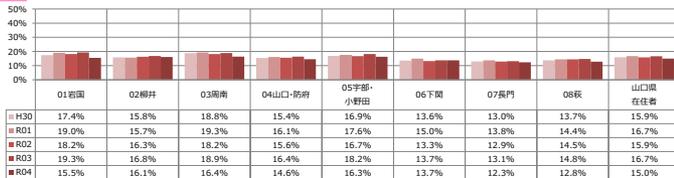
○ 健診受診時の問診票において、『1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、男性は全体的に増加傾向にあり、女性は同程度又は減少傾向にある。

(運動習慣の二次医療圏別経年変化)

男性



女性

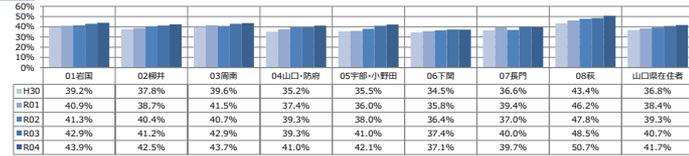


<身体活動>

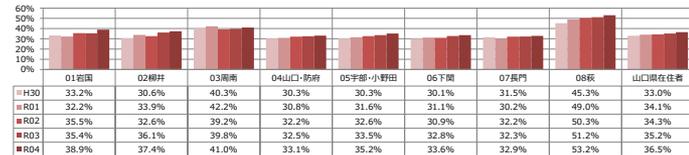
○ 健診受診時の問診票において、『日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、すべての医療圏で、5年前と比べて男女とも増加している。

(身体活動の二次医療圏別経年変化)

男性



女性



<就寝前夕食>

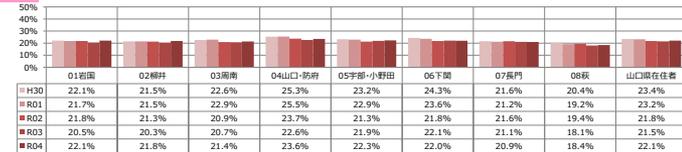
○ 健診受診時の問診票において、『就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、ほとんどの医療圏で5年前より減少または横ばいとなっている。

(就寝前夕食の二次医療圏別経年変化)

男性



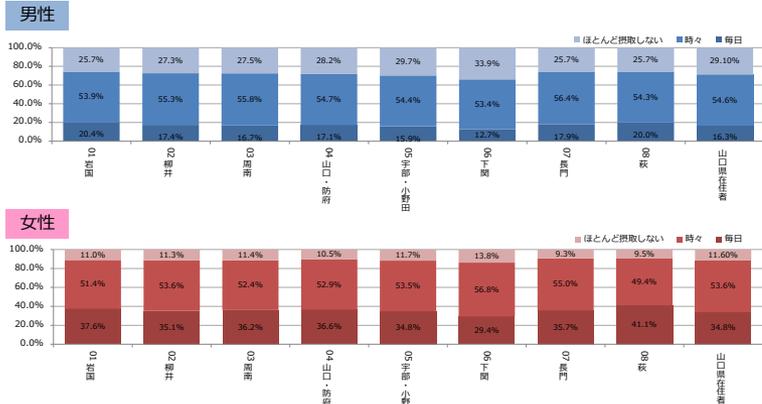
女性



### <間食>

○ 健診受診時の問診票において、『朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか』との質問に対して、『毎日』『時々』『ほとんど摂取しない』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、医療圏ごとに大きな差はなく、どの医療圏も山口県平均並み。

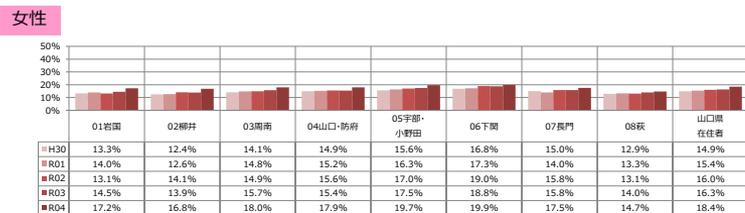
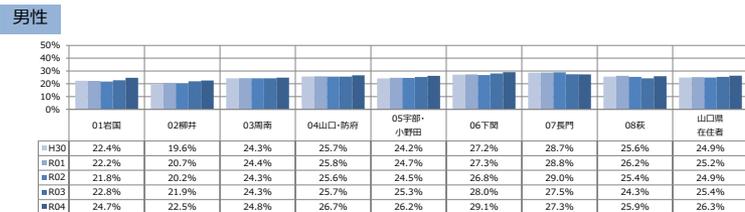
(間食の二次医療圏別比較 (令和4年度))



### <朝食欠食>

○ 健診受診時の問診票において、『朝食を抜くことが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、ほとんどの医療圏で5年前より増加または横ばいとなっている。

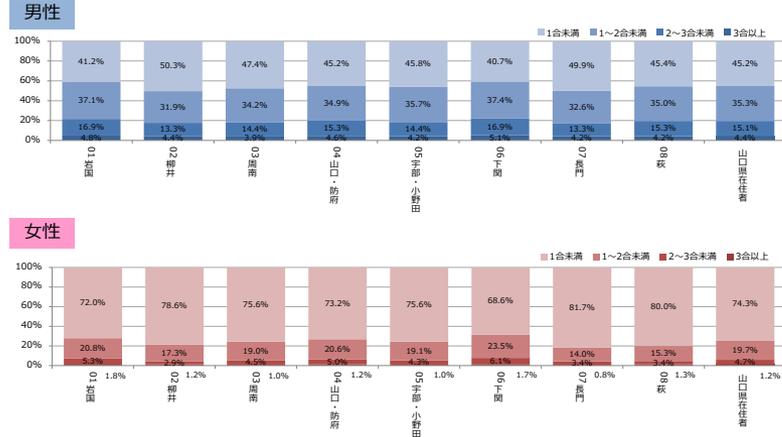
(朝食欠食の二次医療圏別経年変化)



### <飲酒量>

○ 健診受診時の問診票において、『飲酒日の1日当たりの飲酒量』との質問に対して、『1合未満』『1~2合未満』『2~3合未満』『3合以上』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、医療圏ごとに大きな差はなく、どの医療圏も山口県平均並み。

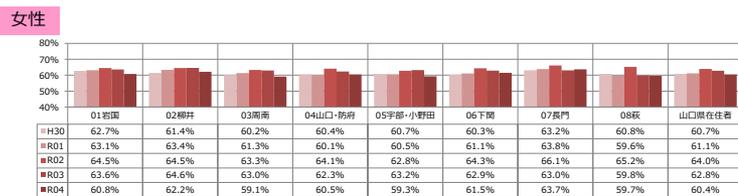
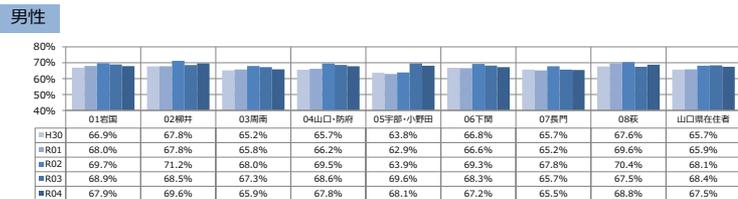
(飲酒量の二次医療圏別比較 (令和4年度))



### <睡眠状況>

○ 健診受診時の問診票において、『睡眠で休養が十分とれている』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合を二次医療圏別にみると、ほとんどの医療圏で5年前より増加または横ばいとなっている。

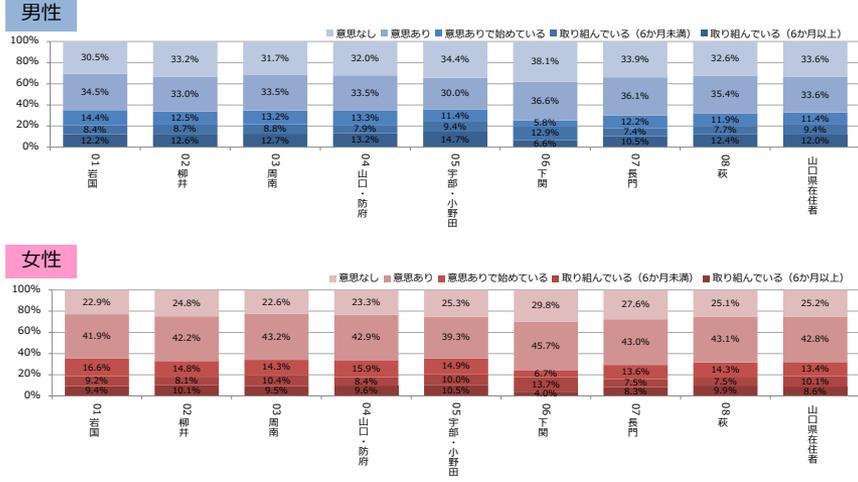
(睡眠状況の二次医療圏別経年変化)



<生活改善状況>

○ 健診受診時の問診票において、『運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。』との質問に対して、以下の回答した人との割合を二次医療圏別にみると、下関圏はやや低く、男性は約62%、女性は約70%となっている。

(生活改善状況の二次医療圏別比較 (令和4年度))

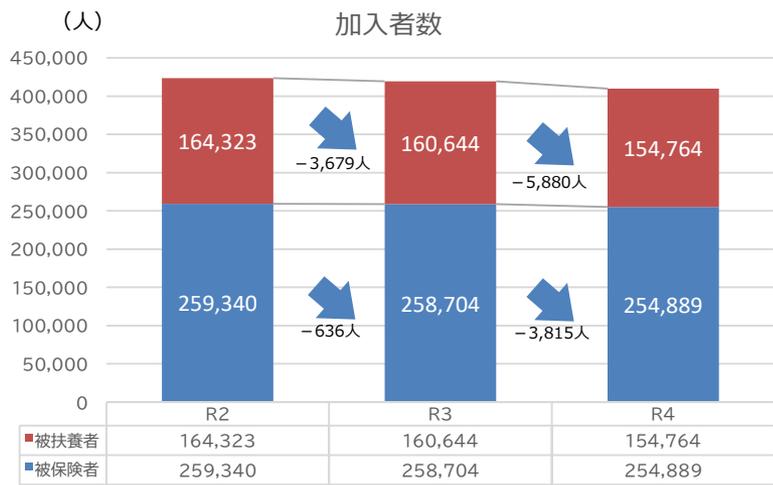


## I . 山口支部の事業所数及び平均加入者数

# 年度別 適用事業所数及び加入者数の推移

- **山口支部の適用事業所数は令和2年度から毎年約400社程度伸びているものの、被保険者数被扶養者数はともに減少している。**
- 全国の適用事業所数は令和2年度から毎年約84千社程度伸びており、被保険者数はここ数年増加していたが令和4年度に減少に転じた。被扶養者はここ数年減少している。

【山口支部】



■ 被保険者 ■ 被扶養者

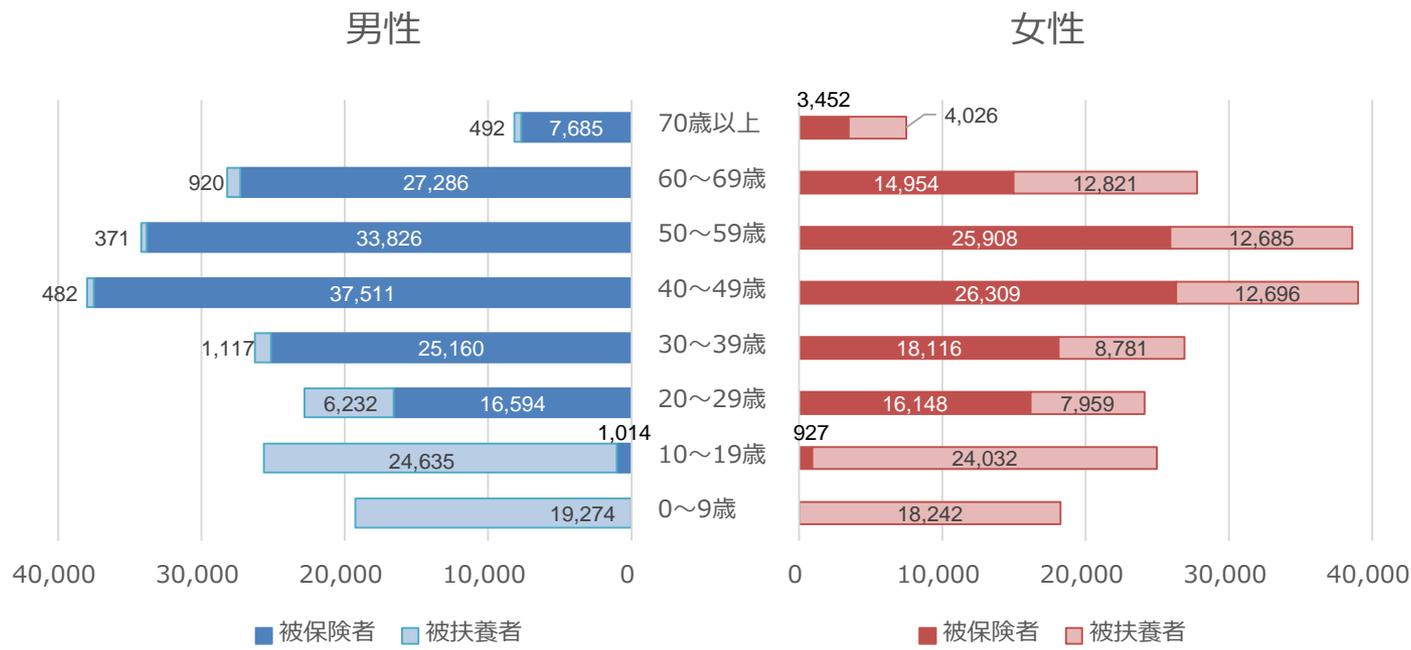
【全国】



■ 被保険者 ■ 被扶養者

# 令和4年度 山口支部の性別年齢階級別平均加入者数

- **男性は被保険者の割合が高く、女性は被扶養者の割合が高い。**
- 前年同月比をみると、被保険者は50歳代の男性が増加している一方、50歳代の女性及び70歳以上の男性女性ともにほぼ横ばいとなっており、その他の年齢階級はすべて減少している。また、被扶養者はすべての年齢階級で男性女性ともに減少している。



	被保険者	被扶養者
0~9歳	—	19,274 (-4%)
10~19歳	1,014 (-9%)	24,635 (-6%)
20~29歳	16,594 (-2%)	6,232 (-2%)
30~39歳	25,160 (-4%)	1,117 (-6%)
40~49歳	37,511 (-3%)	482 (-5%)
50~59歳	33,826 (4%)	371 (-1%)
60~69歳	27,286 (-4%)	920 (-8%)
70歳以上	7,685 (0%)	492 (-7%)

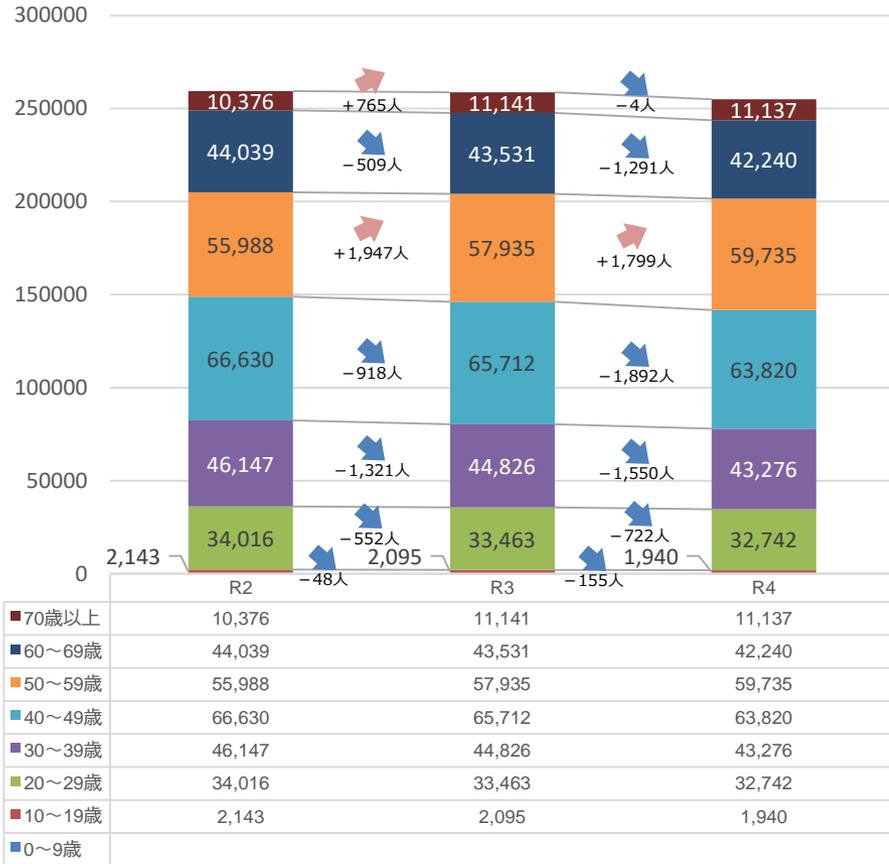
	被保険者	被扶養者
0~9歳	—	18,242 (-4%)
10~19歳	927 (-3%)	24,032 (-9%)
20~29歳	16,148 (-2%)	7,959 (-4%)
30~39歳	18,116 (-3%)	8,781 (-9%)
40~49歳	26,309 (-3%)	12,696 (-6%)
50~59歳	25,908 (1%)	12,685 (-1%)
60~69歳	14,954 (-1%)	12,821 (-7%)
70歳以上	3,452 (1%)	4,026 (-8%)

※カッコ内は前年同期比

# 令和4年度 山口支部の被保険者被扶養者別年齢階級別平均加入者数

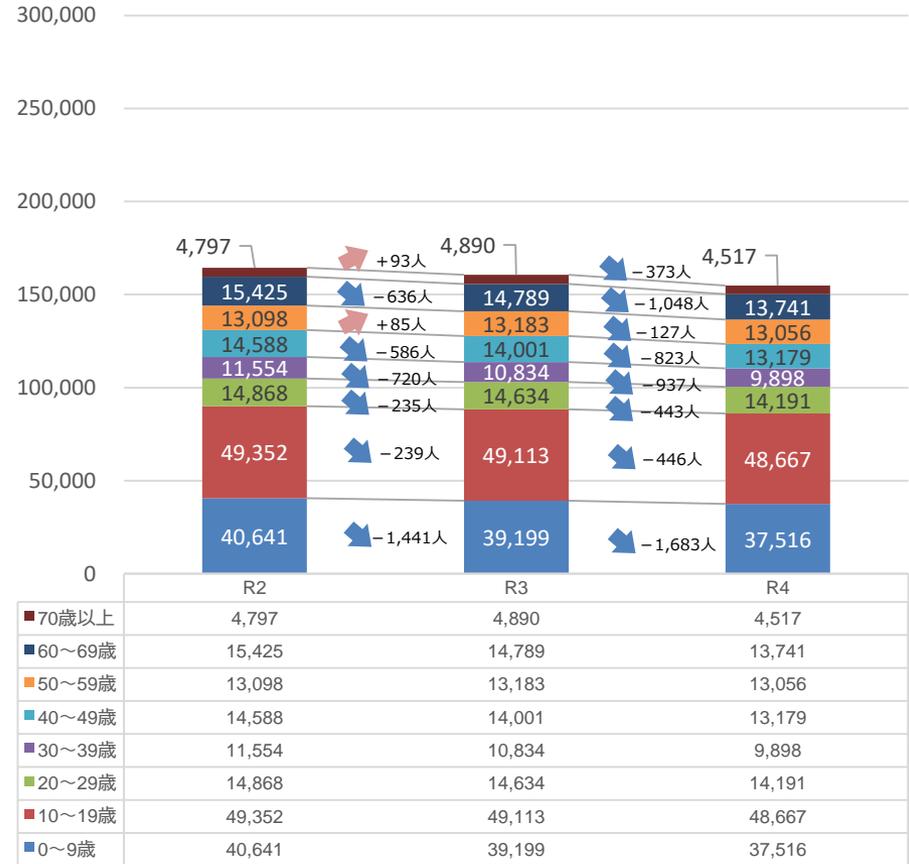
- 被保険者については、令和3年度の対前年差をみると、50歳代と70歳以上の被保険者数が増加している一方、その他の年齢階級が減少しており、令和4年度の対前年差をみると、50歳代の被保険者のみ増加しその他の年齢階級はすべて減少している。
- 被扶養者については、令和3年度の対前年差をみると、50歳代と70歳以上の被保険者数がほぼ横ばいである一方、その他の年齢階級が減少しており、令和4年度の対前年差をみると、すべての年齢階級で減少している。

【被保険者】



■ 0～9歳 ■ 10～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳  
■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上

【被扶養者】

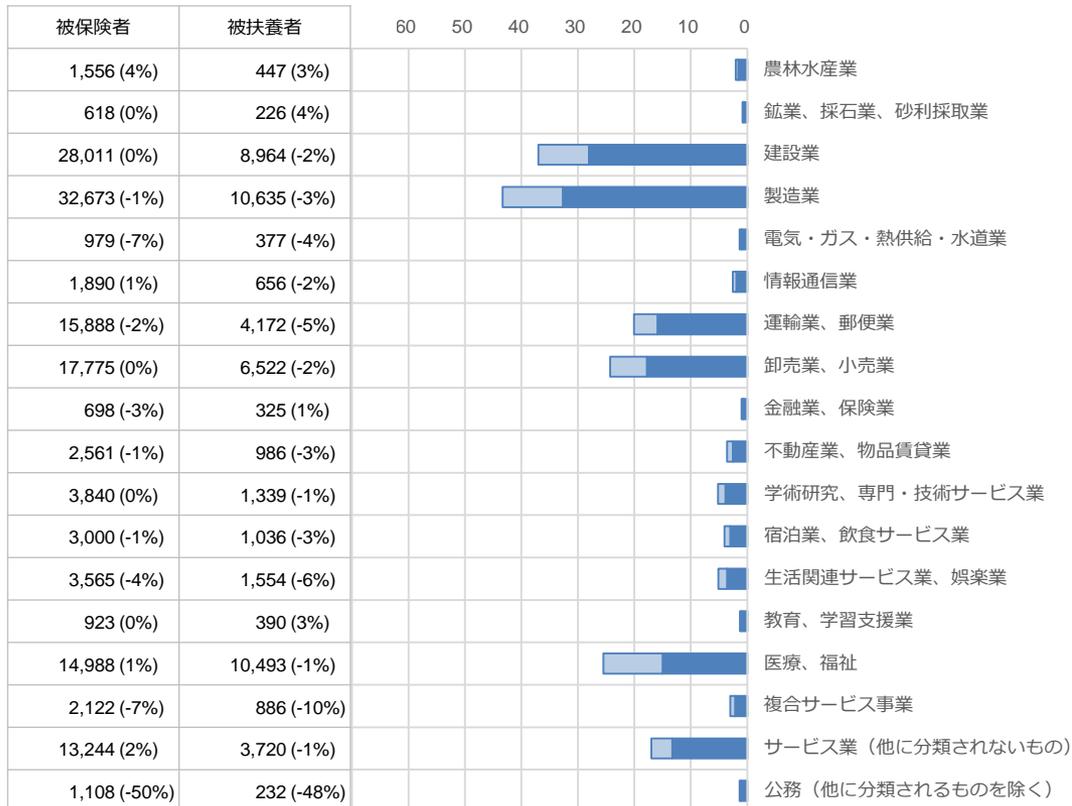


■ 0～9歳 ■ 10～19歳 ■ 20～29歳 ■ 30～39歳  
■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上

# 令和4年度 山口支部の性別業態別被保険者被扶養者別平均加入者

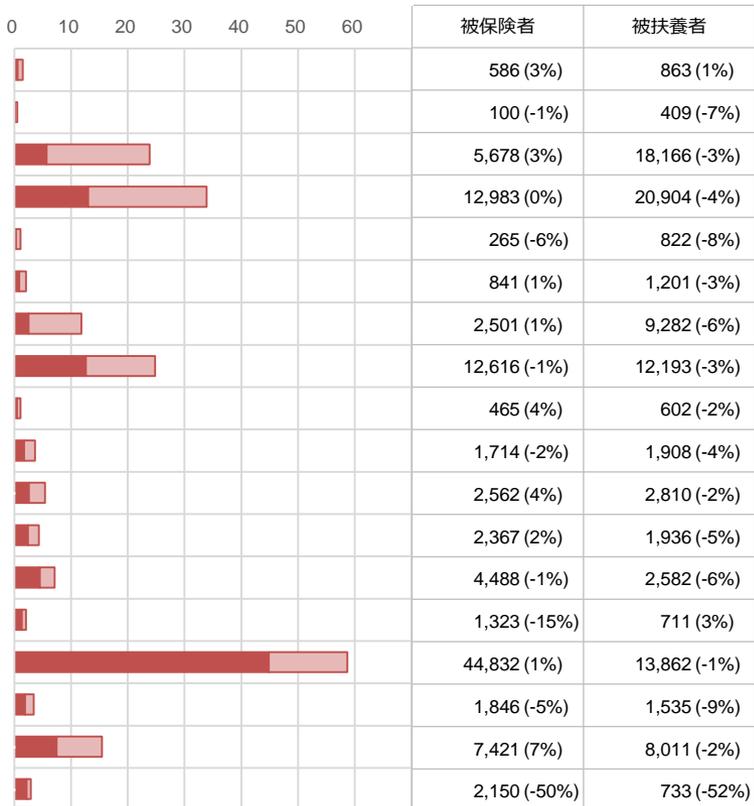
○ **男性の被保険者の多くは「建設業」「製造業」に加入しており、女性の被保険者の多くは「医療・福祉」が多い。**  
 ○ 前年度と比較すると「公務」が50%減となっており、令和4年10月の適用拡大の影響と思われる。  
 ※ 平均加入者数は各月末時点で現存している加入者数を合計し12で除した数

【男性】



■ 被保険者 □ 被扶養者

【女性】



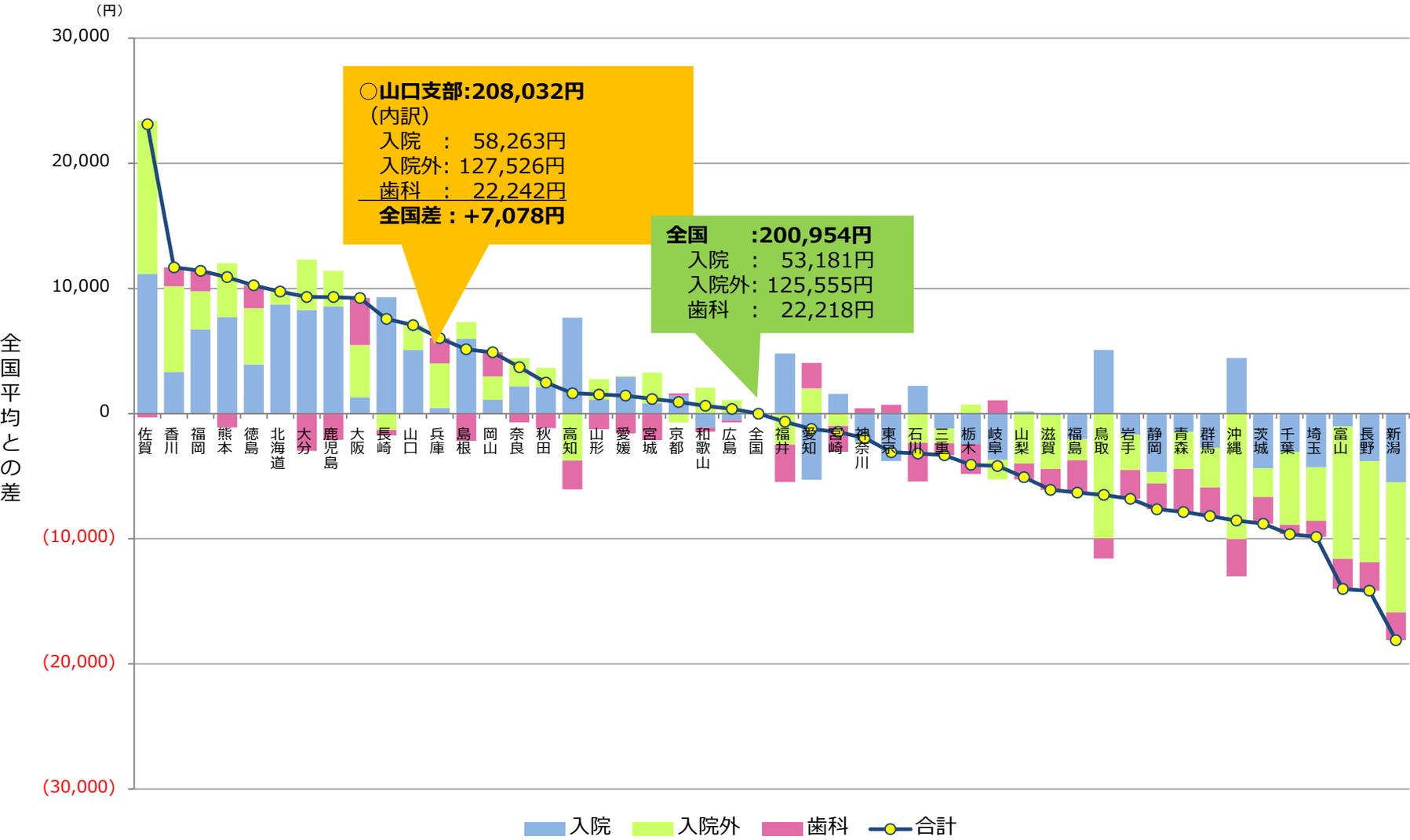
■ 被保険者 □ 被扶養者

※総務省「日本標準産業分類」の分類コードを参考に分類。  
 ※カッコ内は前年同期比

## Ⅱ. 一人当たり医療費の全国比較（診療種別）

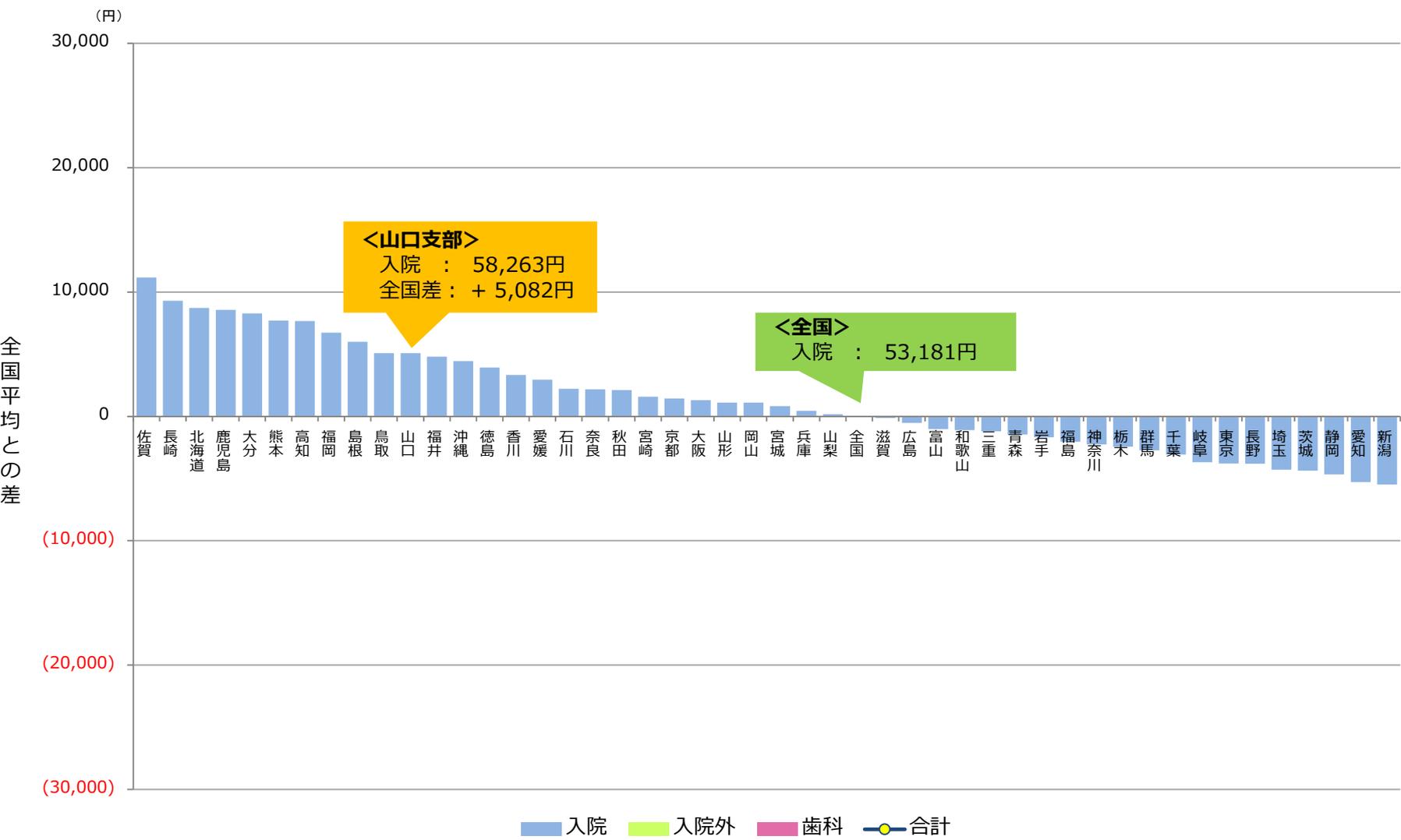
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（診療種別）の全国比較（令和4年度）

- 山口支部は全国で**11番目**に一人あたり医療費が高い。
- 診療種別でみると、**特に入院が全国平均と比較して高い。**（山口支部と全国平均との差：入院+5,082円、入院外：+1,972円、歯科：+24円）



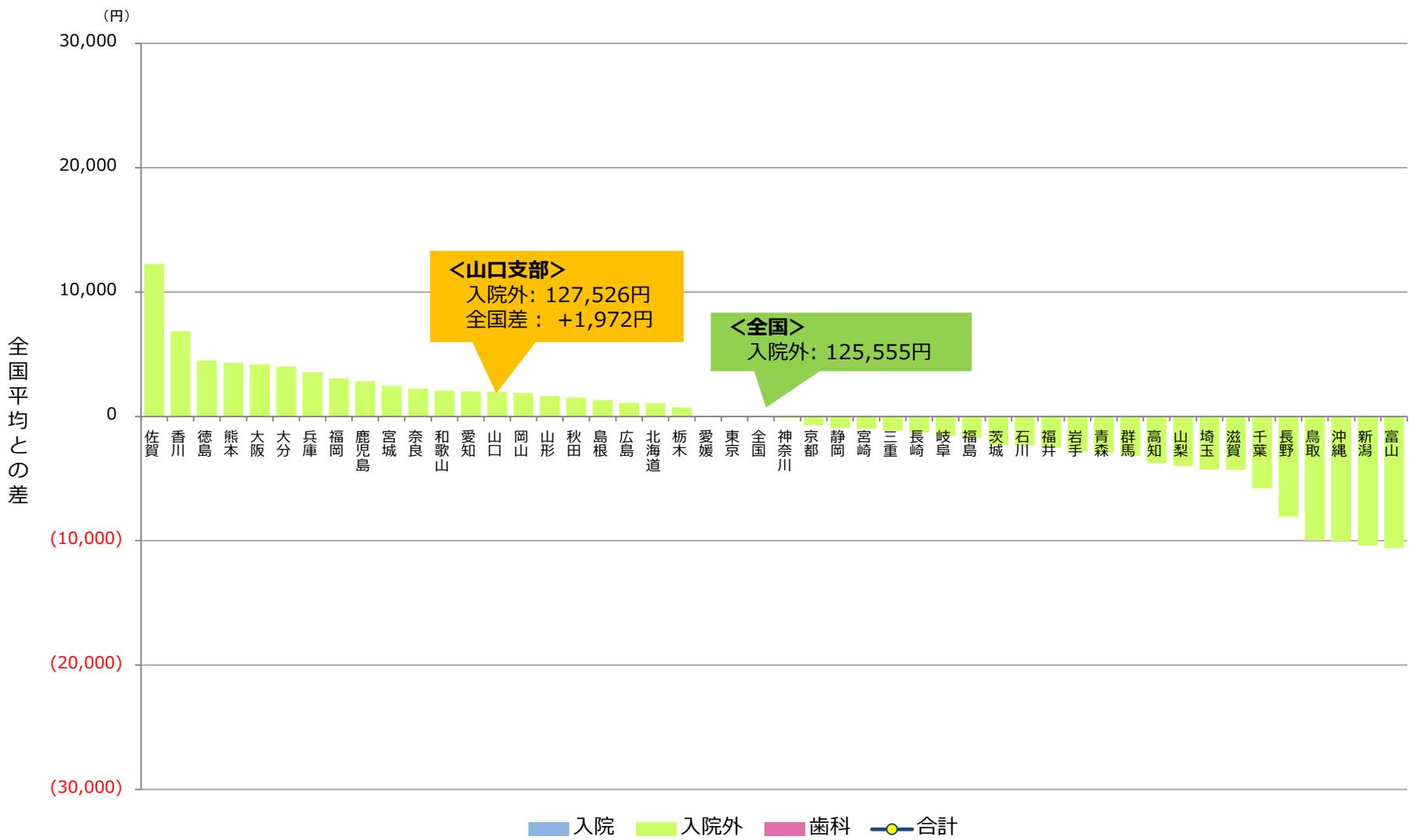
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院）の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は全国で**11番目に一人当たり医療費が高い。**（山口支部と全国平均との差：+5,082円≒医療費に換算すると約21億円）



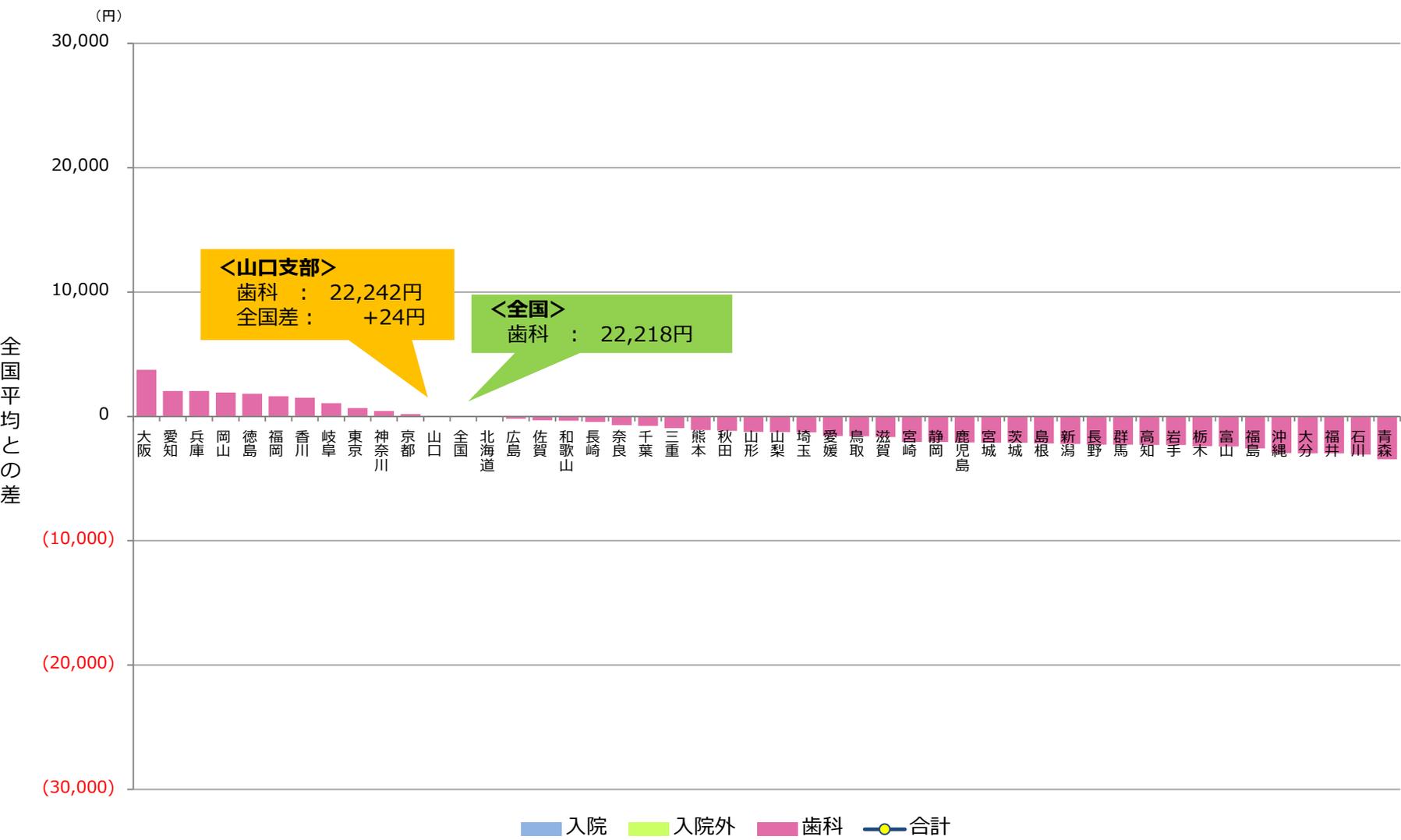
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院外）の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は全国で14番目に一人当たり医療費が高い。（山口支部と全国平均との差：+1,972円≒医療費に換算すると約8億円）



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（歯科）の全国比較（令和4年度）

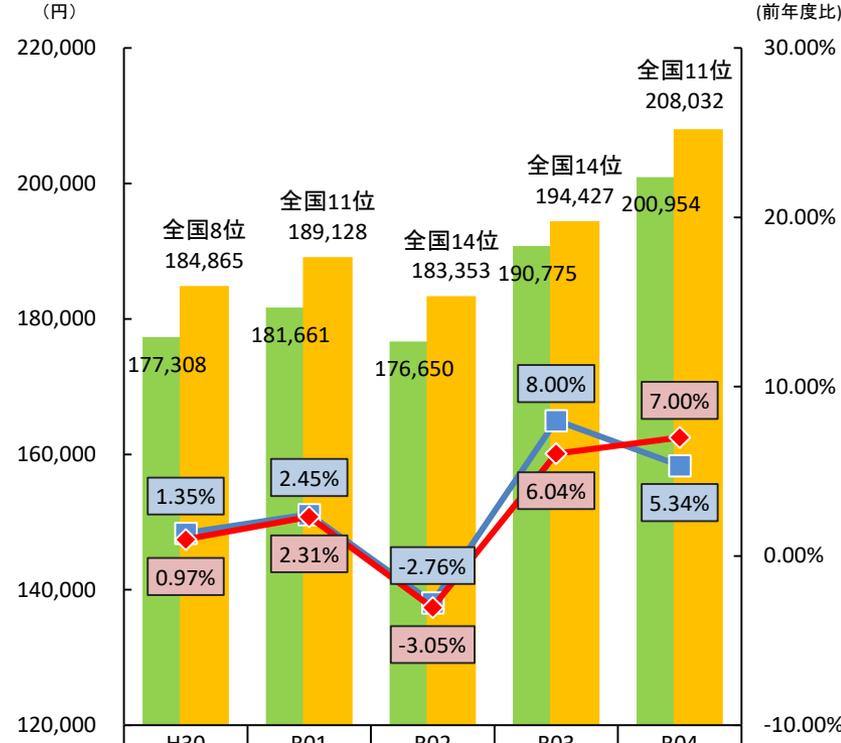
○ 山口支部は全国で12番目に一人当たり医療費が高い。（山口支部と全国平均との差：+24円≒医療費に換算すると約1千万円）



# 山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化（年齢調整後）

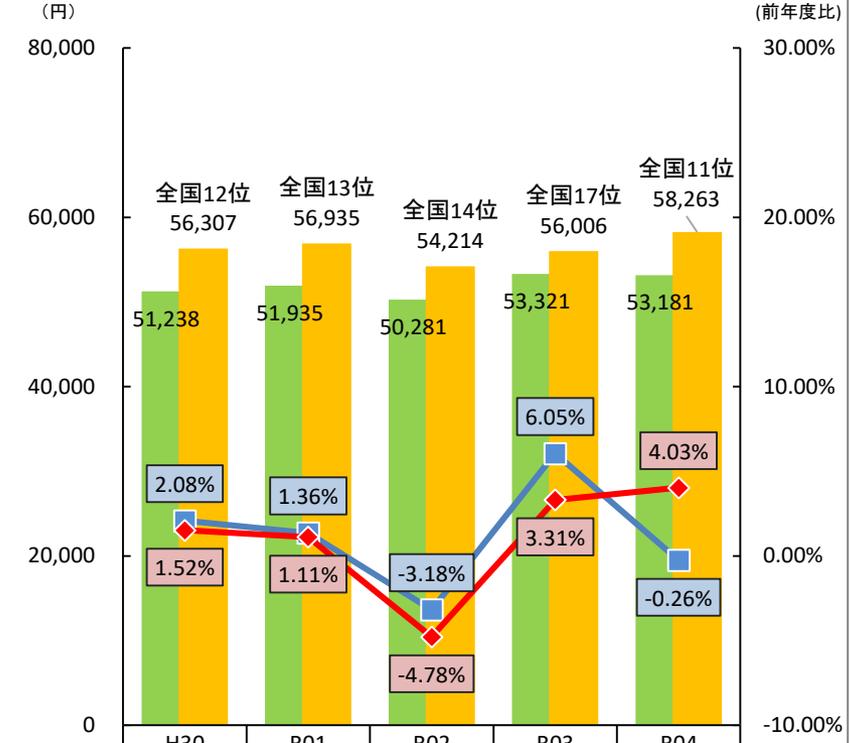
- 1人あたり医療費について、令和2年度はコロナウイルス感染症の影響で減少したが、**年々増加している。**
- 令和4年度は前年度と比較すると、**総計が約7%程度伸びており、入院が約4%程度伸びている。**

## 1人あたりの医療費（総計）



■ 全国	177,308	181,661	176,650	190,775	200,954
■ 山口	184,865	189,128	183,353	194,427	208,032
■ 全国	1.35%	2.45%	-2.76%	6.04%	5.34%
◆ 山口	0.97%	2.31%	-3.05%	6.04%	7.00%

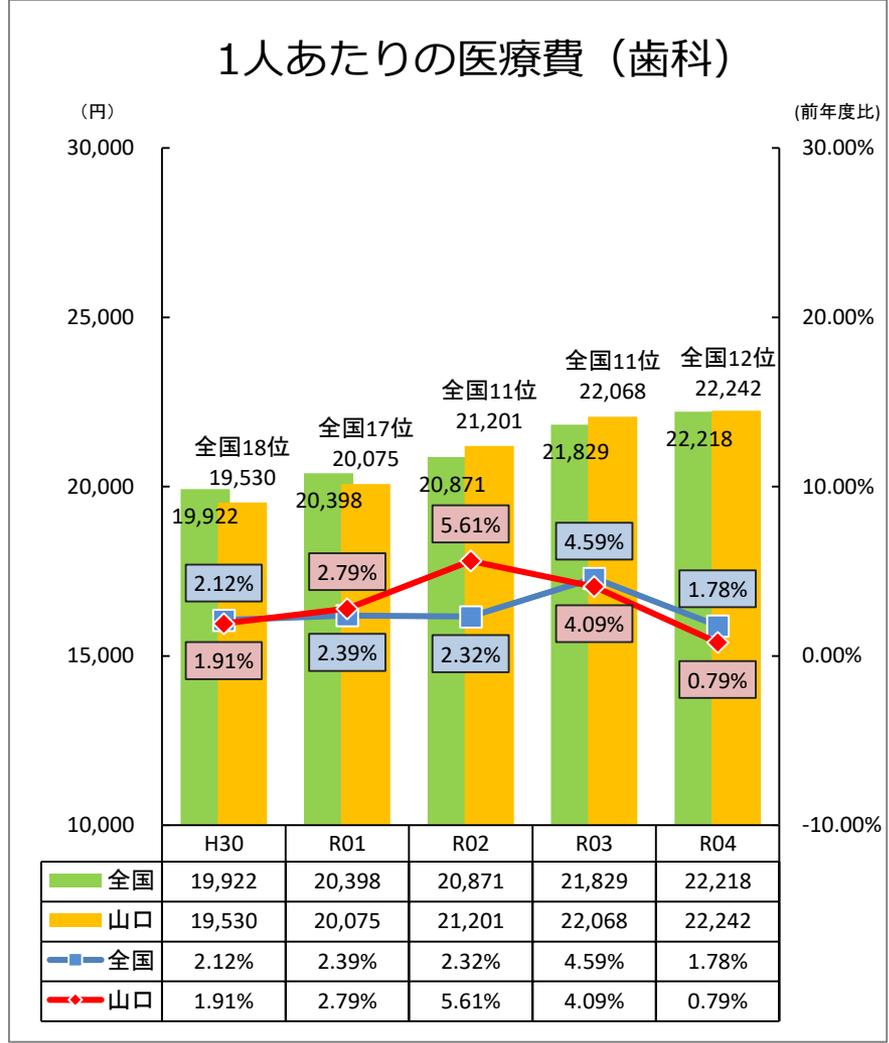
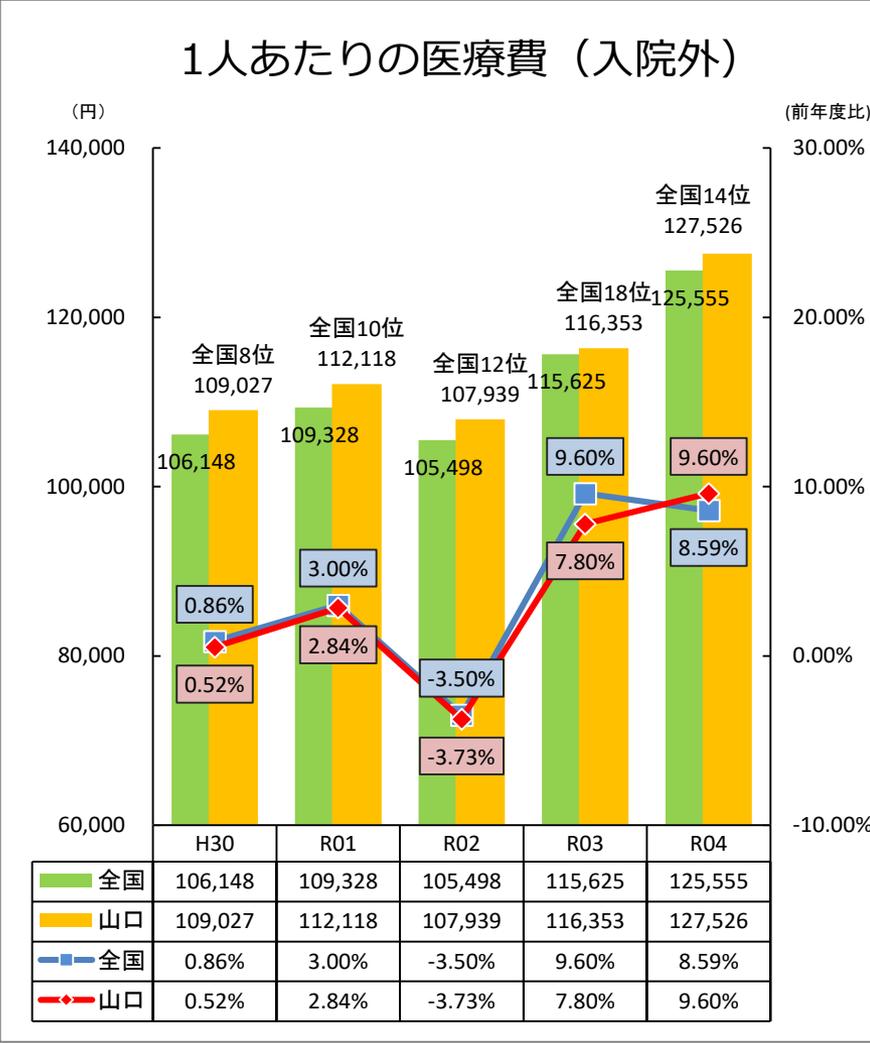
## 1人あたりの医療費（入院）



■ 全国	51,238	51,935	50,281	53,321	53,181
■ 山口	56,307	56,935	54,214	56,006	58,263
■ 全国	2.08%	1.36%	-3.18%	6.05%	-0.26%
◆ 山口	1.52%	1.11%	-4.78%	3.31%	4.03%

# 山口支部加入者1人あたりの各医療費の経年変化（年齢調整後）

○ 令和4年度は前年度と比較すると、**入院外が約9.6%**程度伸びており、**歯科が約0.8%**程度伸びている。

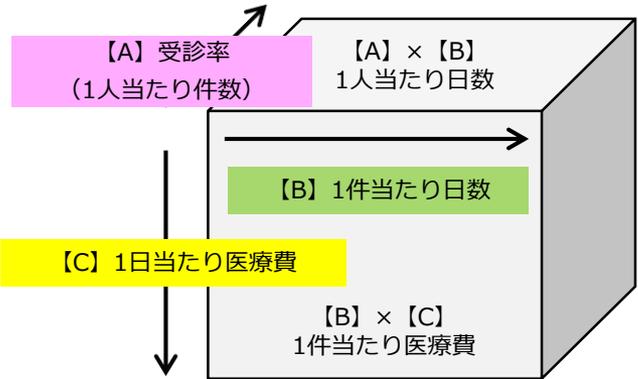


### Ⅲ. 医療費の三要素の全国比較（診療種別）

# 医療費の3要素分解について

1人あたり医療費は3要素に分解することができ、それぞれの要素の数値を様々な角度から比較することで、加入者の受診傾向などを把握することが可能となります。

## ◆1人あたり医療費の構成3要素



## ◆医療費の動向分析の切り口

	医療【需要側】に関する主な要因	医療【供給側】に関する主な要因
<b>[A] 受診率</b>	健康度 症状の程度 受診意識	医療機関数 医師数 病床数
<b>[B] 1件あたり日数</b>	疾病構造 症状の程度 受診意識	診療行為
<b>[C] 1日あたり医療費</b>	疾病構造 症状の程度	診療行為

## ◆1人あたり医療費を構成する3要素

$$\text{1人あたり医療費} = \text{[A] 受診率} \times \text{[B] 1件あたり日数} \times \text{[C] 1日あたり医療費}$$

**[A] 受診率** = 一定期間内(※)に医療機関にかかった人の割合 (レセプト件数を加入者数で除した値)

**[B] 1件あたり日数** = 一定期間内(※)に医療機関にかかった日数 (診療の総日数をレセプト件数で除した値)

**[C] 1日あたり医療費** = 1日当たりにかかった医療費 (総医療費を診療の総日数で除した値)

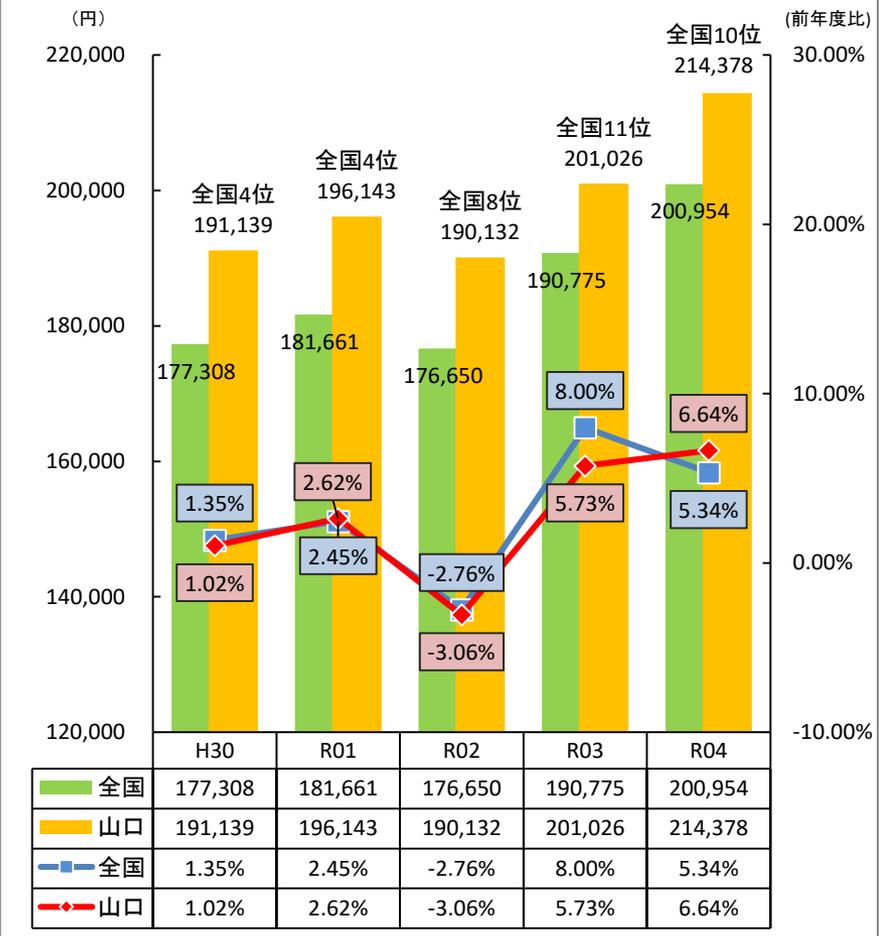
➤次ページから、医療費の3要素分解をしてみます。

# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化 (年齢調整前)

- 1人あたり医療費について、**年齢調整前 (214,378円)** は年齢調整後 (208,032円) と比較して **3%程度高くなっている。**
- 受診率は**全国と比較して高い**状況が続いている。

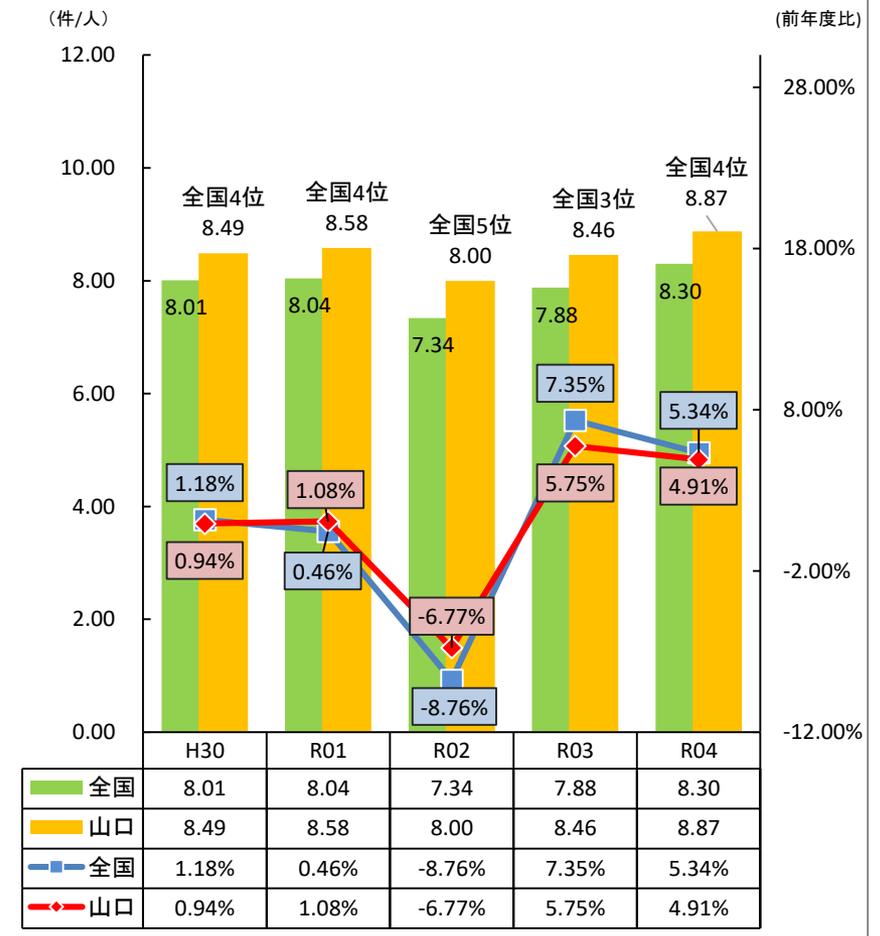
診療種別計 (入院、入院外、歯科)

## 1人あたりの医療費



診療種別計 (入院、入院外、歯科)

## 受診率

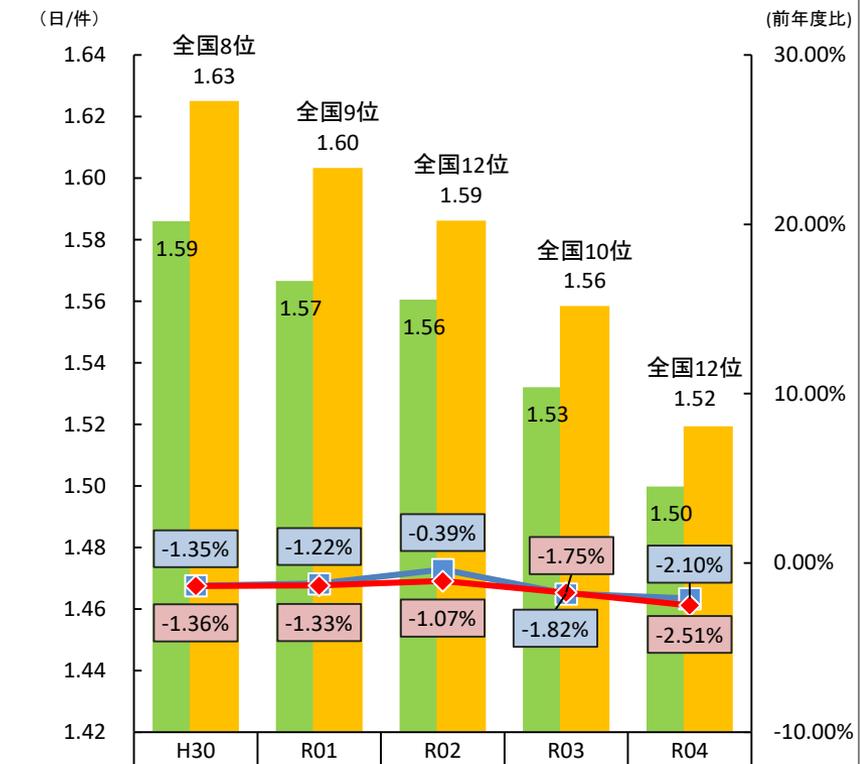


# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化（年齢調整前）

- 1件あたり日数は年々下がってきているものの、**全国平均と比較して高い**状況が続いている。
- 1日あたり医療費は年々上昇しているものの、**全国平均と比較して低い**状況が続いている。

診療種別計（入院、入院外、歯科）

## 1件あたり日数



■ 全国	1.59	1.57	1.56	1.53	1.50
■ 山口	1.63	1.60	1.59	1.56	1.52
—■ 全国	-1.35%	-1.22%	-0.39%	-1.82%	-2.10%
—◆ 山口	-1.36%	-1.33%	-1.07%	-1.75%	-2.51%

診療種別計（入院、入院外、歯科）

## 1日あたり医療費



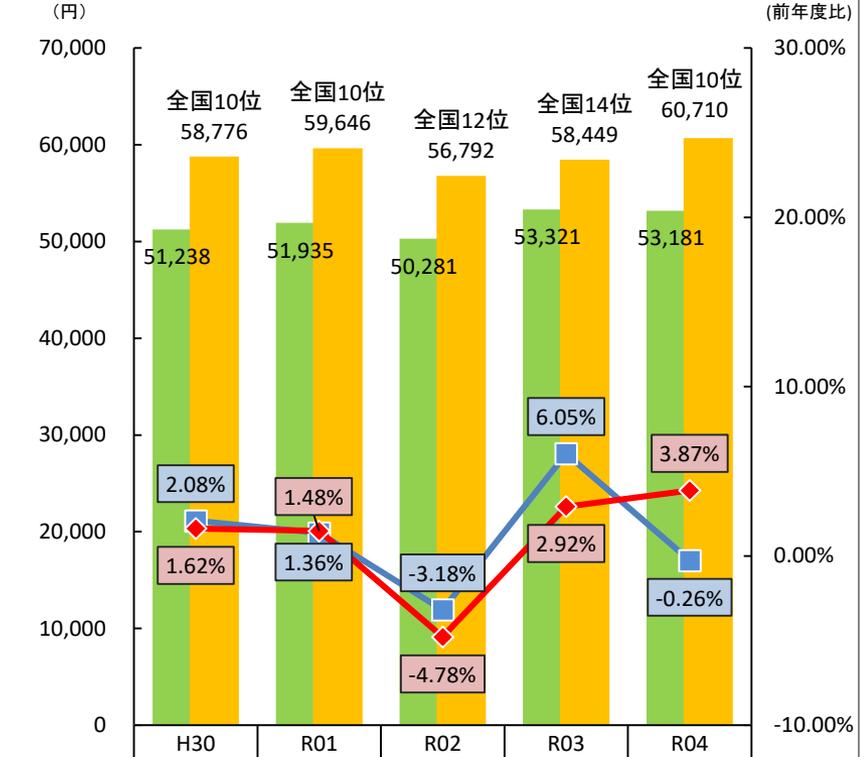
■ 全国	13,960	14,413	15,422	15,804	16,143
■ 山口	13,856	14,258	14,985	15,249	15,899
—■ 全国	1.53%	3.25%	7.00%	2.48%	2.15%
—◆ 山口	1.45%	2.90%	5.10%	1.76%	4.26%

# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化 (年齢調整前)

- 1人あたり医療費について、**年齢調整前 (60,710円)** は年齢調整後 (58,263円) と比較して **4%程度高くなっている。**
- 受診率は**全国と比較して高い**状況が続いている。

入院

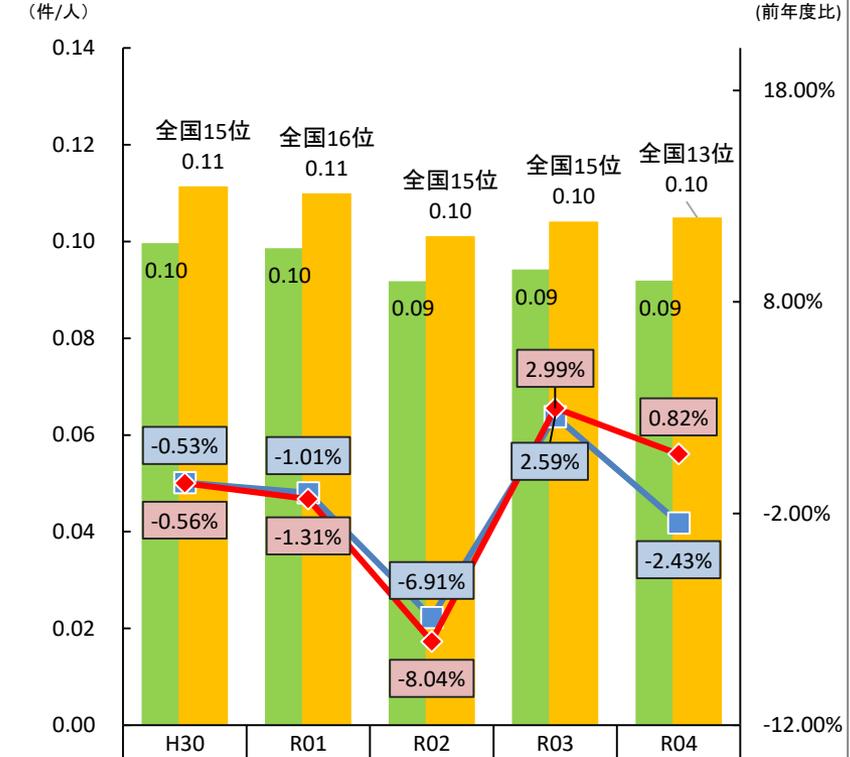
## 1人あたりの医療費



■ 全国	51,238	51,935	50,281	53,321	53,181
■ 山口	58,776	59,646	56,792	58,449	60,710
■ 全国	2.08%	1.36%	-3.18%	6.05%	-0.26%
◆ 山口	1.62%	1.48%	-4.78%	2.92%	3.87%

入院

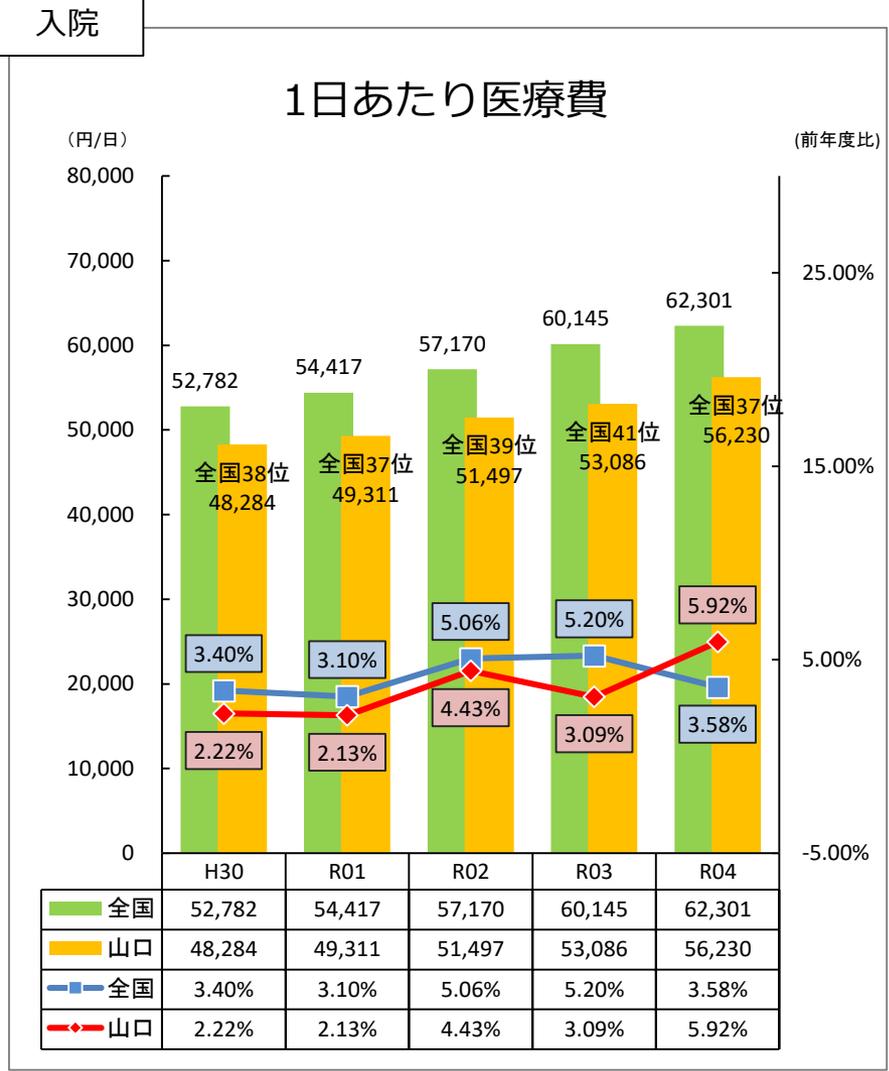
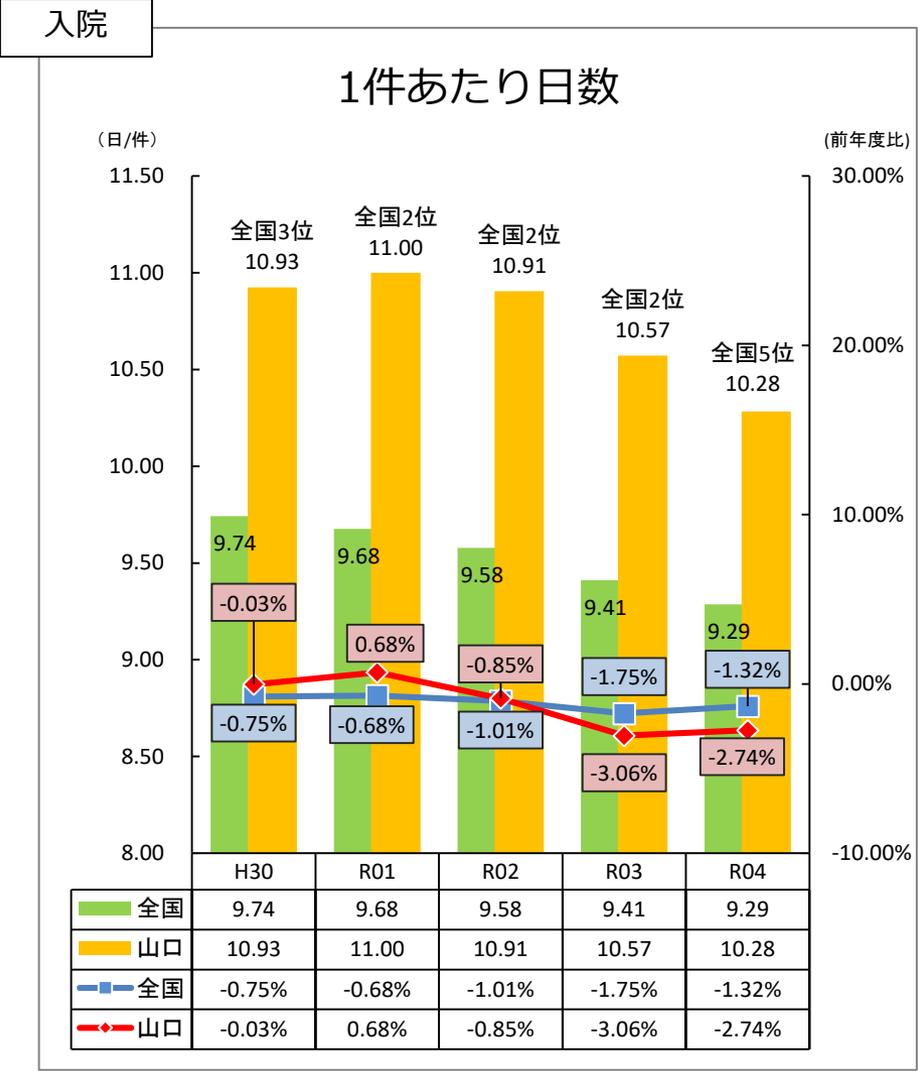
## 受診率



■ 全国	0.10	0.10	0.09	0.09	0.09
■ 山口	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10
■ 全国	-0.53%	-1.01%	-6.91%	2.59%	-2.43%
◆ 山口	-0.56%	-1.31%	-8.04%	2.99%	0.82%

# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化 (年齢調整前)

- 1件あたり日数は年々下がってきているものの、**全国平均と比較して高い**状況が続いている。
- 1日あたり医療費は年々上昇しているものの、**全国平均と比較して低い**状況が続いている。

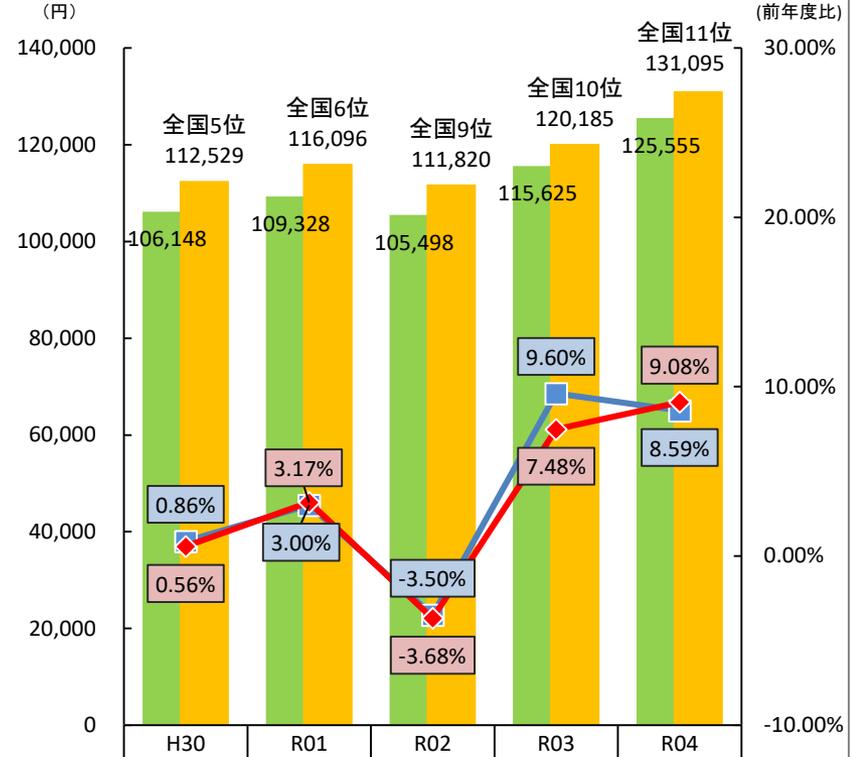


# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化（年齢調整前）

- 1人あたり医療費について、**年齢調整前（131,095円）**は年齢調整後（127,526円）と比較して**3%程度高くなっている。**
- 受診率は**全国と比較して高い**状況が続いている。

入院外

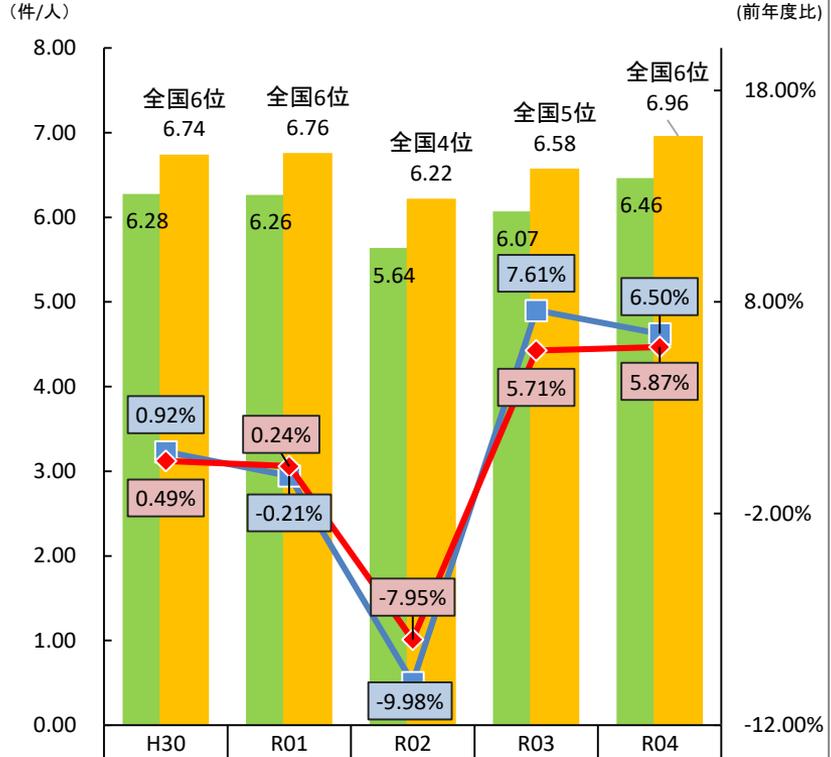
## 1人あたりの医療費



■ 全国	106,148	109,328	105,498	115,625	125,555
■ 山口	112,529	116,096	111,820	120,185	131,095
■ 全国	0.86%	3.00%	-3.50%	9.60%	8.59%
◆ 山口	0.56%	3.17%	-3.68%	7.48%	9.08%

入院外

## 受診率



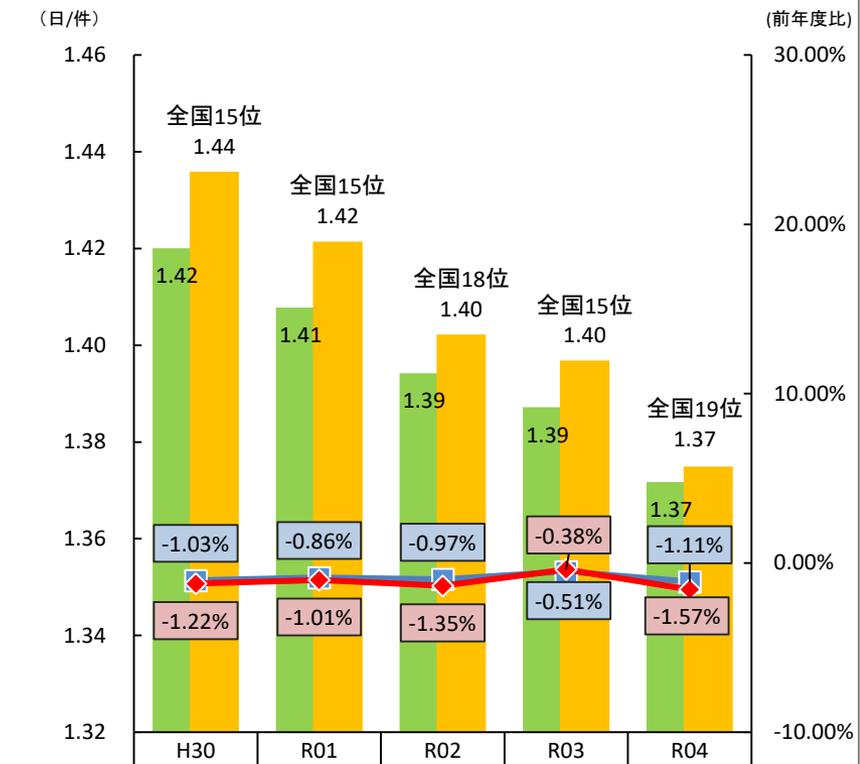
■ 全国	6.28	6.26	5.64	6.07	6.46
■ 山口	6.74	6.76	6.22	6.58	6.96
■ 全国	0.92%	-0.21%	-9.98%	7.61%	6.50%
◆ 山口	0.49%	0.24%	-7.95%	5.71%	5.87%

# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化（年齢調整前）

- 1件あたり日数は年々下がってきており、全国平均との差が縮まってきている。
- 1日あたり医療費は年々上昇しているものの、全国平均と比較して低い状況が続いている。

## 入院外

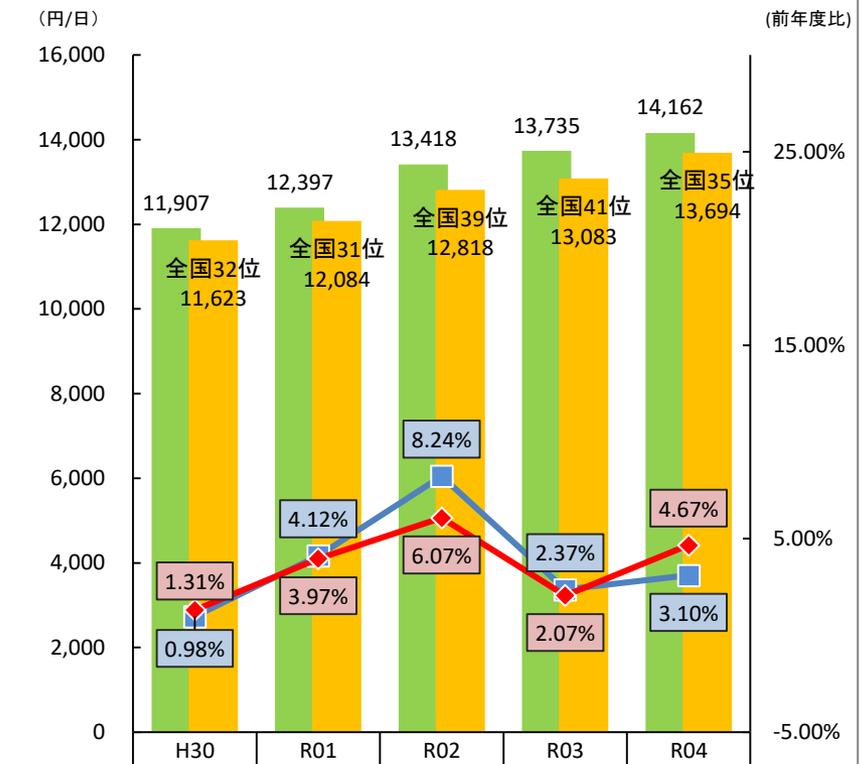
### 1件あたり日数



■ 全国	1.42	1.41	1.39	1.39	1.37
■ 山口	1.44	1.42	1.40	1.40	1.37
■ 全国	-1.03%	-0.86%	-0.97%	-0.51%	-1.11%
◆ 山口	-1.22%	-1.01%	-1.35%	-0.38%	-1.57%

## 入院外

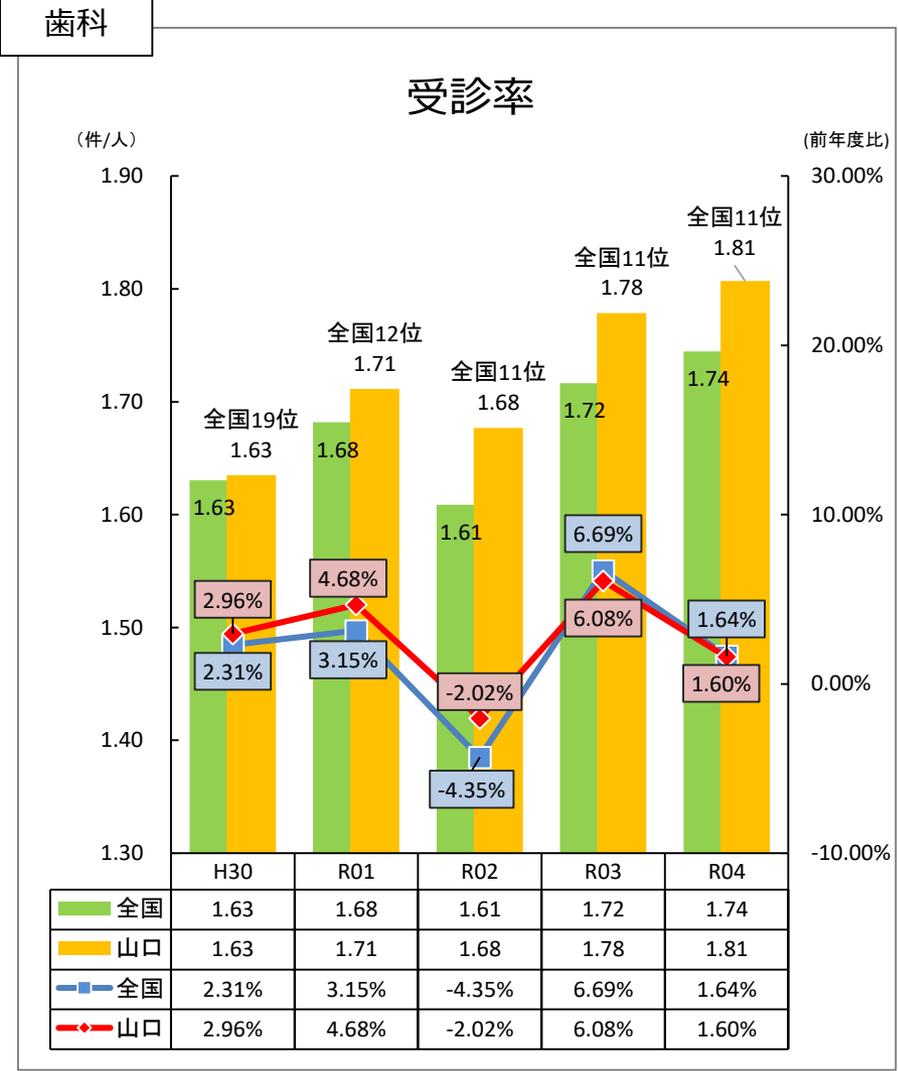
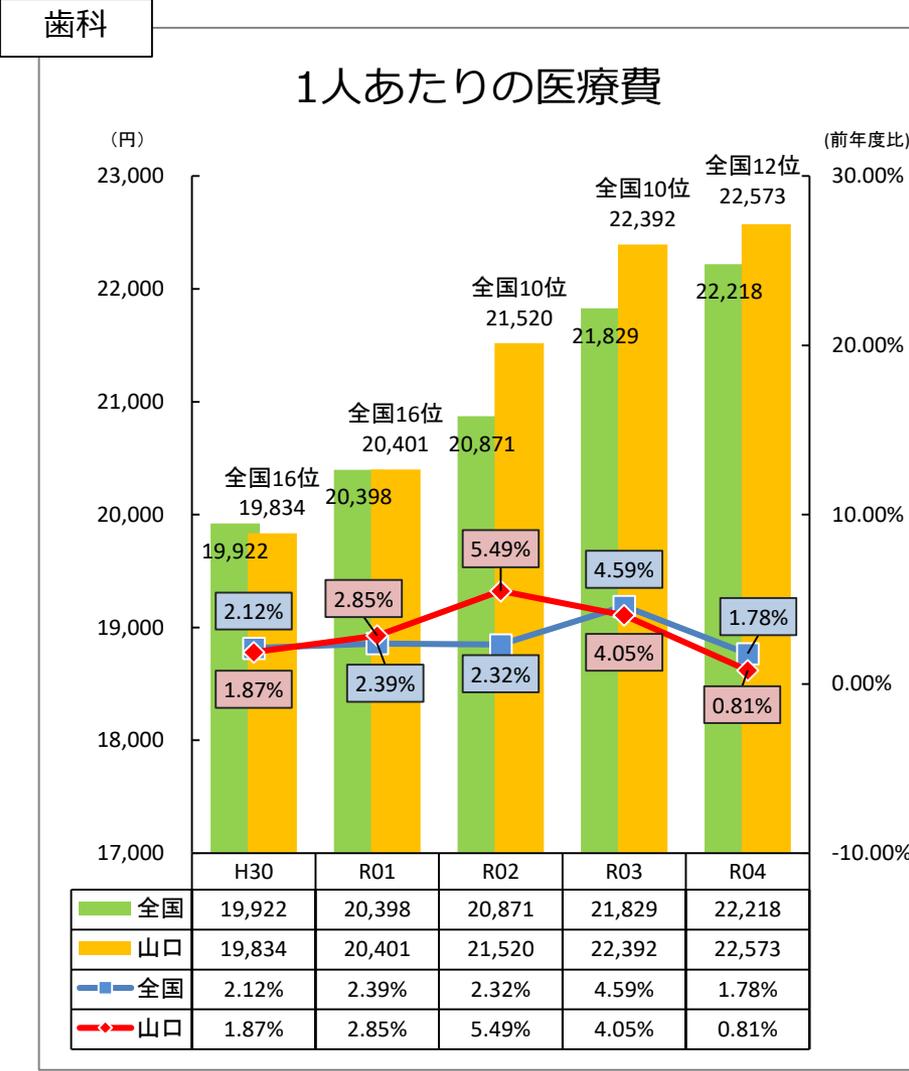
### 1日あたり医療費



■ 全国	11,907	12,397	13,418	13,735	14,162
■ 山口	11,623	12,084	12,818	13,083	13,694
■ 全国	0.98%	4.12%	8.24%	2.37%	3.10%
◆ 山口	1.31%	3.97%	6.07%	2.07%	4.67%

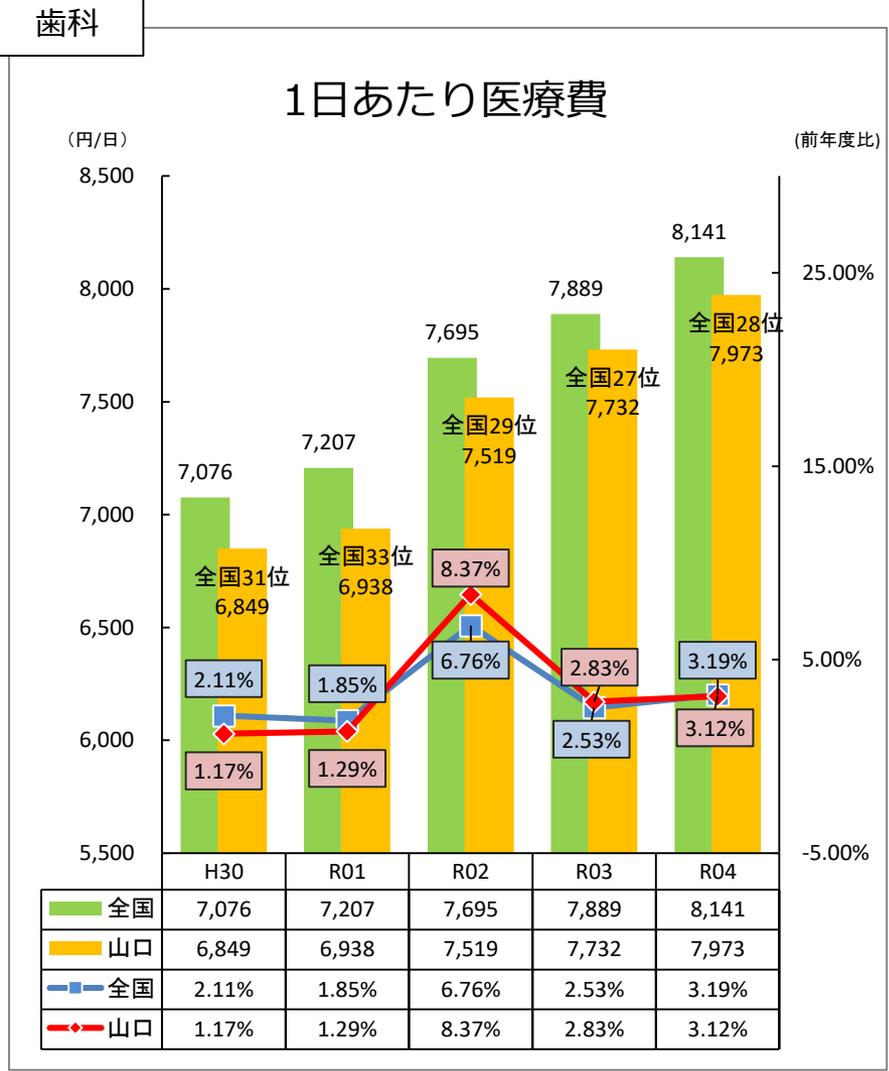
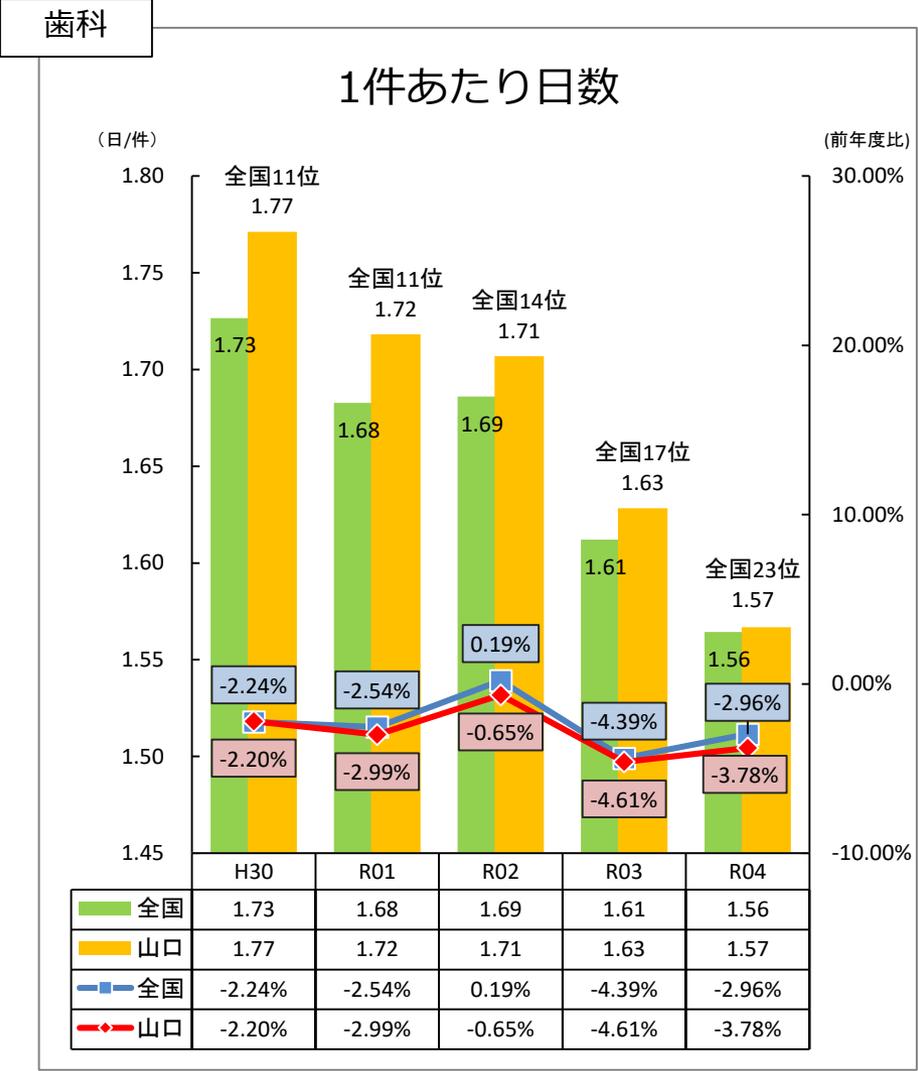
# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化 (年齢調整前)

- 1人あたり医療費について、**年齢調整前 (22,573円)** は年齢調整後 (22,242円) と比較して**1.5%程度高くなっている。**
- 受診率は**全国と比較して高い**状況が続いている。



# 山口支部加入者1人あたり医療費及び医療費の三要素における経年変化（年齢調整前）

- 1件あたり日数は年々下がってきており、全国平均との差が縮まってきている。
- 1日あたり医療費は年々上昇しているものの、全国平均と比較して低い状況が続いている。

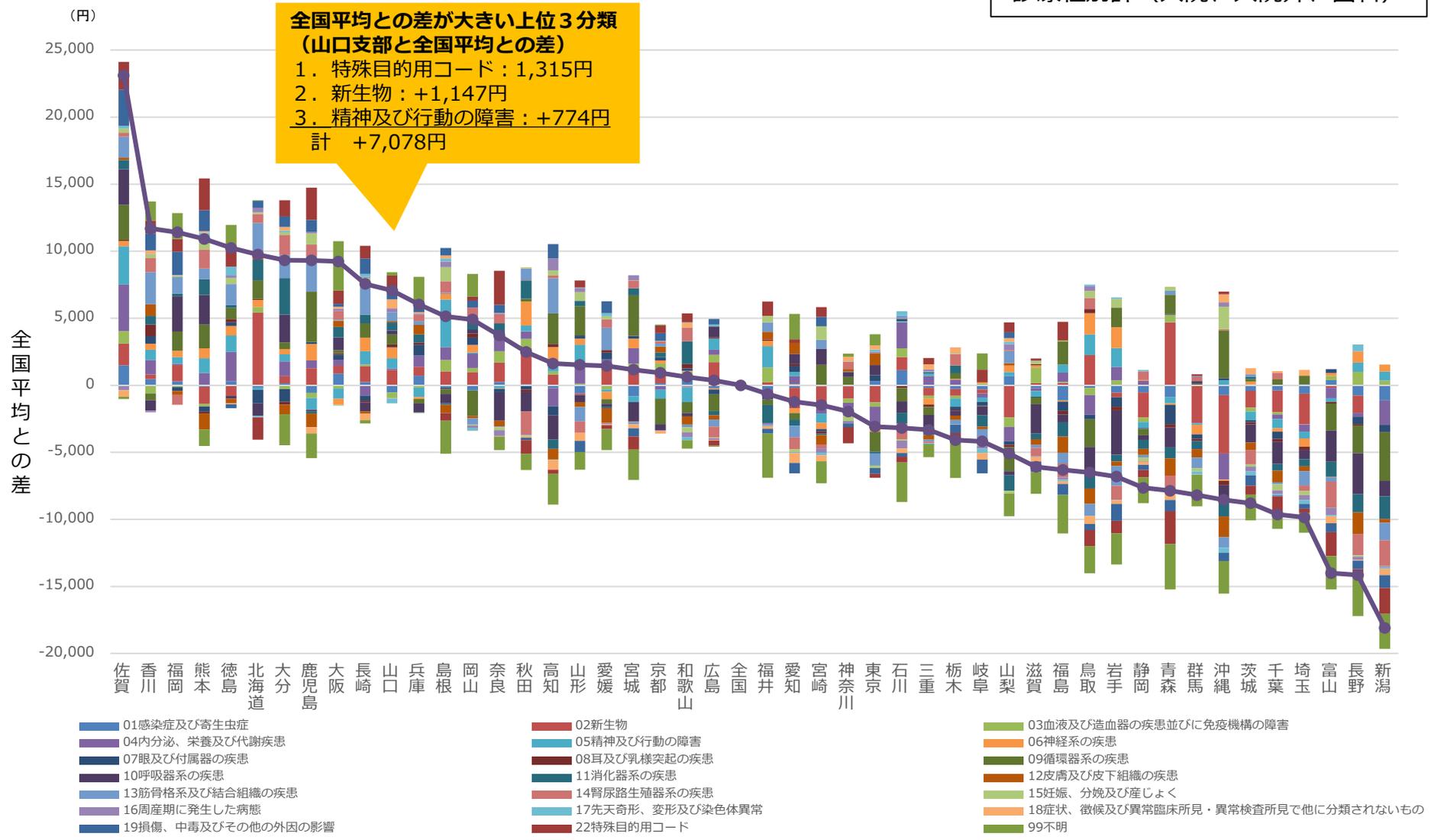


## IV. 一人当たり医療費の疾病大分類別の全国比較及び経年変化 (診療種別)

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (疾病大分類別) の全国比較 (令和4年度)

○ 山口支部と全国平均との差をみると、**特殊目的用コード (新型コロナなど)** が最も高く、次いで新生物が高い。

診療種別計 (入院、入院外、歯科)



# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（令和4年度）

○ 疾病分類別にみると、**新生物が最も高く**、生活習慣病である「02新生物」「09循環器系の疾患」「04内分泌、栄養及び代謝疾患」で全体の30%を占めており、全国と比較しても山口支部は高い。

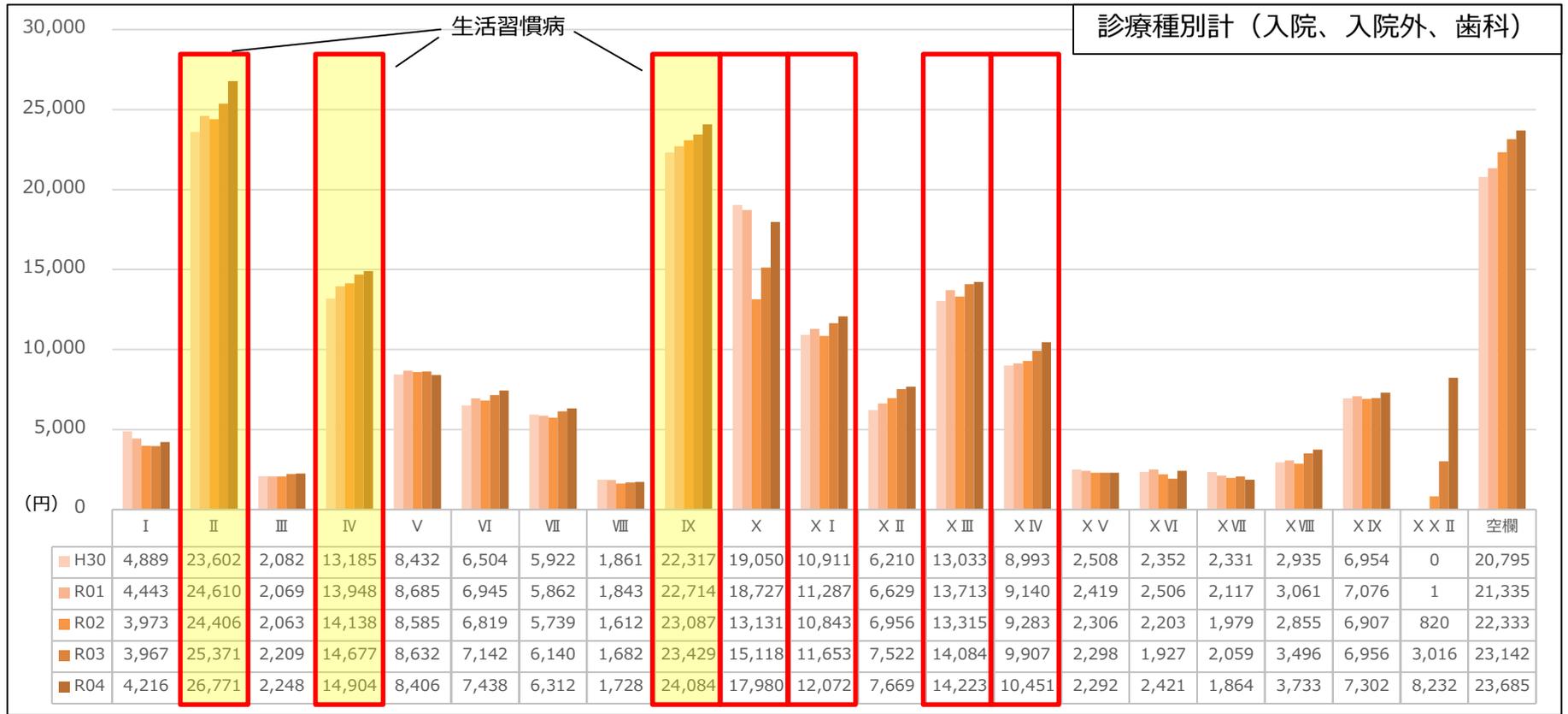
## ○山口支部加入者一人当たり医療費(多い順)

診療種別計（入院、入院外、歯科）

疾病大分類名	一人当たり医療費 (山口支部) (A)			一人当たり医療費 (全国) (B)	山口と全国の差 (A)-(B)
	順位	山口支部 構成割合			
02新生物（＞がん、白血病など）	26,771	13	12.9%	25,624	1,147
09循環器系の疾患（＞心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など）	24,084	16	11.6%	23,332	751
99不明（＞歯科など）	23,685	10	11.4%	23,439	245
10呼吸器系の疾患（＞かぜ、肺炎、喘息など）	17,980	12	8.6%	17,696	283
04内分泌、栄養及び代謝疾患（＞甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など）	14,904	24	7.2%	14,798	106
13筋骨格系及び結合組織の疾患（＞腰痛、脊椎障害、関節症など）	14,223	16	6.8%	13,579	644
11消化器系の疾患（＞肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など）	12,072	11	5.8%	11,470	603
14腎尿路生殖器系の疾患（＞腎不全、尿路結石、前立腺肥大など）	10,451	28	5.0%	10,472	-22
05精神及び行動の障害（＞精神疾患全般）	8,406	11	4.0%	7,633	774
22特殊目的用（＞新型コロナなど）	8,232	7	4.0%	6,917	1,315
12皮膚及び皮下組織の疾患（＞皮膚炎、湿疹など）	7,669	12	3.7%	7,565	105
06神経系の疾患（＞アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど）	7,438	8	3.6%	6,647	791
19損傷、中毒及びその他の外因の影響（＞骨折、損傷など）	7,302	16	3.5%	6,848	454
07眼及び付属器の疾患（＞白内障、結膜炎など）	6,312	20	3.0%	6,271	41
01感染症及び寄生虫症（＞ウイルス疾患、結核など）	4,216	36	2.0%	4,739	-523
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,733	1	1.8%	3,064	669
16周産期に発生した病態（＞妊娠、胎児発育障害など）	2,421	8	1.2%	2,108	314
15妊娠、分娩及び産じょく（＞帝王切開、流産など）	2,292	27	1.1%	2,300	-8
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（＞貧血、免疫障害など）	2,248	44	1.1%	2,671	-423
17先天奇形、変形及び染色体異常（＞心臓先天奇形、染色体異常など）	1,864	47	0.9%	2,238	-374
08耳及び乳様突起の疾患（＞メニエール病、中耳炎、内外耳疾患）	1,728	8	0.8%	1,542	185
計	208,032	11	100.0%	200,954	7,078

# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費の経年変化

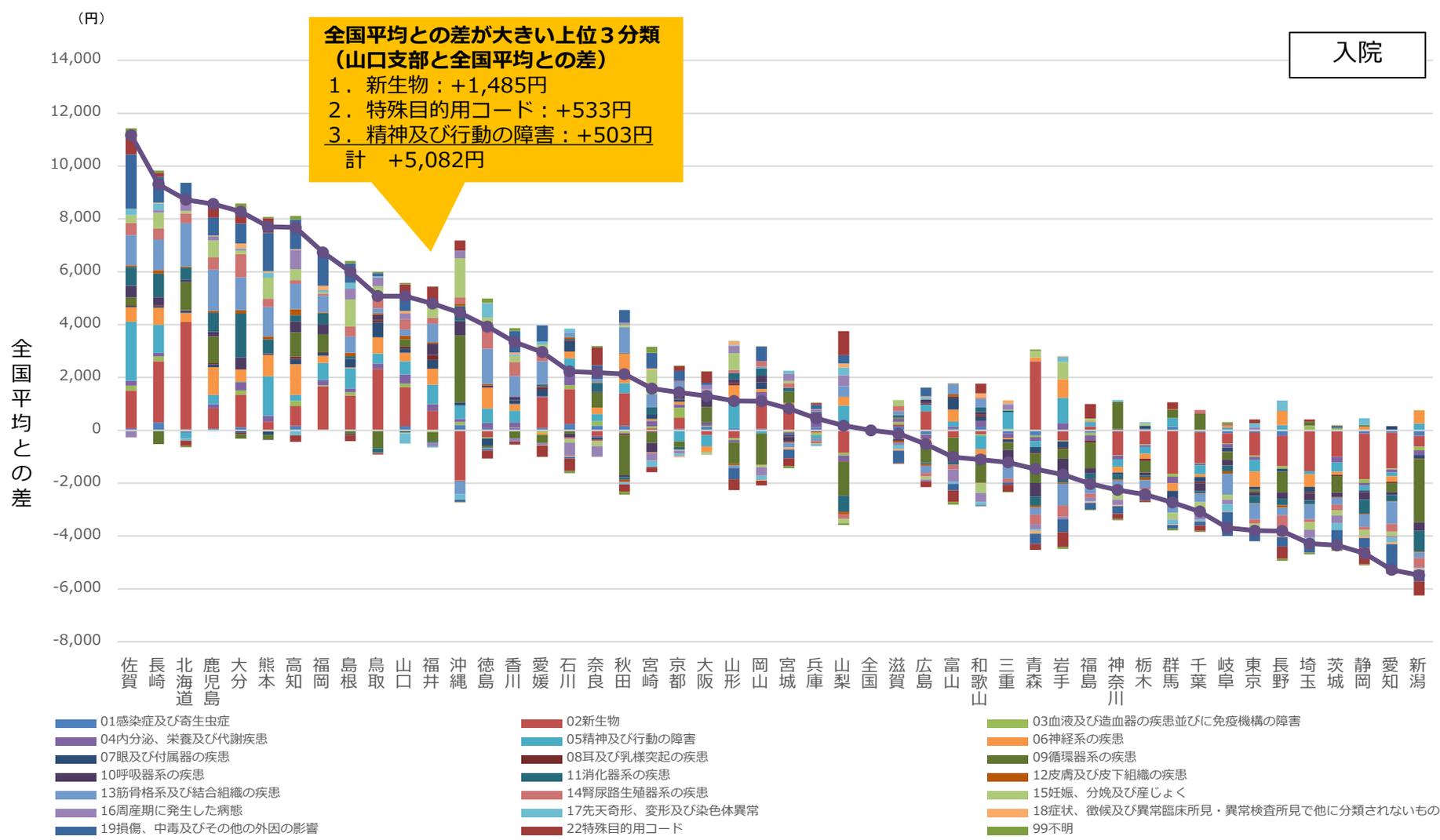
- 生活習慣病である「**II 新生物**」「**IX 循環器系の疾患**」「**IV 内分泌、栄養及び代謝疾患**」は一人当たり医療費が高く、それぞれ年々上昇している。
- 「**X 呼吸器系の疾患**」は令和2年度に落ち込んだが、その後15%~19%程度伸び続けている。
- このうち、以下のグラフにて赤枠で囲っている上位7疾病について疾病中分類の詳細をP34以降に掲載する。



- I : 感染症及び寄生虫症
- II : 新生物
- III : 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV : 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V : 精神及び行動の障害
- VI : 神経系の疾患
- VII : 眼及び付属器の疾患
- VIII : 耳及び乳様突起の疾患
- IX : 循環器系の疾患
- X : 呼吸器系の疾患
- XI : 消化器系の疾患
- XII : 皮膚及び皮下組織の疾患
- XIII : 筋骨格系及び結合組織の疾患
- XIV : 腎尿路生殖器系の疾患
- XV : 妊娠、分娩及び産じょく
- XVI : 周産期に発生した病態
- XVII : 先天奇形、変形及び染色体異常
- XVIII : 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- XIX : 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- XXII : 特殊目的用コード
- 空欄 : 空欄による不明な分類 (歯科など)

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院・疾病分類別）の全国比較（令和4年度）

○ 1人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**新生物が最も高く、次いで特殊目的用コード（新型コロナなど）が高い。**



# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費 (入院) (令和4年度)

○ 疾病分類別にみると、入院の一人あたり医療費は「**新生物**」が最も高く、生活習慣病である「**Ⅱ新生物**」「**循環器系の疾患**」で全体の約40%を占めており、全国と比較しても**山口支部は高い**。

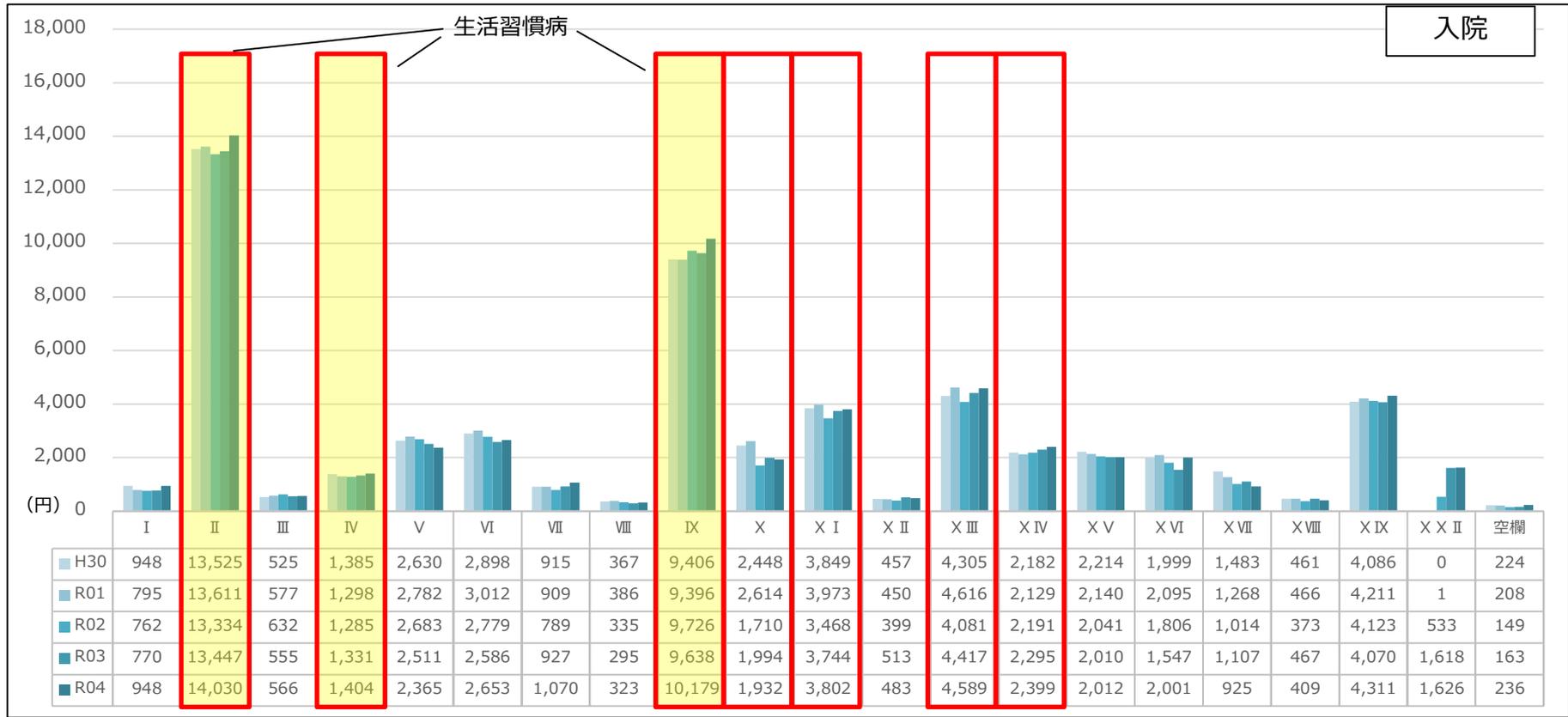
入院

## ○山口支部加入者一人あたり医療費(多い順)

疾病大分類名	一人あたり医療費 (山口支部) (A)		一人あたり医療費 (全国) (B)	山口と全国の差 (A)-(B)	
	順位	山口支部 構成割合			
02新生物 (＞がん、白血病など)	14,030	6	24.1%	12,545	1,485
09循環器系の疾患 (＞心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など)	10,179	13	17.5%	9,894	285
13筋骨格系及び結合組織の疾患 (＞腰痛、脊椎障害、関節症など)	4,589	20	7.9%	4,360	229
19損傷、中毒及びその他の外因の影響 (＞骨折、損傷など)	4,311	16	7.4%	3,837	474
11消化器系の疾患 (＞肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など)	3,802	26	6.5%	3,829	-27
06神経系の疾患 (＞アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど)	2,653	18	4.6%	2,337	316
14腎尿路生殖生殖器系の疾患 (＞腎不全、尿路結石、前立腺肥大など)	2,399	8	4.1%	2,009	389
05精神及び行動の障害 (＞精神疾患全般)	2,365	13	4.1%	1,861	503
15妊娠、分娩及び産じょく (＞帝王切開、流産など)	2,012	31	3.5%	2,047	-35
16周産期に発生した病態 (＞妊娠、胎児発育障害など)	2,001	9	3.4%	1,777	225
10呼吸器系の疾患 (＞かぜ、肺炎、喘息など)	1,932	26	3.3%	1,982	-50
22特殊目的用 (＞新型コロナなど)	1,626	7	2.8%	1,093	533
04内分泌、栄養及び代謝疾患 (＞甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など)	1,404	2	2.4%	1,059	345
07眼及び付属器の疾患 (＞白内障、結膜炎など)	1,070	10	1.8%	914	157
01感染症及び寄生虫症 (＞ウイルス疾患、結核など)	948	9	1.6%	793	155
17先天奇形、変形及び染色体異常 (＞心臓先天奇形、染色体異常など)	925	47	1.6%	1,317	-392
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (＞貧血、免疫障害など)	566	9	1.0%	435	131
12皮膚及び皮下組織の疾患 (＞皮膚炎、湿疹など)	483	2	0.8%	345	138
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	409	7	0.7%	318	91
08耳及び乳様突起の疾患 (＞メニエール病、中耳炎、内外耳疾患)	323	7	0.6%	257	66
99不明 (＞歯科など)	236	11	0.4%	174	63
総計	58,263	11	100.0%	53,181	5,082

# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（入院）の経年変化

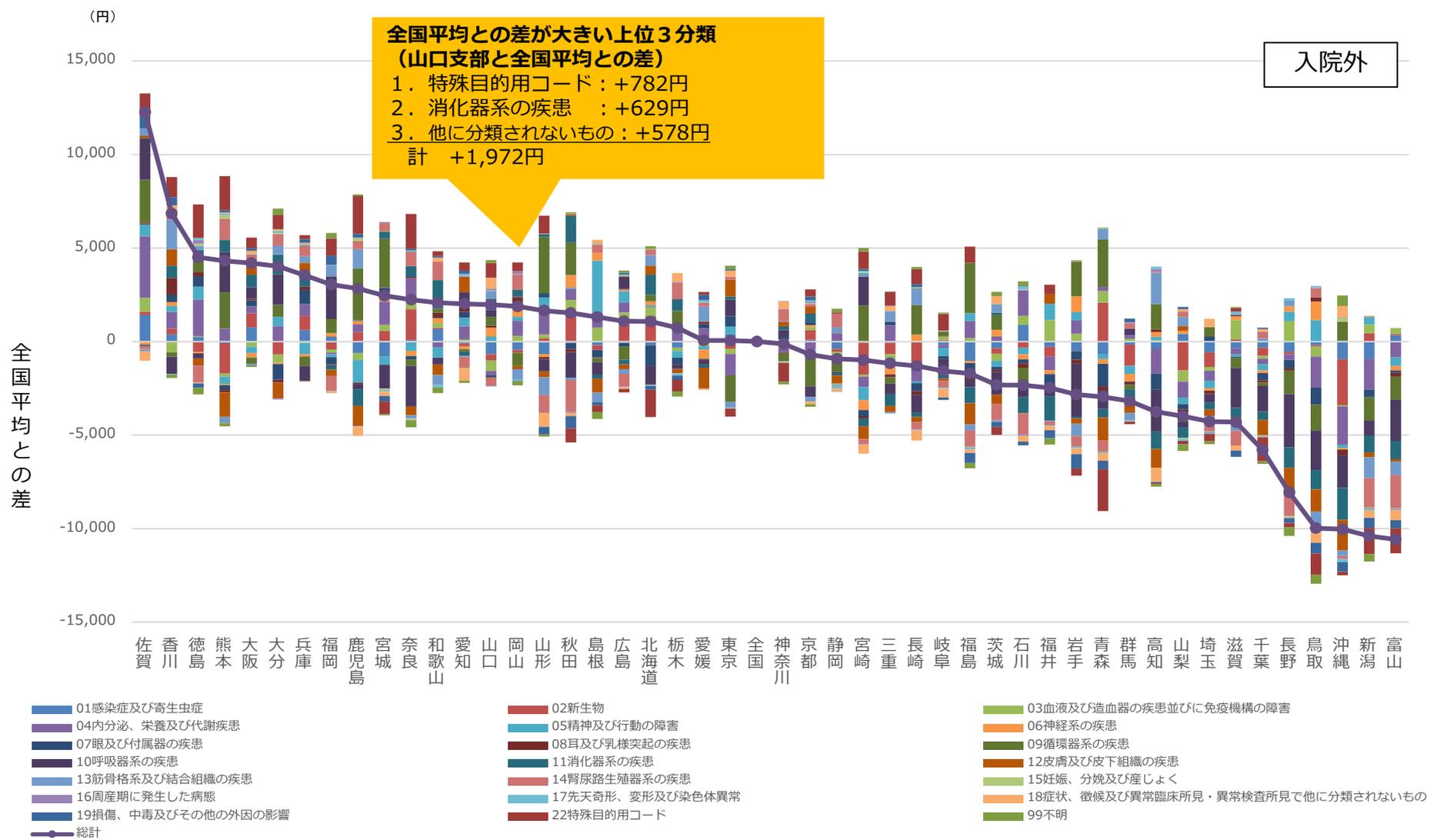
- 疾病分類別にみると、入院の一人あたり医療費は生活習慣病である「**Ⅱ新生物**」「**Ⅸ循環器系の疾患**」が高く、それぞれ年々上昇している傾向にある。
- このうち、以下のグラフにて赤枠で囲っている上位7疾病について疾病中分類の詳細をP34以降に掲載する。



- I : 感染症及び寄生虫症
- II : 新生物
- III : 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV : 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V : 精神及び行動の障害
- VI : 神経系の疾患
- VII : 眼及び付属器の疾患
- VIII : 耳及び乳様突起の疾患
- IX : 循環器系の疾患
- X : 呼吸器系の疾患
- X I : 消化器系の疾患
- X II : 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III : 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV : 腎尿路生殖器系の疾患
- X V : 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI : 周産期に発生した病態
- X VII : 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII : 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX : 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X X II : 特殊目的用コード
- 空欄 : 空欄による不明な分類（歯科など）

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（入院外・疾病分類別）の全国比較（令和4年度）

○ 入院の1人あたり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**特殊目的用コード（新型コロナなど）が最も高く、次いで消化器系の疾患が高い。**



# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費 (入院外) (令和4年度)

○ 疾病分類別にみると、入院外の一人あたり医療費は「**呼吸器系の疾患**」が最も高く、生活習慣病である「**新生物**」「**循環器系の疾患**」「**内分泌、栄養及び代謝疾患**」で全体の約30%を占めている。

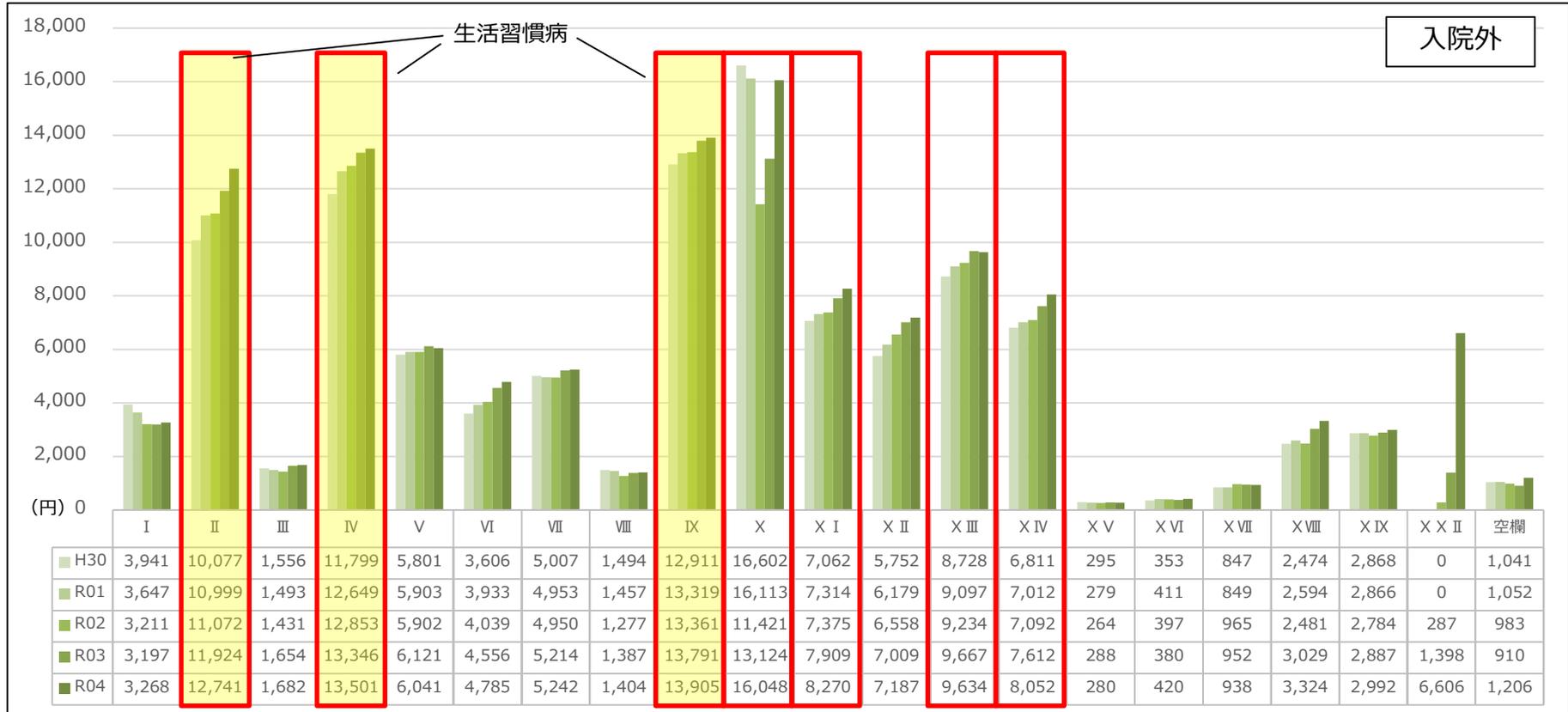
## ○山口支部加入者一人あたり医療費(多い順)

入院外

疾病大分類名	一人あたり医療費 (山口支部) (A)		一人あたり医療費 (全国) (B)	山口と全国の差 (A)-(B)
	順位	山口支部 構成割合		
10呼吸器系の疾患 (＞かぜ、肺炎、喘息など)	16,048	12	12.6%	333
09循環器系の疾患 (＞心疾患、脳梗塞、動脈硬化、高血圧など)	13,905	20	10.9%	467
04内分泌、栄養及び代謝疾患 (＞甲状腺障害、糖尿病、脂質異常症など)	13,501	31	10.6%	-238
02新生物 (＞がん、白血病など)	12,741	33	10.0%	-338
13筋骨格系及び結合組織の疾患 (＞腰痛、脊椎障害、関節症など)	9,634	13	7.6%	415
11消化器系の疾患 (＞肝硬変、胃潰瘍、慢性肝炎、胃炎など)	8,270	9	6.5%	629
14腎尿路生殖器系の疾患 (＞腎不全、尿路結石、前立腺肥大など)	8,052	32	6.3%	-411
12皮膚及び皮下組織の疾患 (＞皮膚炎、湿疹など)	7,187	15	5.6%	-33
22特殊目的用 (＞新型コロナなど)	6,606	13	5.2%	782
05精神及び行動の障害 (＞精神疾患全般)	6,041	16	4.7%	270
07眼及び付属器の疾患 (＞白内障、結膜炎など)	5,242	22	4.1%	-115
06神経系の疾患 (＞アルツハイマー病、パーキンソン病、てんかんなど)	4,785	4	3.8%	475
18症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,324	2	2.6%	578
01感染症及び寄生虫症 (＞ウイルス疾患、結核など)	3,268	42	2.6%	-678
19損傷、中毒及びその他の外因の影響 (＞骨折、損傷など)	2,992	24	2.3%	-20
03血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 (＞貧血、免疫障害など)	1,682	45	1.3%	-554
08耳及び乳様突起の疾患 (＞メニエール病、中耳炎、内外耳疾患)	1,404	10	1.1%	119
99不明 (＞歯科など)	1,206	9	0.9%	158
17先天奇形、変形及び染色体異常 (＞心臓先天奇形、染色体異常など)	938	18	0.7%	17
16周産期に発生した病態 (＞妊娠、胎児発育障害など)	420	5	0.3%	89
15妊娠、分娩及び産じょく (＞帝王切開、流産など)	280	14	0.2%	26
総計	127,526	14	100.0%	1,972

# 年齢調整後 疾病分類別 山口支部加入者1人あたり医療費（入院外）の経年変化

- 疾病分類別にみると、入院外の一人当たり医療費は「**X呼吸器系の疾患**」が最も高い。次いで、生活習慣病である「**IX循環器系の疾患**」「**IV内分泌、栄養及び代謝疾患**」は一人当たり医療費が高く、それぞれ年々上昇している傾向にある。
- このうち、以下のグラフにて赤枠で囲っている上位7疾病について疾病中分類の詳細をP34以降に掲載する。



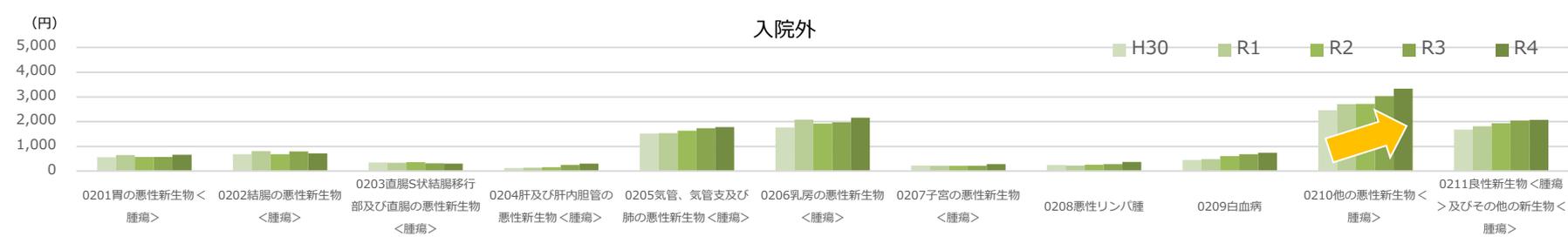
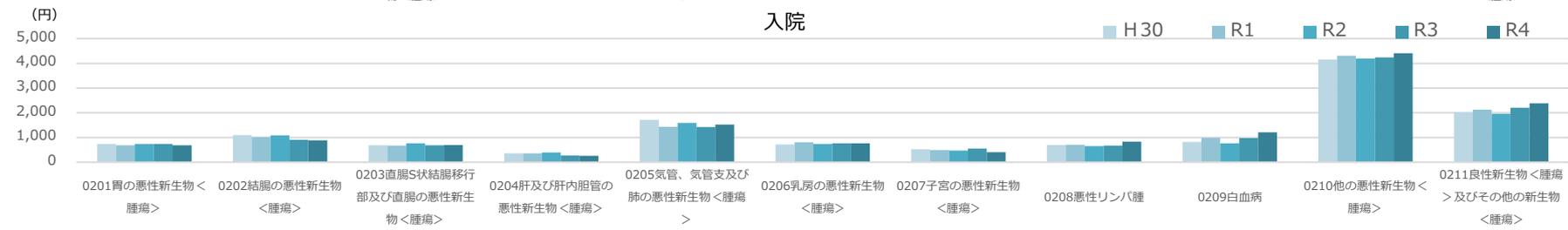
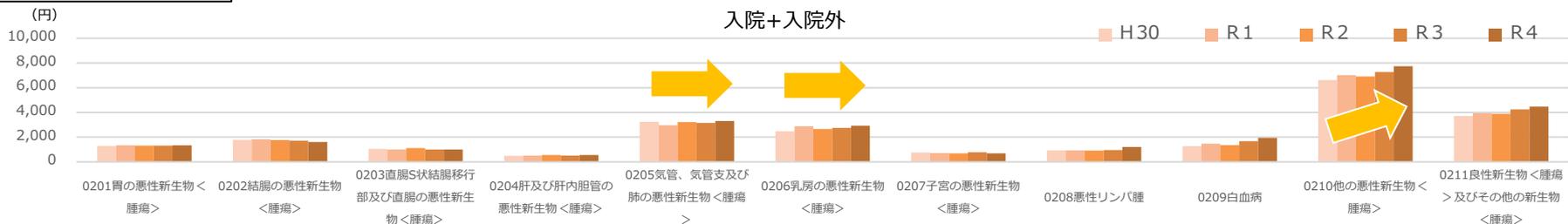
- I : 感染症及び寄生虫
- II : 新生物
- III : 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- IV : 内分泌、栄養及び代謝疾患
- V : 精神及び行動の障害
- VI : 神経系の疾患
- VII : 眼及び付属器の疾患
- VIII : 耳及び乳様突起の疾患
- IX : 循環器系の疾患
- X : 呼吸器系の疾患
- X I : 消化器系の疾患
- X II : 皮膚及び皮下組織の疾患
- X III : 筋骨格系及び結合組織の疾患
- X IV : 腎尿路生殖生殖器系の疾患
- X V : 妊娠、分娩及び産じょく
- X VI : 周産期に発生した病態
- X VII : 先天奇形、変形及び染色体異常
- X VIII : 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- X IX : 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- X X II : 特殊目的用コード
- 空欄 : 空欄による不明な分類（歯科など）

## V. 一人当たり医療費の疾病中分類別の全国比較及び経年変化 (診療種別)

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (02新生物の中分類) の経年変化

○ 気管、気管支及び肺の悪性新生物や乳房の悪性新生物はここ数年、横ばいの傾向にあるが、**他の悪性新生物が伸びてきている。**

大分類：02新生物



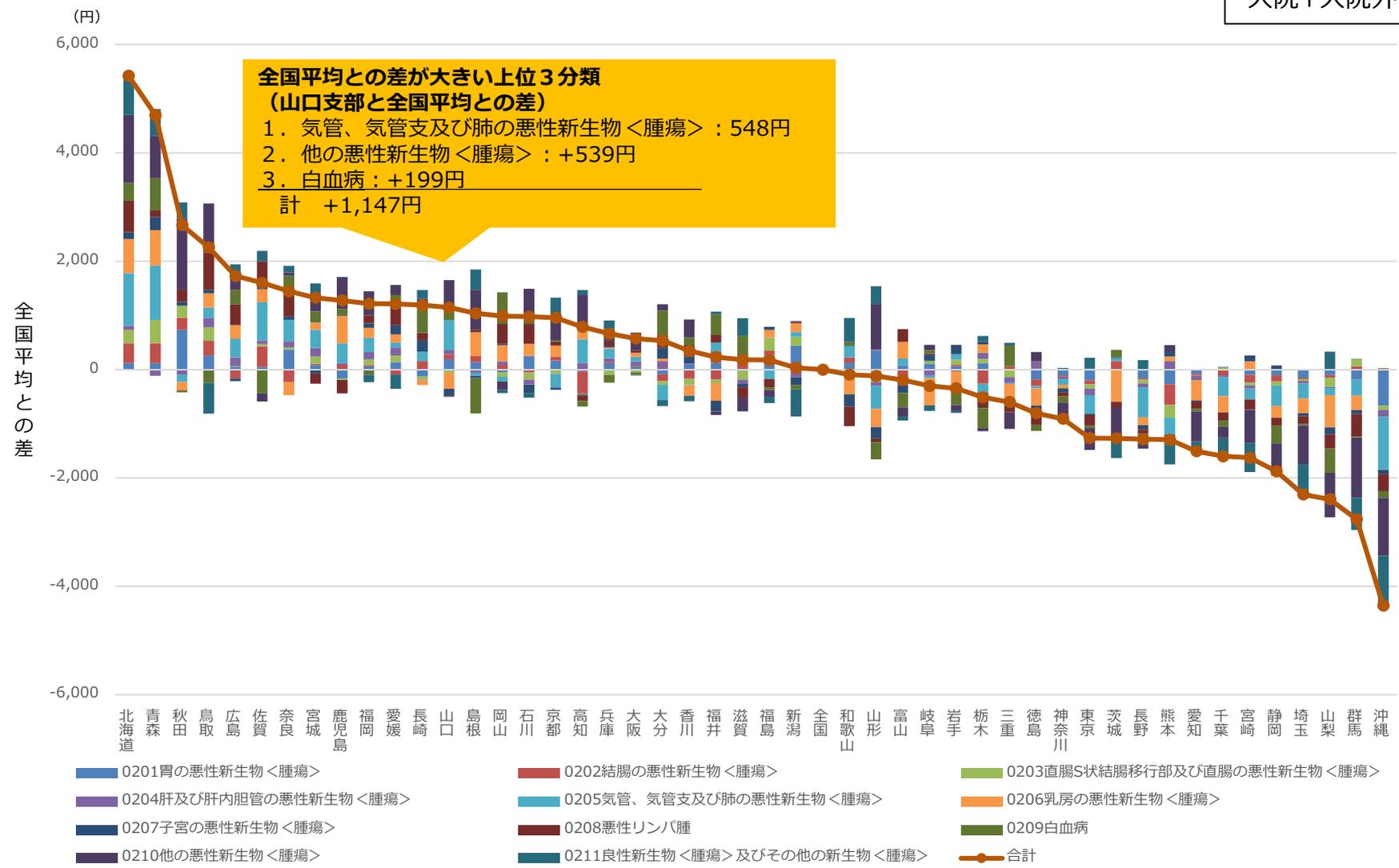
疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
0201胃の悪性新生物<腫瘍>	1,297	1,337	1,307	1,319	1,348	736	687	737	741	683	561	650	570	578	665
0202結腸の悪性新生物<腫瘍>	1,777	1,832	1,771	1,712	1,607	1,092	1,020	1,084	911	884	685	812	687	801	723
0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	1,037	1,011	1,117	1,001	991	685	668	760	686	690	351	343	357	315	301
0204肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	483	499	555	520	559	362	364	397	272	259	120	134	158	248	300
0205気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	3,232	2,969	3,226	3,153	3,297	1,710	1,432	1,586	1,419	1,519	1,521	1,537	1,640	1,734	1,778
0206乳房の悪性新生物<腫瘍>	2,483	2,891	2,658	2,741	2,927	716	811	736	765	759	1,767	2,079	1,923	1,976	2,168
0207子宮の悪性新生物<腫瘍>	755	710	685	769	687	523	497	472	551	403	232	213	213	218	284
0208悪性リンパ腫	945	926	914	964	1,201	697	703	651	678	832	247	224	264	286	369
0209白血病	1,272	1,475	1,365	1,667	1,948	822	987	760	977	1,208	450	489	605	690	740
0210他の悪性新生物<腫瘍>	6,613	7,017	6,914	7,271	7,745	4,151	4,310	4,197	4,240	4,406	2,462	2,707	2,717	3,031	3,339
0211良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	3,709	3,943	3,893	4,254	4,462	2,029	2,132	1,956	2,207	2,387	1,680	1,811	1,937	2,046	2,075

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (02新生物の中分類) の全国比較 (令和4年度)

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>**が最も高く、次いで**他の悪性新生物<腫瘍>**が高い。

大分類：02新生物

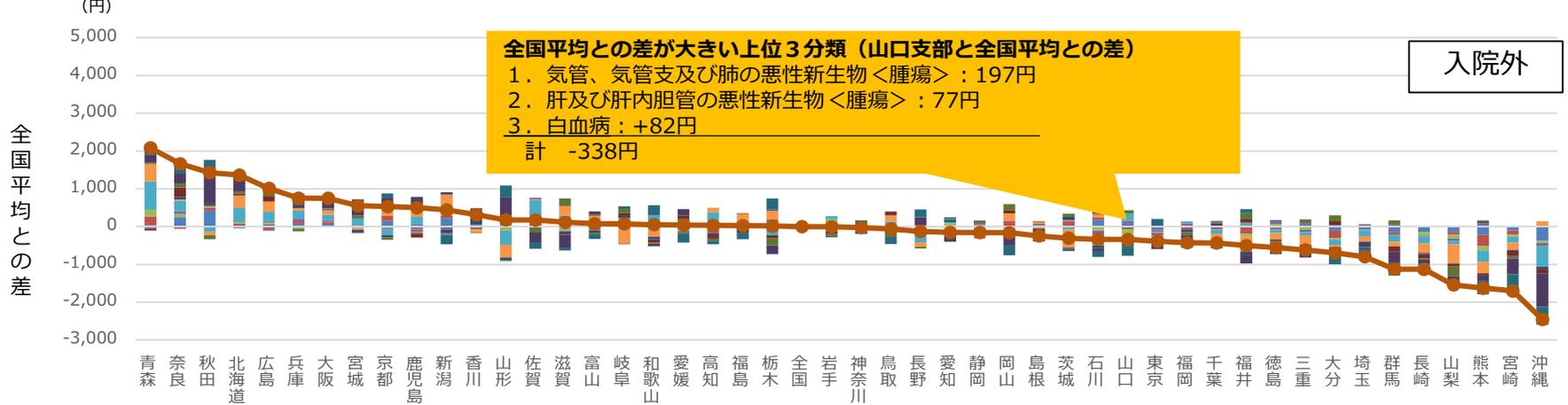
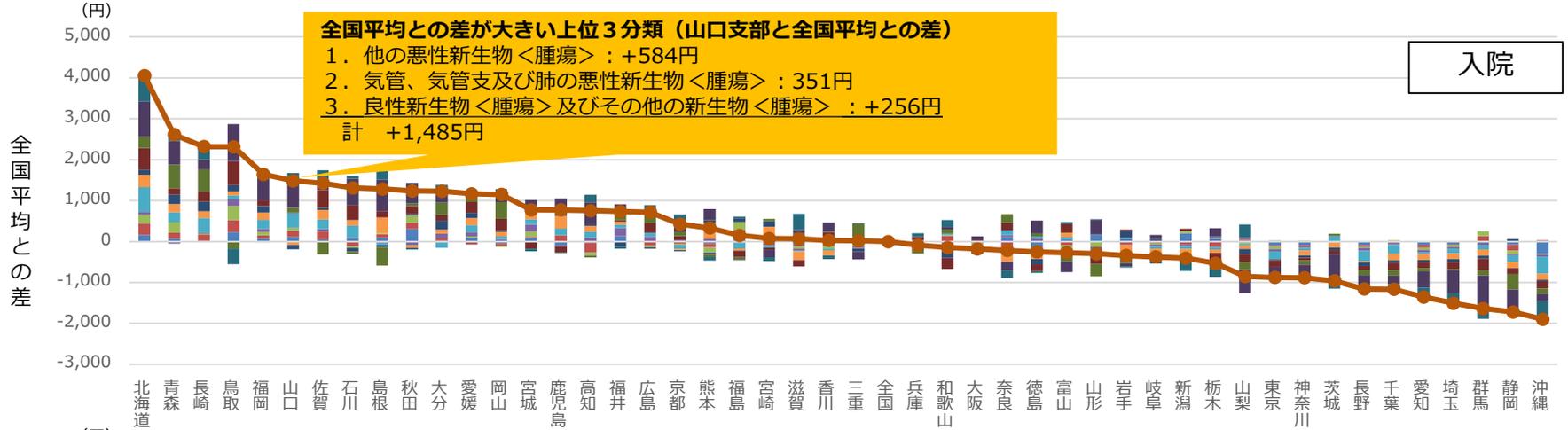
入院+入院外



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (02新生物の中分類) の全国比較 (令和4年度)

○ 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の悪性新生物が最も高く、次いで気管、気管支及び肺の悪性新生物が高い。**  
 ○ 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**気管、気管支及び肺の悪性新生物が高く、次いで肝及び肝内胆管の悪性新生物が高い。**

## 大分類：02新生物

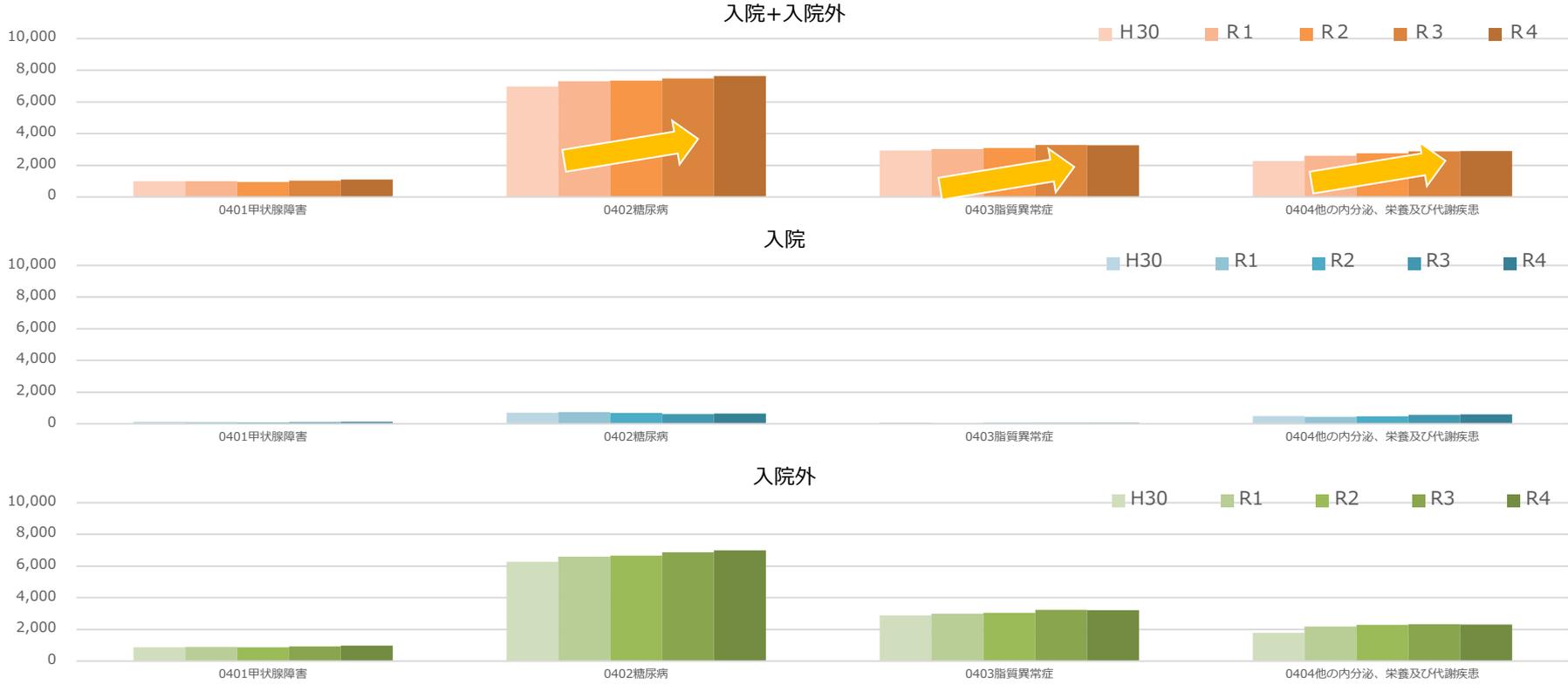


- 0201胃の悪性新生物<腫瘍>
- 0202結腸の悪性新生物<腫瘍>
- 0203直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>
- 0204肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>
- 0205気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>
- 0206乳房の悪性新生物<腫瘍>
- 0207子宮の悪性新生物<腫瘍>
- 0208悪性リンパ腫
- 0209白血病
- 0210他の悪性新生物<腫瘍>
- 0211良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>
- 合計

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (04内分泌、栄養及び代謝疾患の中分類) の経年変化

○ いずれの分類もやや右肩上がりに伸びている。

大分類：04内分泌、栄養及び代謝疾患



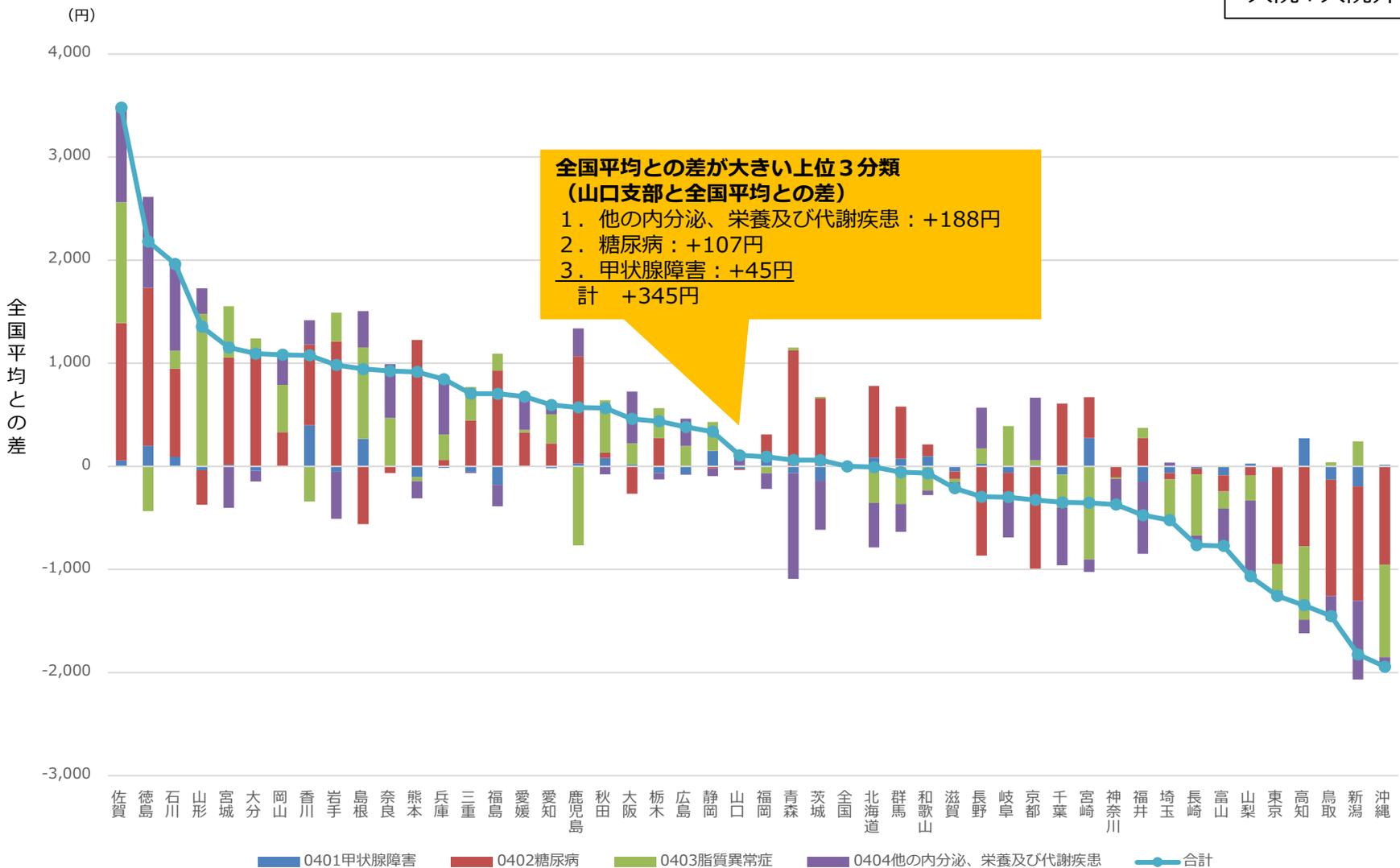
疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
0401甲状腺障害	997	988	951	1,028	1,104	117	96	87	102	127	881	892	864	926	977
0402糖尿病	6,974	7,315	7,335	7,482	7,643	705	732	676	613	647	6,269	6,583	6,660	6,870	6,996
0403脂質異常症	2,945	3,031	3,096	3,284	3,261	70	38	59	55	43	2,875	2,992	3,038	3,230	3,217
0404他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2,269	2,613	2,755	2,882	2,896	494	432	463	562	586	1,775	2,181	2,292	2,320	2,310

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (04内分泌、栄養及び代謝疾患の中分類) の全国比較 (令和4年度)

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の内分泌、栄養及び代謝疾患が最も高く、次いで糖尿病が高い。**

大分類：04内分泌、栄養及び代謝疾患

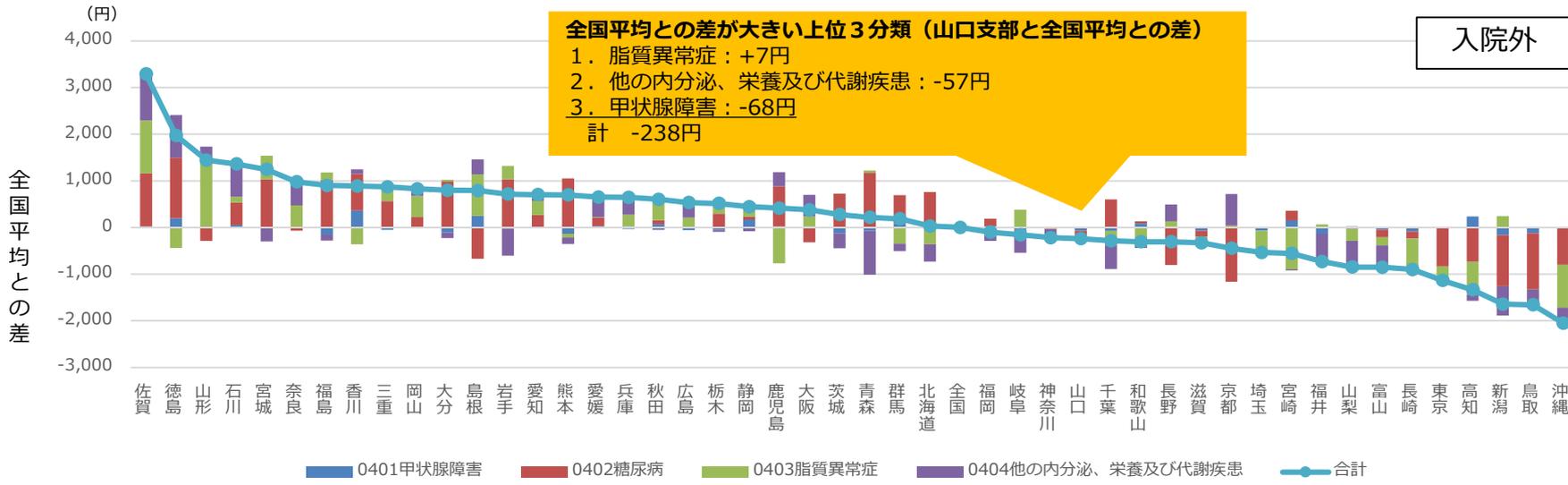
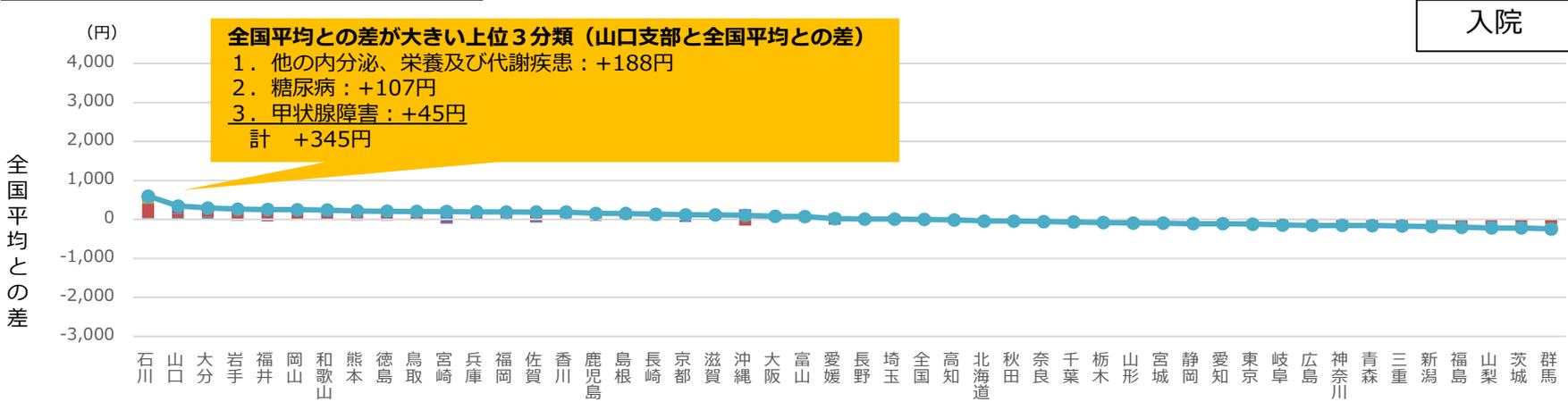
入院+入院外



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (04内分泌、栄養及び代謝疾患の中分類) の全国比較 (令和4年度)

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の内分泌、栄養及び代謝疾患が最も高く、次いで糖尿病が高い。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**脂質異常症が最も高いが平均並み。**

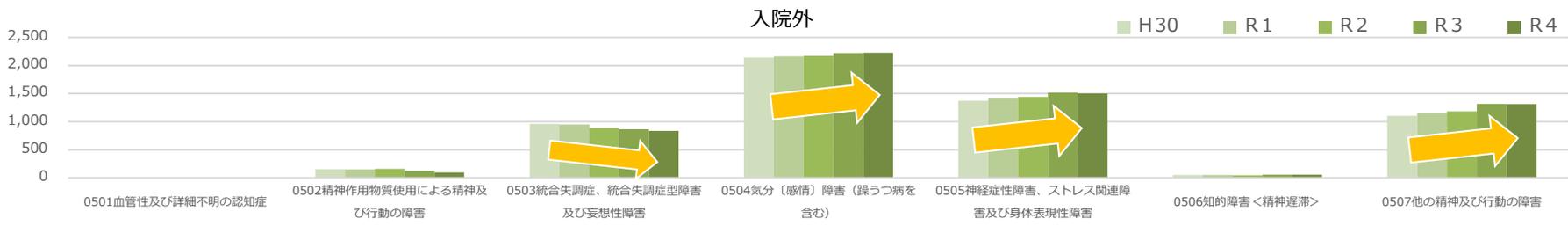
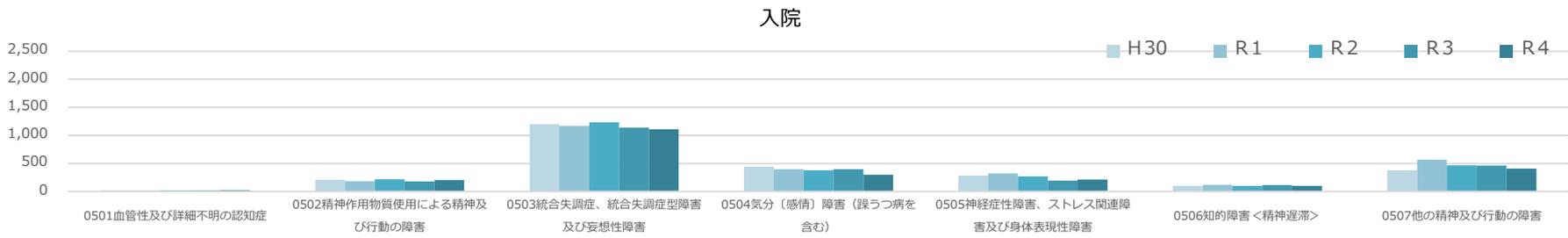
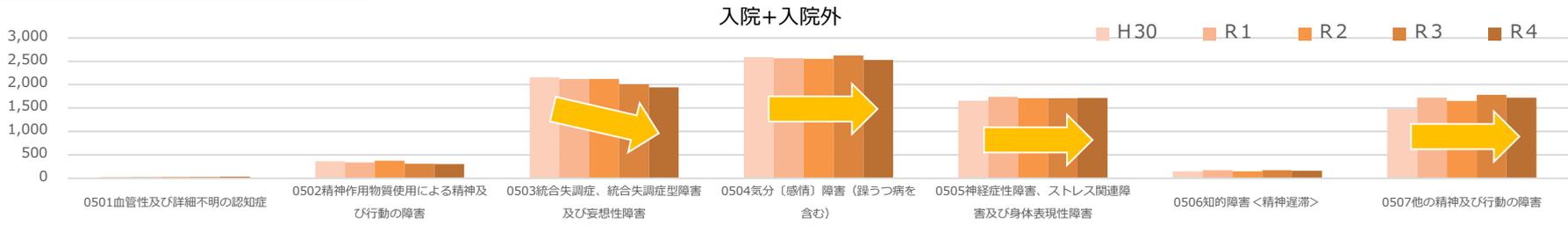
大分類：04内分泌、栄養及び代謝疾患



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（05精神及び行動の障害の中分類）の経年変化

- 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害が減少傾向にあるが、その他の分類はほぼ横ばい。
- 入院外について、気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）、神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害、他の精神及び行動の障害は増加傾向にある。

大分類：05精神及び行動の障害



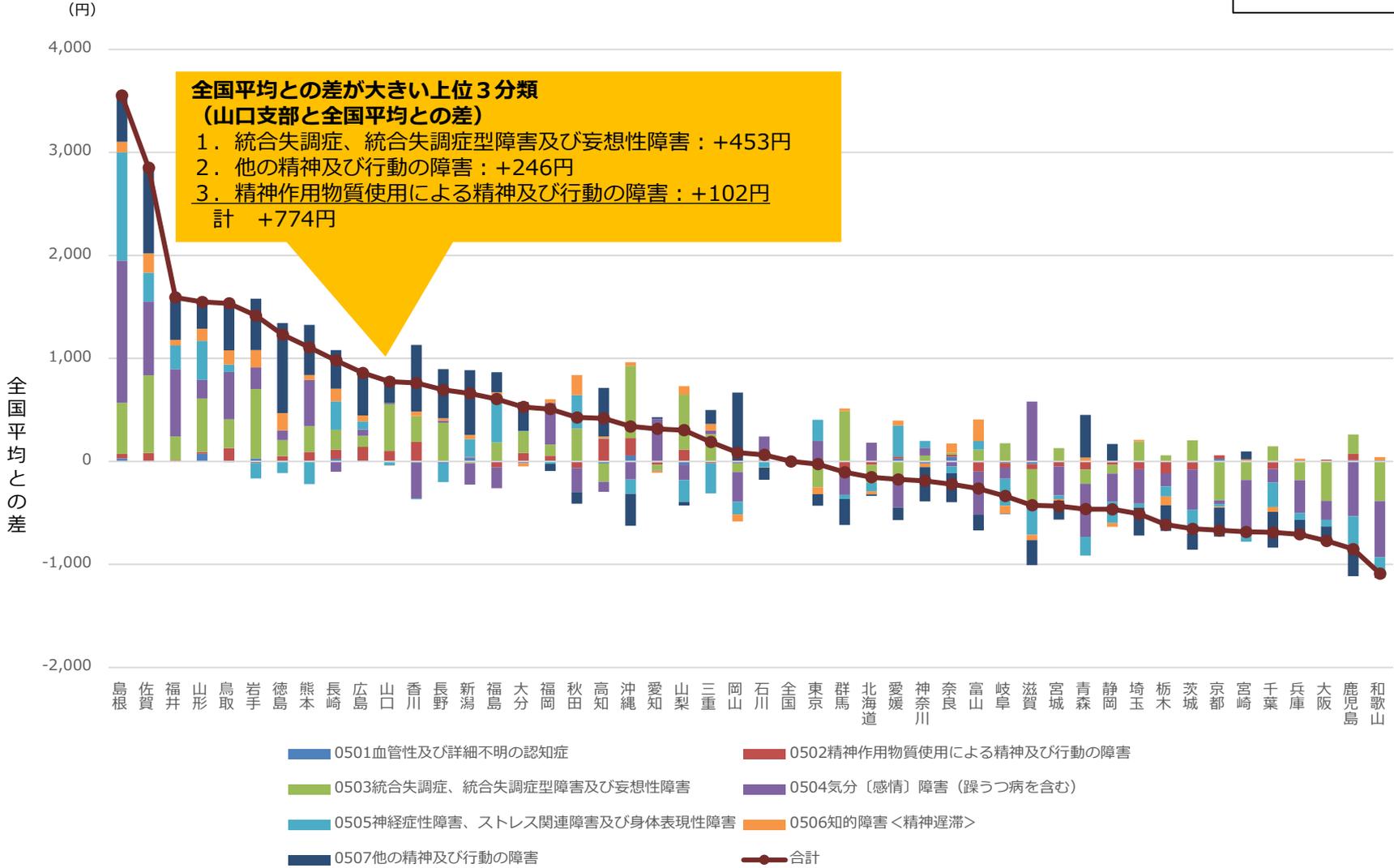
疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
0501血管性及び詳細不明の認知症	32	30	29	33	34	20	16	21	21	26	12	14	8	12	8
0502精神作用物質使用による精神及び行動の障害	364	338	378	309	304	207	187	218	181	205	156	151	160	128	99
0503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2,157	2,119	2,122	2,007	1,946	1,197	1,169	1,232	1,139	1,111	960	950	890	868	835
0504気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	2,589	2,561	2,548	2,620	2,527	445	399	378	396	298	2,144	2,162	2,170	2,224	2,228
0505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1,654	1,740	1,710	1,711	1,716	283	322	268	197	216	1,371	1,418	1,443	1,515	1,500
0506知的障害<精神遅滞>	151	172	148	172	160	99	119	99	115	103	52	53	49	57	57
0507他の精神及び行動の障害	1,484	1,724	1,650	1,780	1,720	378	569	467	463	407	1,106	1,155	1,183	1,318	1,313

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（05精神及び行動の障害の中分類）の全国比較（令和4年度）

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害が最も高く、次いで他の精神及び行動の障害が高い。**

大分類：05精神及び行動の障害

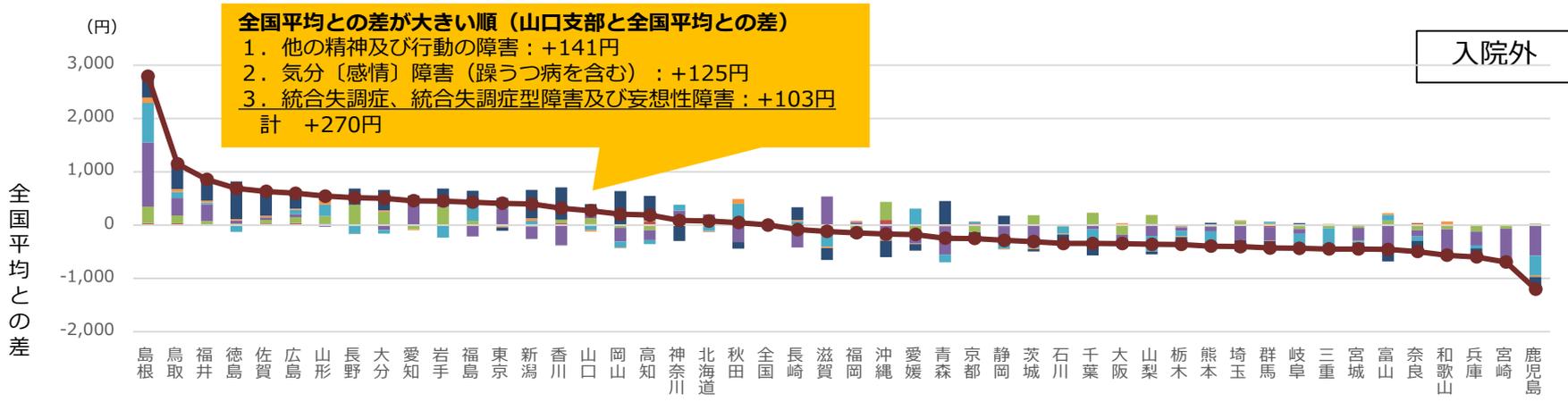
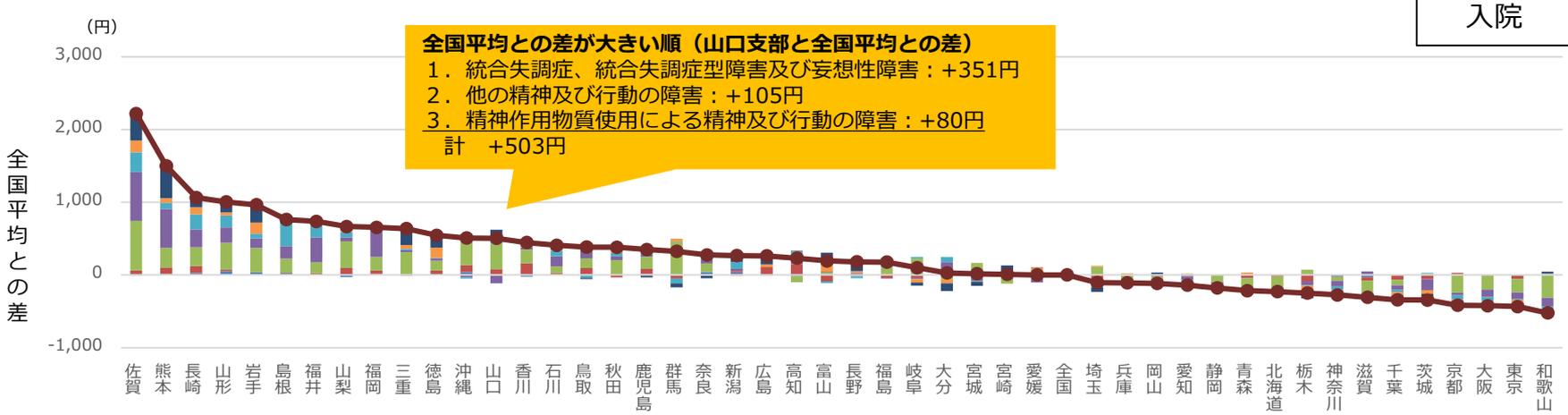
入院+入院外



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（05精神及び行動の障害の中分類）の全国比較（令和4年度）

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害が最も高く、次いで他の精神及び行動の障害が高い。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の精神及び行動の障害が最も高く、次いで気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）が高い。**

大分類：05精神及び行動の障害

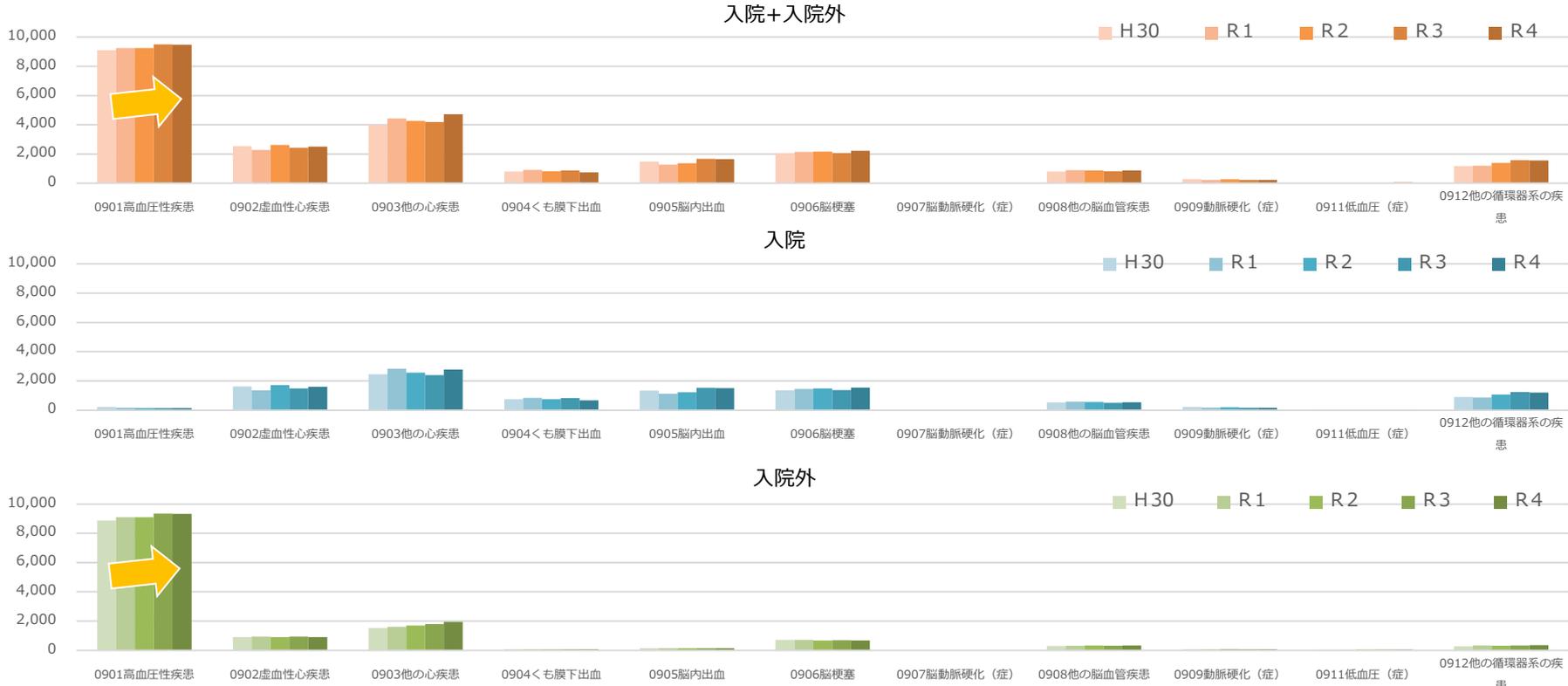


- 0501血管性及び詳細不明の認知症
- 0502精神作用物質使用による精神及び行動の障害
- 0503統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害
- 0504気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）
- 0505神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
- 0506知的障害<精神遅滞>
- 0507他の精神及び行動の障害
- 合計

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（09循環器系の疾患の中分類）の経年変化

○ 循環器系の疾患は約4割が入院外の高血圧性疾患によるもので、右肩上がりに伸びている。

大分類：09循環器系の疾患



疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
0901高血圧性疾患	9,098	9,252	9,252	9,492	9,479	226	155	141	147	148	8,871	9,097	9,112	9,344	9,330
0902虚血性心疾患	2,538	2,290	2,612	2,424	2,514	1,630	1,356	1,710	1,481	1,605	908	934	901	943	908
0903他の心疾患	3,987	4,443	4,267	4,195	4,729	2,461	2,835	2,575	2,397	2,780	1,526	1,608	1,693	1,798	1,949
0904くも膜下出血	808	916	820	884	740	747	850	756	816	667	61	66	64	68	73
0905脳内出血	1,493	1,277	1,368	1,672	1,650	1,345	1,132	1,228	1,523	1,508	148	145	141	149	142
0906脳梗塞	2,070	2,156	2,164	2,071	2,230	1,347	1,449	1,485	1,374	1,554	723	707	679	697	676
0907脳動脈硬化(症)	2	3	3	3	3	0	0	0	0	0	2	3	3	3	3
0908他の脳血管疾患	811	896	879	819	875	520	573	553	495	547	291	323	326	324	328
0909動脈硬化(症)	294	239	275	244	244	226	172	193	169	167	69	67	82	75	76
0911低血圧(症)	42	38	50	53	64	12	12	8	3	4	30	26	42	50	60
0912他の循環器系の疾患	1,175	1,205	1,396	1,573	1,557	892	860	1,078	1,232	1,198	282	344	318	340	359

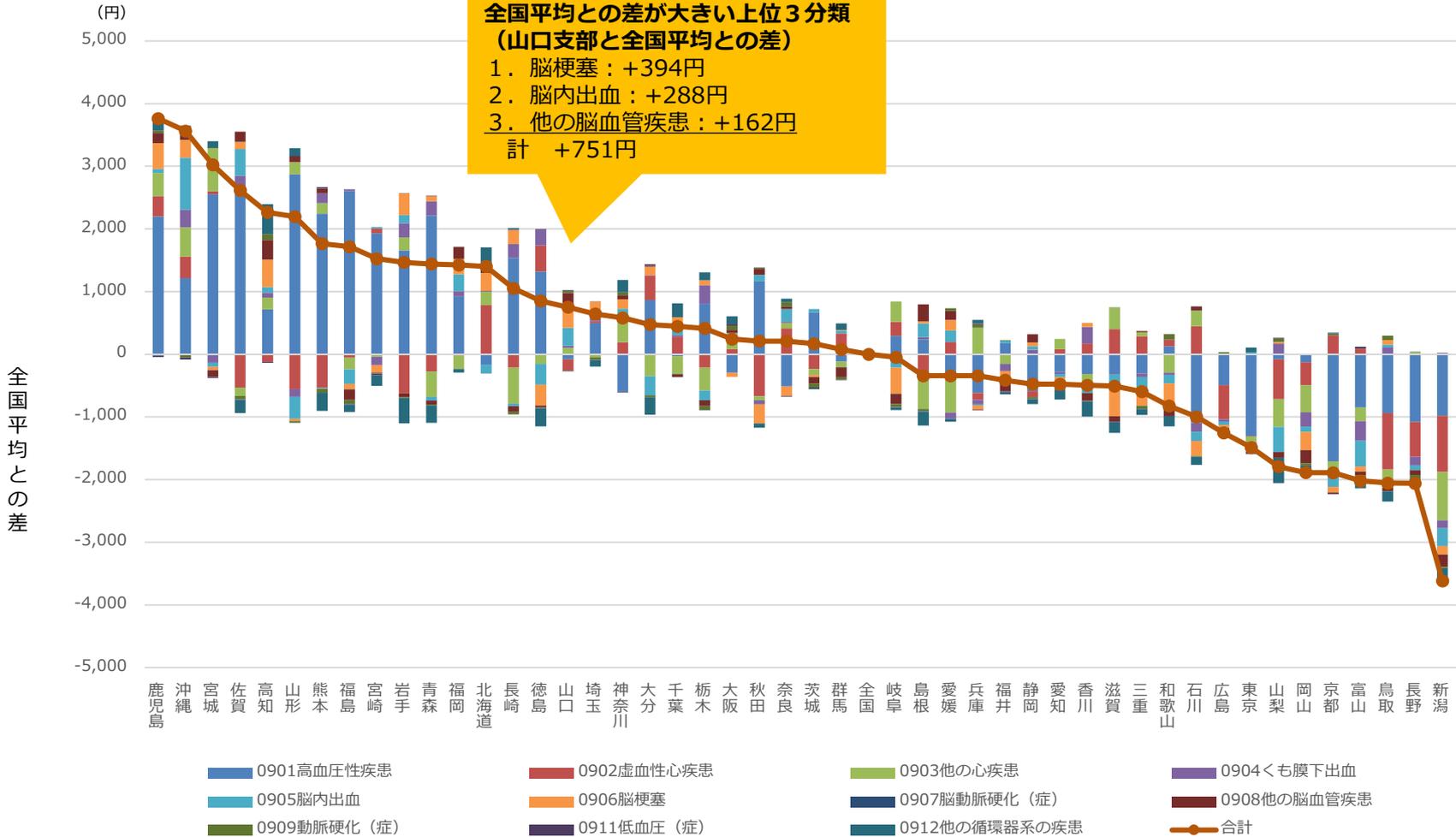
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (09循環器系の疾患の中分類) の全国比較 (令和4年度)

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**脳梗塞が最も高く、次いで脳内出血が高い。**

大分類：09循環器系の疾患

入院+入院外

**全国平均との差が大きい上位3分類  
(山口支部と全国平均との差)**  
 1. 脳梗塞：+394円  
 2. 脳内出血：+288円  
 3. 他の脳血管疾患：+162円  
 計 +751円



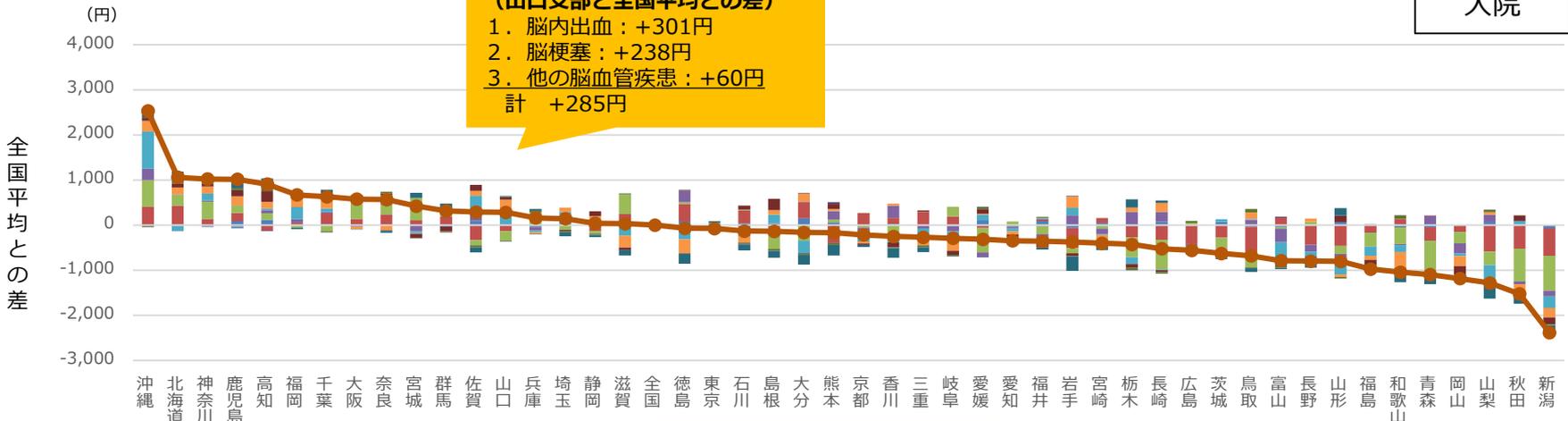
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (09循環器系の疾患の中分類) の全国比較 (令和4年度)

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**脳内出血が最も高く、次いで脳梗塞が高い。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の心疾患が最も高く、次いで脳梗塞が高い。**

大分類：09循環器系の疾患

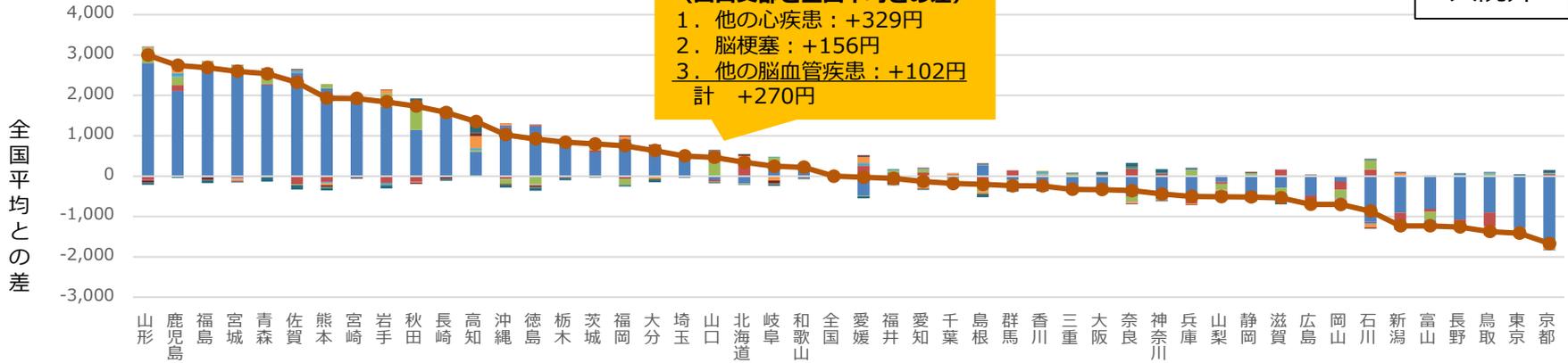
全国平均との差が大きい順  
(山口支部と全国平均との差)  
1. 脳内出血：+301円  
2. 脳梗塞：+238円  
3. 他の脳血管疾患：+60円  
計 +285円

入院



全国平均との差が大きい順  
(山口支部と全国平均との差)  
1. 他の心疾患：+329円  
2. 脳梗塞：+156円  
3. 他の脳血管疾患：+102円  
計 +270円

入院外

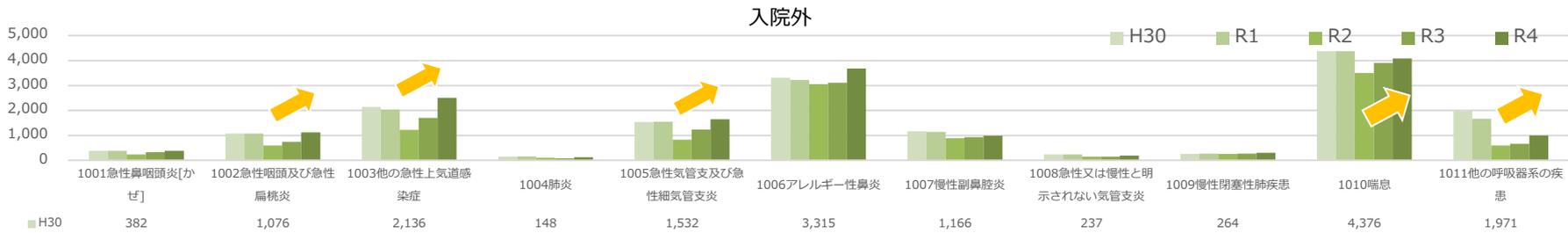
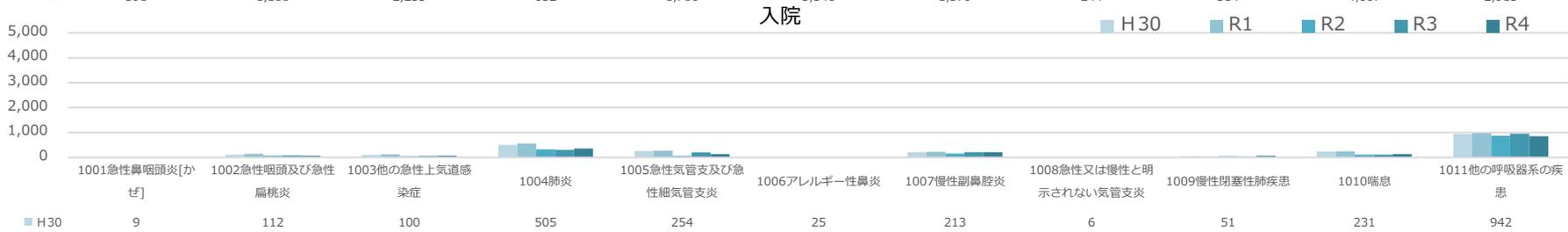
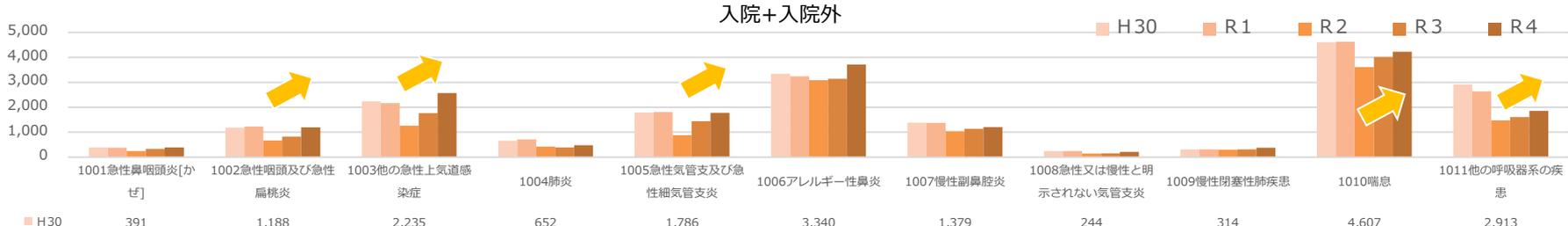


- 0901 高血圧性疾患
- 0902 虚血性心疾患
- 0903 他の心疾患
- 0904 くも膜下出血
- 0905 脳内出血
- 0906 脳梗塞
- 0907 脳動脈硬化 (症)
- 0908 他の脳血管疾患
- 0909 動脈硬化 (症)
- 0911 低血圧 (症)
- 0912 他の循環器系の疾患
- 合計

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（10呼吸器系の疾患の中分類）の経年変化

○ 全般的に令和2年度は新型コロナの流行により一人当たり医療費が大きくなり下がり、それ以降右肩上がりに伸びている。

大分類：10呼吸器系の疾患



疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
1001急性鼻咽頭炎[かぜ]	391	382	238	327	384	9	4	2	5	0	382	379	236	322	384
1002急性咽頭及び急性扁桃炎	1,188	1,225	665	824	1,191	112	151	67	82	70	1,076	1,073	598	743	1,121
1003他の急性上気道感染症	2,235	2,165	1,266	1,761	2,571	100	124	49	56	64	2,136	2,041	1,217	1,705	2,507
1004肺炎	652	712	421	387	475	505	555	321	301	354	148	157	101	86	120
1005急性気管支及び急性細気管支炎	1,786	1,811	885	1,441	1,779	254	267	60	203	136	1,532	1,544	825	1,238	1,643
1006アレルギー性鼻炎	3,340	3,240	3,086	3,139	3,711	25	18	29	28	27	3,315	3,221	3,057	3,112	3,684
1007慢性副鼻腔炎	1,379	1,374	1,043	1,144	1,209	213	229	153	216	216	1,166	1,145	890	928	993
1008急性又は慢性と明示されない気管支炎	244	241	145	155	205	6	3	2	2	7	237	239	144	153	198
1009慢性閉塞性肺疾患	314	308	301	316	374	51	39	41	39	65	264	269	260	276	310
1010喘息	4,607	4,632	3,613	4,017	4,225	231	250	112	114	137	4,376	4,381	3,501	3,904	4,088
1011他の呼吸器系の疾患	2,913	2,638	1,468	1,606	1,856	942	973	876	948	856	1,971	1,664	593	658	1,000

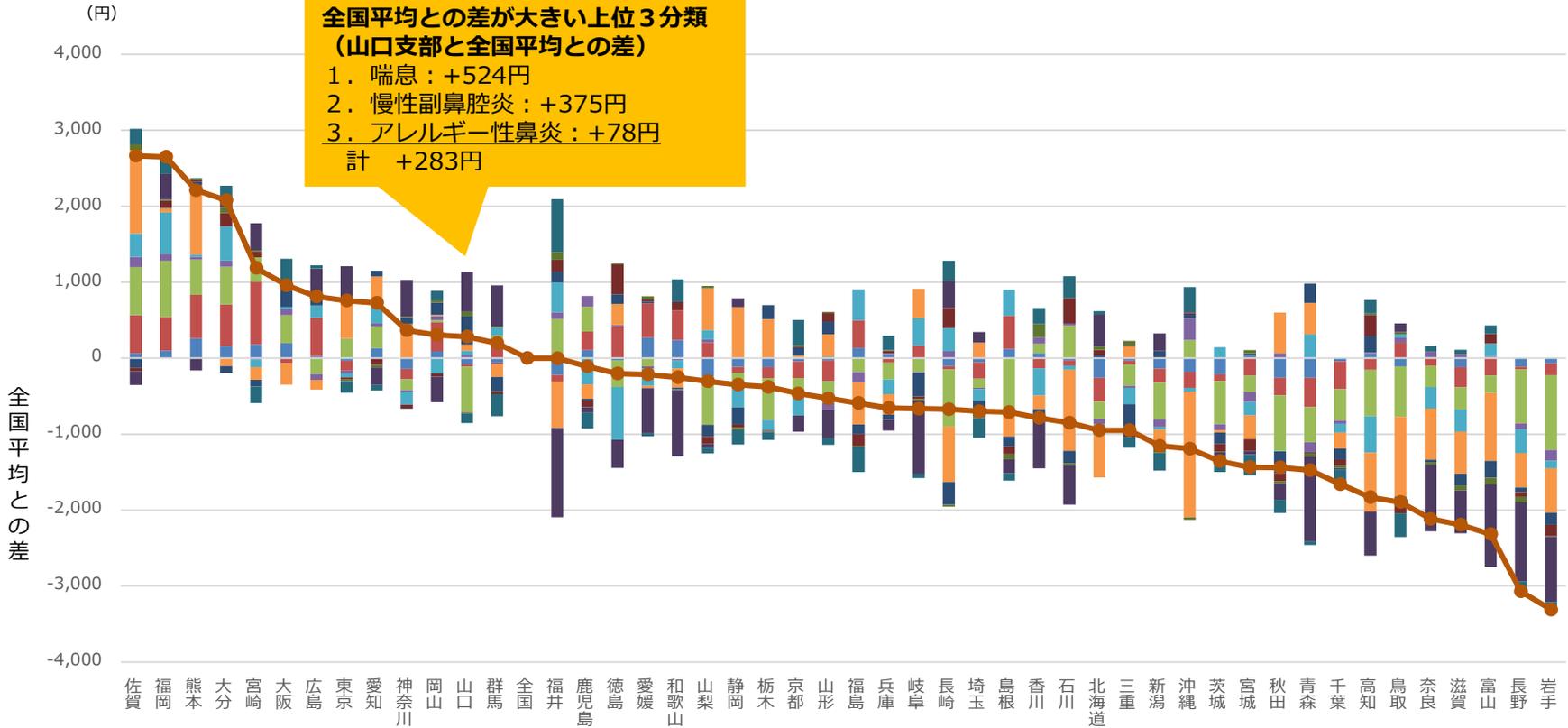
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (10呼吸器系の疾患の中分類) の全国比較 (令和4年度)

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**喘息が最も高く、次いで慢性副鼻腔炎が高い。**

大分類：10呼吸器系の疾患

入院+入院外

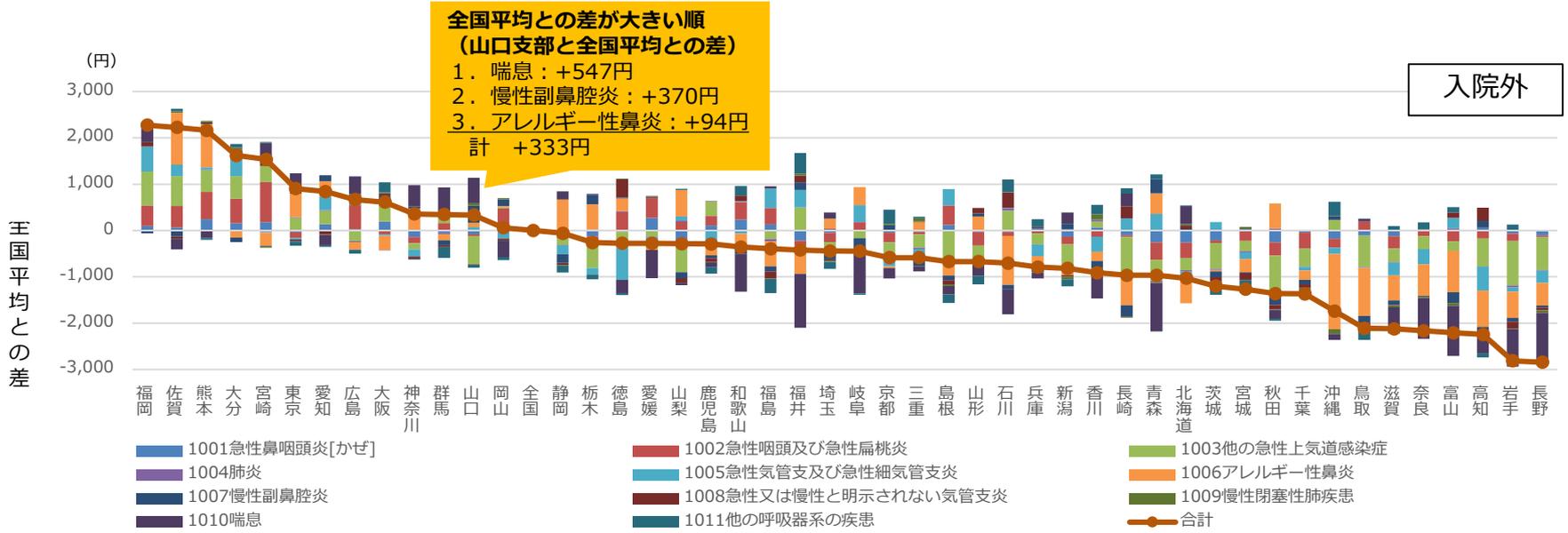
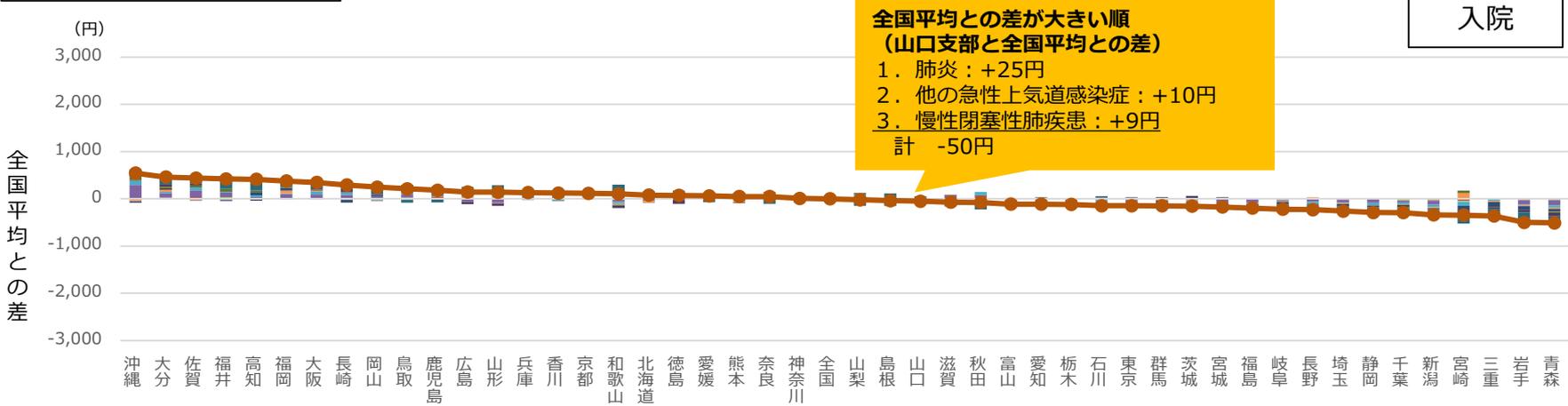
**全国平均との差が大きい上位3分類  
(山口支部と全国平均との差)**  
 1. 喘息：+524円  
 2. 慢性副鼻腔炎：+375円  
 3. アレルギー性鼻炎：+78円  
 計 +283円



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（10呼吸器系の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**肺炎が最も高いが、ほぼ全国平均並み。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**喘息が最も高く、次いで副鼻腔炎が高い。**

大分類：10呼吸器系の疾患



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（11消化器系の疾患の中分類）の経年変化

○ 消化器系の疾患は約6割が他の消化器系の疾患（舌炎、食道破裂、急性虫垂炎など様々）によるもので、特に入院外が高く伸びている。

大分類：11消化器系の疾患



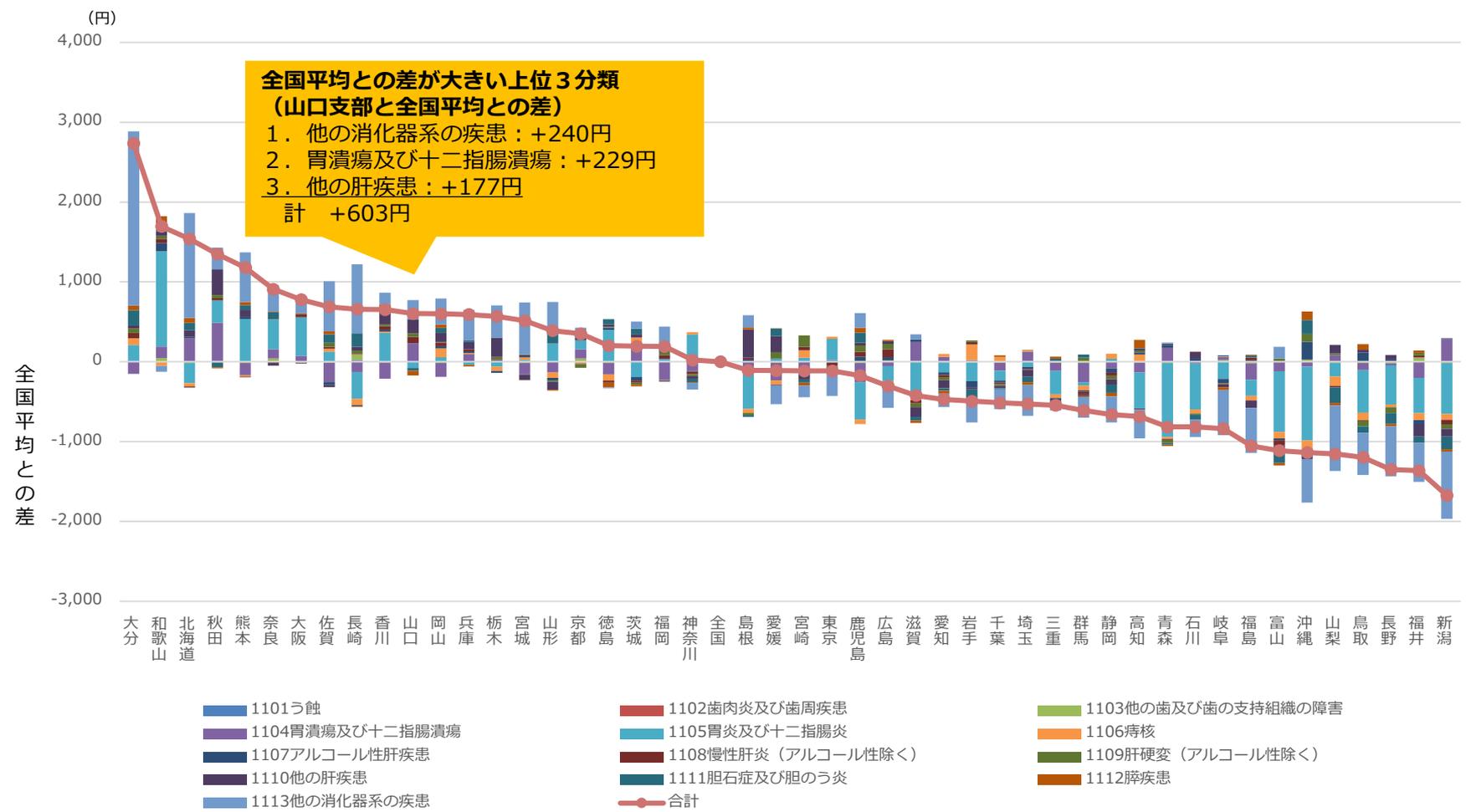
疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
1101う蝕	2	0	1	1	3	1	0	1	1	1	0	0	0	1	2
1102歯肉炎及び歯周疾患	3	2	3	2	2	1	0	1	0	0	2	2	2	2	2
1103他の歯及び歯の支持組織の障害	6	6	20	24	21	1	1	13	15	14	5	5	7	9	7
1104胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	1,031	972	924	922	814	195	163	133	165	143	836	809	791	757	671
1105胃炎及び十二指腸炎	1,751	1,680	1,528	1,566	1,741	61	49	40	34	46	1,690	1,632	1,489	1,532	1,696
1106痔核	330	298	327	386	337	104	94	76	88	72	226	204	251	298	265
1107アルコール性肝疾患	121	172	170	142	166	70	85	88	66	94	51	88	83	76	72
1108慢性肝炎（アルコール性除く）	230	219	216	213	205	11	13	12	4	7	219	206	203	208	198
1109肝硬変（アルコール性除く）	261	389	136	124	201	174	292	40	38	107	87	97	96	86	94
1110他の肝疾患	712	709	743	807	766	173	139	161	188	135	538	570	582	619	631
1111胆石症及び胆のう炎	717	708	731	783	715	589	587	594	646	569	128	121	137	137	146
1112膵疾患	232	238	236	220	253	162	165	165	144	177	70	73	71	76	76
1113他の消化器系の疾患	5,515	5,892	5,808	6,463	6,847	2,306	2,385	2,145	2,355	2,437	3,209	3,506	3,662	4,108	4,410

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（11消化器系の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の消化器系の疾患**、次いで**胃潰瘍及び十二指腸潰瘍**が高い。

大分類：11消化器系の疾患

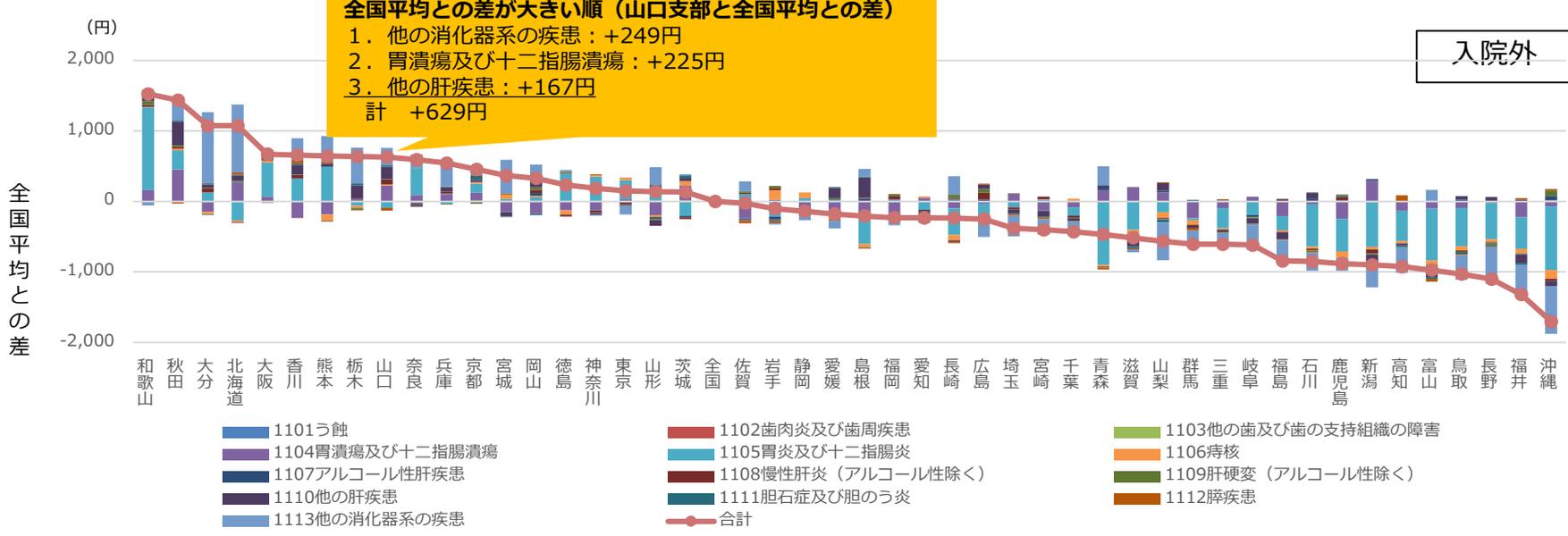
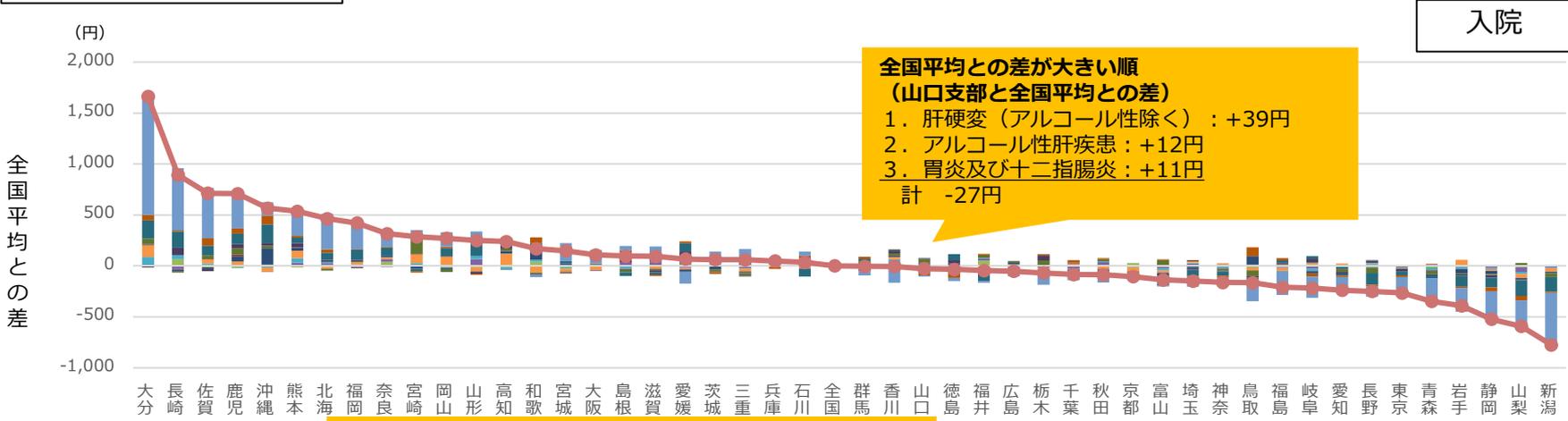
入院+入院外



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（11消化器系の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**肝硬変（アルコール性除く）が最も高いが、ほぼ全国平均並み。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の消化器系の疾患が最も高く、次いで胃潰瘍及び十二指腸潰瘍が高い。**

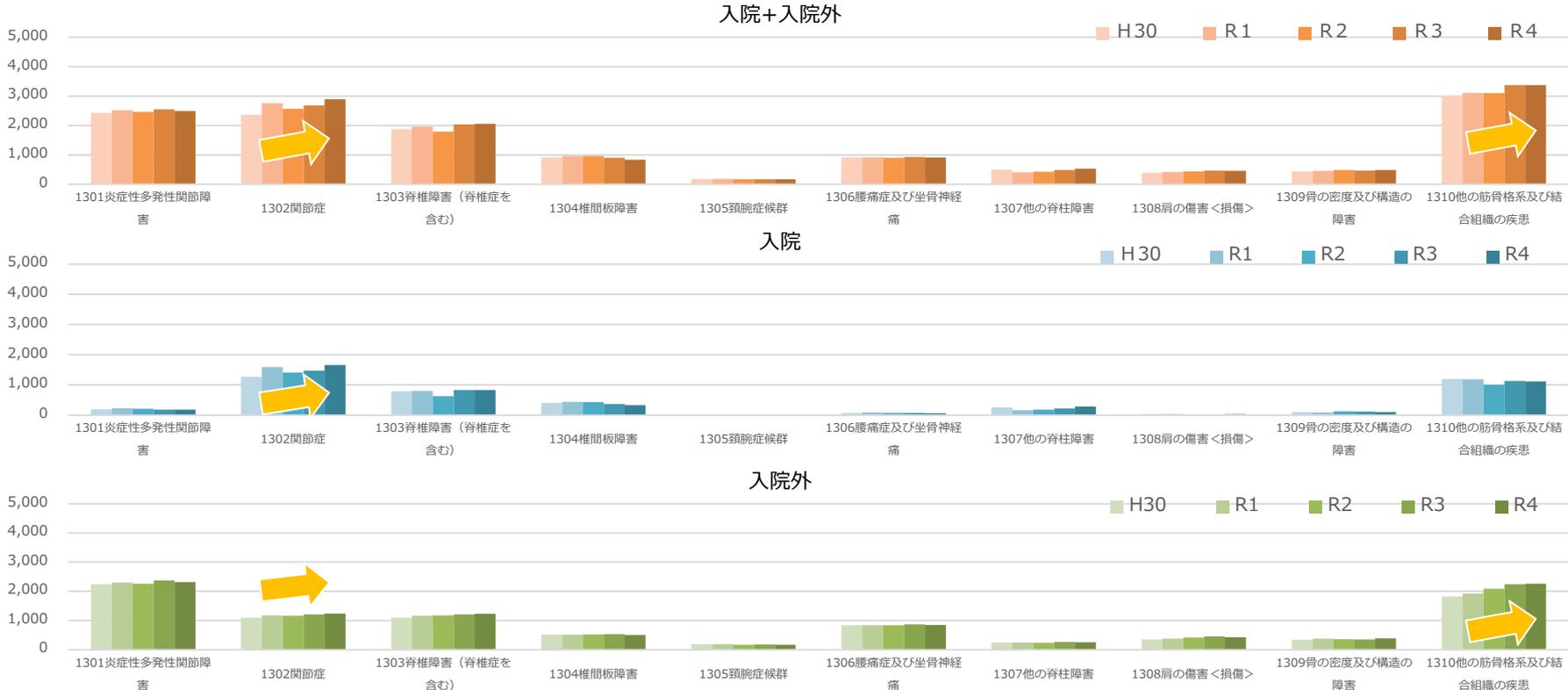
大分類：11消化器系の疾患



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費 (13筋骨格系及び結合組織の疾患の中分類) の経年変化

○ 関節症、他の筋骨格系及び結合組織の疾患が伸びており、その他の分類はほぼ横ばい。

大分類：13筋骨格系及び結合組織の疾患



疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
1301炎症性多発性関節障害	2,431	2,525	2,467	2,554	2,498	194	230	207	184	184	2,237	2,295	2,260	2,370	2,314
1302関節症	2,362	2,762	2,570	2,682	2,896	1,267	1,589	1,407	1,476	1,656	1,095	1,172	1,163	1,206	1,241
1303脊椎障害 (脊椎症を含む)	1,883	1,961	1,794	2,040	2,059	788	799	627	831	829	1,095	1,163	1,167	1,209	1,231
1304椎間板障害	914	956	956	903	834	400	442	431	368	329	514	515	525	535	504
1305頸腕症候群	186	185	176	177	170	3	1	3	0	0	183	184	172	177	170
1306腰痛症及び坐骨神経痛	915	925	906	935	913	74	85	71	73	63	840	840	835	861	850
1307他の脊柱障害	497	407	426	483	537	251	161	186	222	286	246	246	240	261	250
1308肩の傷害<損傷>	389	419	437	467	456	36	36	17	15	30	354	383	420	453	426
1309骨の密度及び構造の障害	438	462	486	470	489	94	86	125	117	100	343	376	361	353	389
1310他の筋骨格系及び結合組織の疾患	3,018	3,109	3,098	3,372	3,371	1,198	1,186	1,006	1,131	1,112	1,820	1,923	2,092	2,242	2,259
1301炎症性多発性関節障害	2,431	2,525	2,467	2,554	2,498	194	230	207	184	184	2,237	2,295	2,260	2,370	2,314

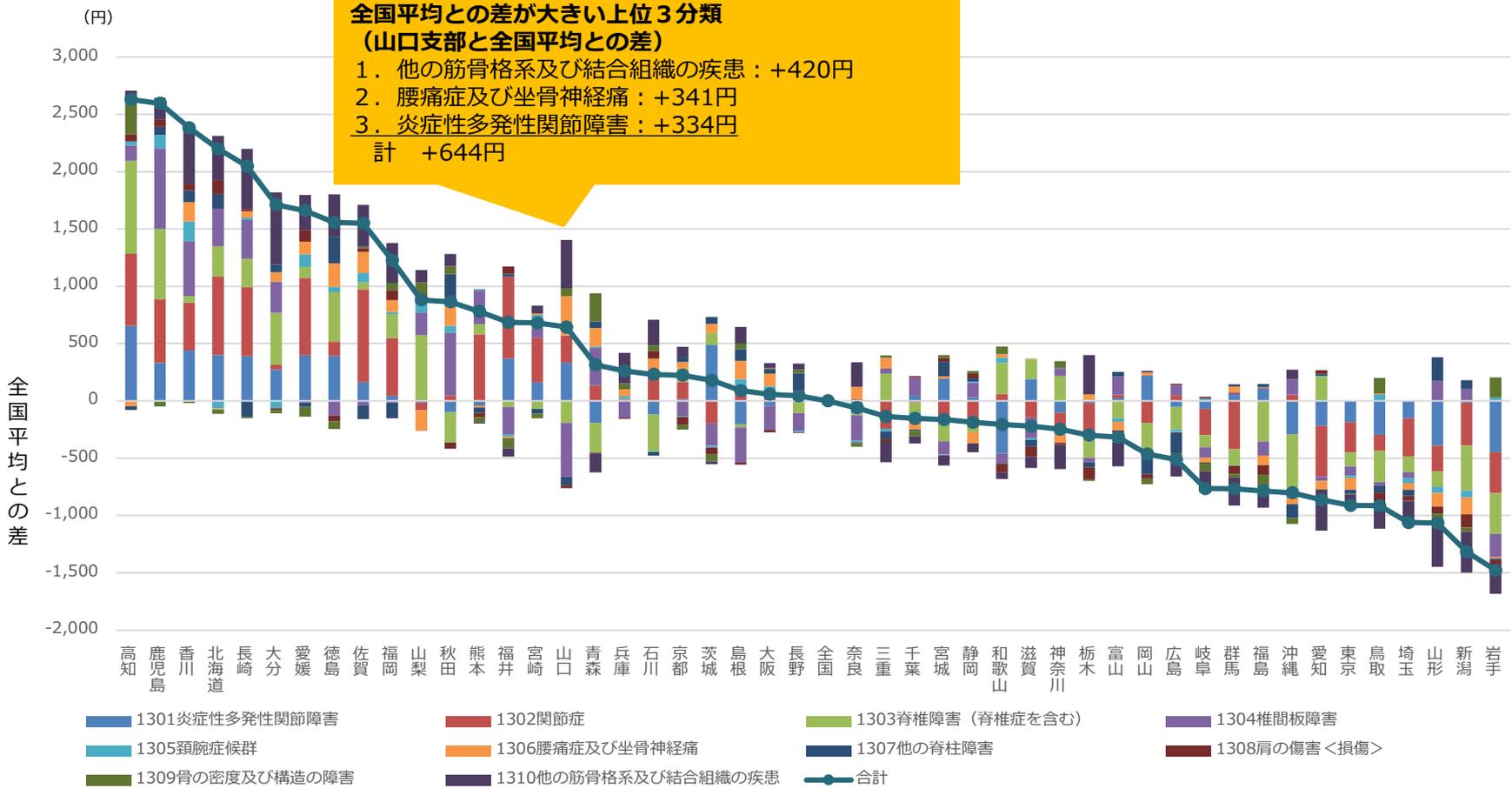
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（13筋骨格系及び結合組織の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の筋骨格系及び結合組織の疾患**、次いで**腰痛症及び坐骨神経痛**が高い。

大分類：13筋骨格系及び結合組織の疾患

入院+入院外

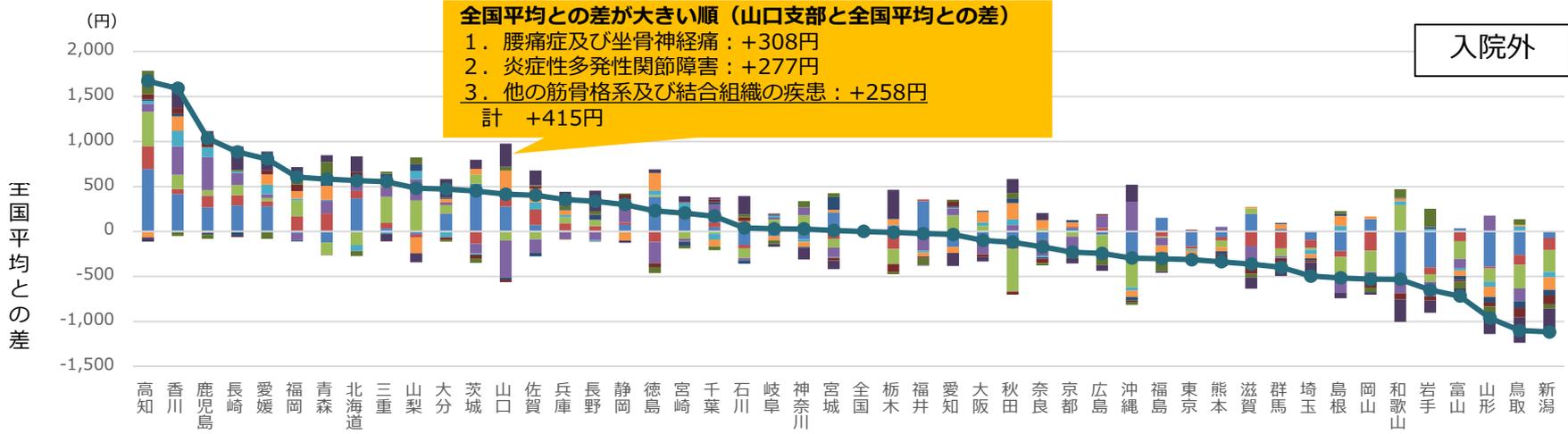
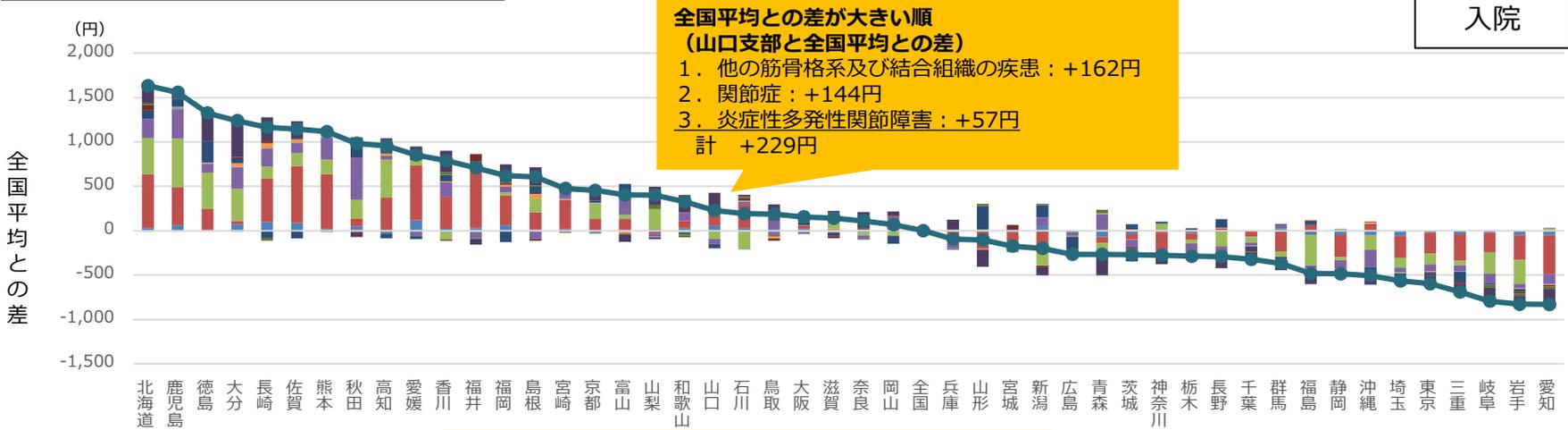
**全国平均との差が大きい上位3分類**  
**(山口支部と全国平均との差)**  
 1. 他の筋骨格系及び結合組織の疾患：+420円  
 2. 腰痛症及び坐骨神経痛：+341円  
 3. 炎症性多発性関節障害：+334円  
 計 +644円



# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（13筋骨格系及び結合組織の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の筋骨格系及び結合組織の疾患が最も高く、次いで関節症が高い。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**腰痛症及び坐骨神経痛が最も高く、次いで炎症性多発性関節障害が高い。**

大分類：13筋骨格系及び結合組織の疾患

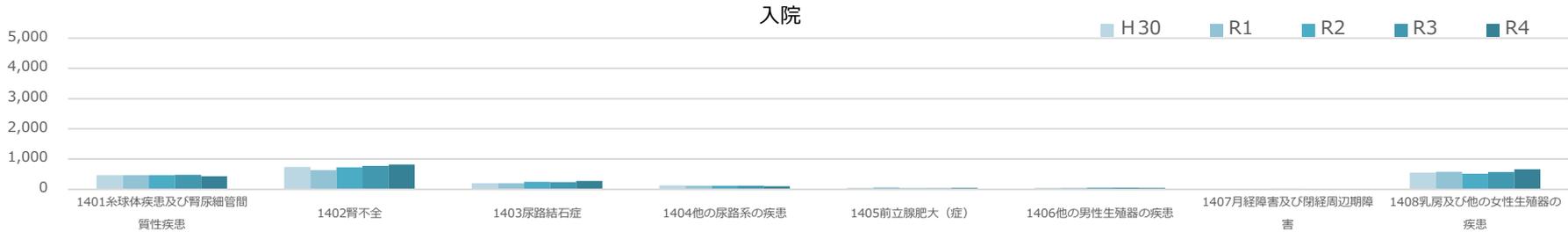
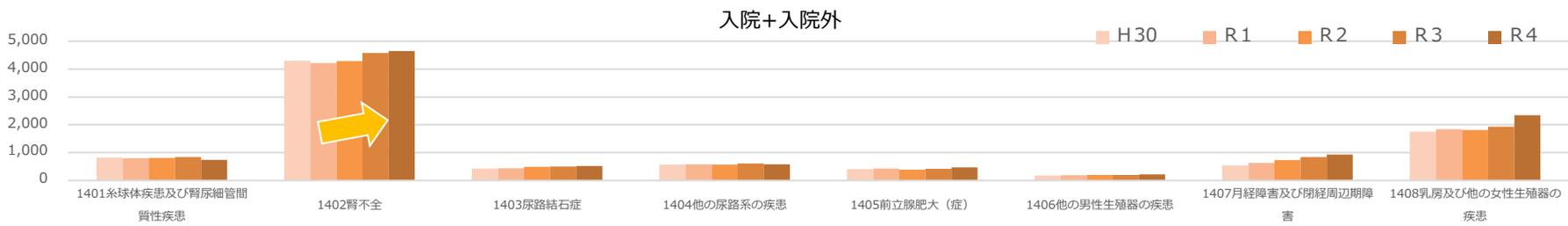


- 1301 炎症性多発性関節障害
- 1302 関節症
- 1303 脊椎障害（脊椎症を含む）
- 1304 椎間板障害
- 1305 頸腕症候群
- 1306 腰痛症及び坐骨神経痛
- 1307 他の脊柱障害
- 1308 肩の傷害<損傷>
- 1309 骨の密度及び構造の障害
- 1310 他の筋骨格系及び結合組織の疾患
- 合計

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（14腎尿路生殖器系の疾患の中分類）の経年変化

○ 腎尿路生殖器系の疾患は約4割が腎不全となっており、特に入院外が高い。

大分類：14腎尿路生殖器系の疾患



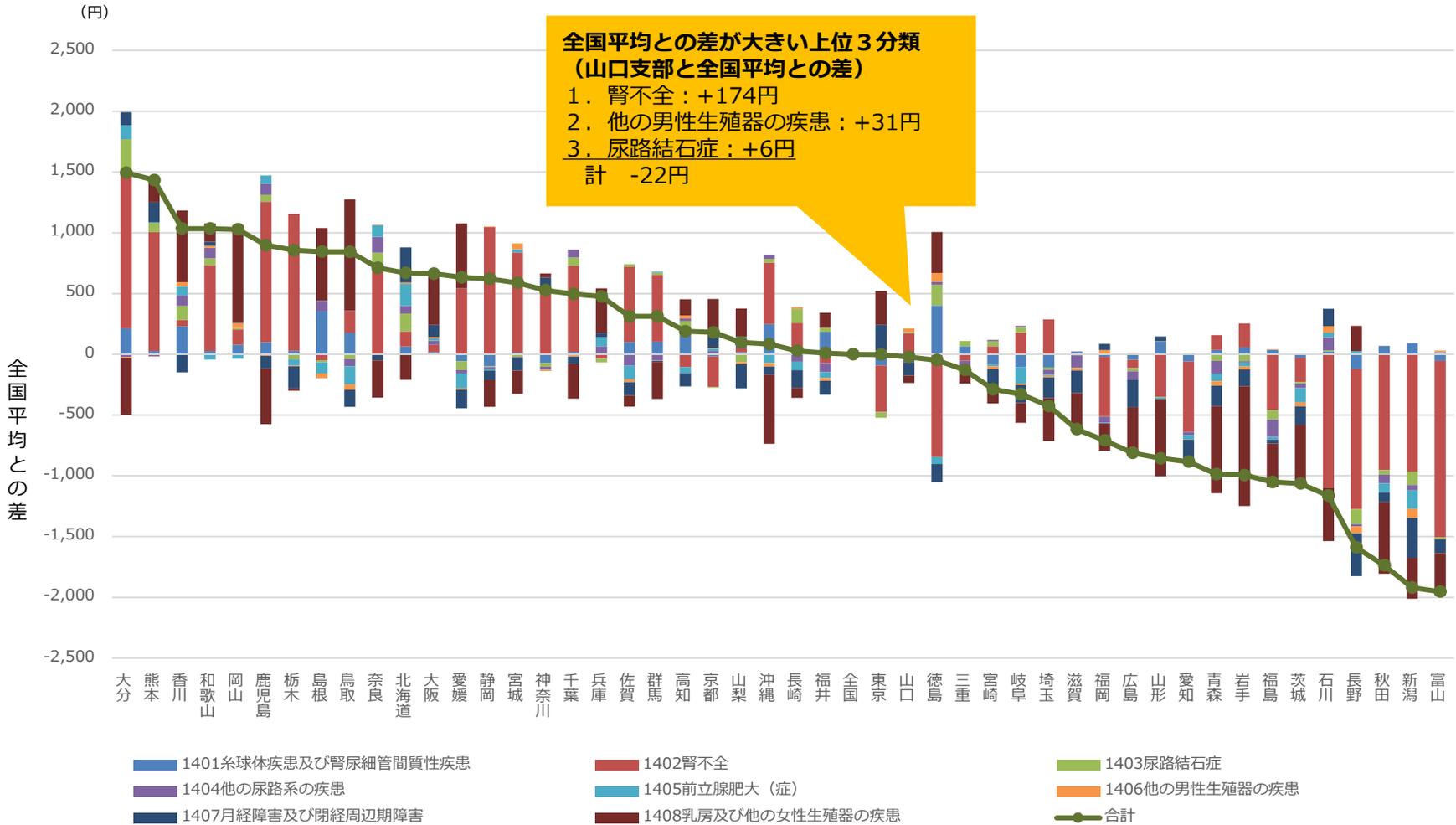
疾病中分類	入院+入院外					入院					入院外				
	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4	H30	R1	R2	R3	R4
1401糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	823	801	810	835	743	469	473	473	480	434	354	328	337	355	309
1402腎不全	4,300	4,223	4,289	4,578	4,654	737	632	724	775	822	3,562	3,590	3,566	3,803	3,832
1403尿路結石症	426	435	490	494	522	201	204	245	243	273	225	231	245	251	249
1404他の尿路系の疾患	569	583	571	612	576	130	120	117	119	100	439	462	455	493	476
1405前立腺肥大(症)	407	432	389	421	465	43	60	34	39	41	364	372	355	382	424
1406他の男性生殖器の疾患	174	192	195	194	212	47	49	55	52	48	127	142	140	142	164
1407月経障害及び閉経周辺期障害	543	630	725	841	932	4	12	23	14	21	539	618	702	827	911
1408乳房及び他の女性生殖器の疾患	1,750	1,845	1,814	1,933	2,346	551	578	520	572	659	1,200	1,267	1,294	1,361	1,687

# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（14腎尿路生殖器系の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

○ 一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の筋骨格系及び結合組織の疾患**、次いで**腰痛症及び坐骨神経痛**が高い。

大分類：14腎尿路生殖器系の疾患

入院+入院外



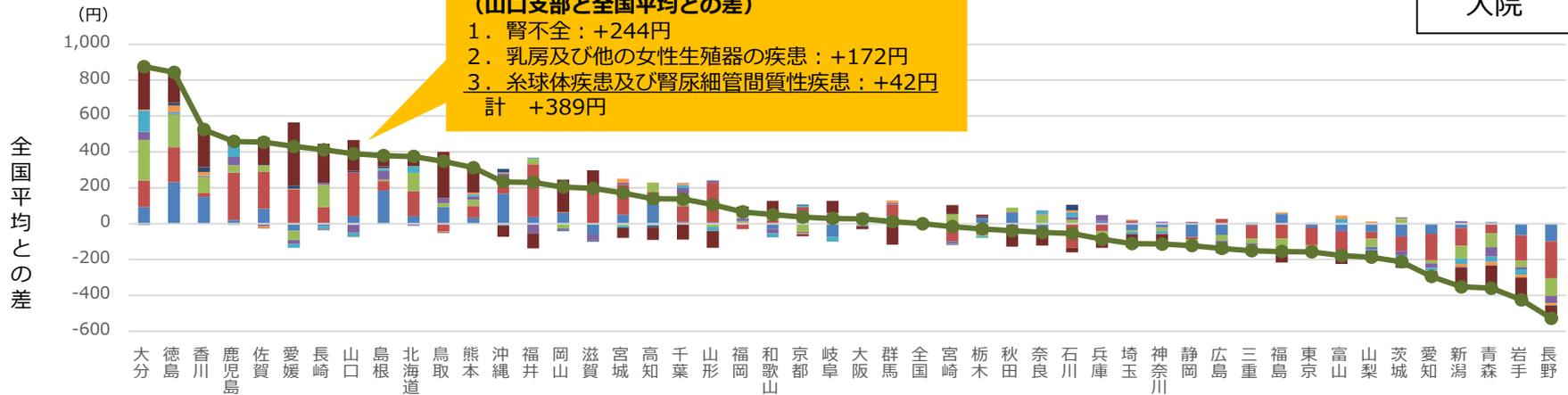
# 年齢調整後 加入者1人あたりの医療費（14腎尿路生殖器系の疾患の中分類）の全国比較（令和4年度）

- 入院の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**腎不全が最も高く、次いで乳房及び他の女性生殖器の疾患が高い。**
- 入院外の一人当たり医療費の山口支部と全国平均との差をみると、**他の男性生殖器の疾患が最も高いが、全国並み。**

大分類：14腎尿路生殖器系の疾患

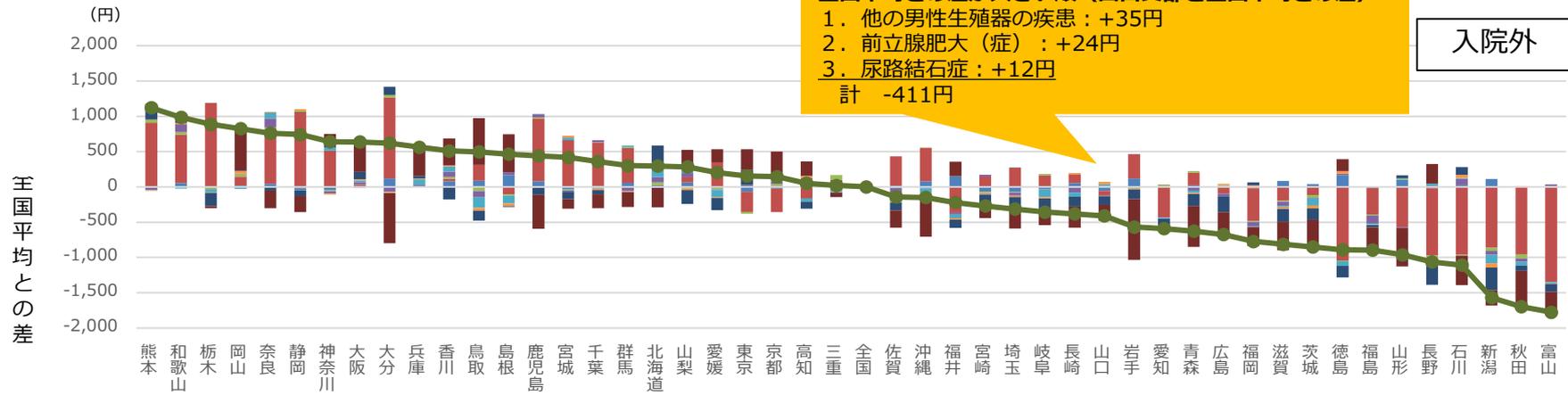
**全国平均との差が大きい順  
（山口支部と全国平均との差）**  
 1. 腎不全：+244円  
 2. 乳房及び他の女性生殖器の疾患：+172円  
 3. 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患：+42円  
 計 +389円

入院



**全国平均との差が大きい順（山口支部と全国平均との差）**  
 1. 他の男性生殖器の疾患：+35円  
 2. 前立腺肥大（症）：+24円  
 3. 尿路結石症：+12円  
 計 -411円

入院外

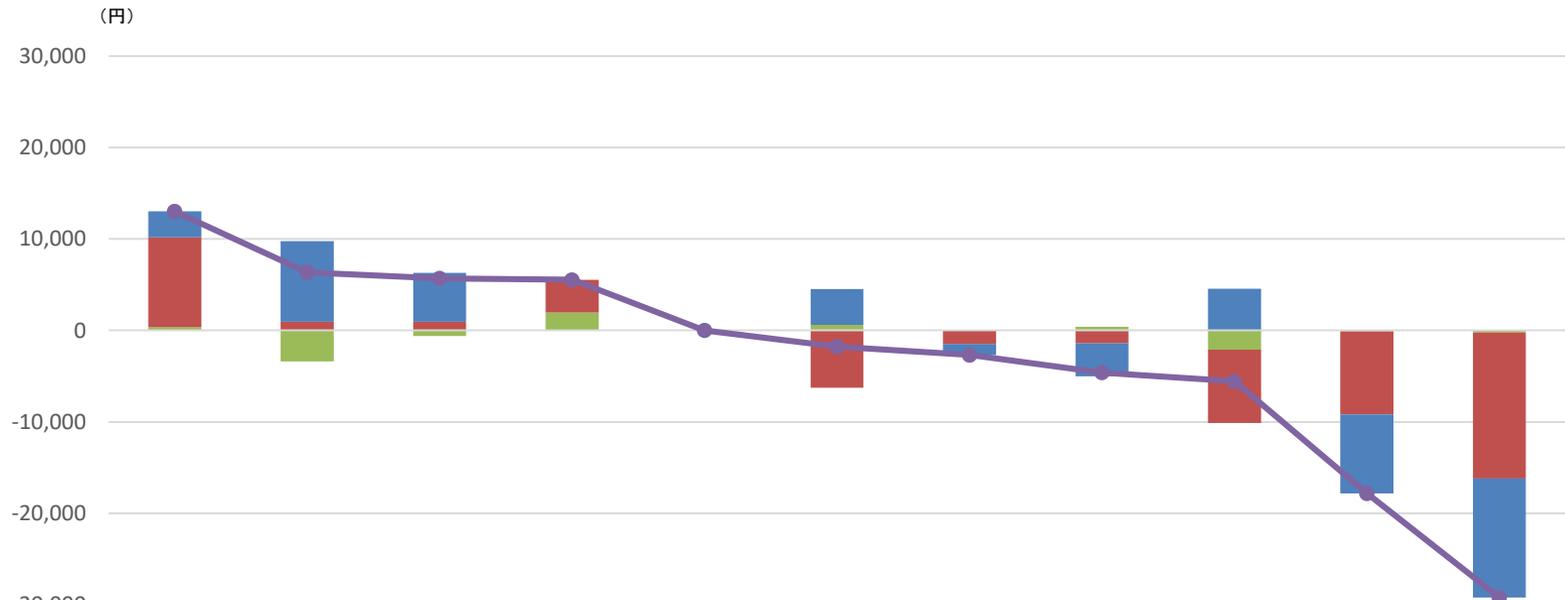


- 1401糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
- 1402腎不全
- 1403尿路結石症
- 1404他の尿路系の疾患
- 1405前立腺肥大（症）
- 1406他の男性生殖器の疾患
- 1407月経障害及び閉経周辺期障害
- 1408乳房及び他の女性生殖器の疾患
- 合計

## VI.山口支部医療費の県内での比較

# 山口支部加入者1人あたりの二次医療圏別各医療費の比較（令和4年度）

- 二次医療圏別で見ると場合、1人当たり医療費は**宇部・小野田圏、長門圏**が高く、**周南圏、柳井圏**が低い傾向にある。
- 一人当たり医療費が高い要因として、**宇部・小野田圏は入院外が高いこと、長門は入院が高いこと**があげられる。

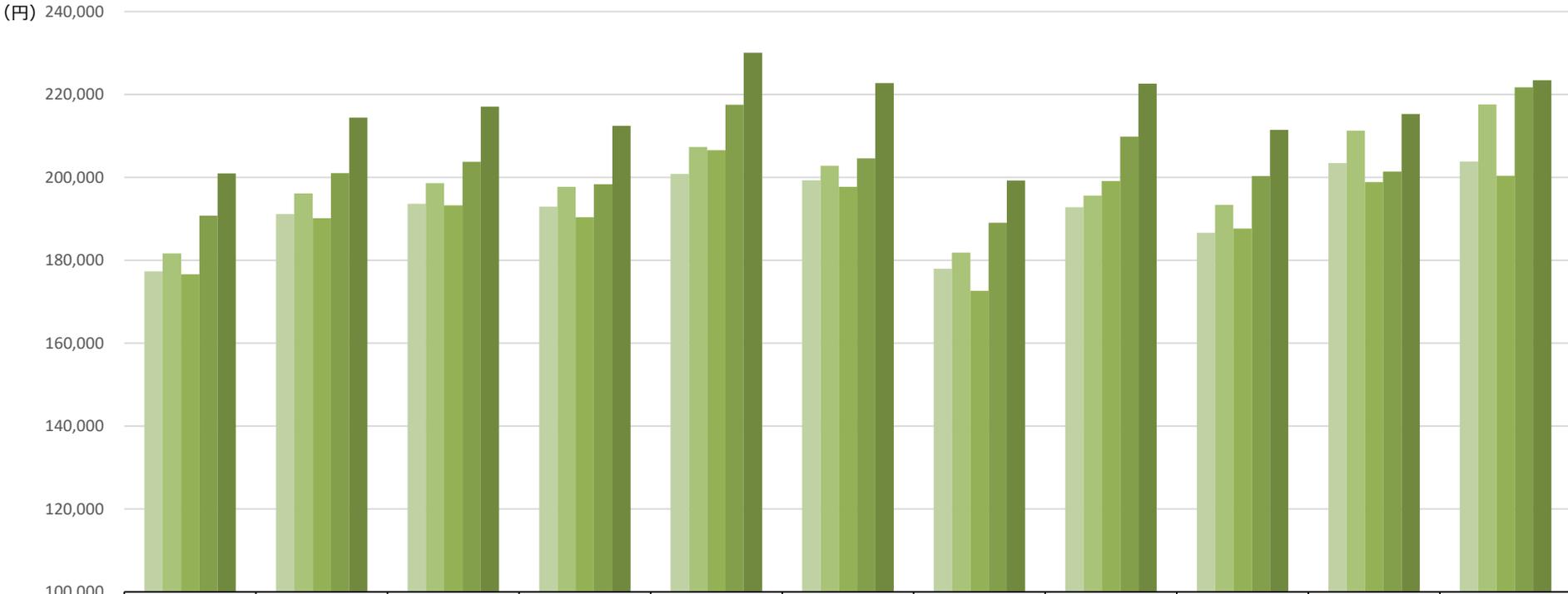


	宇部・小野田	長門	下関	岩国	山口県内在住	萩	山口支部（県外在住含む）	山口・防府	柳井	周南	県外
■ 入院（山口県内在住との差）	2,838	8,825	5,349	-5	0	3,927	-1,193	-3,626	4,562	-8,610	-13,018
■ 入院外（山口県内在住との差）	9,828	941	964	3,589	0	-6,281	-1,463	-1,394	-8,023	-9,103	-15,959
■ 歯科（山口県内在住との差）	350	-3,400	-621	1,954	0	598	-22	414	-2,096	-94	-236
● 合計（山口県内在住との差）	13,016	6,366	5,693	5,538	0	-1,756	-2,677	-4,606	-5,557	-17,807	-29,213
一人当たり医療費（入院）	64,741	70,728	67,252	61,898	61,903	65,830	60,710	58,277	66,465	53,293	48,885
一人当たり医療費（入院外）	142,386	133,499	133,522	136,146	132,558	126,277	131,095	131,163	124,535	123,455	116,599
一人当たり医療費（歯科）	22,945	19,195	21,974	24,549	22,595	23,193	22,573	23,009	20,499	22,500	22,359
一人当たり医療費	230,071	223,422	222,748	222,593	217,055	215,300	214,378	212,449	211,499	199,249	187,843
平均加入者数	76,836	10,270	76,195	30,739	372,110	13,645	409,653	79,577	18,932	65,917	37,544

※被保険者の住所地ベース。

# 山口支部加入者1人あたりの医療費の二次医療圏別経年変化

○ 令和2年度を除き、一人当たり医療費が右肩上がりに伸びている。

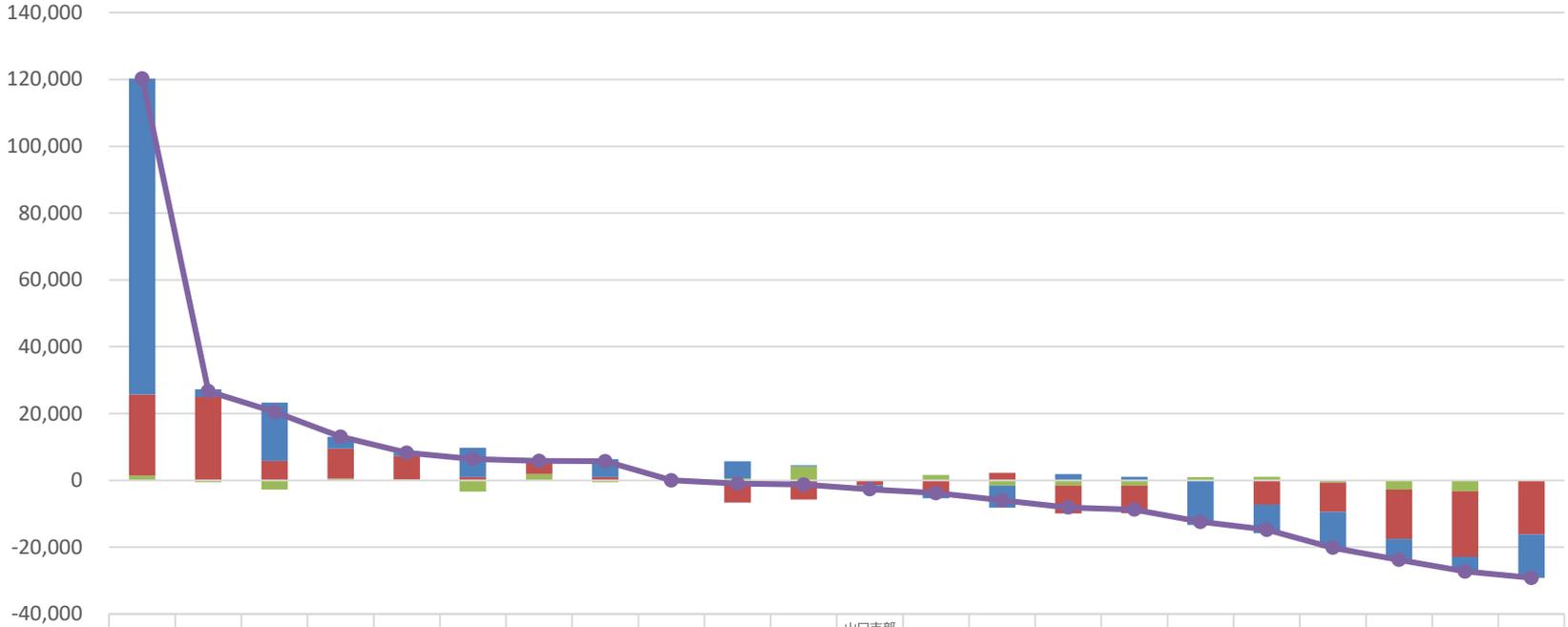


	全国	山口支部	山口県二次医療圏	山口・防府	宇部・小野田	下関	周南	岩国	柳井	萩	長門
H30	177,308	191,139	193,607	192,934	200,846	199,306	177,978	192,801	186,615	203,429	203,810
R01	181,661	196,143	198,612	197,720	207,309	202,830	181,843	195,625	193,396	211,303	217,601
R02	176,650	190,132	193,282	190,357	206,566	197,717	172,641	199,129	187,618	198,886	200,409
R03	190,775	201,026	203,789	198,377	217,544	204,575	189,077	209,792	200,303	201,406	221,716
R04	200,954	214,378	217,055	212,449	230,071	222,748	199,249	222,593	211,499	215,300	223,422
月平均加入者数	39,942,140	409,653	371,422	79,577	76,836	76,195	65,917	30,739	18,932	13,645	10,270

※ 左から月平均加入者数が多い二次医療圏順

# 山口支部加入者1人あたりの市町別各医療費の比較（令和4年度）

- 市町別で見た場合、1人あたりの医療費は上関町、美祢市、周防大島町が高くなっている。
- ただし、上位に挙げた市町は比較的加入者数が多くない地域であるため留意する必要がある。
- 先ほどの市町以外の市でみると、宇部市、山陽小野田市（宇部小野田圏）が高く、光市、下松市、周南市（周南圏）が低い。

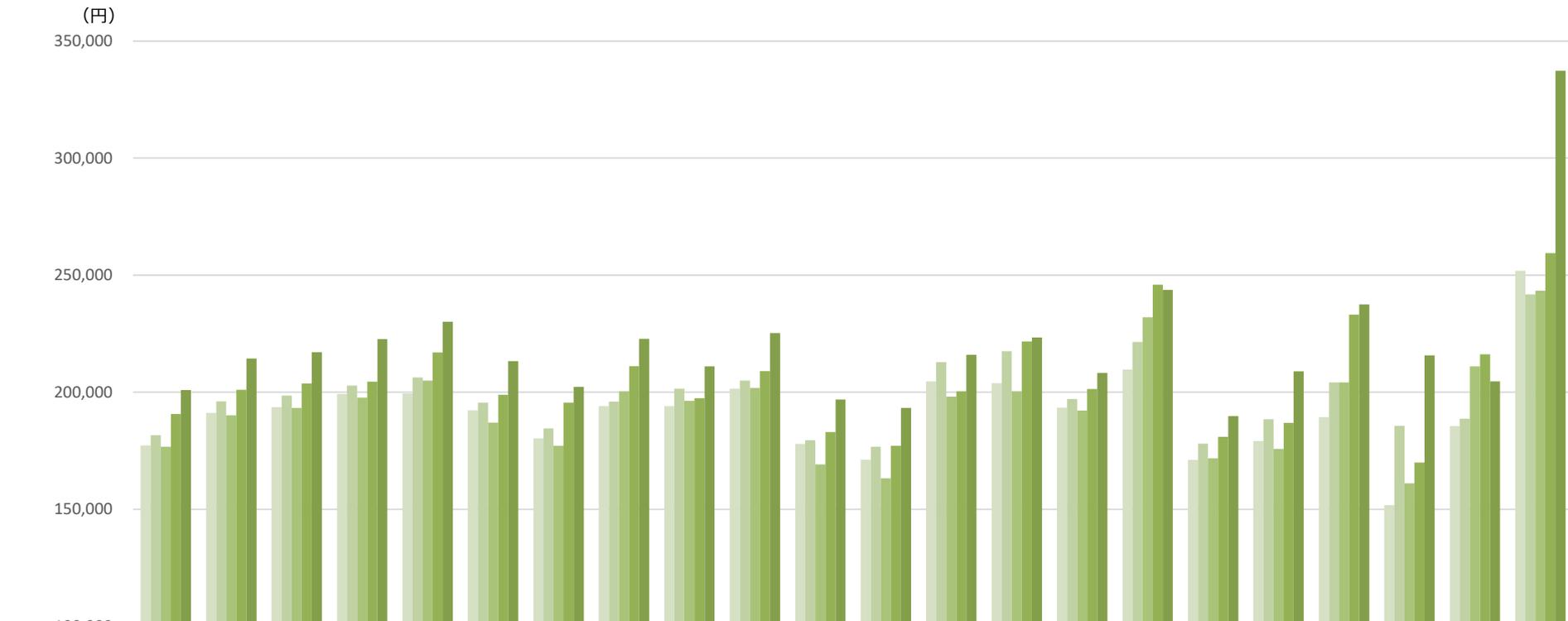


	熊毛郡上関町	美祢市	大島郡周防大島町	宇部市	山陽小野田市	長門市	岩国市	下関市	山口県内在住	萩市	玖珂郡和木町	山口支部（県外在住含む）	山口市	防府市	熊毛郡平生町	柳井市	阿武郡阿武町	周南市	下松市	光市	熊毛郡田布施町	県外
入院（山口県との差）	94,600	2,283	17,521	3,550	1,029	8,825	-23	5,350	0	5,098	362	-1,193	-1,893	-6,658	1,828	1,007	-13,264	-8,587	-10,662	-6,262	-4,423	-13,017
入院外（山口県との差）	24,301	24,995	5,726	9,000	6,930	941	3,902	964	0	-6,699	-5,736	-1,463	-3,471	2,239	-8,367	-8,194	-140	-7,267	-8,863	-14,769	-19,584	-15,959
歯科（山口県との差）	1,398	-618	-2,782	500	261	-3,400	1,882	-621	0	574	4,103	-22	1,547	-1,568	-1,584	-1,600	958	1,040	-652	-2,765	-3,278	-236
合計（山口県との差）	120,298	26,660	20,465	13,051	8,220	6,367	5,761	5,693	0	-1,027	-1,271	-2,677	-3,816	-5,987	-8,123	-8,787	-12,446	-14,815	-20,177	-23,795	-27,286	-29,212
一人当たり医療費（入院）	156,502	64,185	79,424	65,453	62,932	70,728	61,879	67,252	61,902	67,001	62,264	60,709	60,010	55,244	63,731	62,909	48,639	53,315	51,241	55,641	57,479	48,885
一人当たり医療費（入院外）	156,859	157,553	138,284	141,558	139,488	133,499	136,460	133,522	132,558	125,858	126,822	131,095	129,087	134,797	124,191	124,364	132,418	125,291	123,695	117,789	112,974	116,599
一人当たり医療費（歯科）	23,993	21,977	19,813	23,095	22,855	19,195	24,477	21,974	22,595	23,169	26,698	22,573	24,142	21,027	21,011	20,995	23,553	23,634	21,943	19,830	19,317	22,359
一人当たり医療費	337,353	243,715	237,520	230,106	225,275	223,422	222,816	222,748	217,055	216,028	215,784	214,378	213,239	211,068	208,932	208,268	204,609	202,241	196,879	193,260	189,769	187,843
平均加入者数	445	6,370	2,846	51,972	18,494	10,270	29,746	76,195	196,337	12,775	996	393,670	50,639	28,939	3,207	8,019	870	37,849	15,162	12,906	4,415	37,544

※被保険者の住所地ベース。

# 山口支部加入者1人あたりの医療費の市町別経年変化

- 令和2年度を除き、一人あたり医療費が右肩上がりに伸びている。
- 熊毛郡の令和4年度が高いが加入者数が比較的多くない地域ではあるため留意する必要がある。



	全国	山口支部	山口県市町	下関市	宇部市	山口市	周南市	岩国市	防府市	山陽小野田市	下松市	光市	萩市	長門市	柳井市	美祢市	熊毛郡田布施町	熊毛郡平生町	大島郡周防大島町	玖珂郡和木町	阿武郡阿武町	熊毛郡上関町
H30	177,308	191,139	193,607	199,306	199,455	192,281	180,304	194,127	194,057	201,457	177,967	171,202	204,614	203,810	193,469	209,712	171,036	179,107	189,424	151,816	185,614	251,863
R01	181,661	196,143	198,612	202,830	206,286	195,518	184,504	195,949	201,531	205,007	179,533	176,716	212,824	217,601	197,168	221,485	178,032	188,519	204,195	185,641	188,651	241,814
R02	176,650	190,132	193,282	197,717	204,972	186,987	177,186	200,385	196,279	201,857	169,187	163,241	198,075	200,409	192,132	231,982	171,711	175,828	204,139	161,096	211,008	243,360
R03	190,775	201,026	203,789	204,575	217,040	198,928	195,568	211,116	197,402	208,970	182,952	177,129	200,392	221,716	201,332	245,977	180,917	186,880	233,197	169,936	216,214	259,384
R04	200,954	214,378	217,055	222,748	230,106	213,239	202,241	222,816	211,068	225,275	196,879	193,260	216,028	223,422	208,268	243,715	189,769	208,932	237,520	215,784	204,609	337,353
月平均加入者数	39,942千	409,653	371,422	76,204	52,108	50,353	37,447	29,818	28,945	18,535	14,708	12,906	12,838	10,319	8,048	6,390	4,426	3,220	2,849	993	870	445

※ 左から月平均加入者数が多い二次医療圏順

# 加入者1人あたりの医療費（診療種別）の山口支部業態平均の比較（令和4年度）

- 山口支部業態平均との差をみると、**公務、運輸業・郵便業が高く、鉱業・砕石業・砂利採取業、情報通信業が低くなっている。**
- ただし、令和4年10月から適用拡大の影響があり、特に「公務」は加入者が大きく減少しているため留意する必要がある。



	1018公務（他に分類されるものを除く）	1007運輸業、郵便業	1009金融業、保険業	1003建設業	1016複合サービス事業	1017サービス業（他に分類されないもの）	1011学術研究、専門・技術サービス業	1010不動産業、物品賃貸業	1015医療、福祉	業態平均	1012宿泊業、飲食サービス業	1005電気・ガス・熱供給・水道業	1008卸売業、小売業	1001農林水産業	1014教育、学習支援業	1013生活関連サービス業、娯楽業	1004製造業	1006情報通信業	1002鉱業、採石業、砂利採取業
平均加入者数	4,222	31,842	2,090	60,818	6,389	32,396	10,550	7,169	84,175	401,658	8,339	2,443	49,106	3,451	3,347	12,189	77,195	4,587	1,352
■ 入院	7,999	18,699	19,311	7,934	542	(96)	(2,102)	711	(5,155)	0	4,892	(4,762)	(497)	1,511	(10,420)	(5,863)	(6,657)	(13,914)	(20,214)
■ 入院外	28,297	6,388	(2,620)	4,319	7,142	7,496	5,777	3,061	5,883	0	(7,556)	807	(4,047)	(12,652)	(6,665)	(11,144)	(12,280)	(7,486)	(2,026)
■ 歯科	8,879	371	2,414	(853)	789	962	2,191	1,887	(49)	0	(594)	382	141	(1,079)	823	(125)	(921)	38	(513)
● 総計	45,176	25,459	19,105	11,401	8,472	8,361	5,866	5,659	679	0	(3,258)	(3,574)	(4,403)	(12,220)	(16,262)	(17,132)	(19,859)	(21,362)	(22,753)

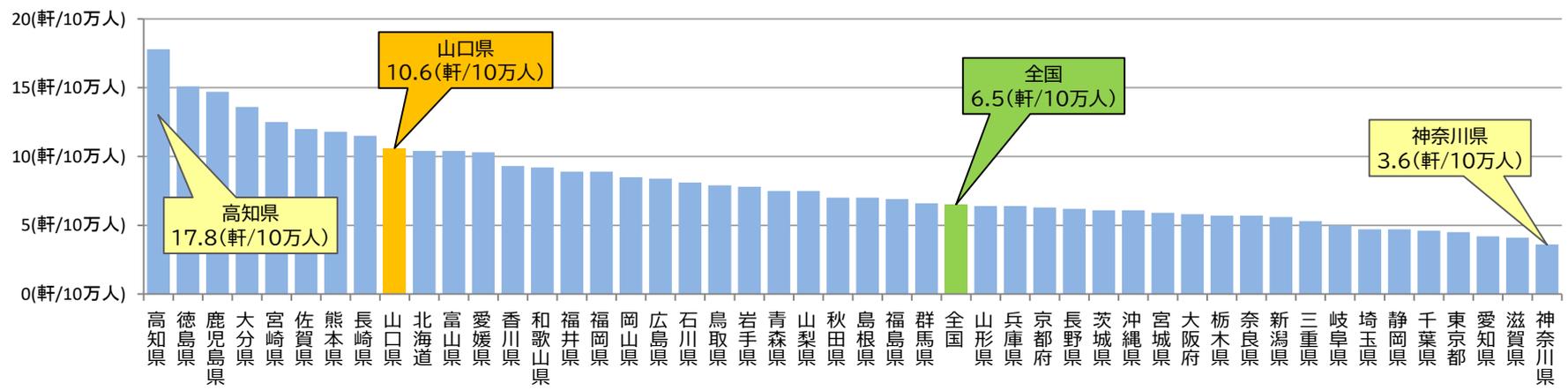
※総務省「日本標準産業分類」の分類コードを参考に分類。

## VII.山口県医療提供体制にかかる全国との比較

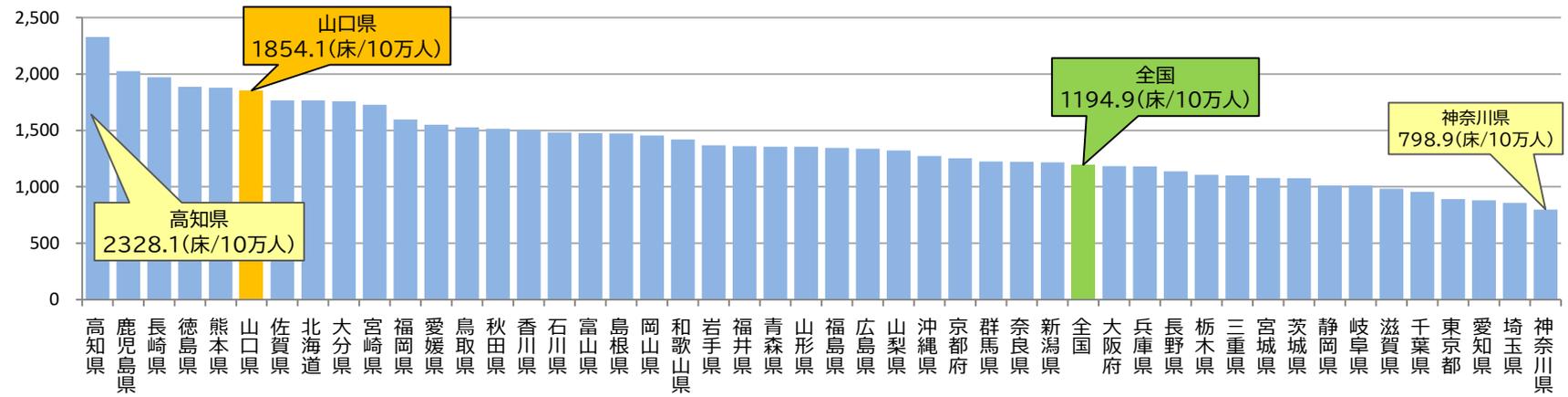
# 人口10万人対病院数と病床数の全国比較（令和4年度）

○ 山口県は人口10万人対病院数は全国で9番目に多く、人口10万人対病院病床数については全国で6番目に多い。

## ◆人口10万人対病院数



## ◆人口10万人対病院の病床数

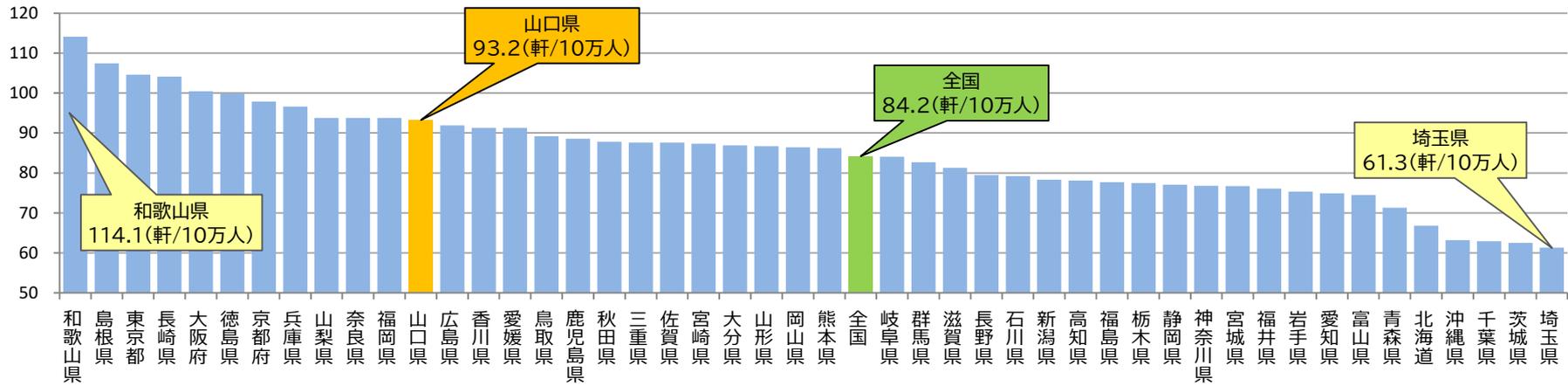


出典：医療施設調査（厚生労働省）  
令和4年（令和4年10月1日現在）

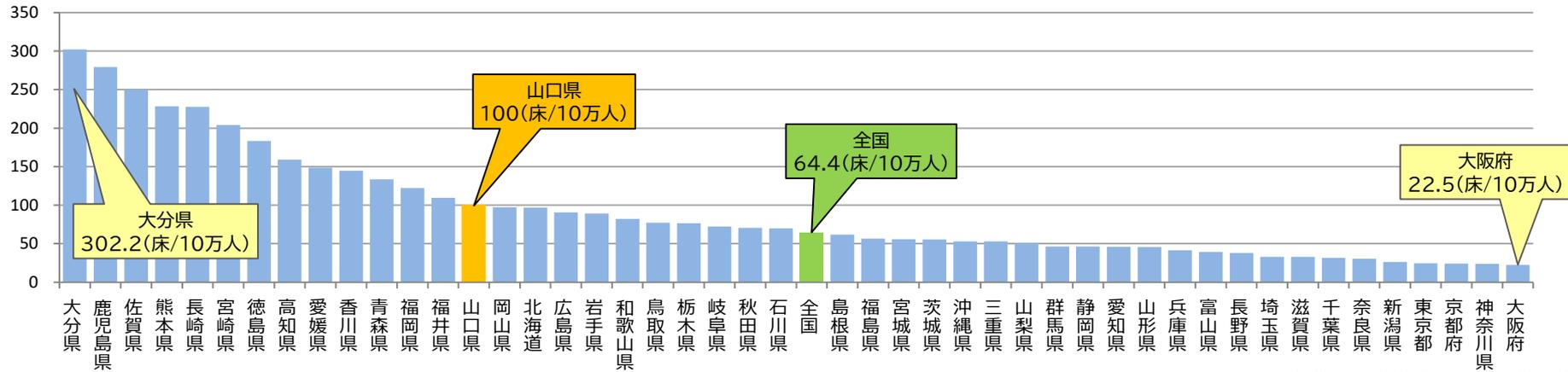
# 人口10万人対診療所数と病床数の全国比較（令和4年度）

○ 山口県は人口10万人対診療所数は全国で12番目に多く、人口10万人対診療所病床数については全国で14番目に多い。

## ◆人口10万人対診療所数



## ◆人口10万人対診療所の病床数

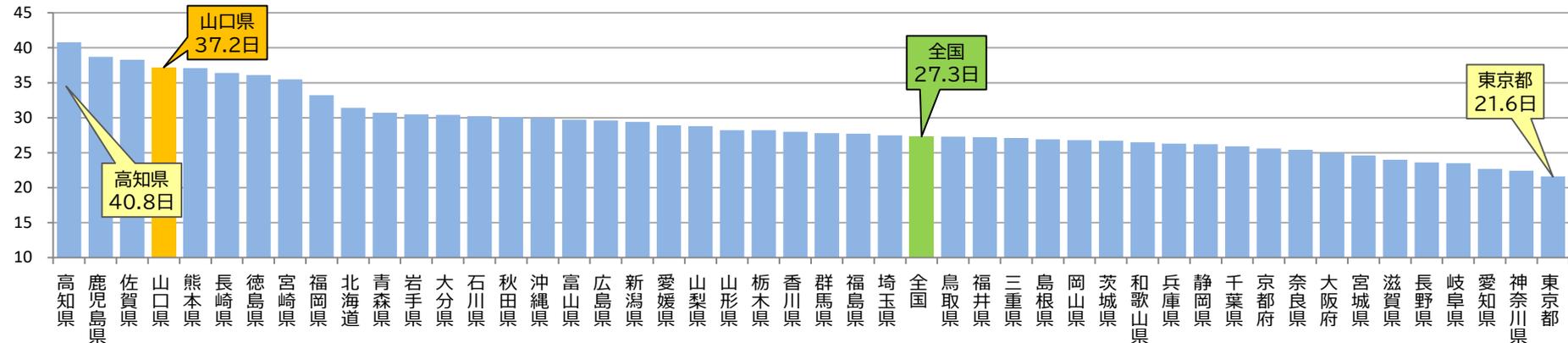


出典：医療施設調査（厚生労働省）  
令和4年（令和4年10月1日現在）

# 平均在院日数および医師数の全国比較（令和4年度）

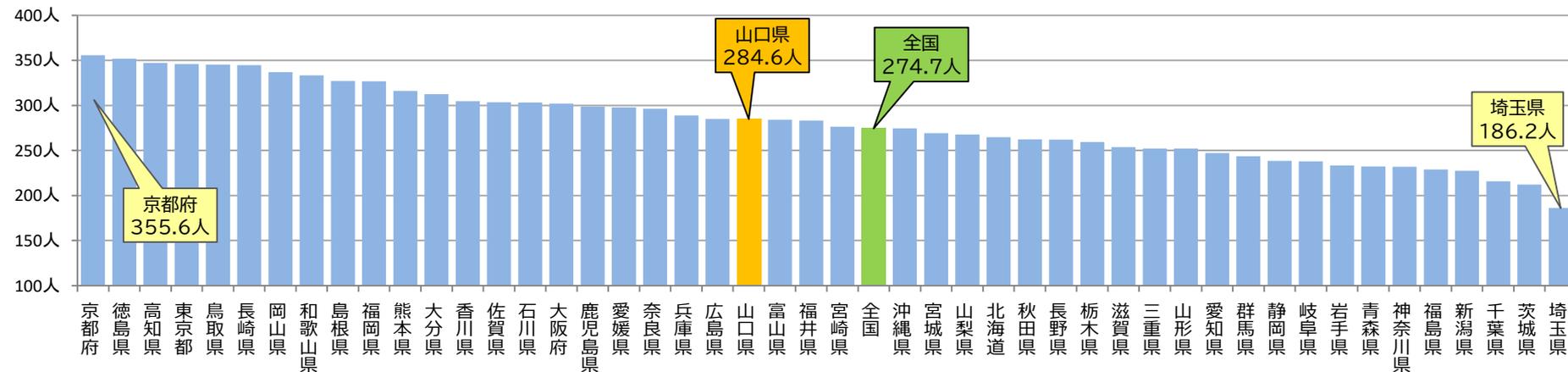
- 山口県は平均在院日数が**全国4位と非常に高くなっている**。
- 医師数については**全国22位と全国平均より少し高くなっている**。

## ◆ 平均在院日数



出典：令和4年病院報告（厚生労働省）

## ◆ 人口10万人対医師数



出典：医師・歯科医師・薬剤師統計（厚生労働省）  
令和4年（令和4年12月31日現在）

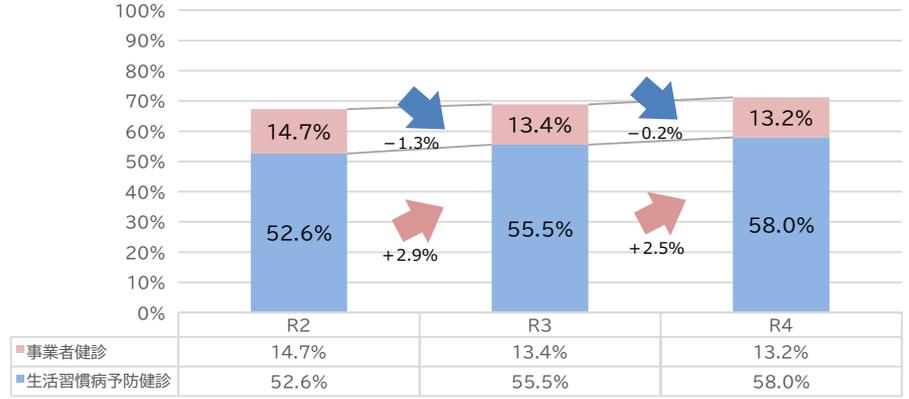
## VIII.山口支部健診実施率

# 年度別 健診実施率

- 山口支部及び全国の健診実施率は年々増加している。
- 事業者健診の取得率が低下しているものの、全国よりは高い状況となっている。

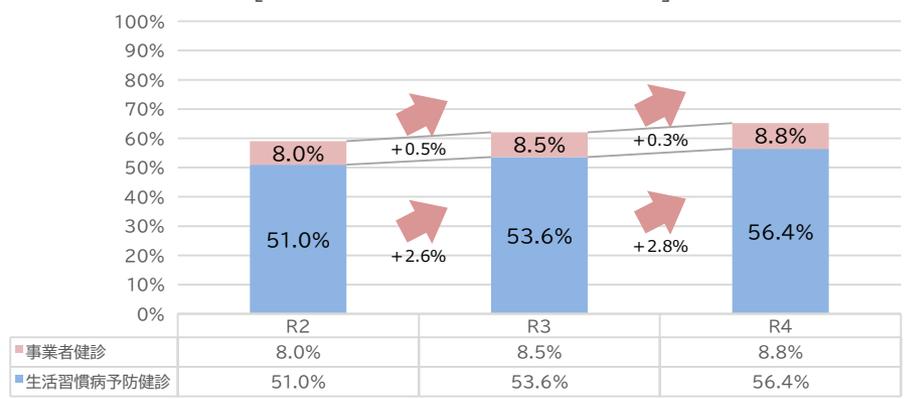
## 【山口支部】

被保険者の健診実施率  
[生活習慣病予防健診+事業者健診]

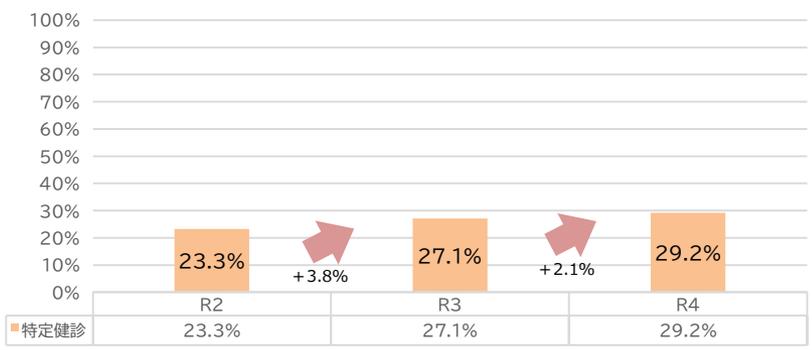


## 【全国】

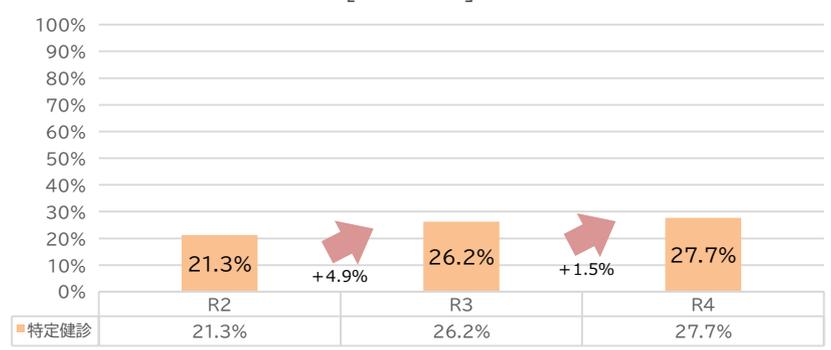
被保険者の健診実施率  
[生活習慣病予防健診+事業者健診]



被扶養者の健診実施率  
[特定健診]



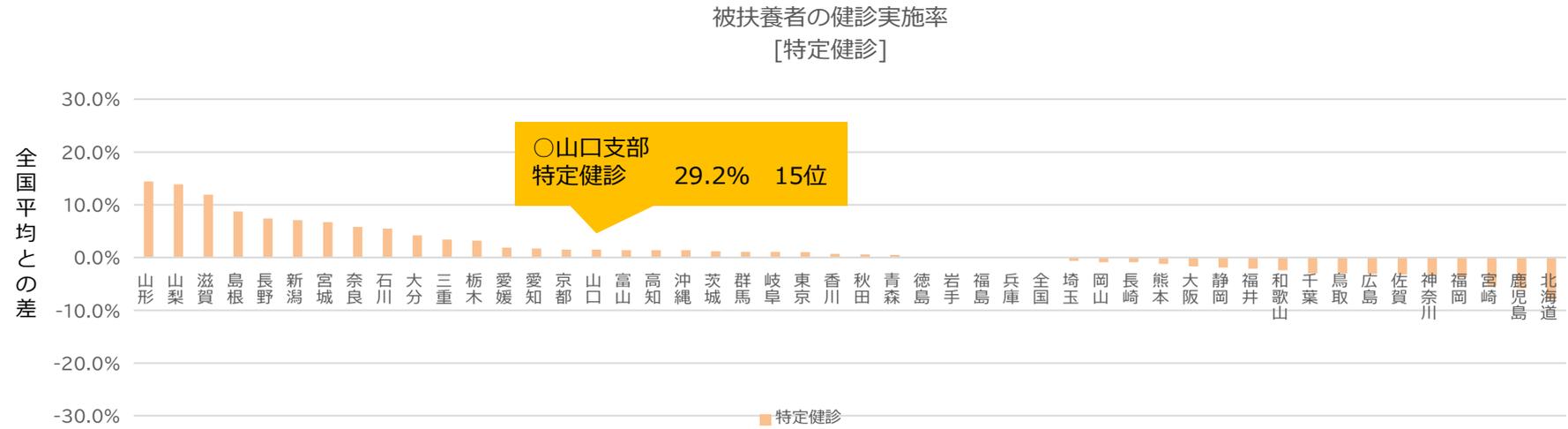
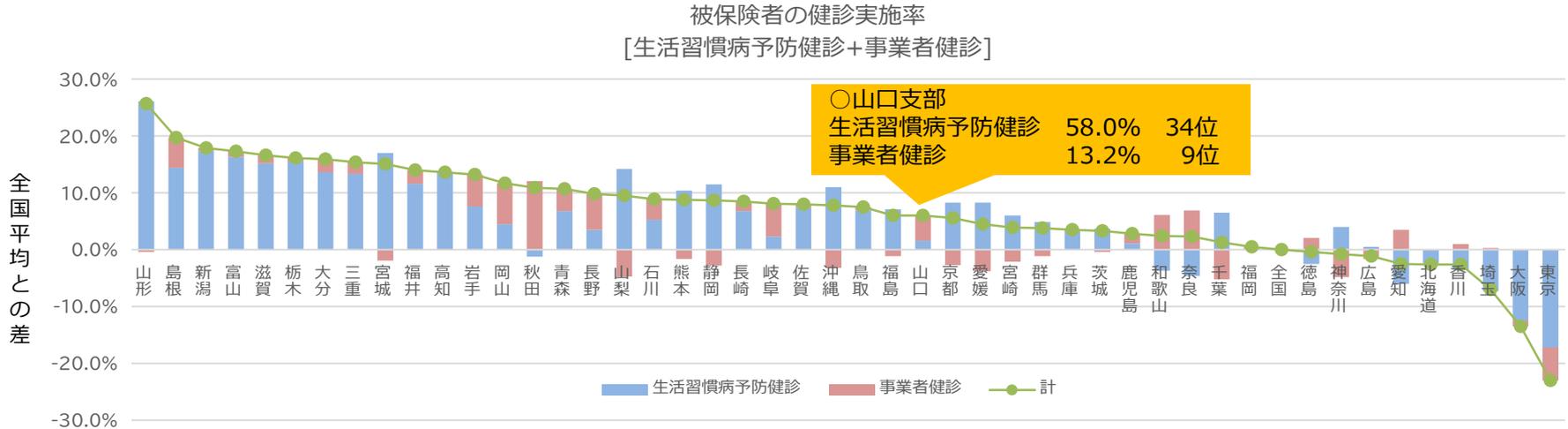
被扶養者の健診実施率  
[特定健診]



※協会けんぽ事業報告書より作成

# 令和4年度 健診実施率の全国比較

○ 山口支部は被保険者及び被扶養者の健診において、全国平均よりも高く、特に事業者健診の取得率が高い。

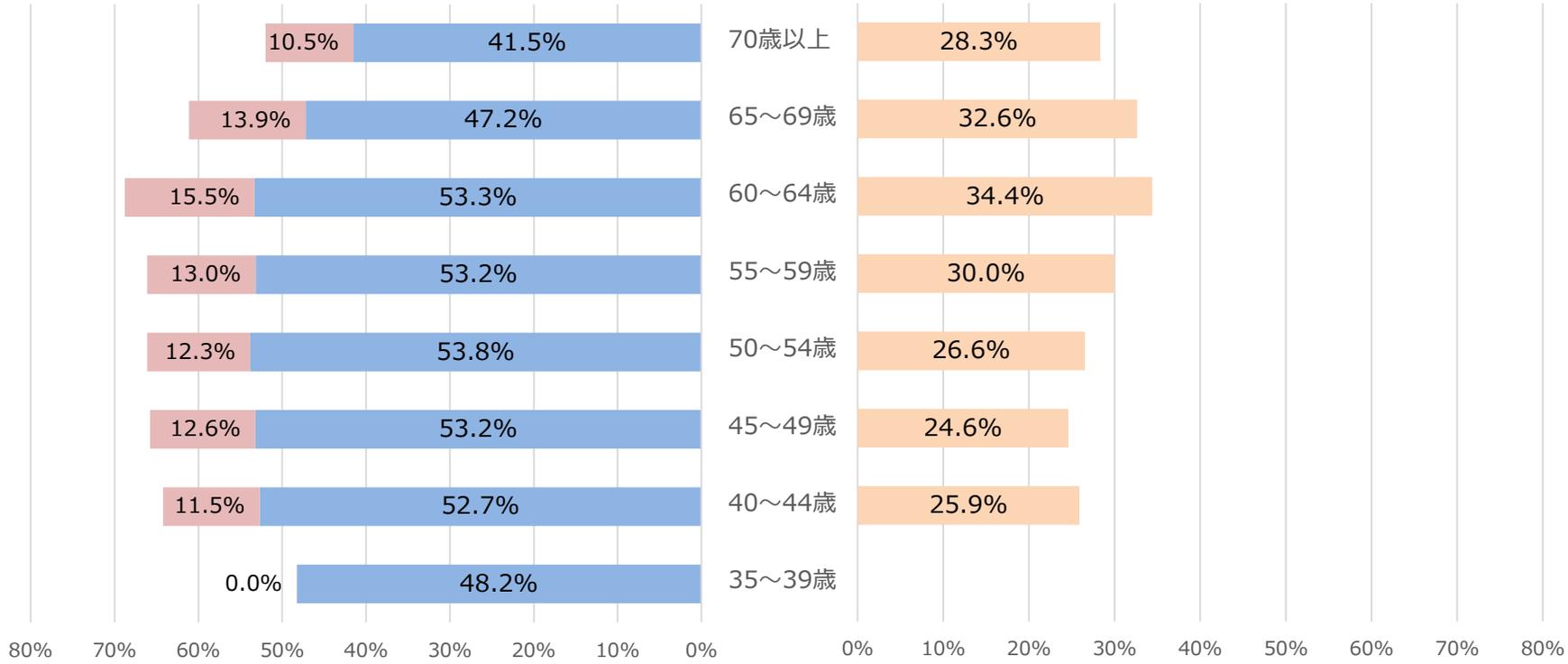


# 令和4年度 被保険者被扶養者別 年齢階級別 健診実施率

- 被保険者は年齢層に大きなばらつきはないが、35～39歳、65歳以上の健診実施率が若干低い。
- 被扶養者は60歳台の実施率が高く、その他の年代は若干低い。

被保険者の健診実施率  
[生活習慣病予防健診+事業者健診]

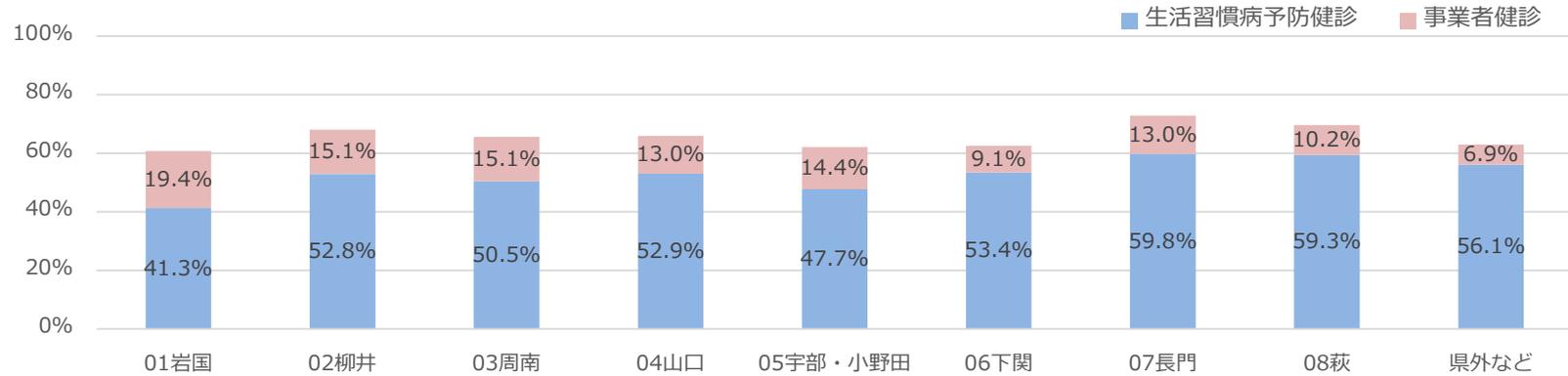
被扶養者の健診実施率  
[特定健診]



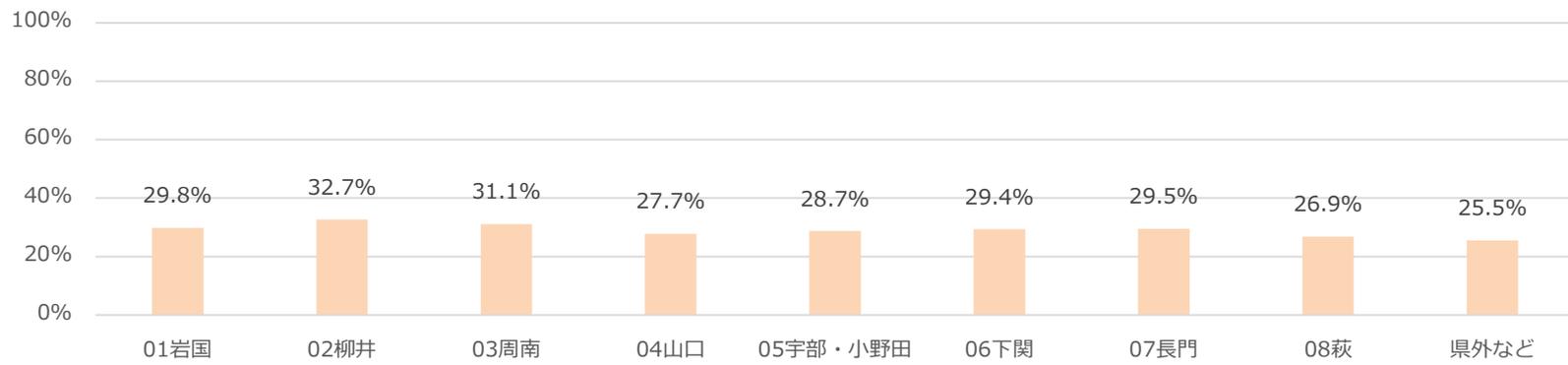
# 令和4年度 地域別 健診実施率

- 被保険者は長門圏、萩圏が比較的高く、岩国圏、宇部小野田圏が比較的低い。
- 被扶養者は柳井圏、周南圏が比較的高く、県外など、萩圏が比較的低い。

被保険者の健診実施率  
[生活習慣病予防健診+事業者健診]



被扶養者の健診実施率  
[特定健診]



※住所地は被保険者の住所で集計

## IX.山口支部健診結果データの全国との比較

# リスク保有率とは…

○ **リスク保有率**とは、健診結果をもとに健診実施者のうち下表の基準に該当する方の割合を示したもので、リスク保有率が高いほど、生活習慣病になりやすいといわれている。

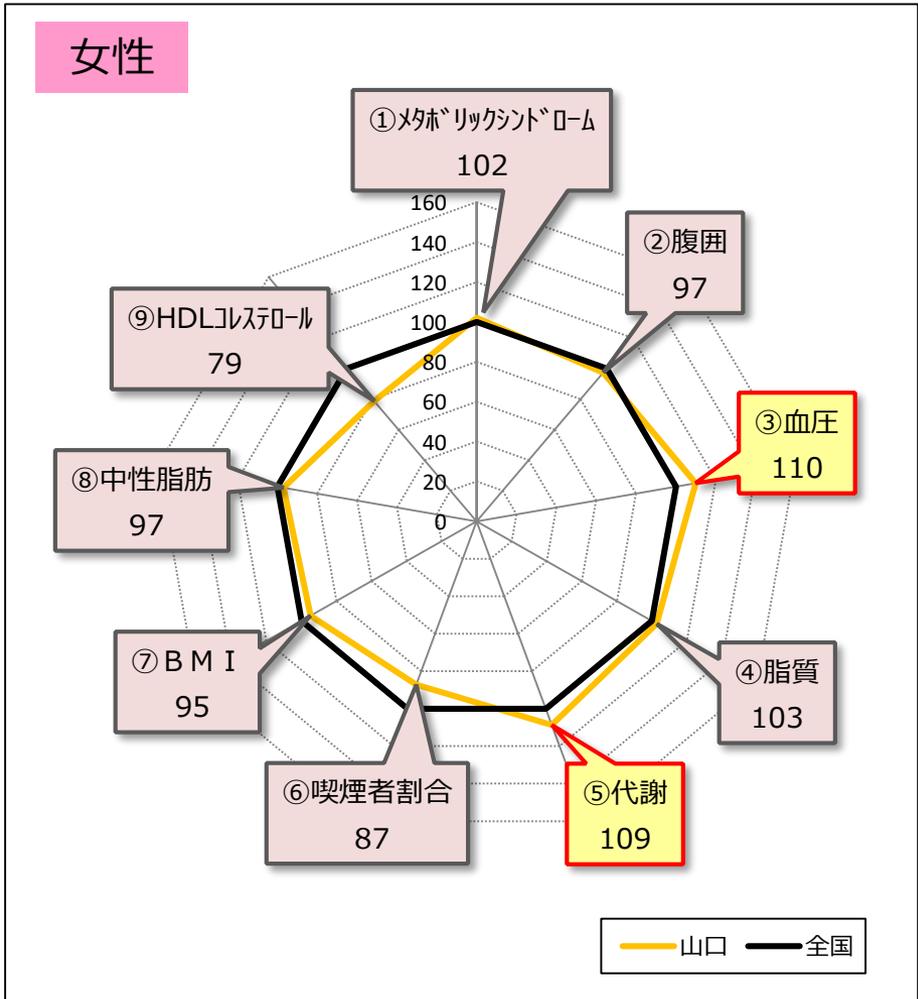
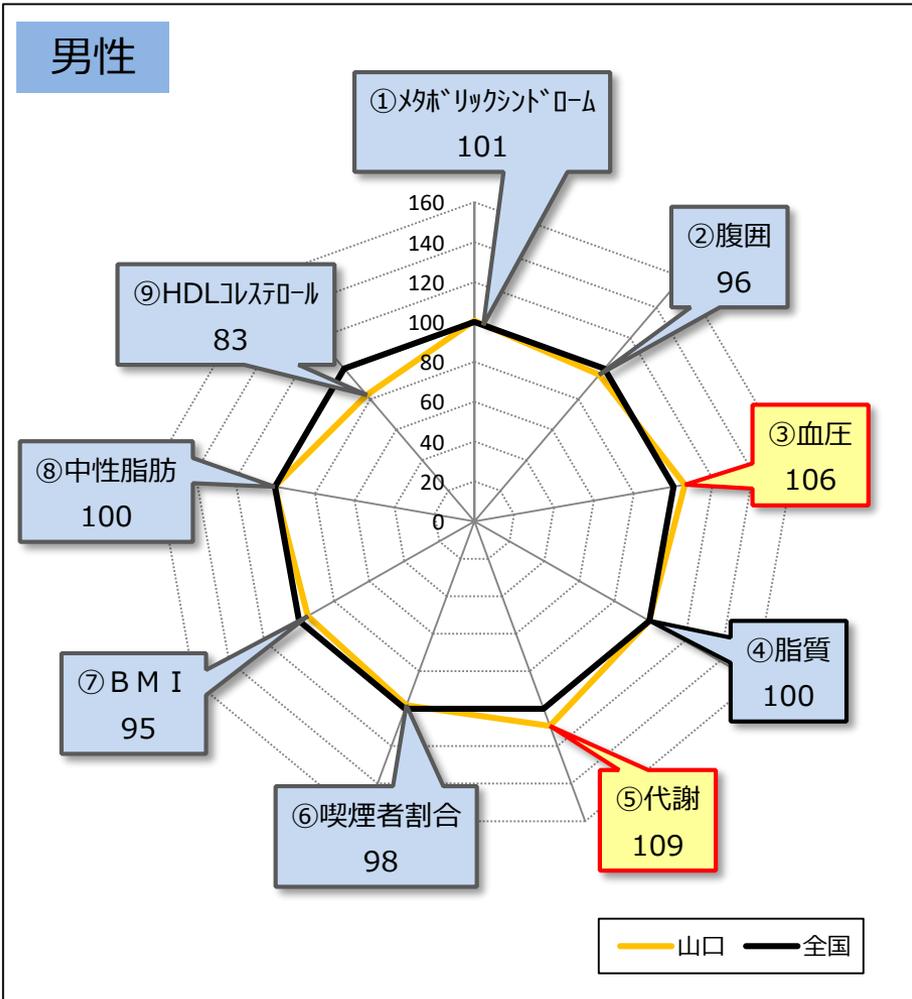
## ◆リスク保有率とは…

①メタボリックシンドロームのリスク保有率	・ ②かつ③～⑤のうち2項目以上に該当
②腹囲のリスク保有率	・ 内臓脂肪面積が100cm <sup>2</sup> 以上 ・ 内臓脂肪面積の検査値がない場合は、腹囲が男性で85cm以上、女性で90cm以上
③血圧のリスク保有率	・ 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、または高血圧に対する薬剤治療あり
④脂質のリスク保有率	・ 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、または脂質異常症に対する薬剤治療あり
⑤代謝のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり ・ 空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c 6.0%以上、または糖尿病に対する薬剤治療あり
⑥喫煙者の割合（参考）	・ 喫煙あり
⑦BMIのリスク保有率	・ BMI 25以上
⑧中性脂肪のリスク保有率（参考）	・ 中性脂肪150mg/dl以上
⑨HDLコレステロールのリスク保有率（参考）	・ HDLコレステロール40mg/dl未満
⑩空腹時血糖のリスク保有率	・ 空腹時血糖110mg/dl以上

➤ 上記のリスク保有基準を踏まえ、次ページから各項目のリスク保有率についてみてみましょう。

# 各種リスク保有率の全国比較（令和4年度）

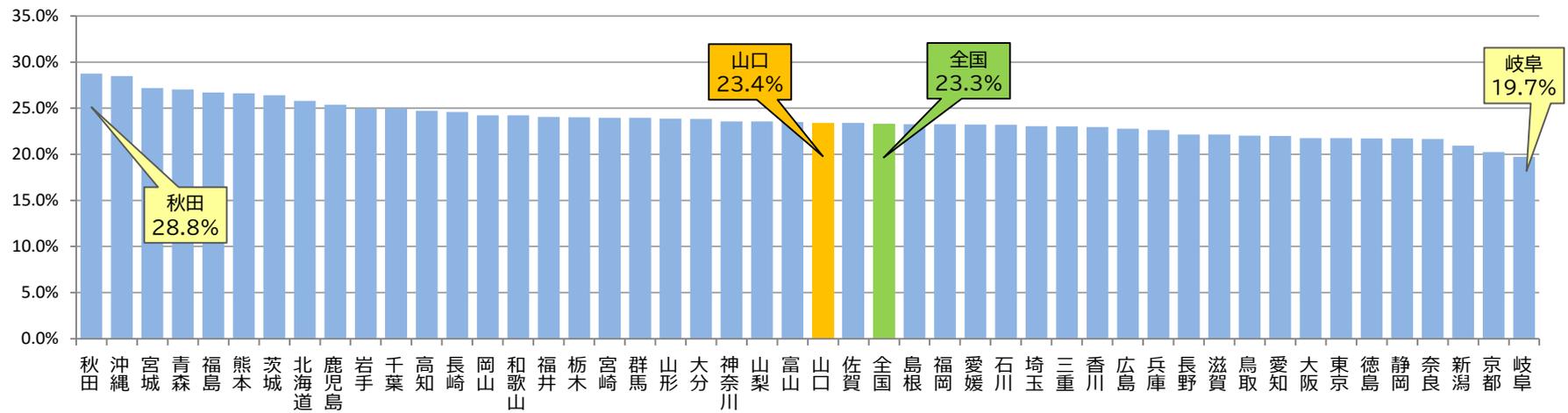
- 健診結果データをもとに全国の各種リスク保有率を100とした場合（下図の黒線）、山口支部加入者の各種リスク保有率は下図の黄色線のとおり。
- 男女ともに血圧、代謝が高い。



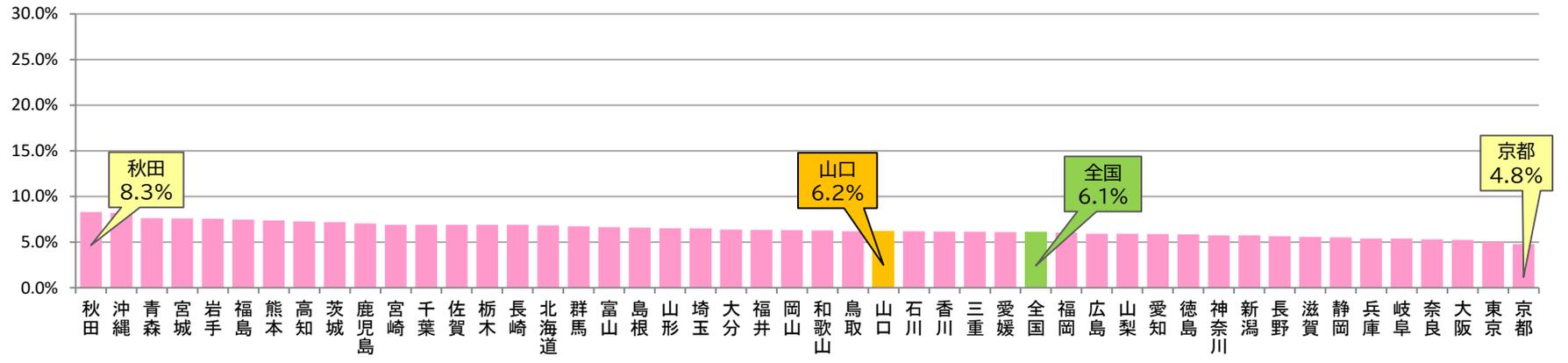
# メタボリックシンドロームリスク保有率の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は男女ともに全国平均並み。

## 男性



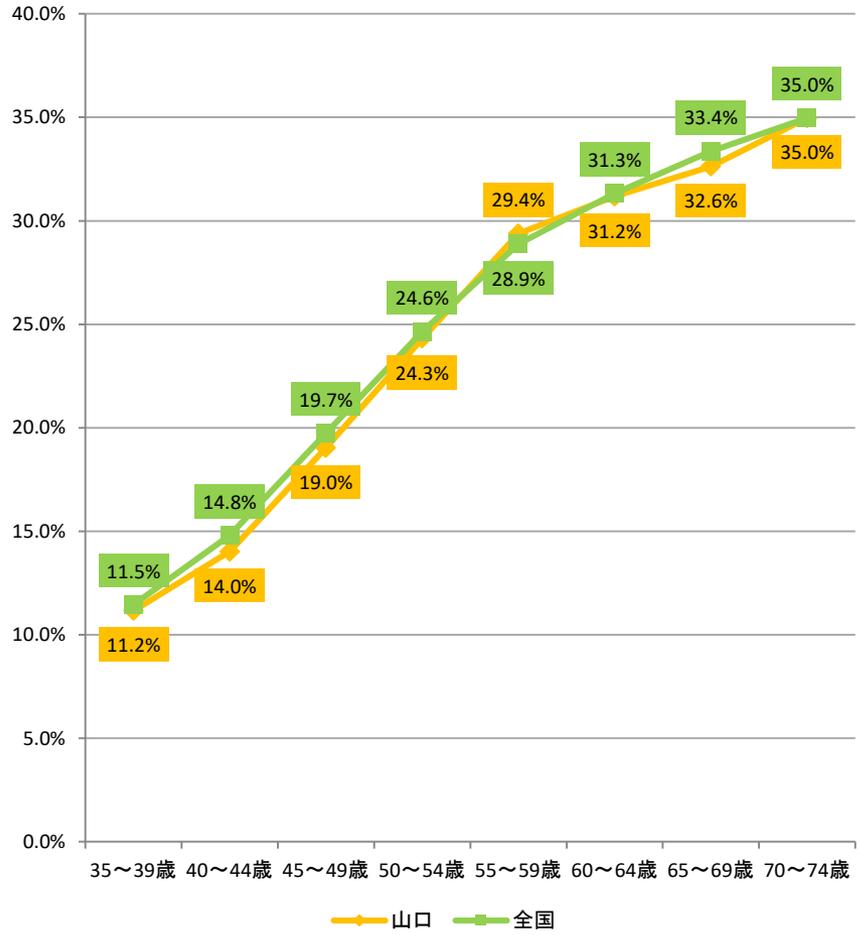
## 女性



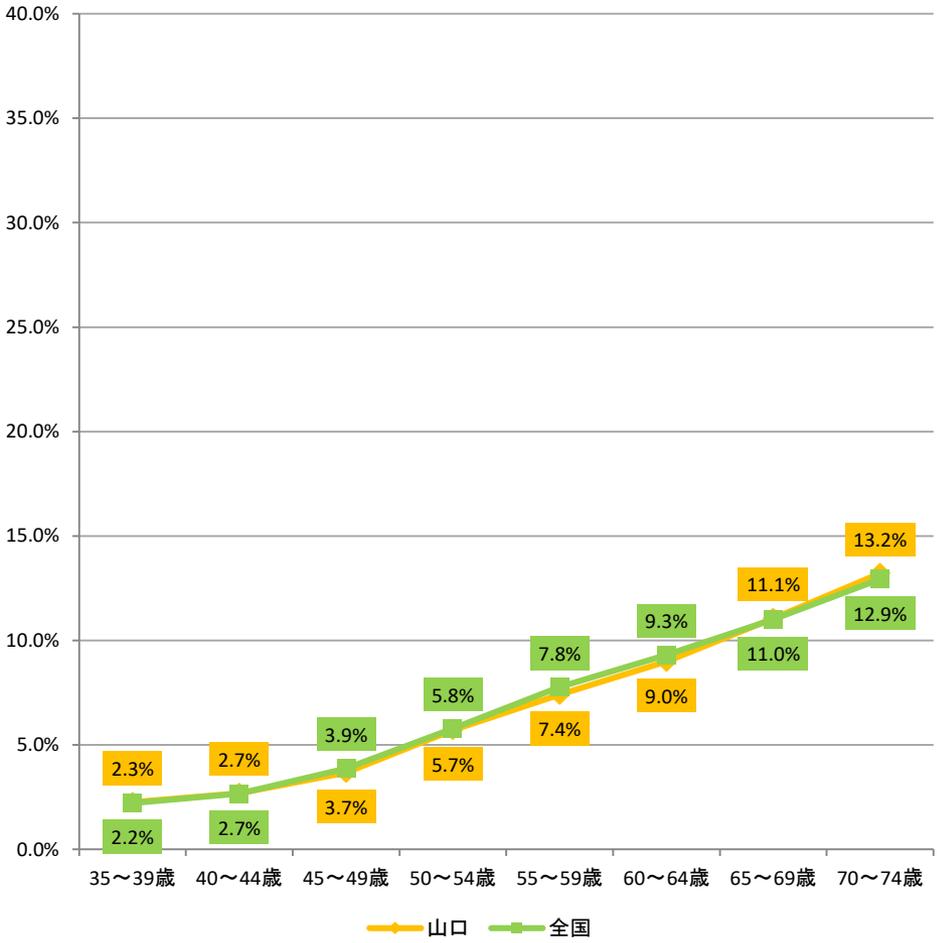
# メタボリックシンドロームリスク保有率の年齢階級別比較（令和4年度）

○ 山口支部は男女ともに全国平均並み。

## 男性

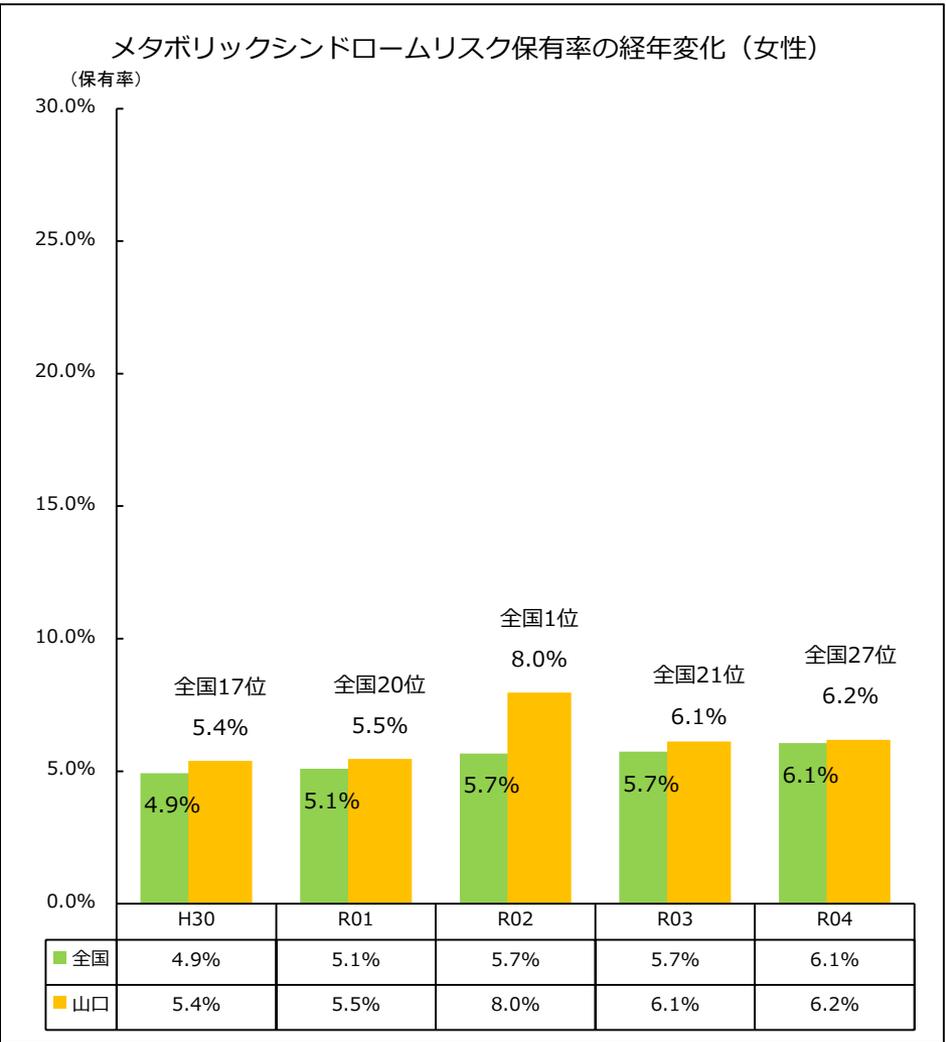
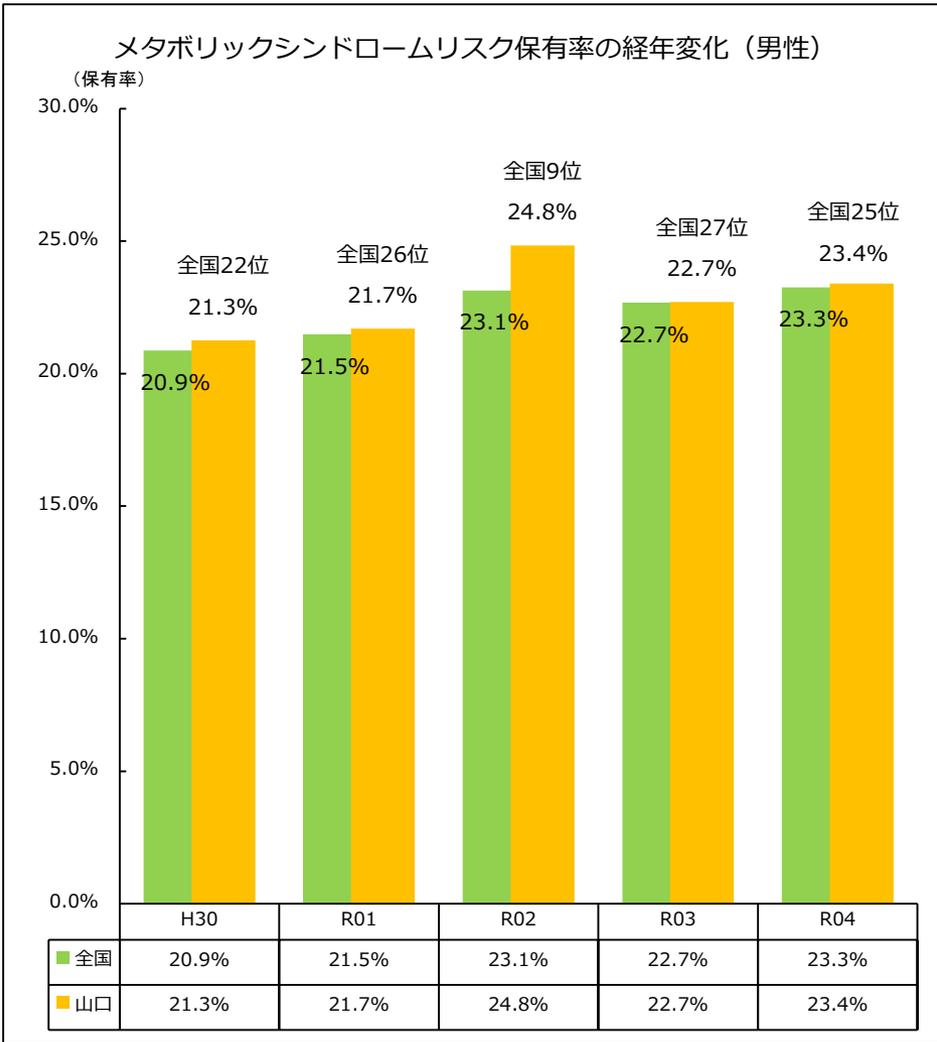


## 女性



# メタボリックシンドロームリスク保有率の経年変化

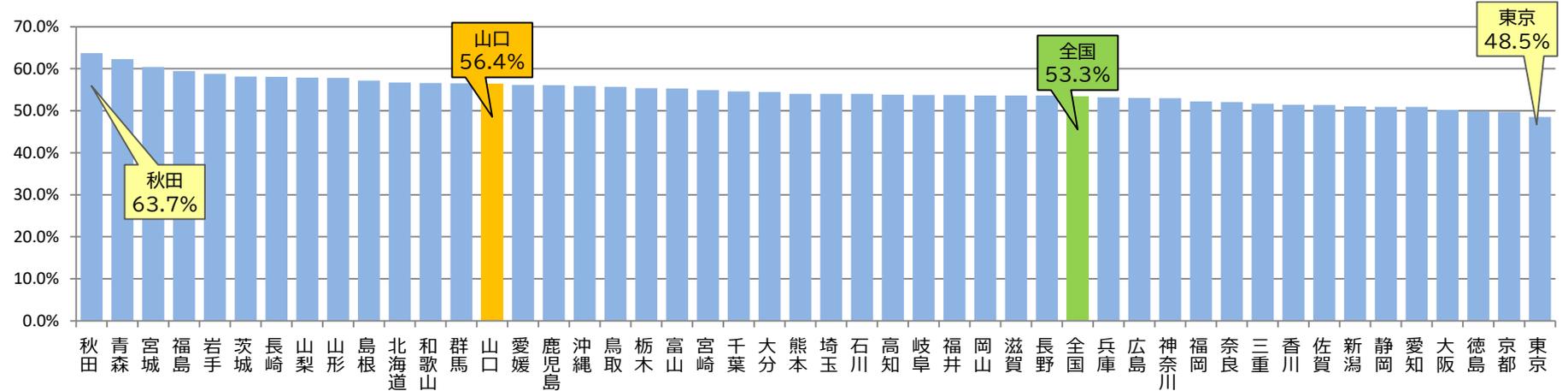
○ 概ね全国並みではあるが、令和2年度（新型コロナ流行期）は男女ともにリスク保有率が高くなった。



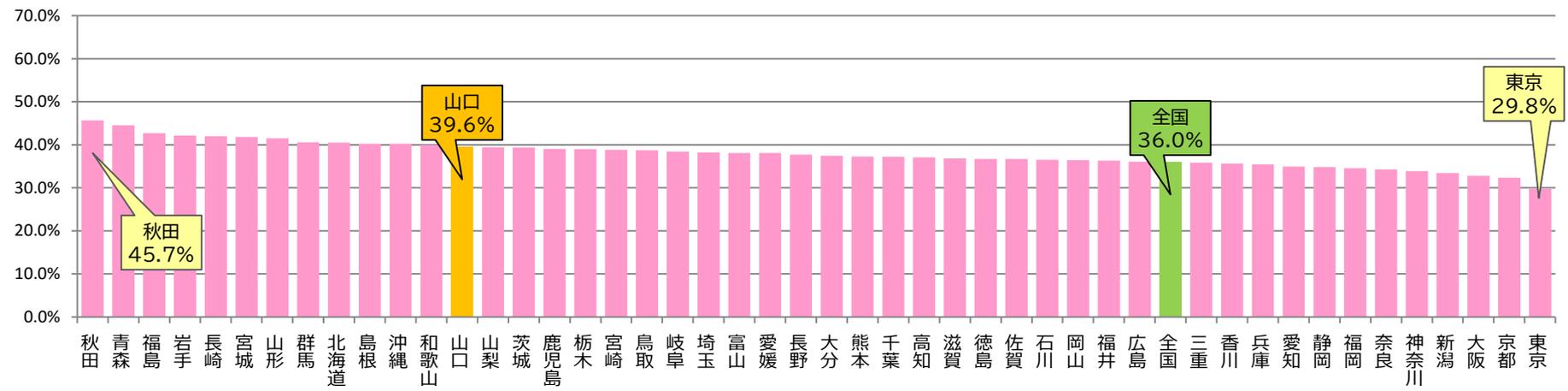
# 血圧リスク保有率の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は**男性は全国14位、女性は全国13位**と**全国と比較して高い**。

## 男性



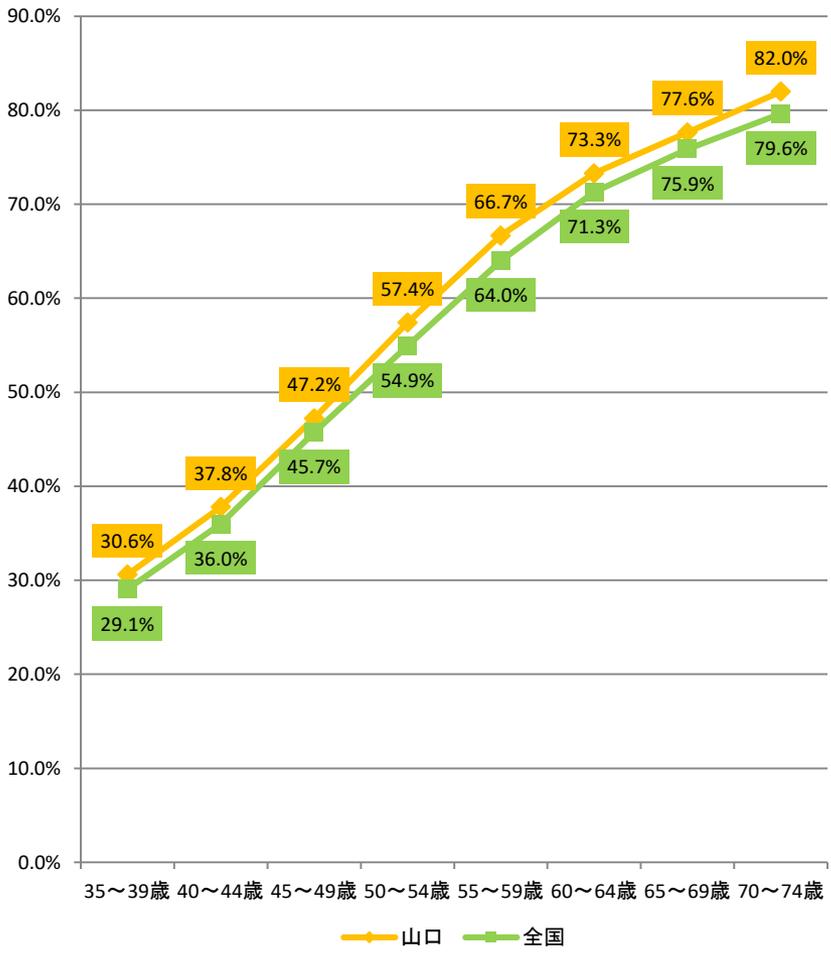
## 女性



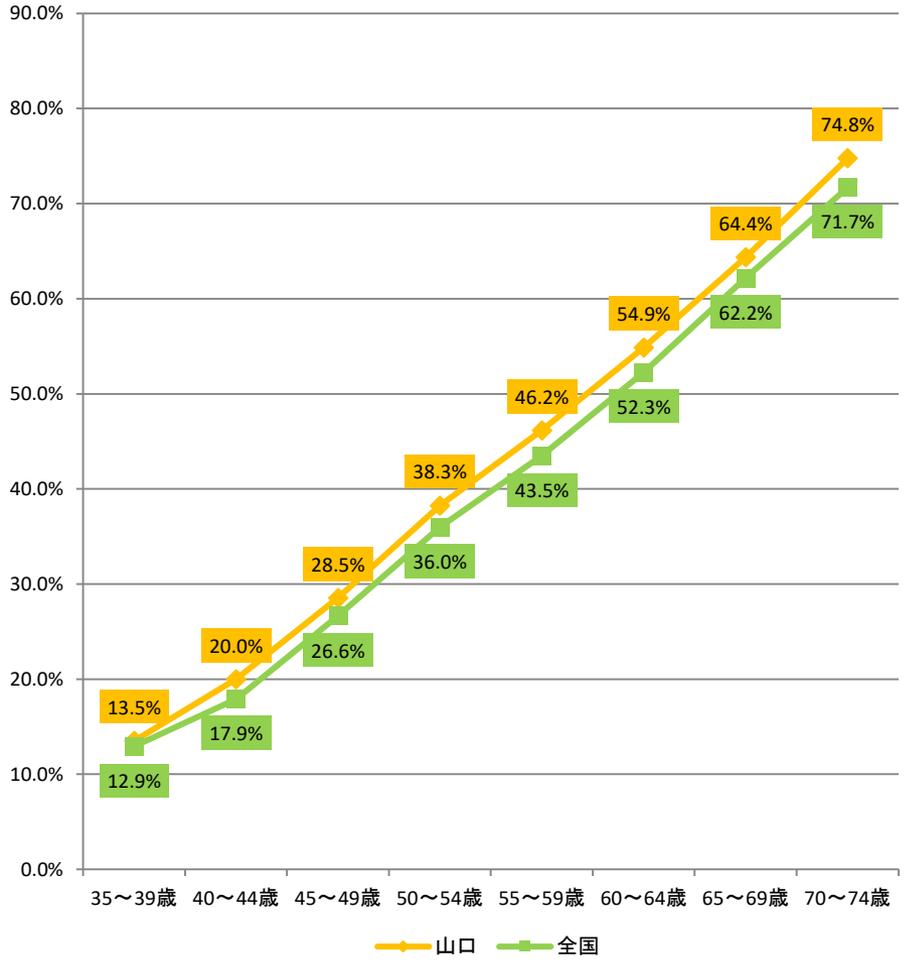
# 血圧リスク保有率の年齢階級別比較（令和4年度）

○ 山口支部は男女とも全年齢階級において全国平均よりも高い。

## 男性

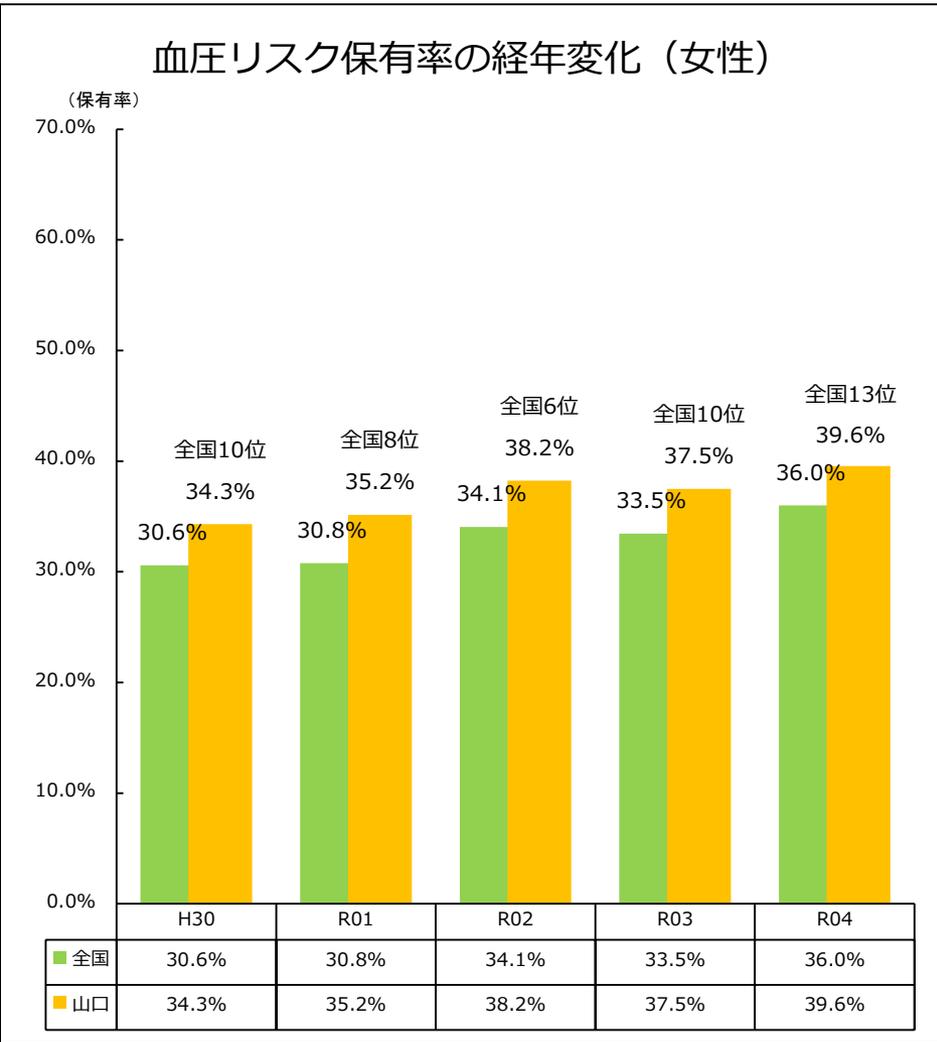
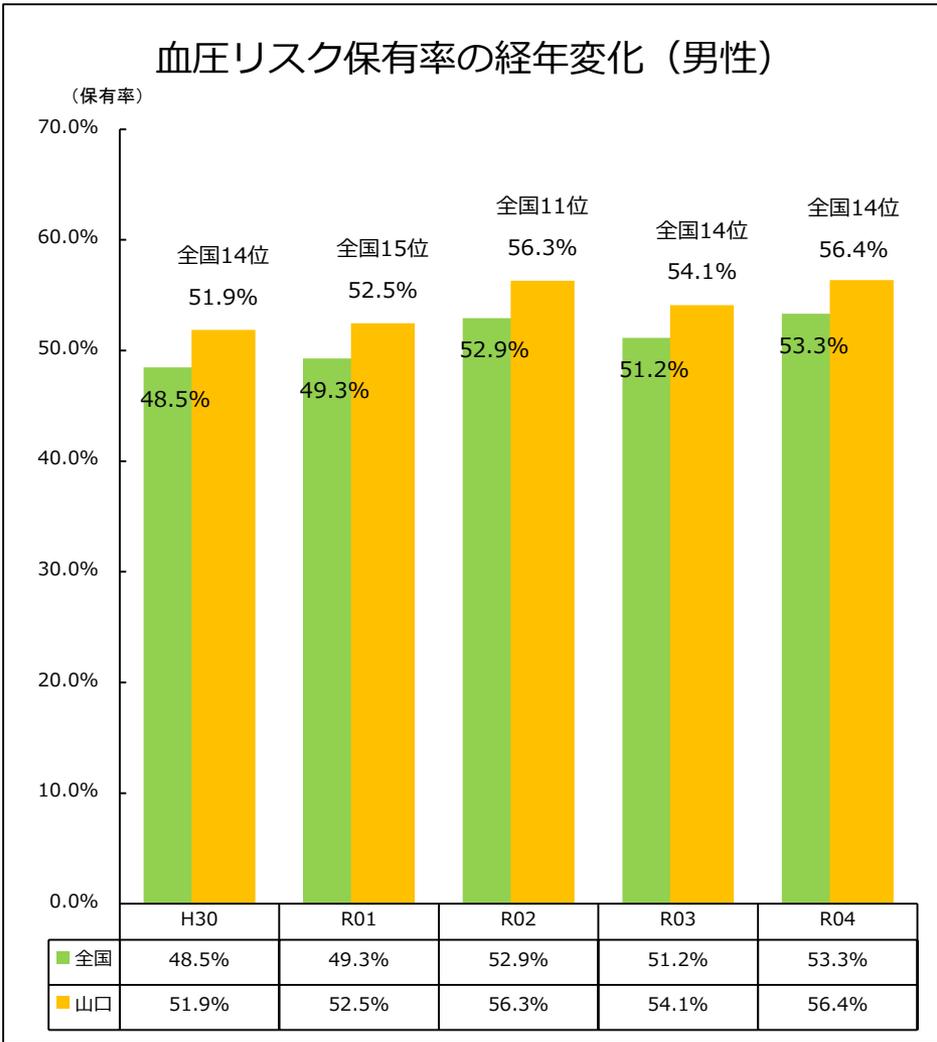


## 女性



# 血圧リスク保有率の経年変化

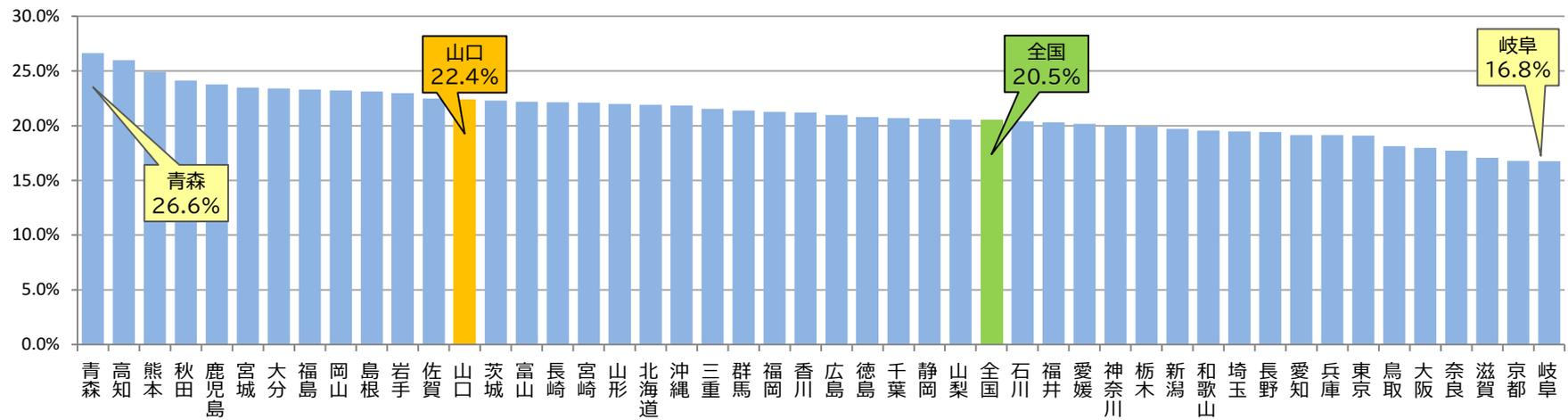
○ 男女ともに年々増加している。



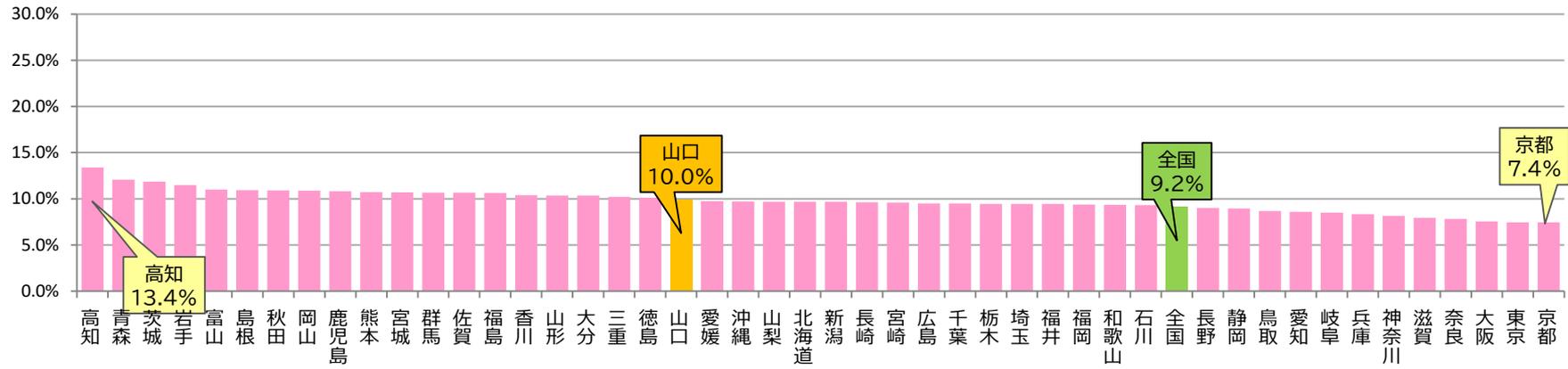
# 代謝リスク保有率の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は**男性は全国13位、女性は全国20位**と全国と比較して高い。

## 男性



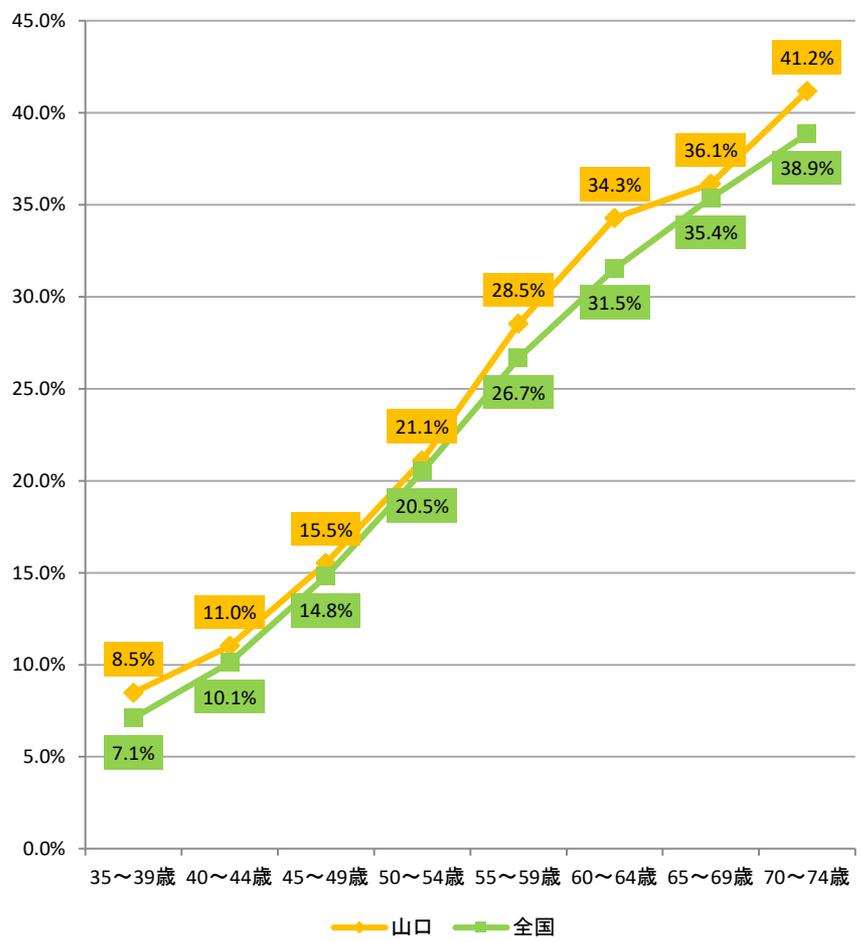
## 女性



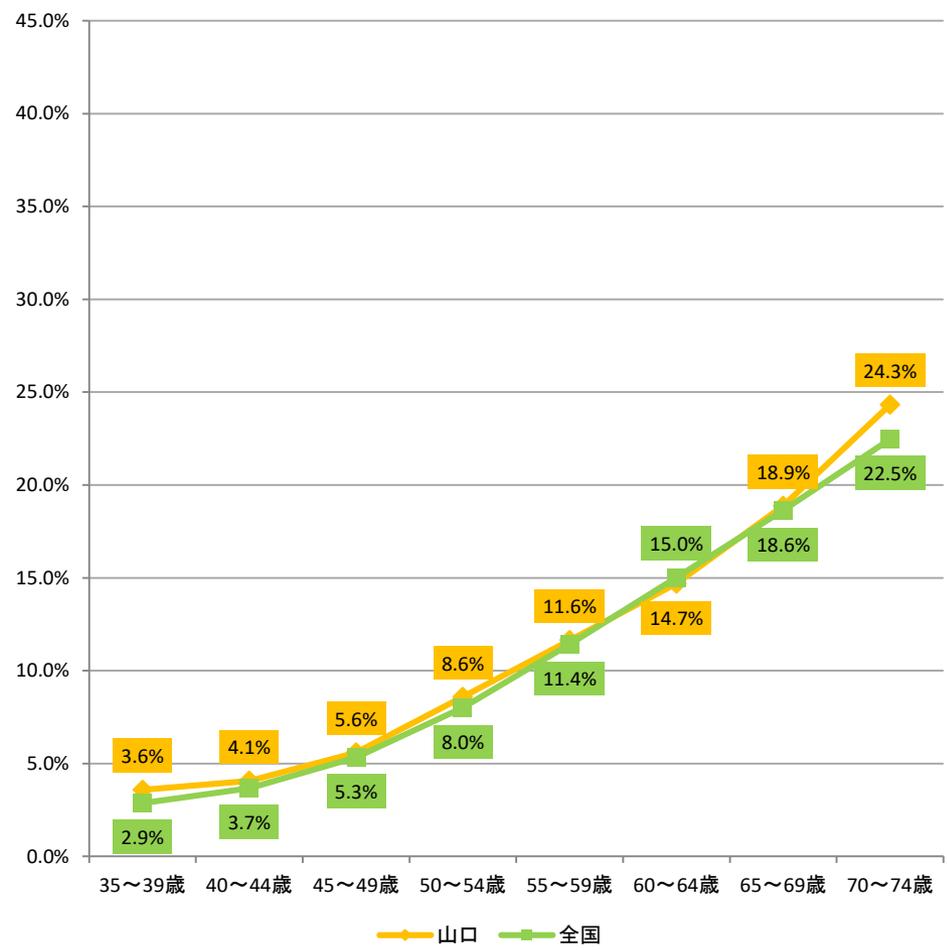
# 代謝リスク保有率の年齢階級別比較（令和4年度）

○ 山口支部は男女ともに全国平均よりも高い傾向があり、特に男性の55歳以降が高い傾向にある。

## 男性



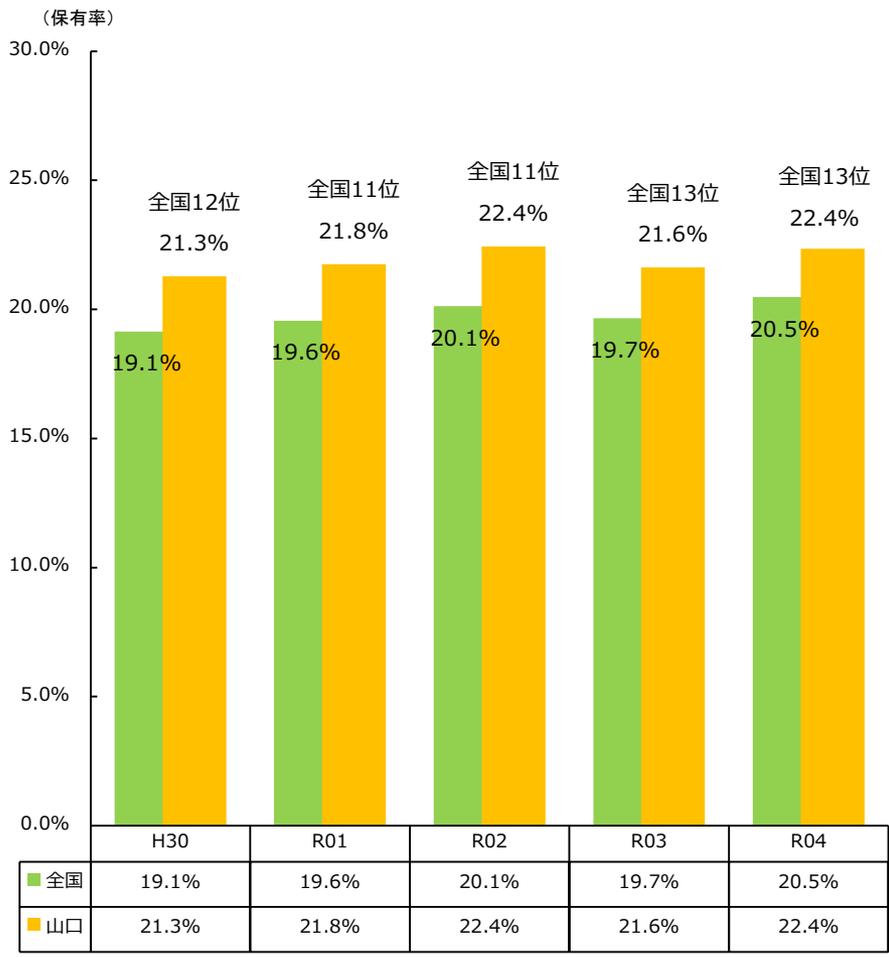
## 女性



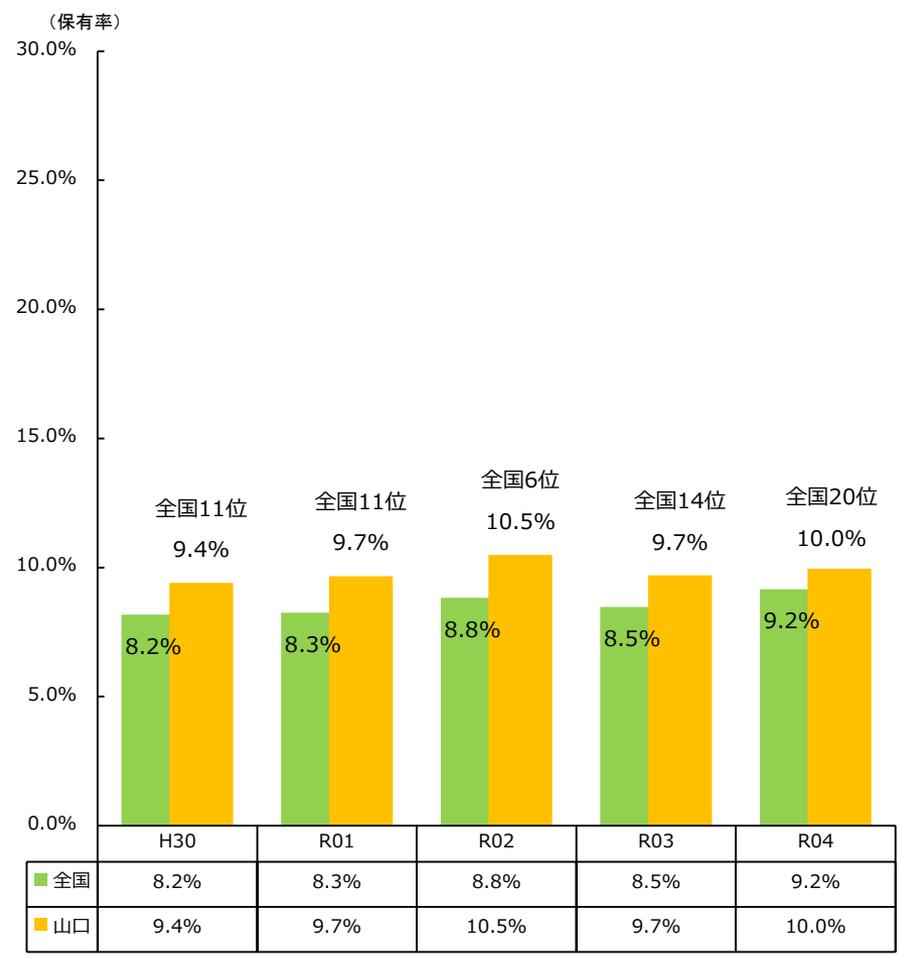
# 代謝リスク保有率の経年変化

○ 男女ともに年々増加している。

## 代謝リスク保有率の経年変化（男性）



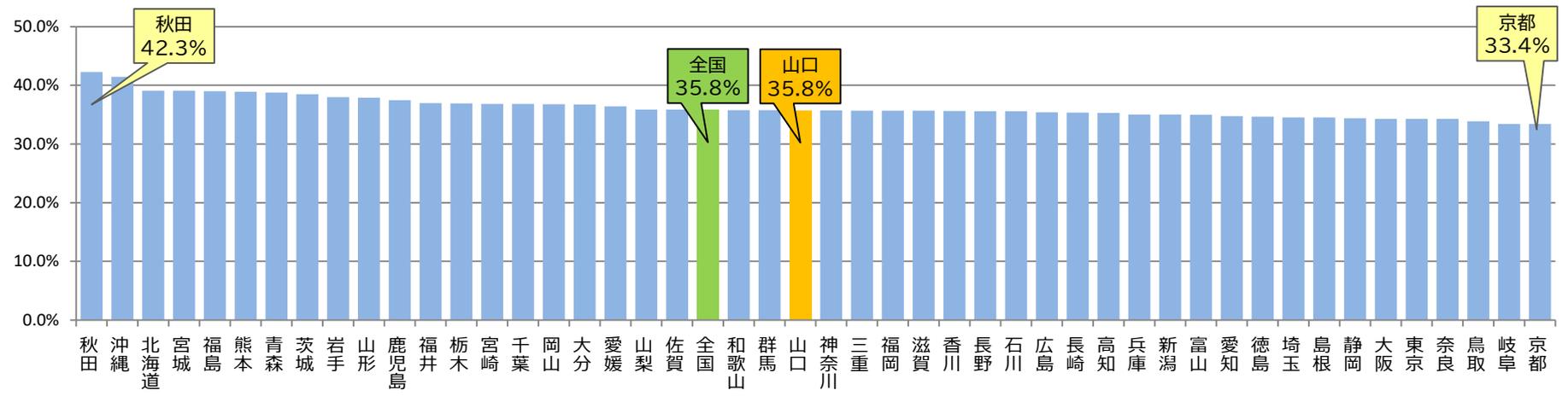
## 代謝リスク保有率の経年変化（女性）



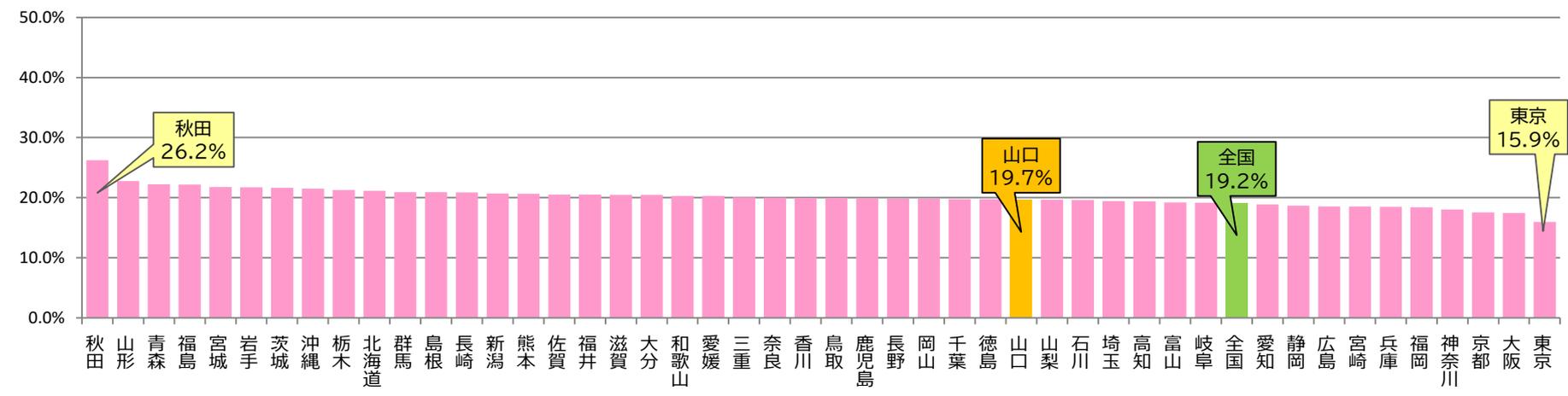
# 脂質リスク保有率の全国比較（令和4年度）

○ 山口支部は概ね全国並み。

## 男性



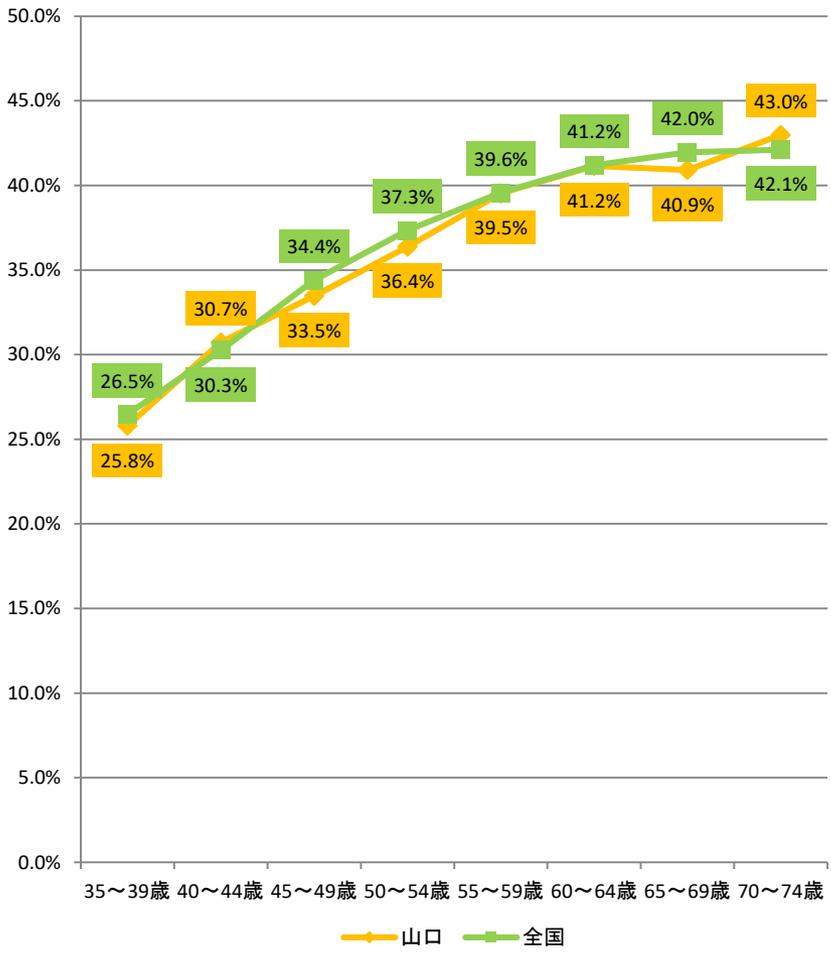
## 女性



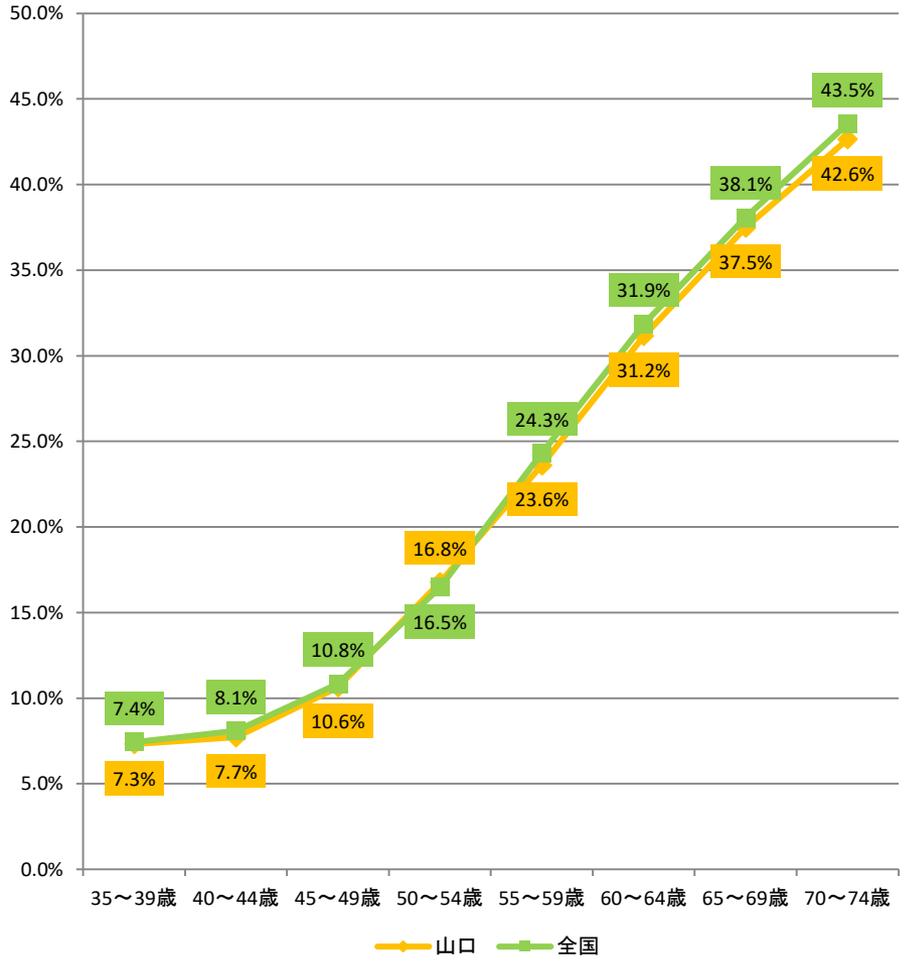
# 脂質リスク保有率の年齢階級別比較（令和4年度）

○ 山口支部は男女とも全国並み。

## 男性



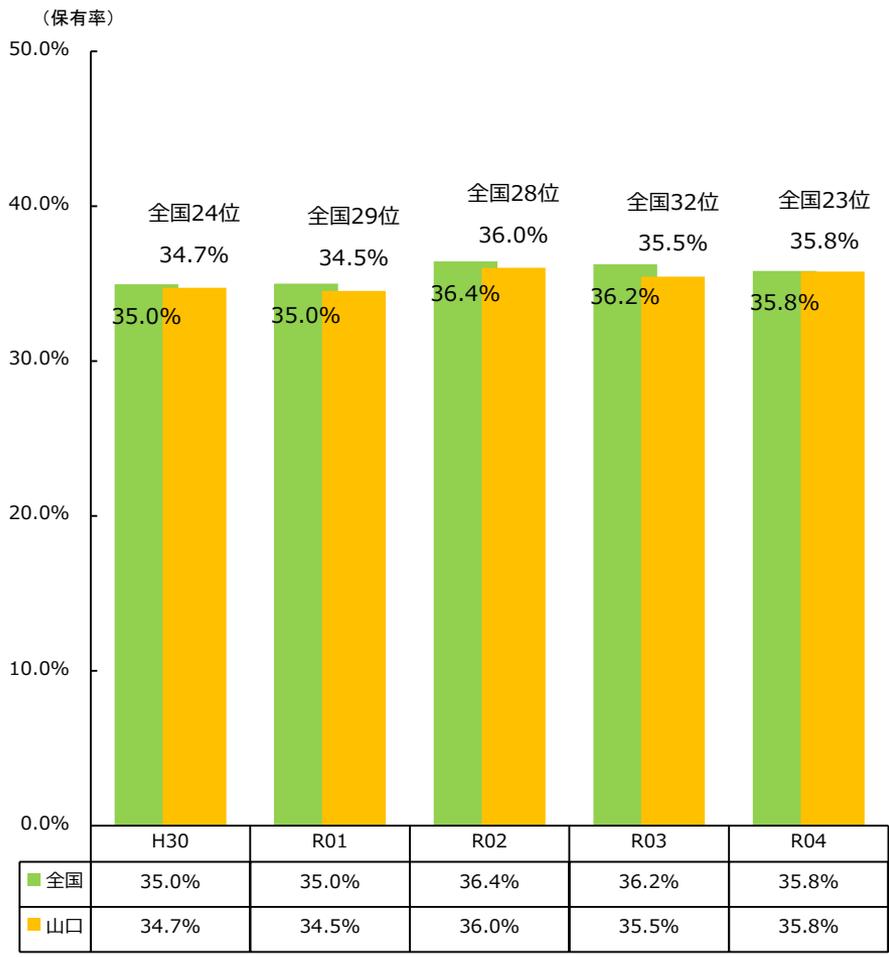
## 女性



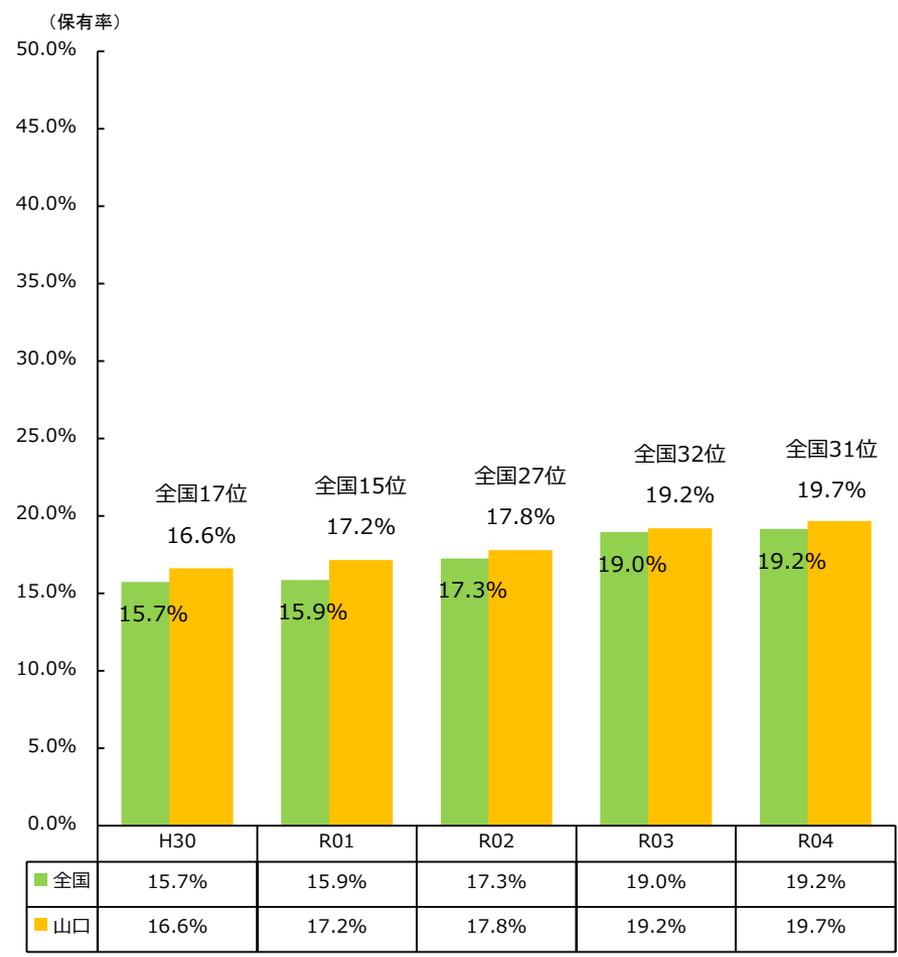
# 脂質リスク保有率の経年変化

○ 全国、山口支部において、**女性が緩やかに増加している。**

## 脂質リスク保有率の経年変化（男性）



## 脂質リスク保有率の経年変化（女性）

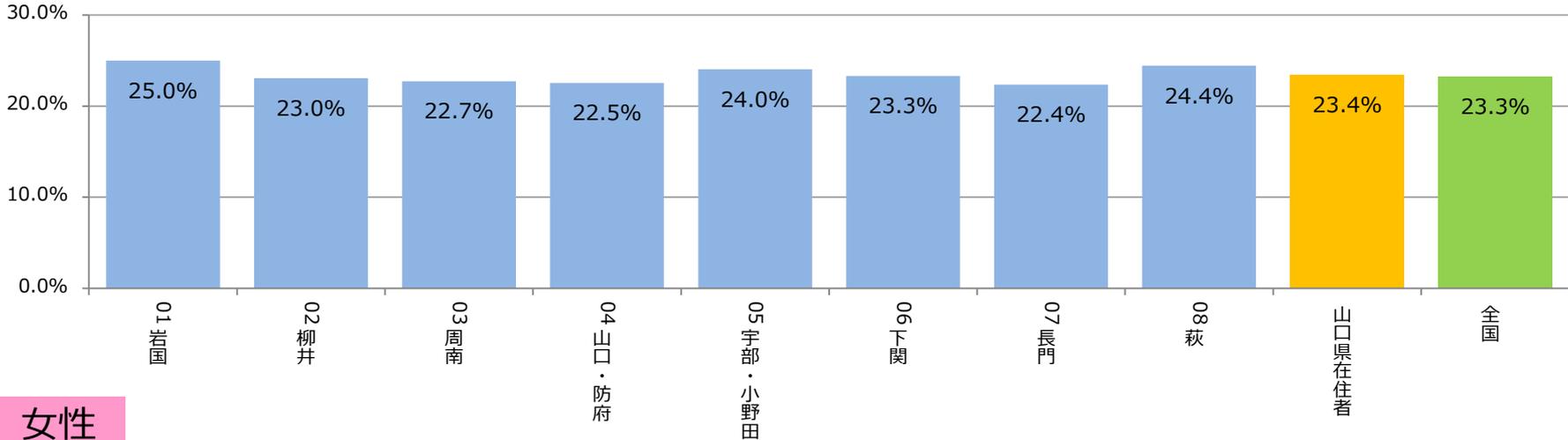


## X.山口支部の健診結果の県内比較

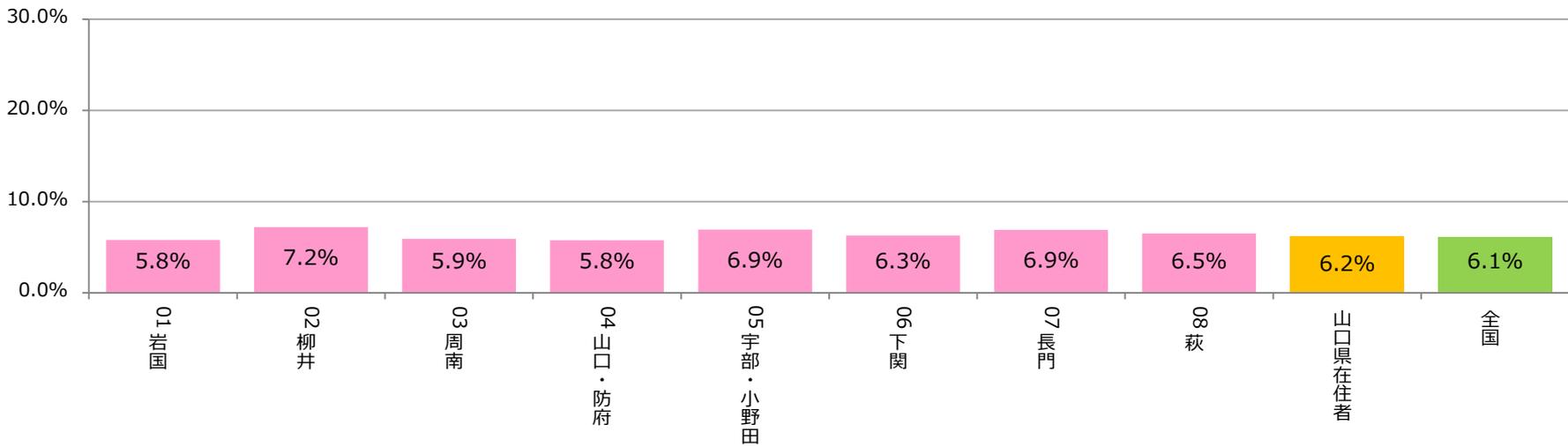
# メタボリックリスク保有率の二次医療圏別比較（令和4年度）

- 男女ともにどの圏域も概ね山口県の平均並みであるが、男性は**岩国圏・萩圏**が高く、**長門圏・山口防府圏**が低い傾向にある。
- 女性は**柳井圏・宇部小野田圏**が高く、**岩国圏・山口防府圏**が低い傾向にある。

## 男性



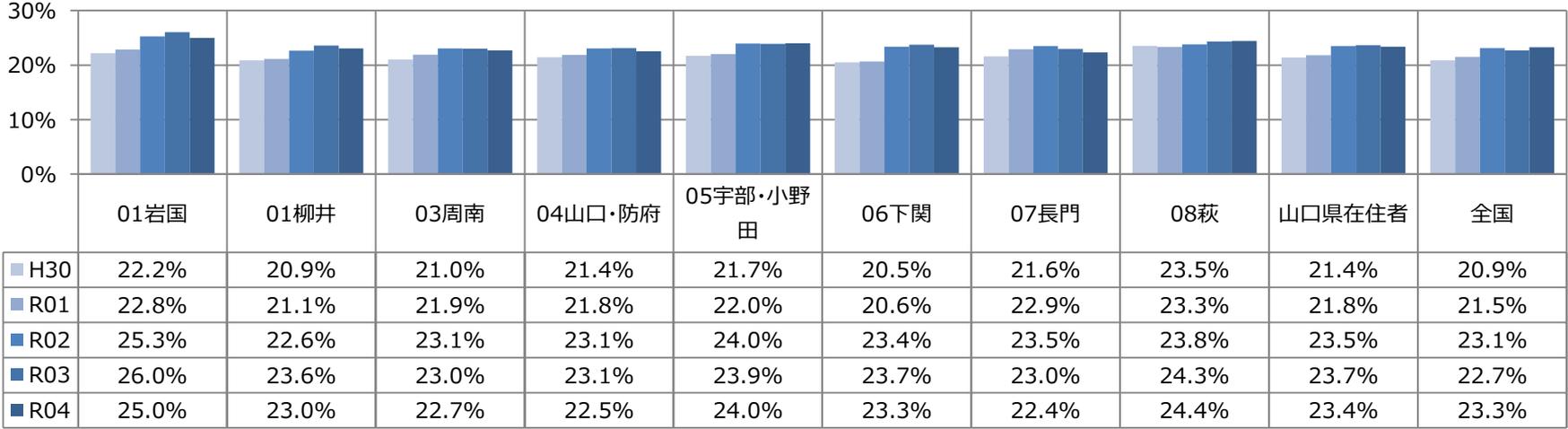
## 女性



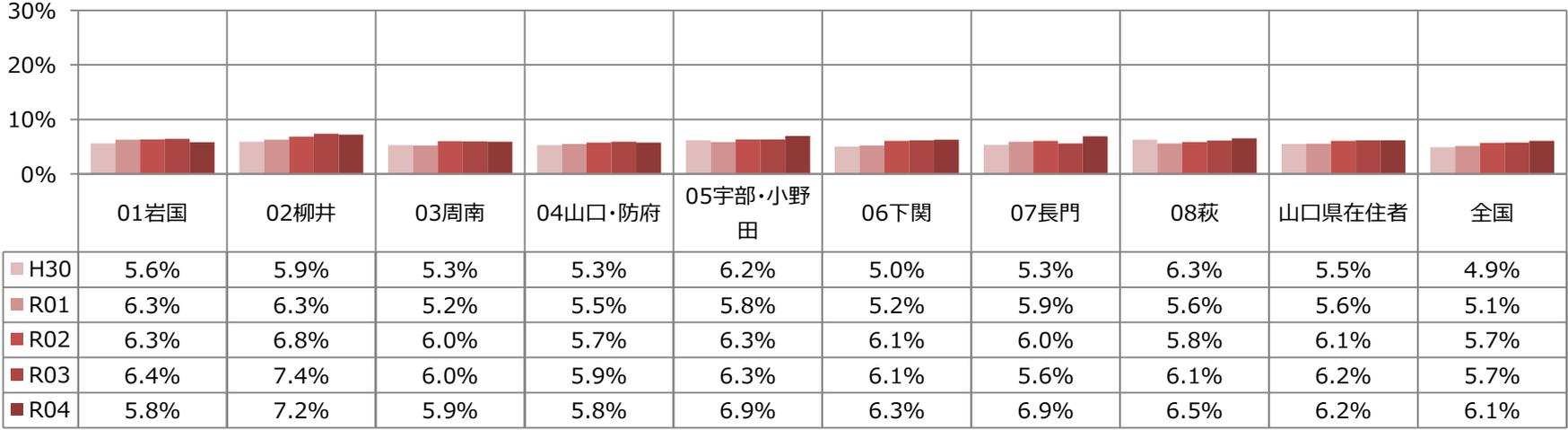
# メタボリックリスク保有率の二次医療圏別経年変化

○ ほとんどの圏域で5年前と比べて男女とも増加傾向がある。男性については岩国圏が若干高い傾向にある。

## 男性



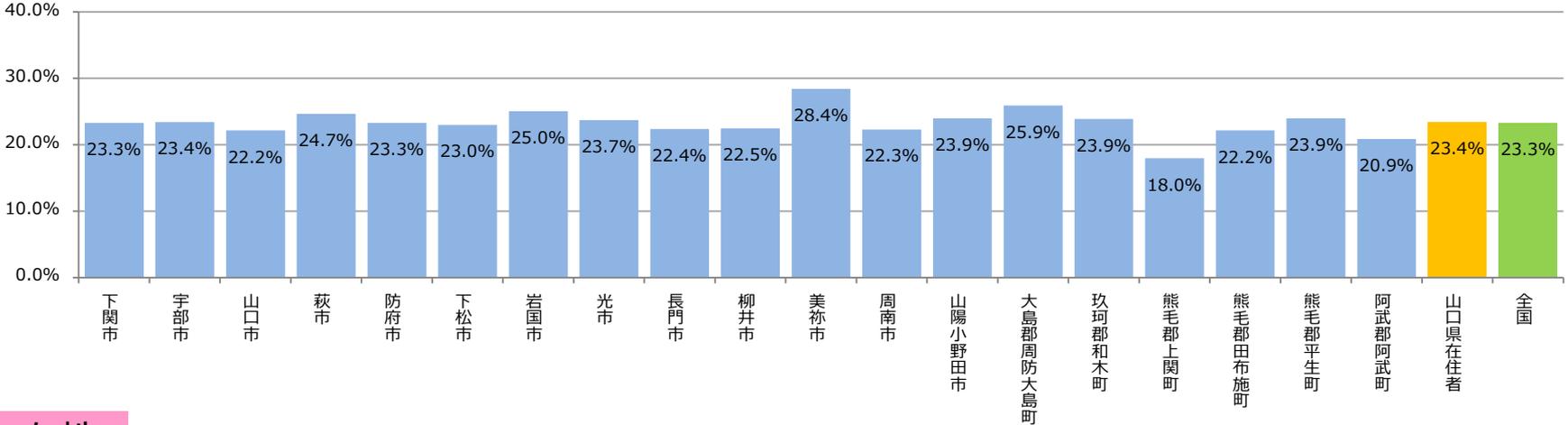
## 女性



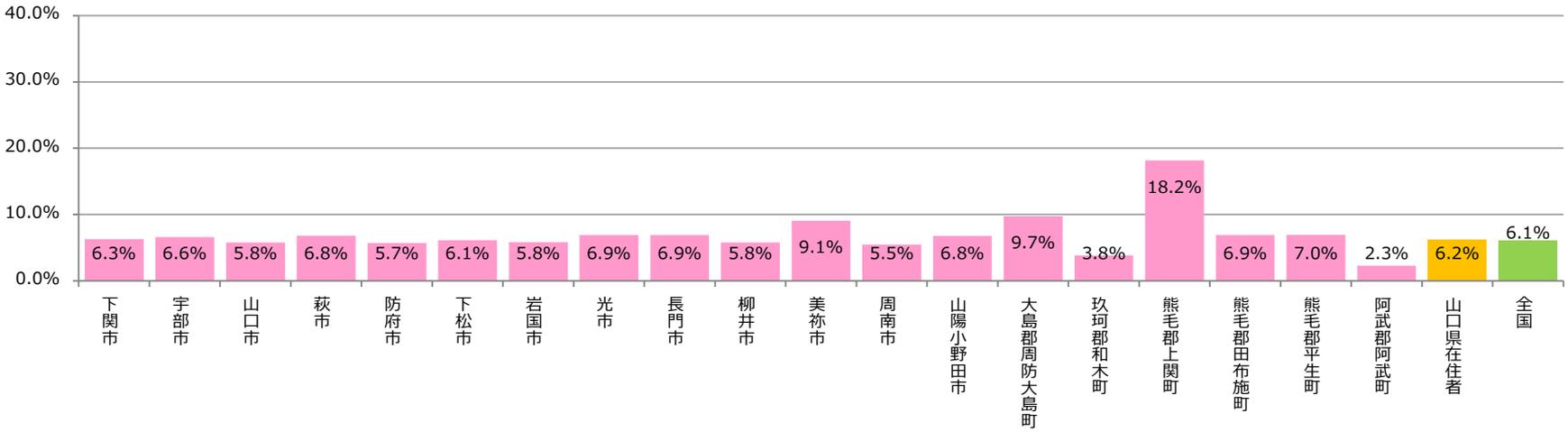
# メタボリックリスク保有率の市町別比較（令和4年度）

- 男性は美祢市・周防大島町が高く、上関町・阿武町が低い傾向にある。
- 女性は上関町が特に高く、阿武町・和木町が低い傾向にある。

## 男性



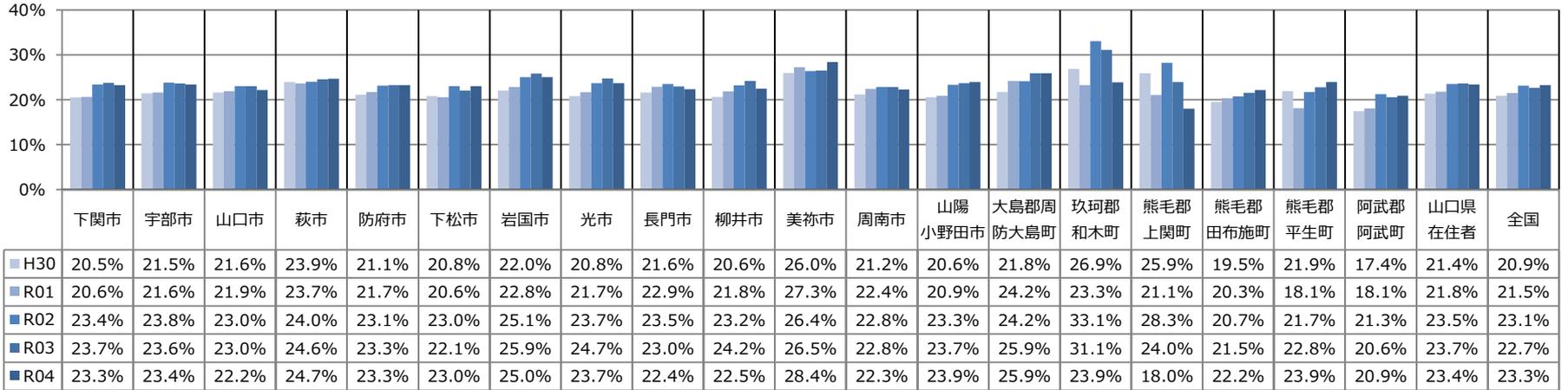
## 女性



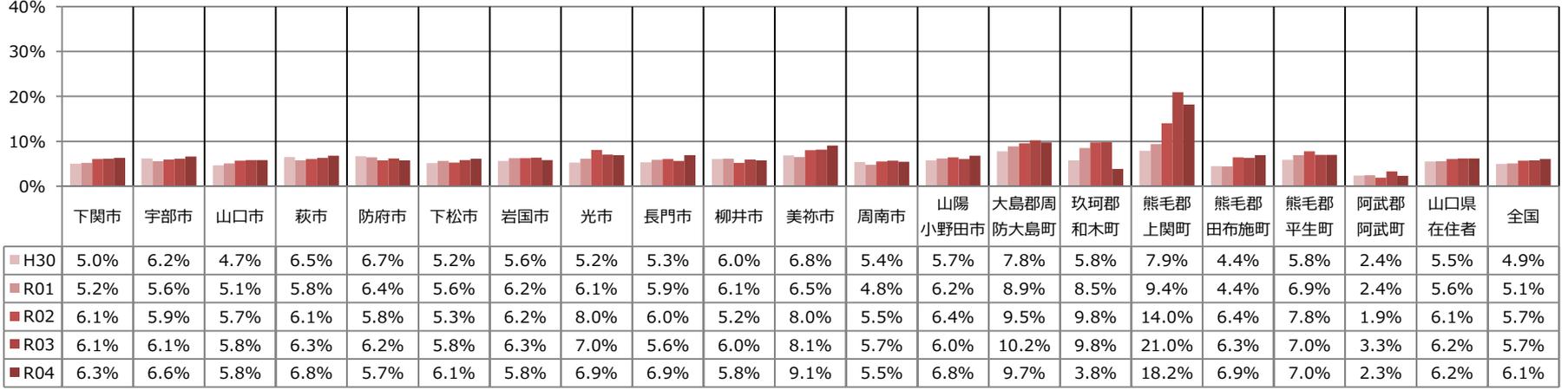
# メタボリックリスク保有率の市町別経年変化

- ほとんどの市町で5年前と比べて男女とも増加傾向にあり、男性については美祢市が高い傾向にある。
- 上関町について男性は減少傾向があるが、女性は増加傾向にある。

## 男性



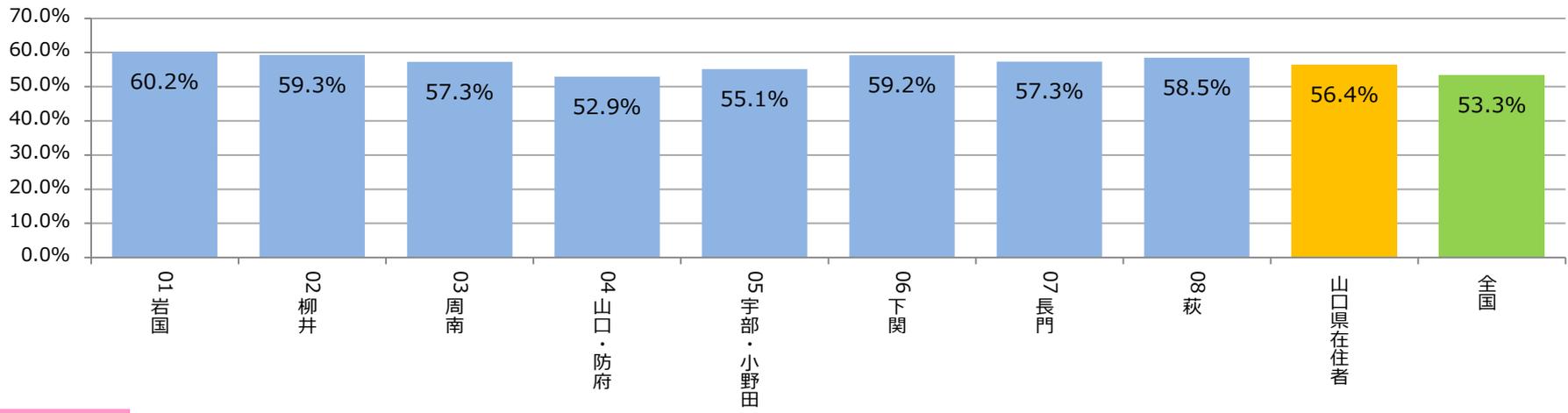
## 女性



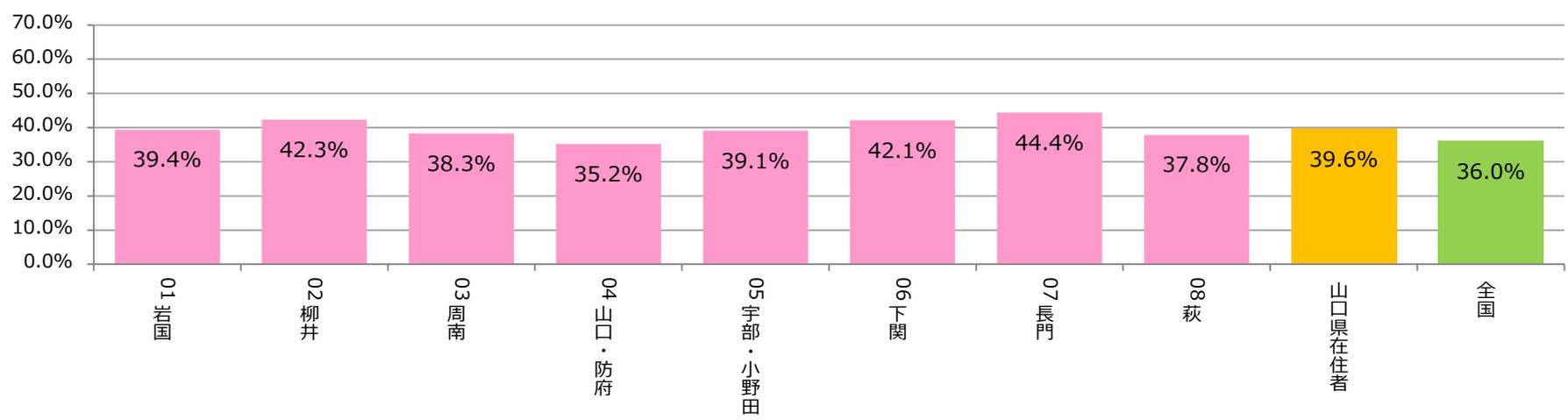
# 血圧リスク保有率の二次医療圏別比較（令和4年度）

- 男性は岩国圏・柳井圏が高く、山口防府圏・宇部小野田圏が低い。
- 女性は長門圏・柳井圏が高く、山口防府圏・萩圏が低い。

## 男性



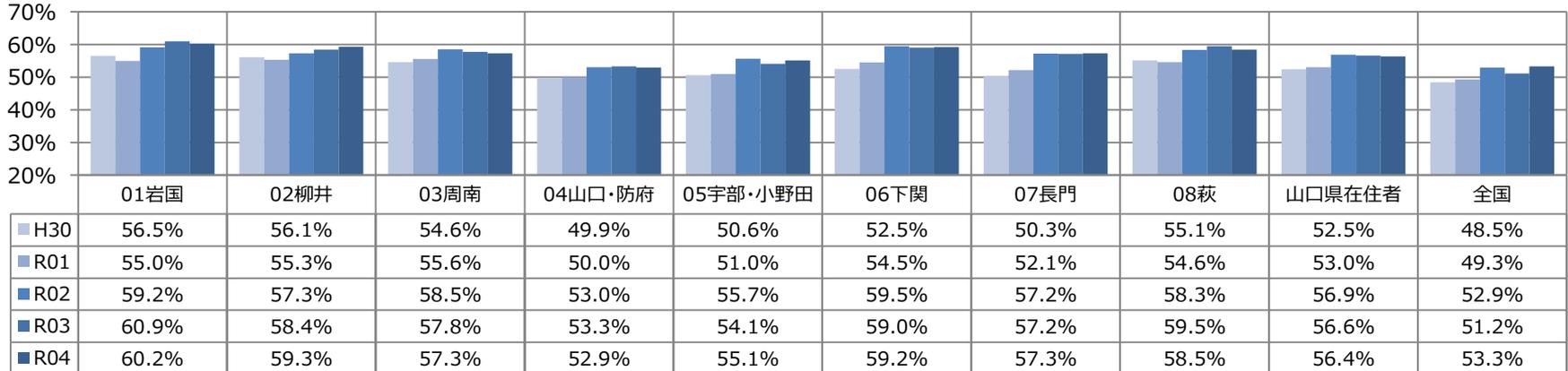
## 女性



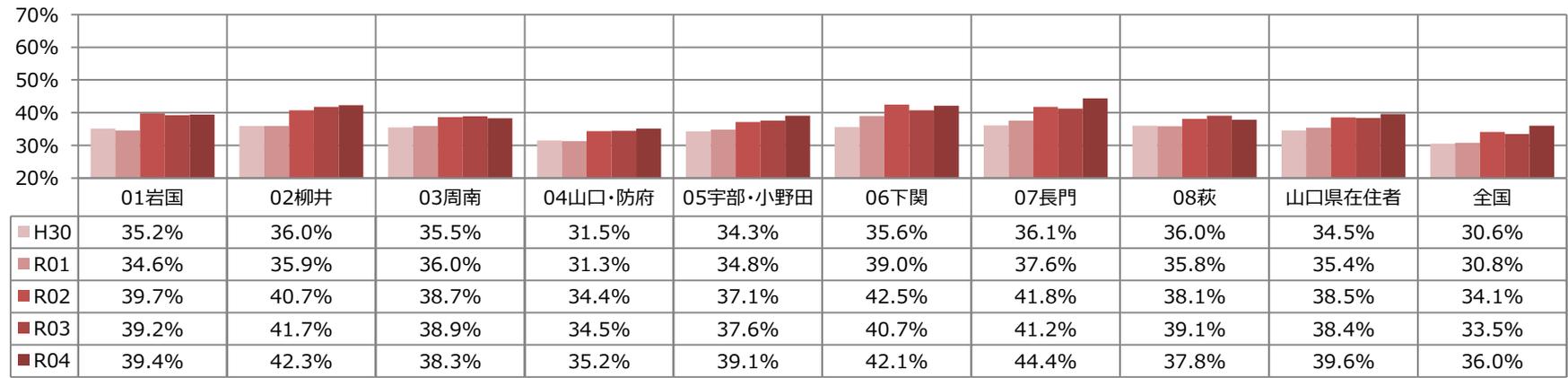
# 血圧リスク保有率の二次医療圏別経年変化

- 全圏域で5年前と比べて男女とも増加傾向にある。
- 男性は岩国圏、柳井圏が比較的高く、女性は長門圏、柳井圏が比較的高い傾向にある。

## 男性



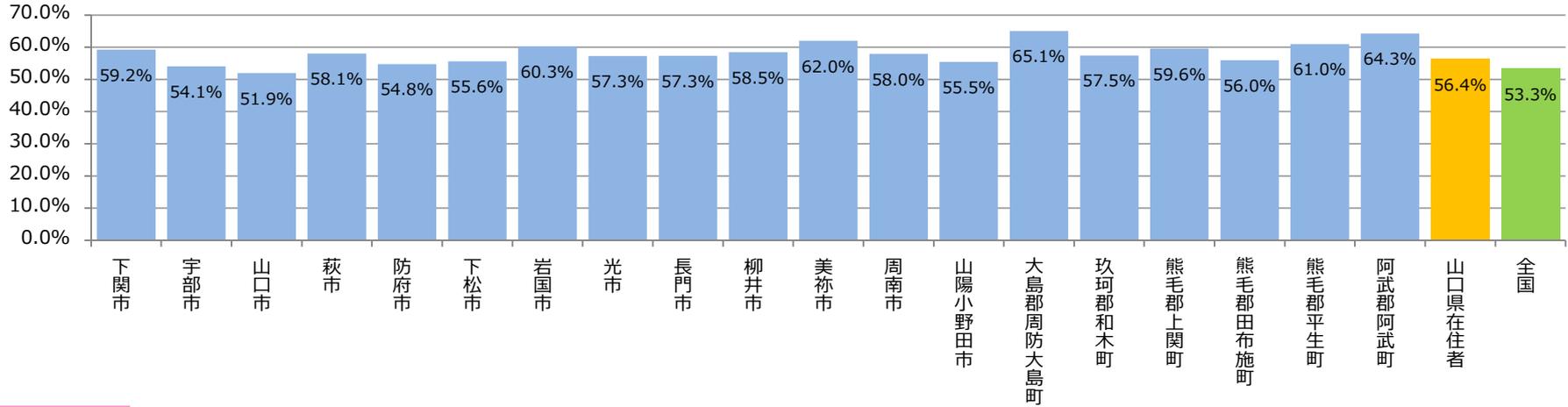
## 女性



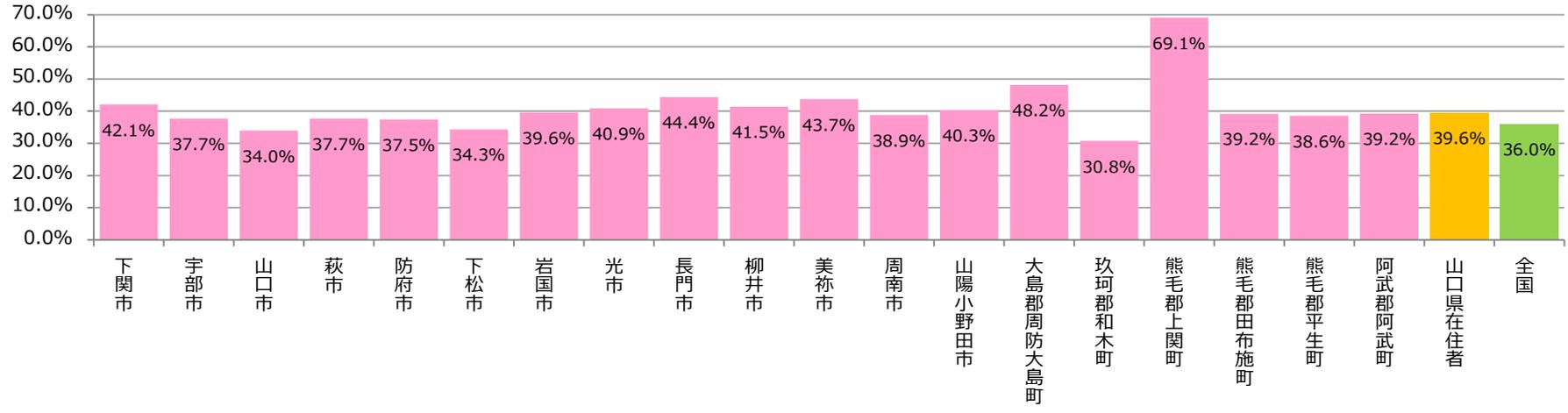
# 血圧リスク保有率の市町別比較（令和4年度）

- 男性は周防大島町・阿武町が高く、山口市・宇部市が低い。
- 女性は上関町が特に高く、和木町・山口市が低い。

## 男性



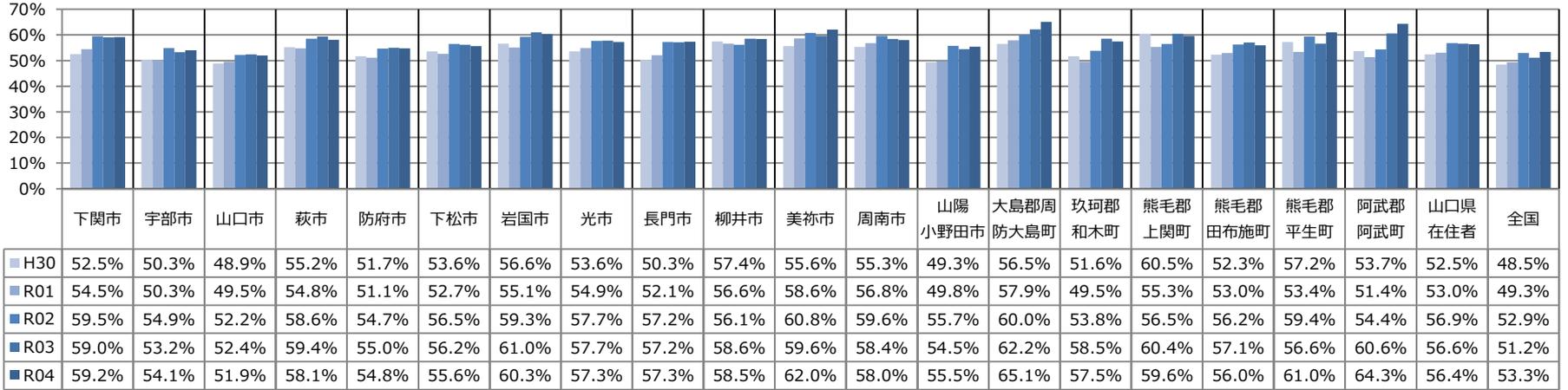
## 女性



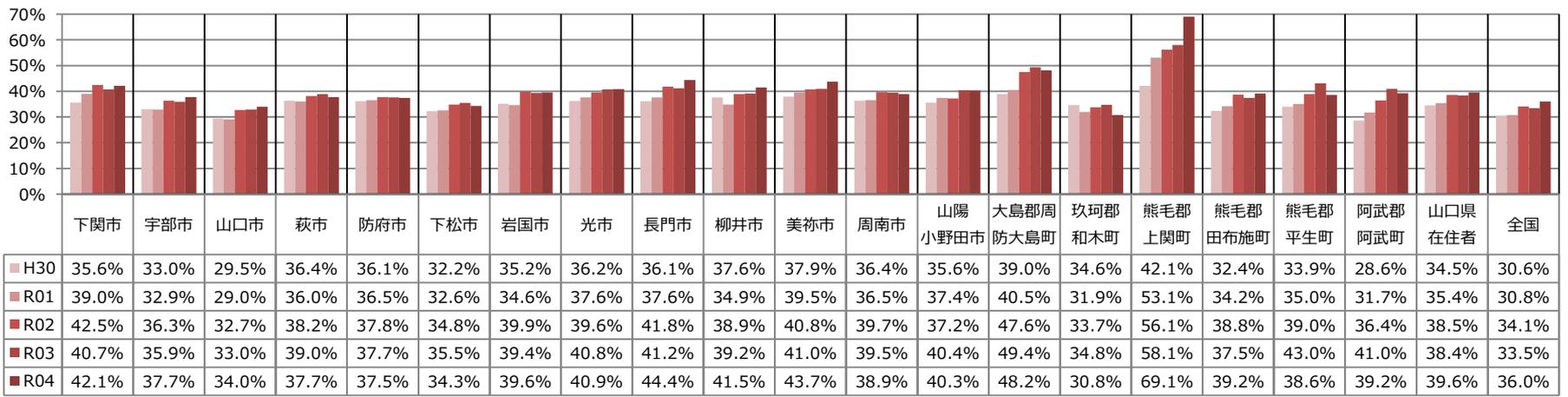
# 血圧リスク保有率の市町別経年変化

○ ほとんどの市町で5年前と比べて男女とも増加傾向がある。特に上関町の女性は高い。

## 男性



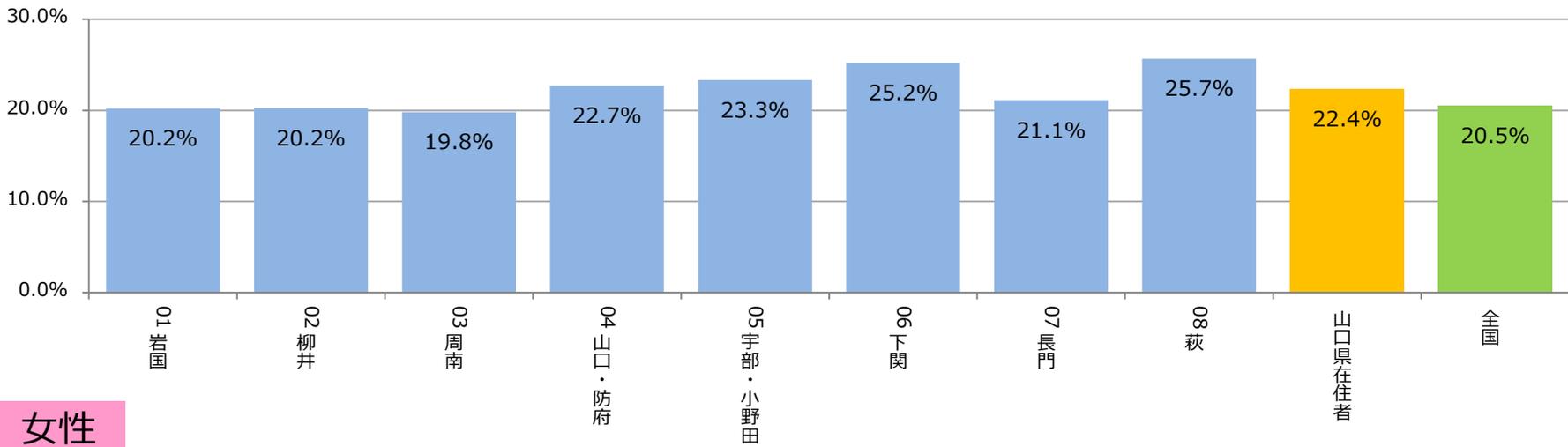
## 女性



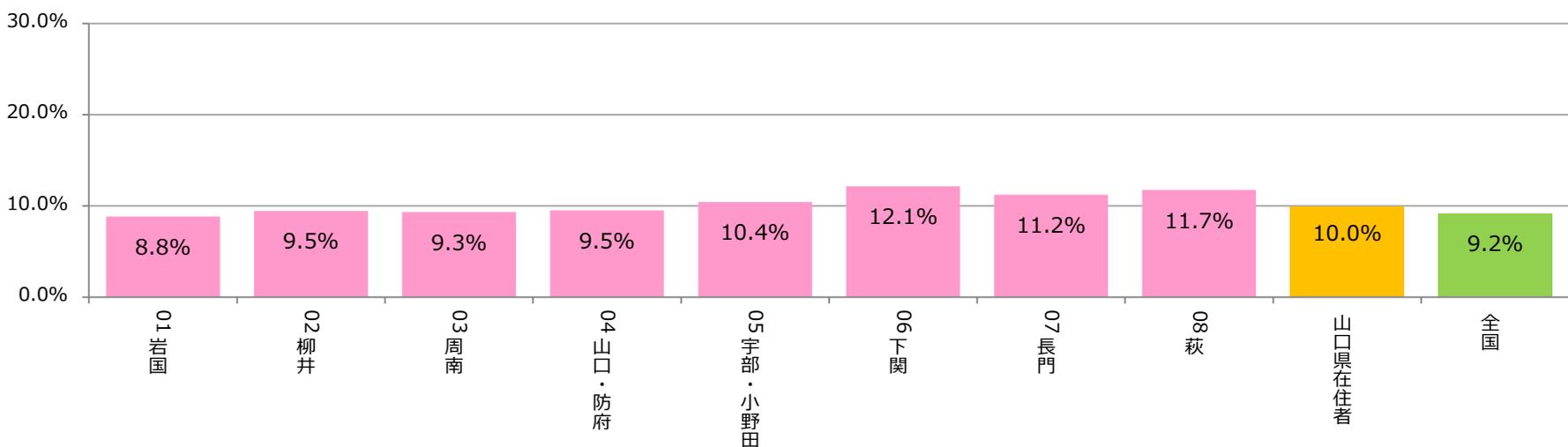
# 代謝リスク保有率の二次医療圏別比較（令和4年度）

- 男性は萩圏・下関圏が高く、周南圏・岩国圏が低い。
- 女性は長門圏・萩圏・下関圏が高く、山口・防府圏・岩国圏が低い。

## 男性



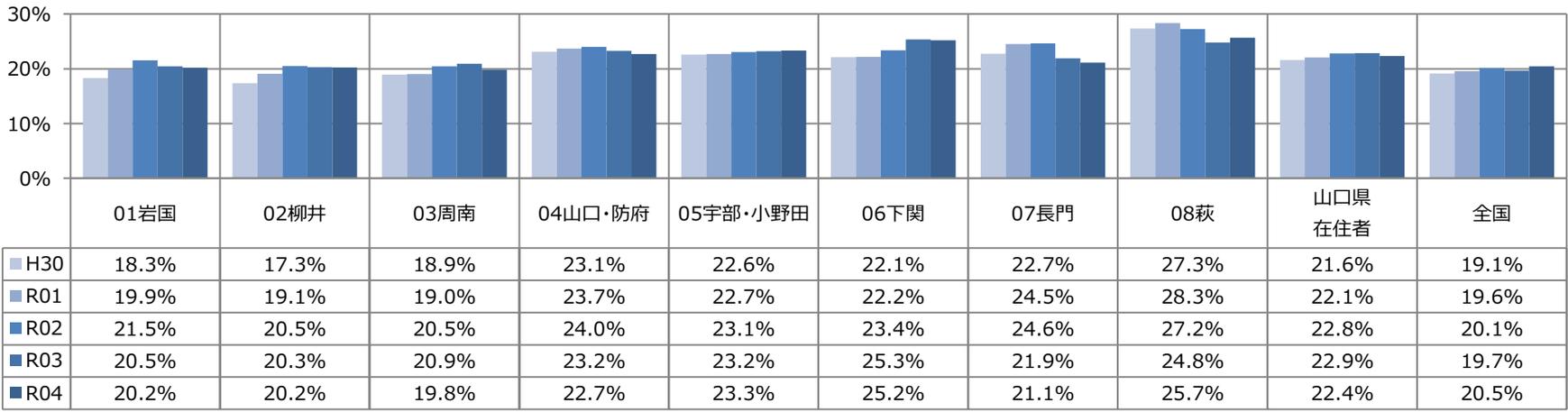
## 女性



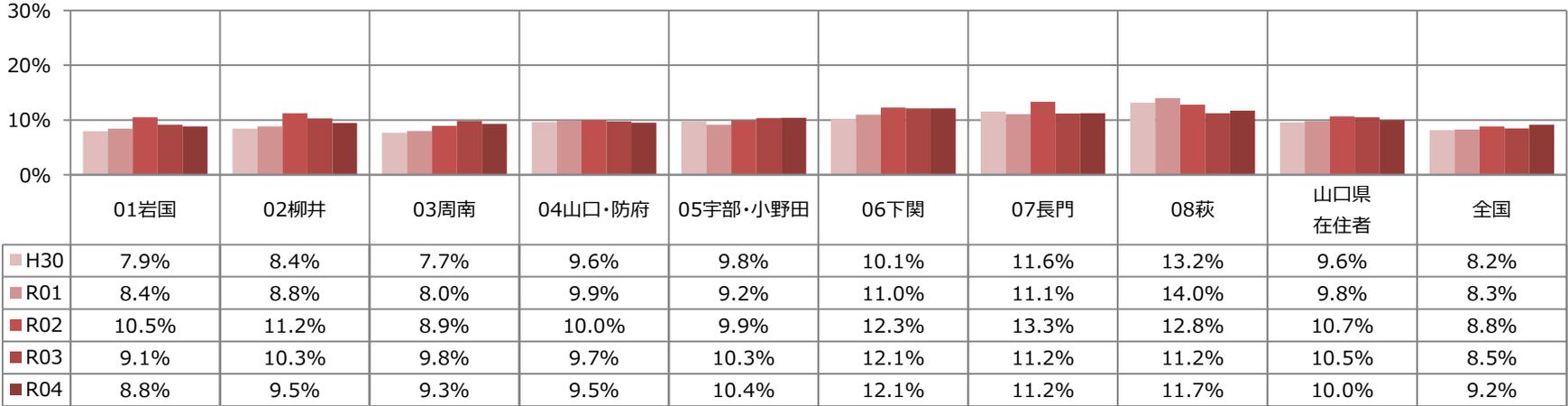
# 代謝リスク保有率の二次医療圏別経年変化

- ほとんどの医療圏で5年前と比べて男女とも増加傾向にある。
- 男女ともに萩圏が高い傾向がある。

## 男性



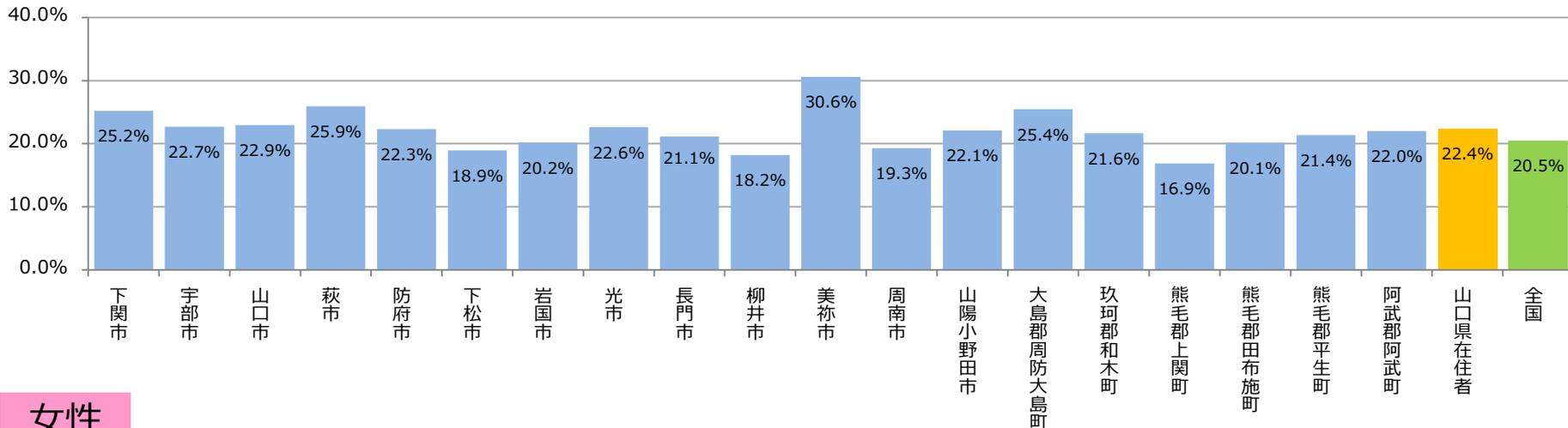
## 女性



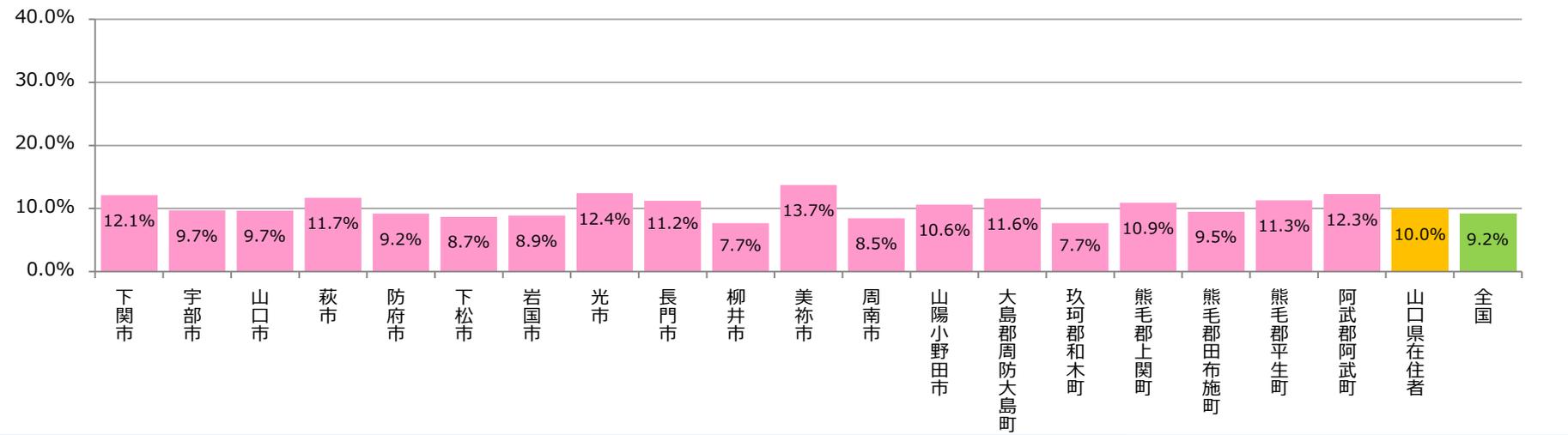
# 代謝リスク保有率の市町別比較（令和4年度）

- 男性は美祢市・萩市が高く、上関町・柳井市が低い。
- 女性は美祢市・上関町が高く、柳井市が低い。

## 男性



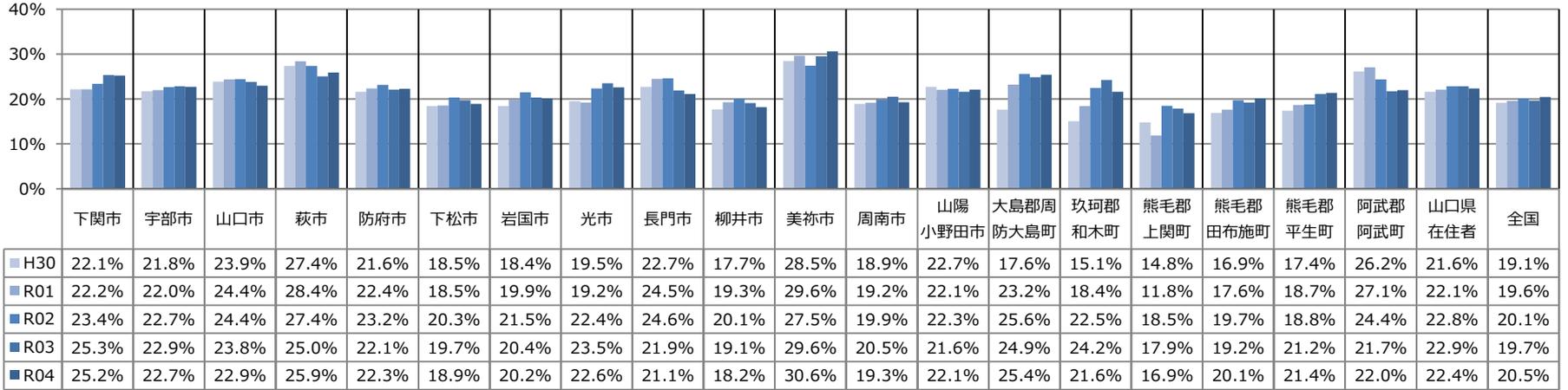
## 女性



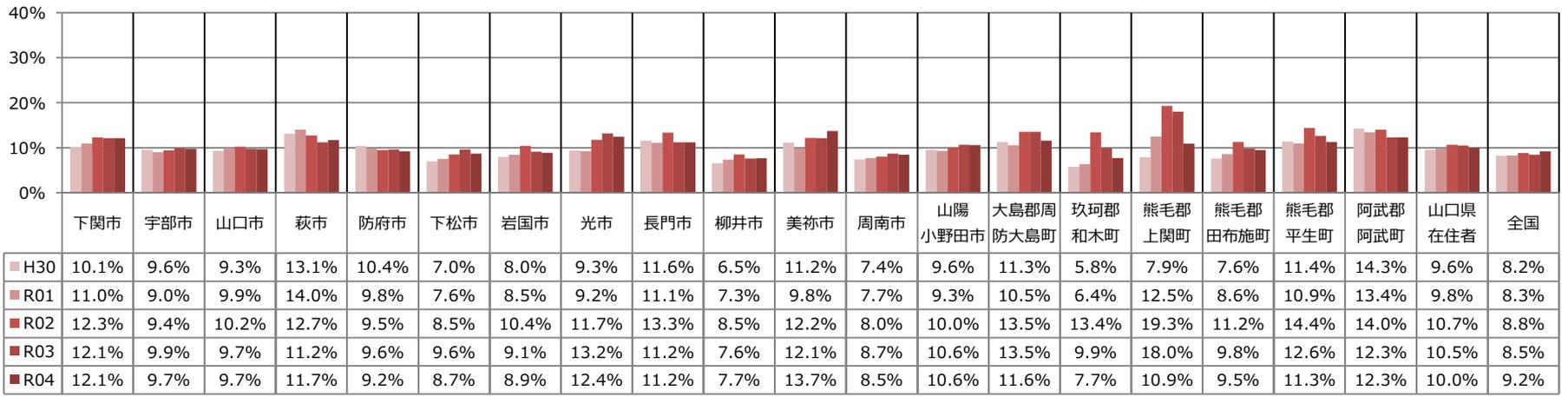
# 代謝リスク保有率の市町別経年変化

○ ほとんどの市町で5年前と比べて男女とも増加傾向にある。男性は美祢市が高い傾向があり、女性は上関町が高い傾向がある。

## 男性



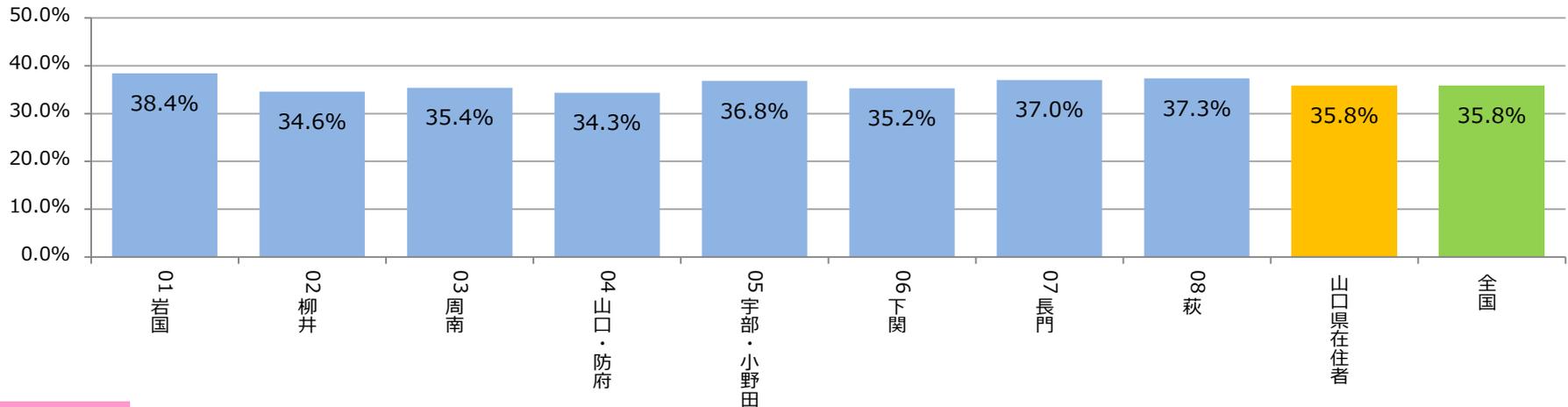
## 女性



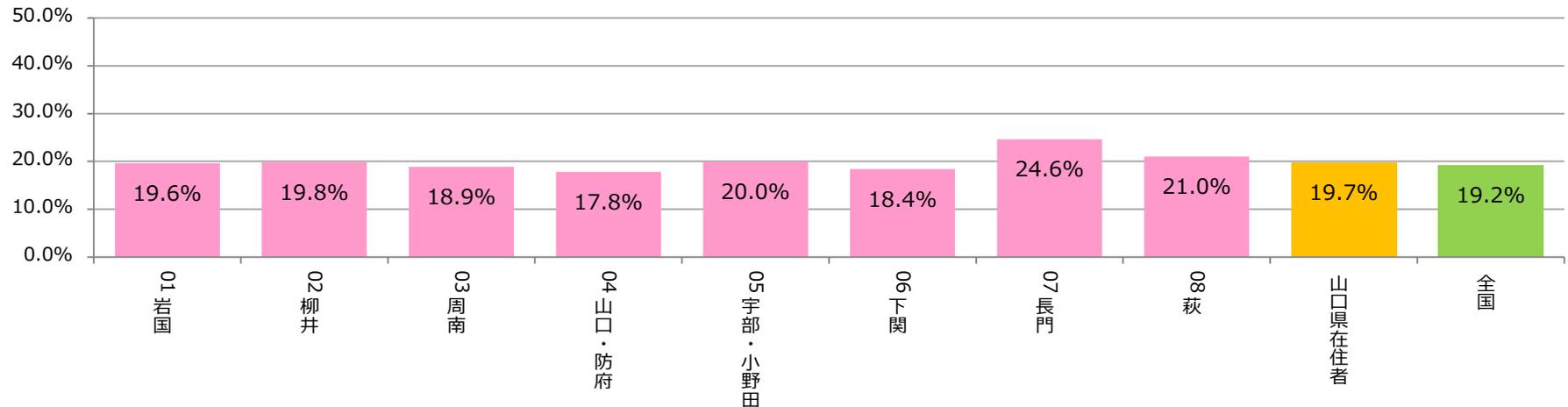
# 脂質リスク保有率の二次医療圏別比較（令和4年度）

○ 男性は岩国圏・萩圏が高く、山口防府圏・柳井圏が低い。  
 ○ 女性は長門圏、萩圏が高く、山口防府圏・下関圏が低い。

## 男性



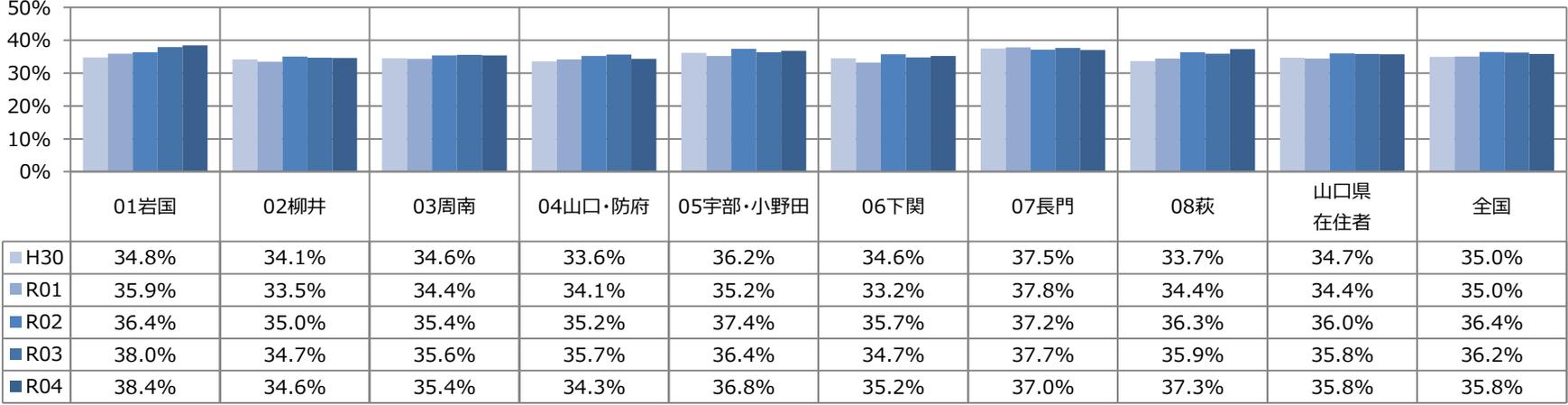
## 女性



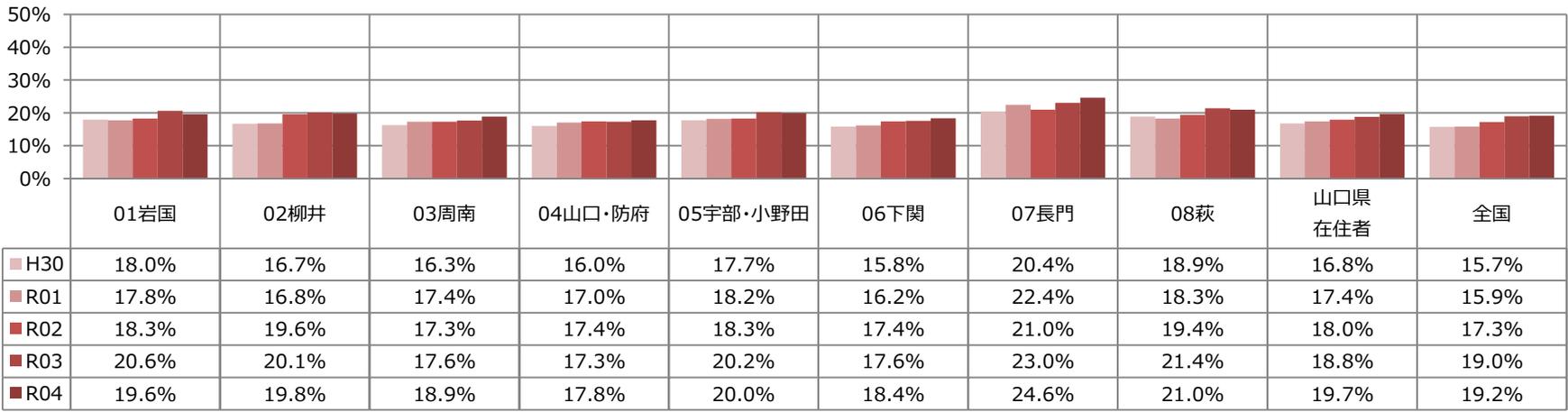
# 脂質リスク保有率の二次医療圏別経年変化

○ ほとんどの医療圏で、5年前と比べて男女とも増加傾向にある。

## 男性



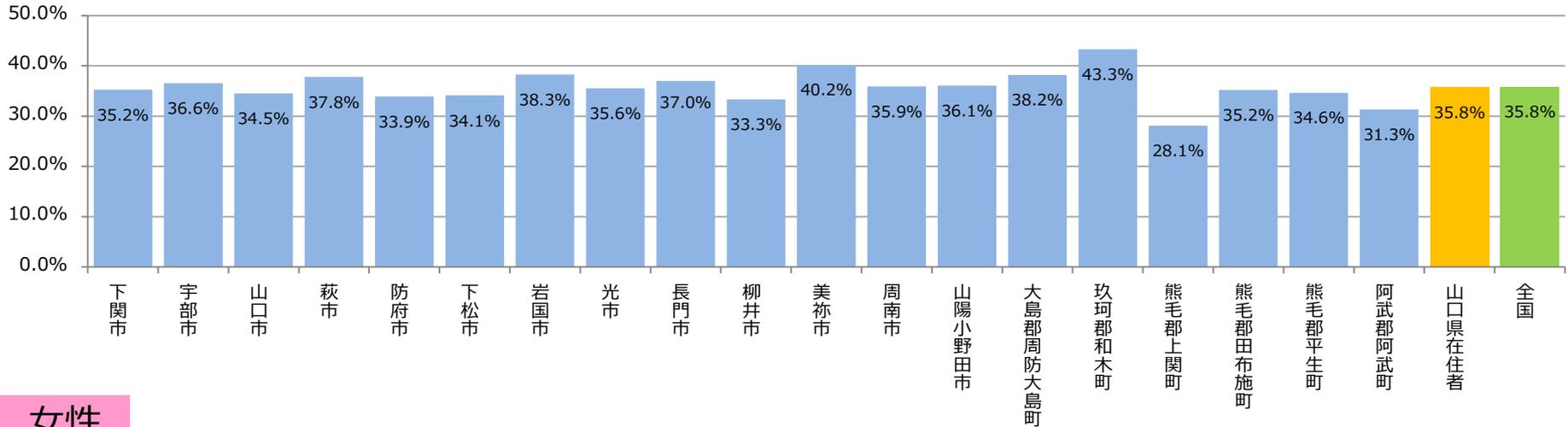
## 女性



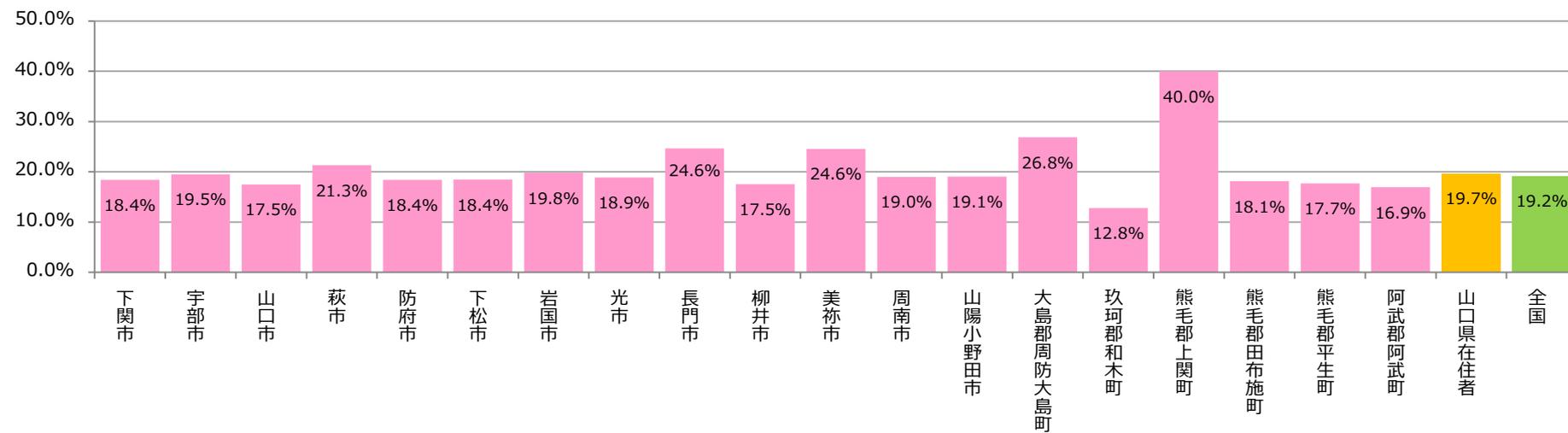
# 脂質リスク保有率の市町別比較（令和4年度）

○ 男性は和木町・美祢市が高く、上関町阿武郡阿武町が低い。  
 ○ 女性は上関町が特に高く、和木町が特に低い。

## 男性



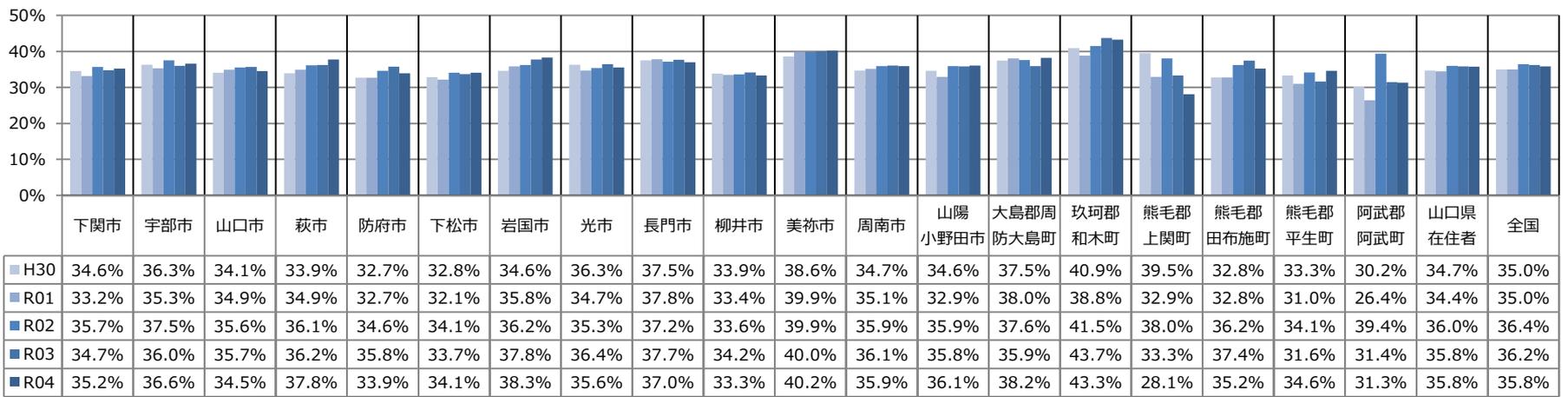
## 女性



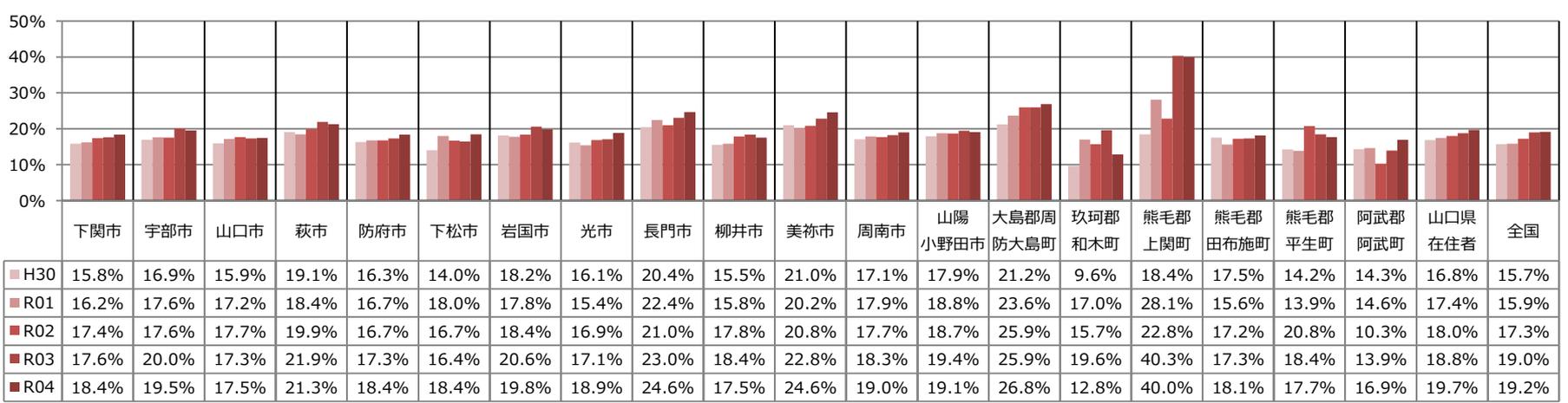
# 脂質リスク保有率の市町別経年変化

○ ほとんどの市町で5年前に比べて男女とも増加傾向にある。男性は和木町が高い傾向があり、女性は上関町が高い傾向がある。

## 男性



## 女性



## XI.山口支部の問診票結果の県内比較

# 健診受診時の質問票（問診票）

○ 健診受診時には原則として以下の質問項目（標準的な質問票（問診票））を回答いただいている。このデータを活用することにより、当日の健診結果に加えて受診者の服薬歴・病歴・生活習慣等の把握が可能となる。

	質問項目	回答		質問項目	回答
	現在、aからcの薬の使用の有無				
1	a. 血圧を下げる薬	①はい ②いいえ	13	食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか。	①何でもかんで食べることができる ②歯や歯ぐき、かみあわせなど気になる部分があり、かみにくいことがある ③ほとんどかめない
2	b. 血糖を下げる薬又はインスリン注射	①はい ②いいえ	14	人と比較して食べる速度が速い。	①速い ②ふつう ③遅い
3	c. コレステロールや中性脂肪を下げる薬	①はい ②いいえ	15	就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
4	医師から、脳卒中(脳出血、脳梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	16	朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。	①毎日 ②時々 ③ほとんど摂取しない
5	医師から、心臓病(狭心症、心筋梗塞等)にかかっているといわれたり、治療を受けたことがありますか。	①はい ②いいえ	17	朝食を抜くことが週に3回以上ある。	①はい ②いいえ
6	医師から、慢性腎臓病や腎不全にかかっているといわれたり、治療(人工透析など)を受けていますか。	①はい ②いいえ	18	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度	①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない(飲めない)
7	医師から貧血といわれたことがある。	①はい ②いいえ	19	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合(180ml)の目安:ビール500ml、焼酎(25度)110ml、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	①1合未満 ②1~2合未満 ③2~3合未満 ④3合以上
8	現在、たばこを習慣的に吸っている。 ※(「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者)	①はい ②いいえ	20	睡眠で休養が十分とれている。	①はい ②いいえ
9	20歳の時の体重から、10kg以上増加している。	①はい ②いいえ	21	運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。	①改善するつもりはない ②改善するつもりである(概ね6か月以内) ③近いうちに(概ね1か月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている ④既に改善に取り組んでいる(6か月未満) ⑤既に改善に取り組んでいる(6か月以上)
10	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	①はい ②いいえ	22	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。	①はい ②いいえ
11	日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施	①はい ②いいえ			
12	ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速い。	①はい ②いいえ			

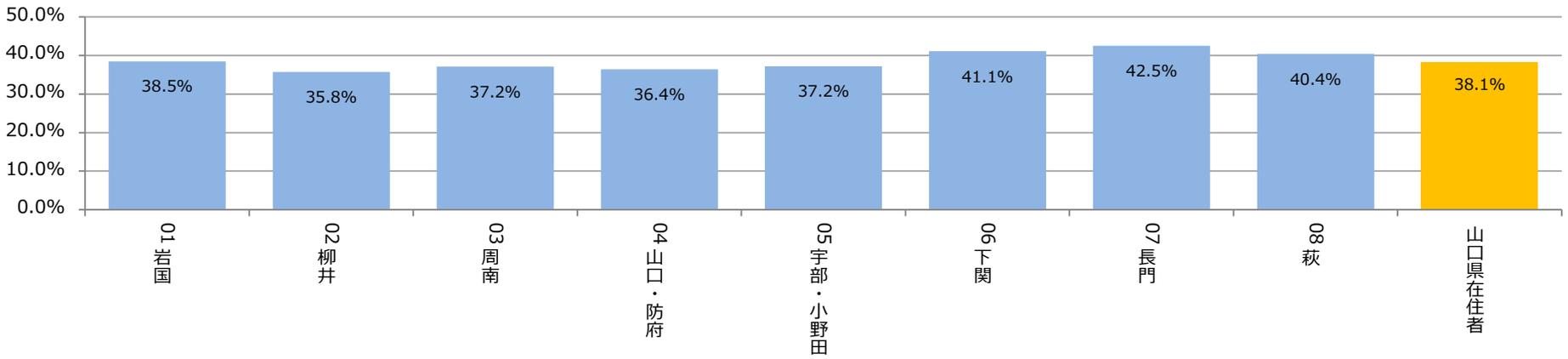
> 上記の質問項目のうち、生活習慣の改善が必要となる主な5つの項目についての県内比較は次ページから。

# 喫煙率の二次医療圏別比較（令和4年度）

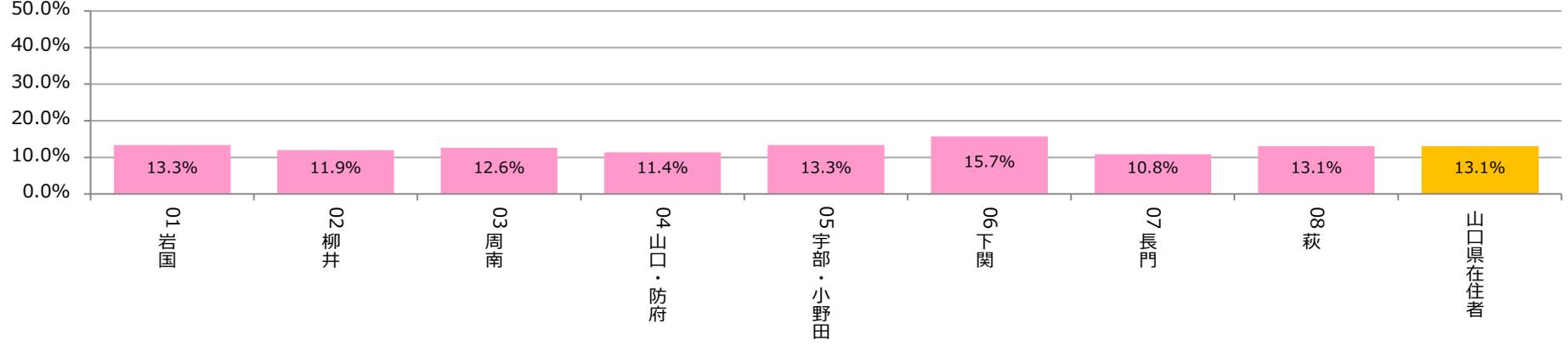
- 男性は長門圏、下関圏が高く、柳井圏、山口防府圏が低い。
- 女性は下関圏、岩国圏が高く、長門圏、山口防府圏が低い。

『現在、たばこを習慣的に吸っている。※（「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者）』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

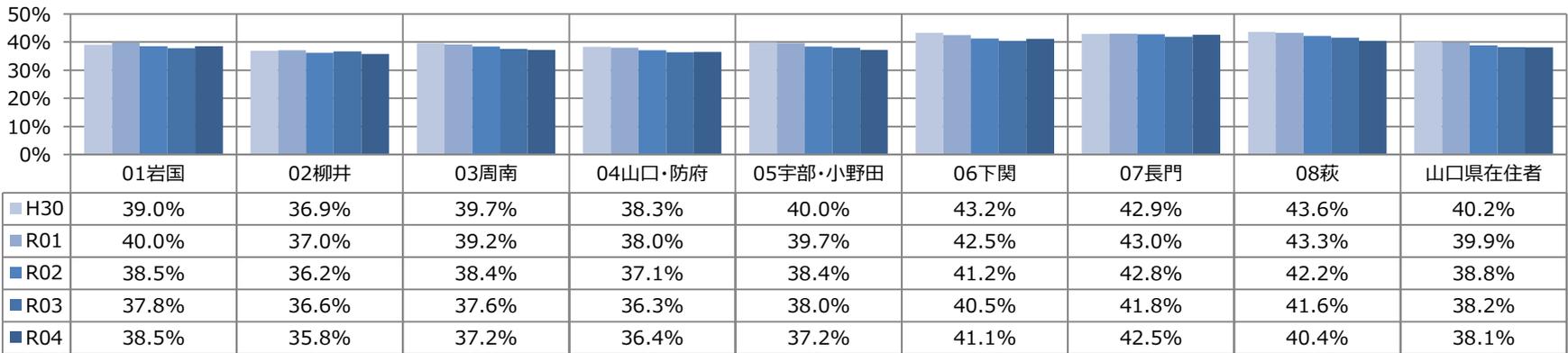


# 喫煙率の二次医療圏別経年変化

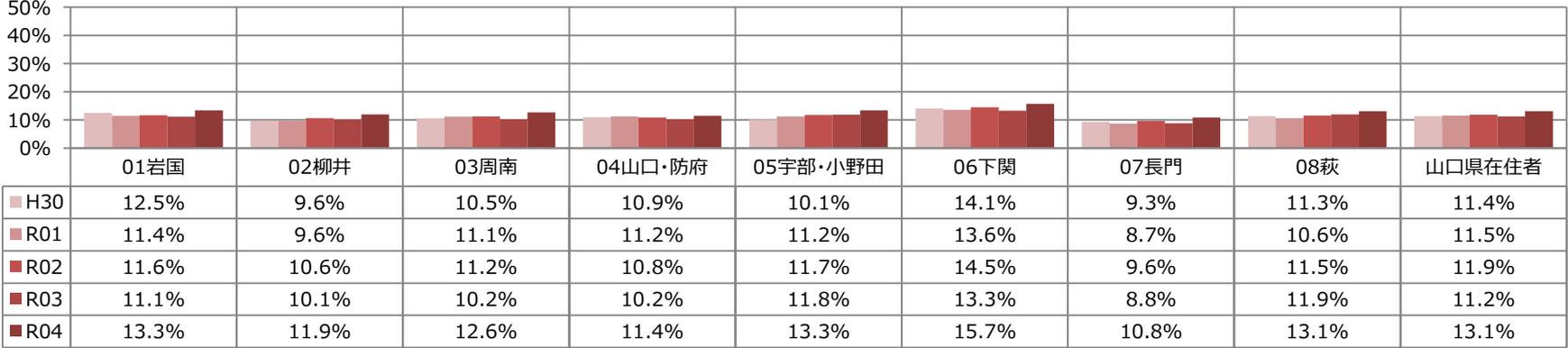
○ 男性は減少傾向にあるが、**女性は同程度で推移**している。

『現在、たばこを習慣的に吸っている。※（「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者）』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

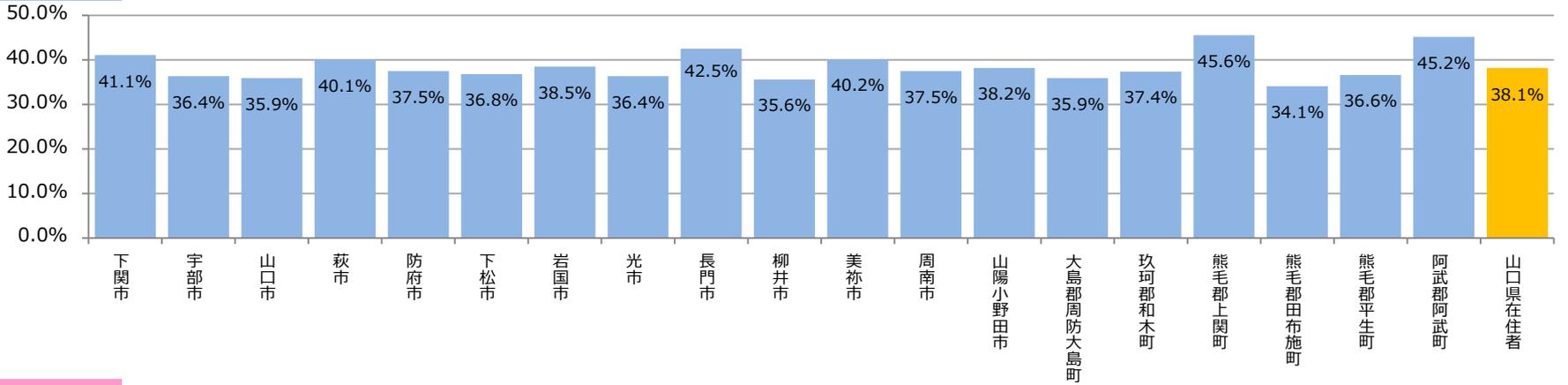


# 喫煙率の市町別比較（令和4年度）

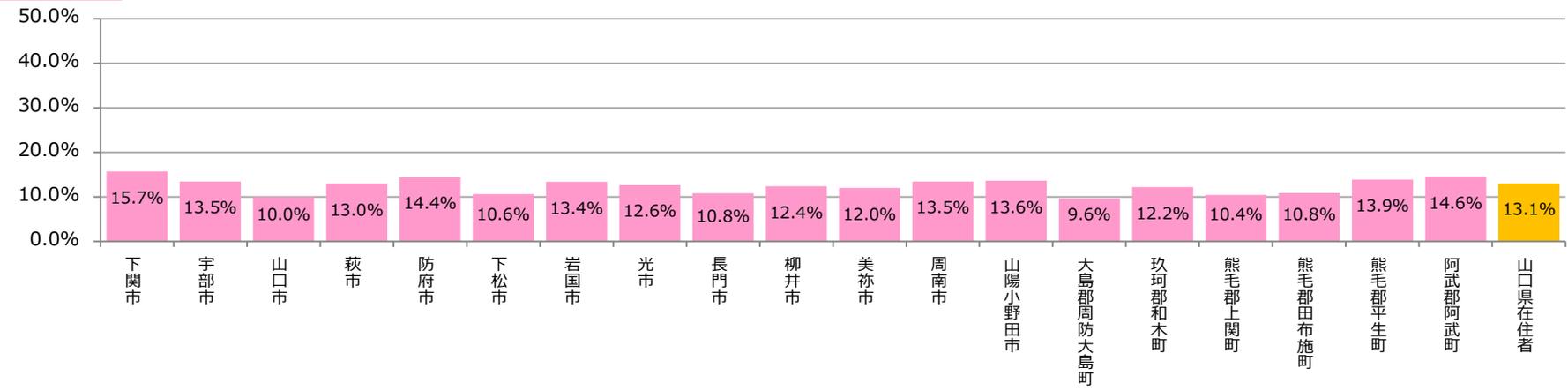
- 男性は上関町・阿武町が高く、田布施町・柳井市が低い。
- 女性は下関市・阿武町が高く、周防大島町・山口市が低い。

『現在、たばこを習慣的に吸っている。※（「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者）』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

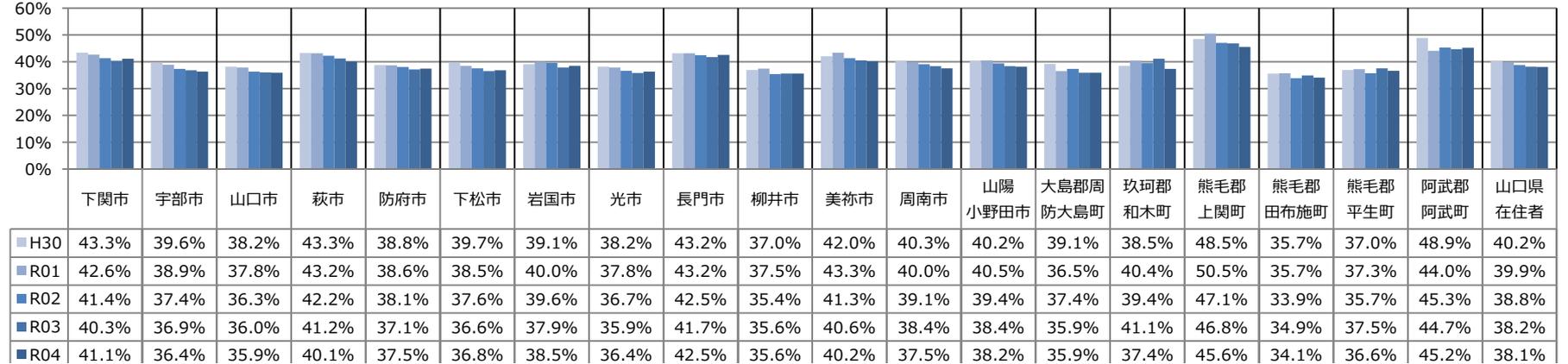


# 喫煙率の市町別経年変化

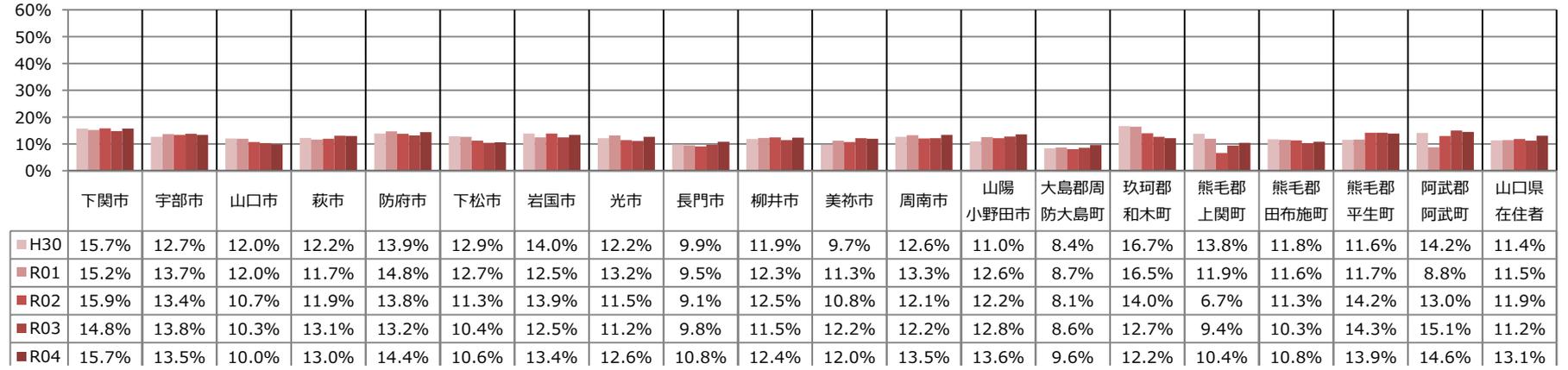
○ 男性は全体的に減少傾向にあり、女性は同程度又は減少傾向にある。

『現在、たばこを習慣的に吸っている。※（「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6か月以上吸っている者」であり、最近1か月間も吸っている者）』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

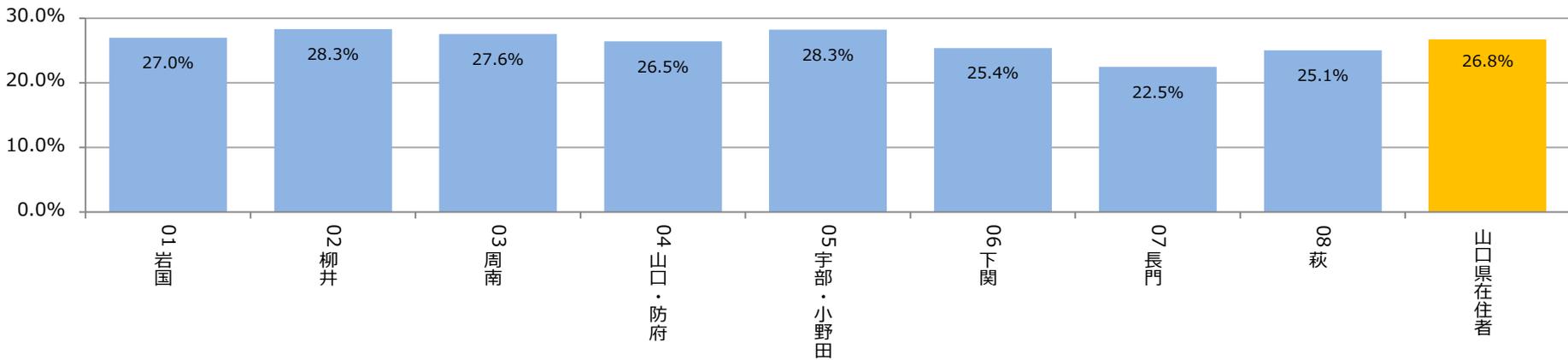


# 運動習慣の二次医療圏別比較（令和4年度）

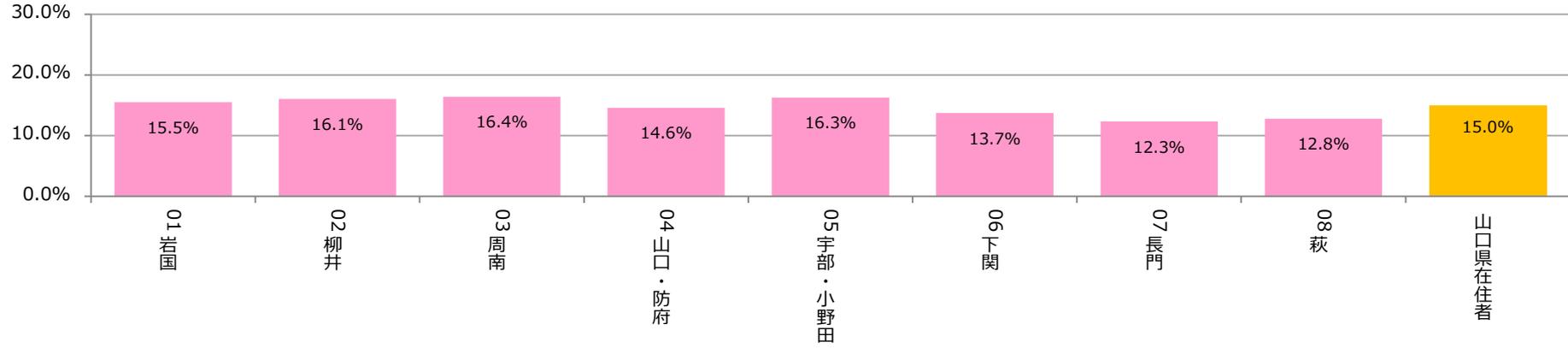
- 男性は柳井圏・宇部小野田圏が高く、長門圏・萩圏が低い。
- 女性は周南圏・宇部小野田圏が高く、長門圏・萩圏が低い。

『1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

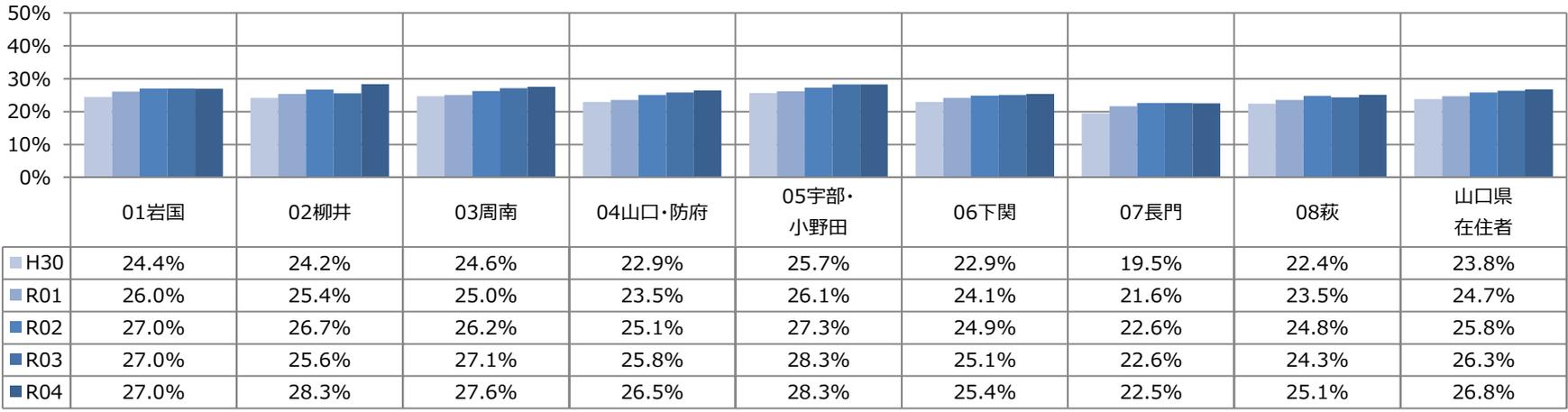


# 運動習慣の二次医療圏別経年変化

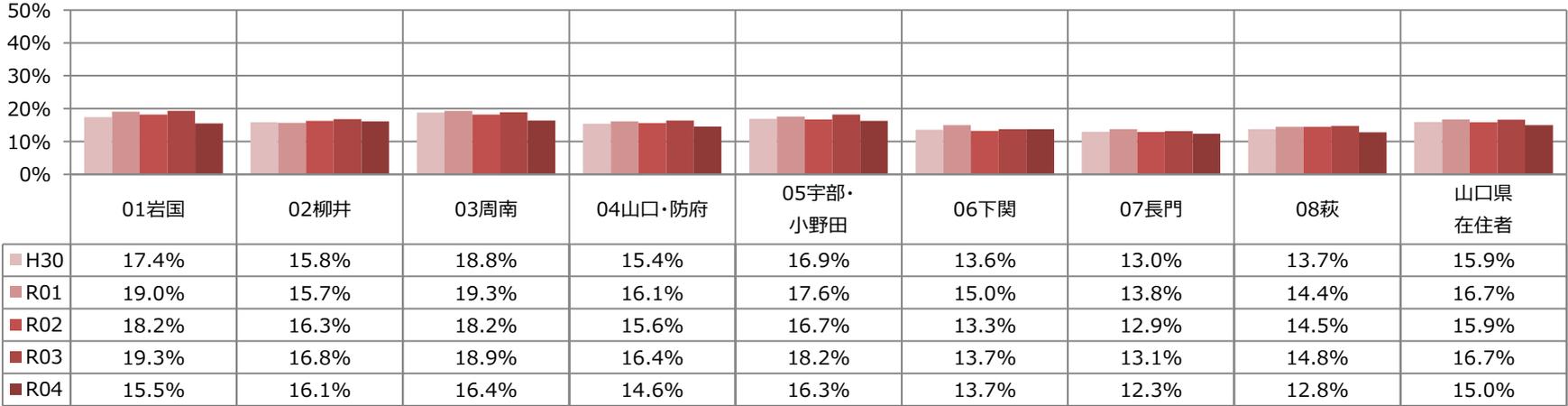
○ 男性は全体的に増加傾向にあり、女性は同程度又は減少傾向にある。

『1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

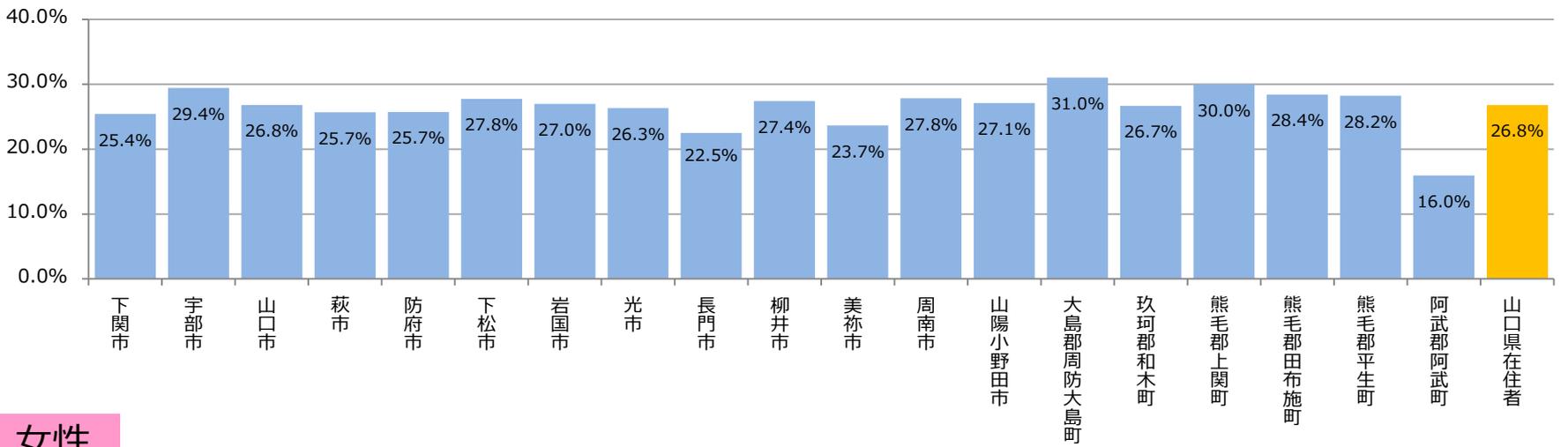


# 運動習慣の市町別比較（令和4年度）

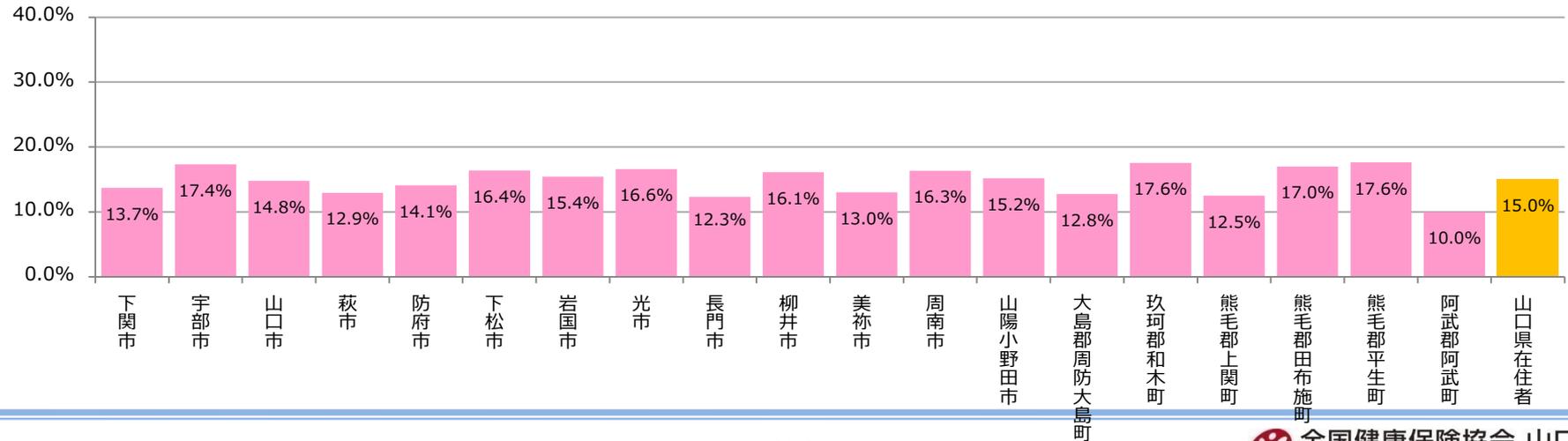
- 男性は周防大島町・上関町が高く、阿武町が特に低い。
- 女性は平生町、和木町が高く、阿武町が特に低い

『1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

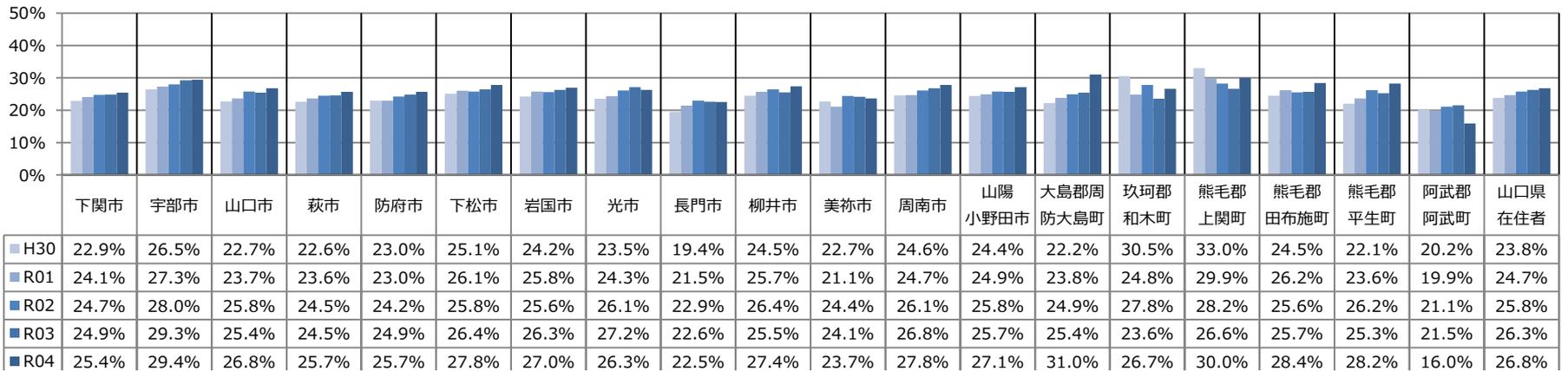


# 運動習慣の市町別経年変化

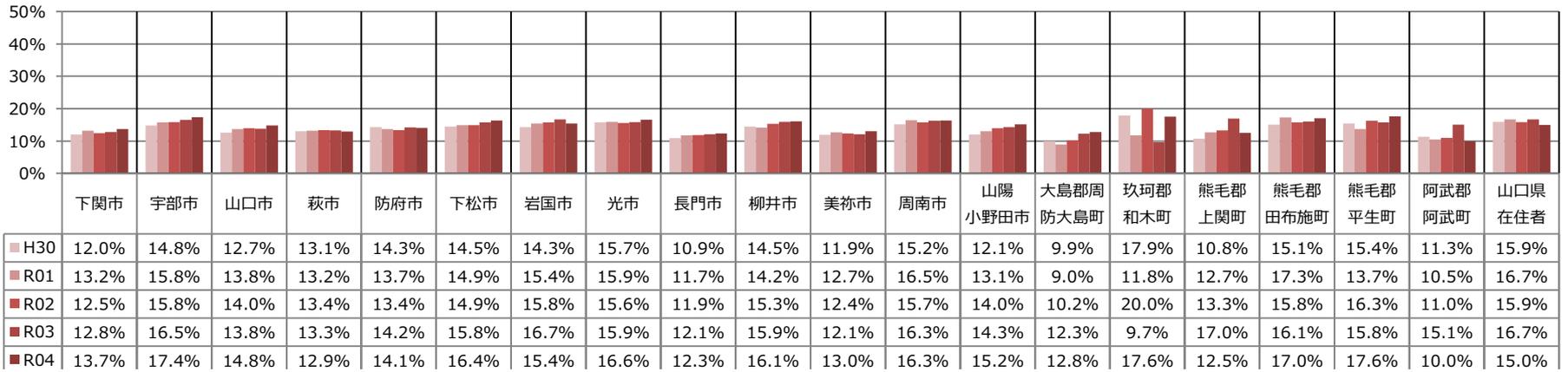
- 男性はほとんどの市町で増加傾向にあるが、和木町、阿武町で減少傾向がある。
- 女性はおおむね横ばいとなっている傾向が多い。

『1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

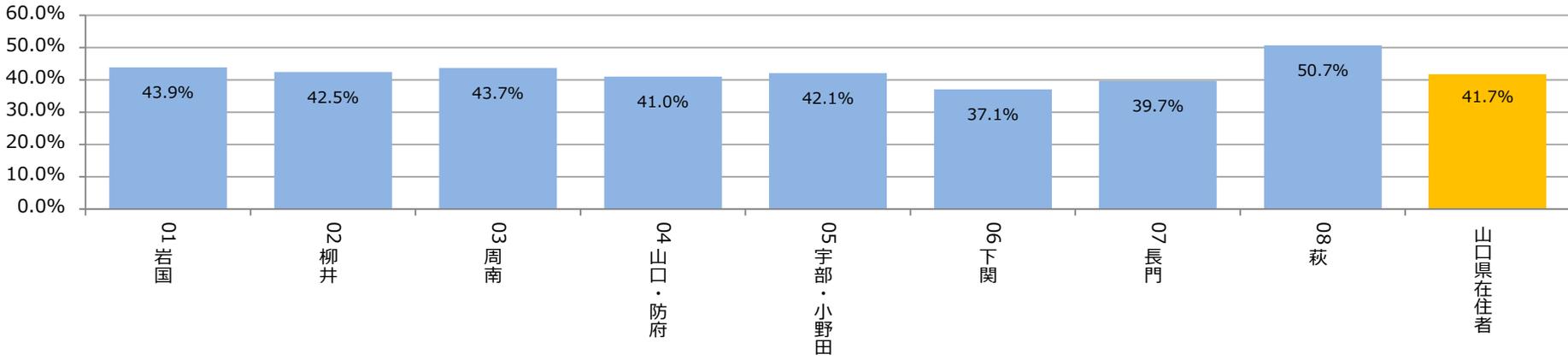


# 身体活動の二次医療圏別比較（令和4年度）

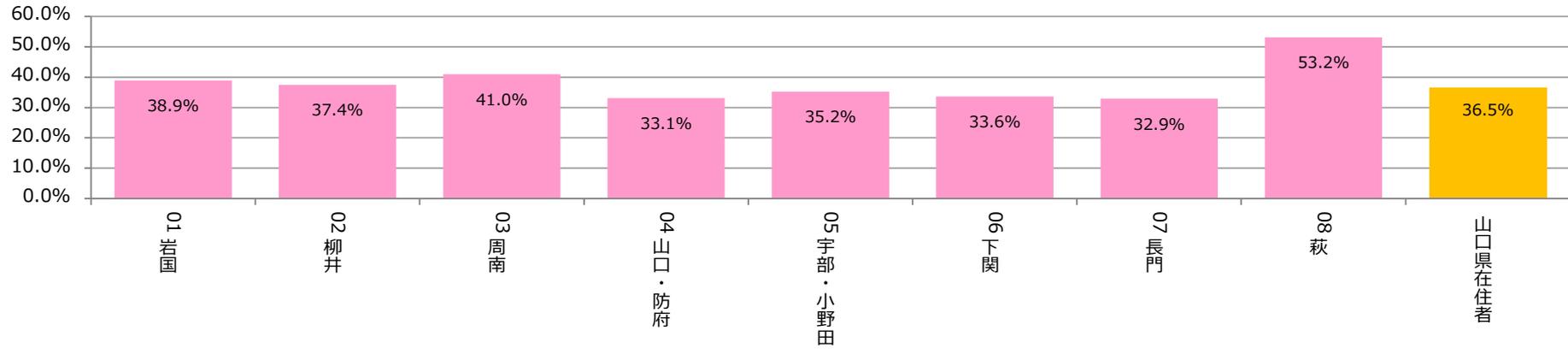
- 男性は萩圏・岩国圏が高く、下関圏・長門圏が低い。
- 女性は萩圏・周南圏が高く、長門圏・山口防府圏が低い。

『日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

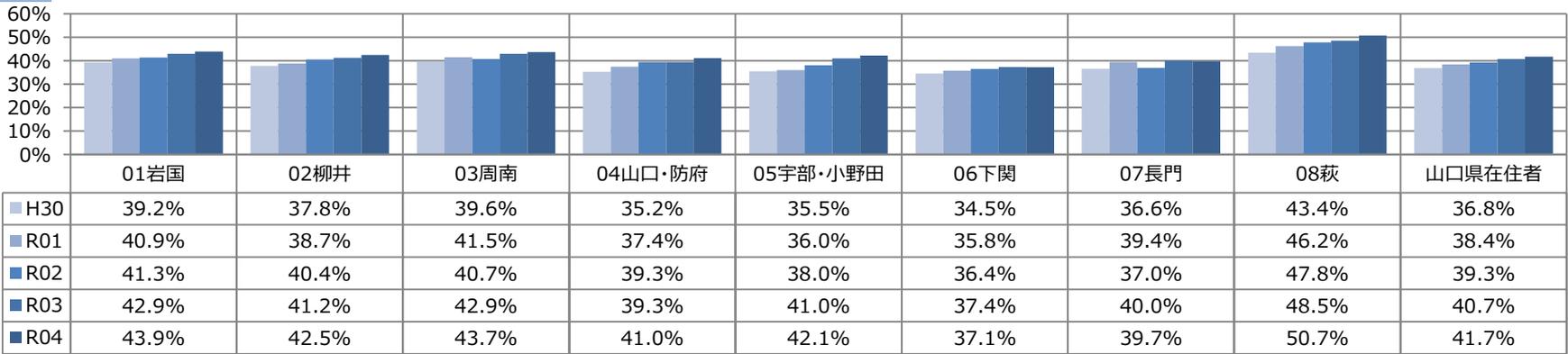


# 身体活動の二次医療圏別経年変化

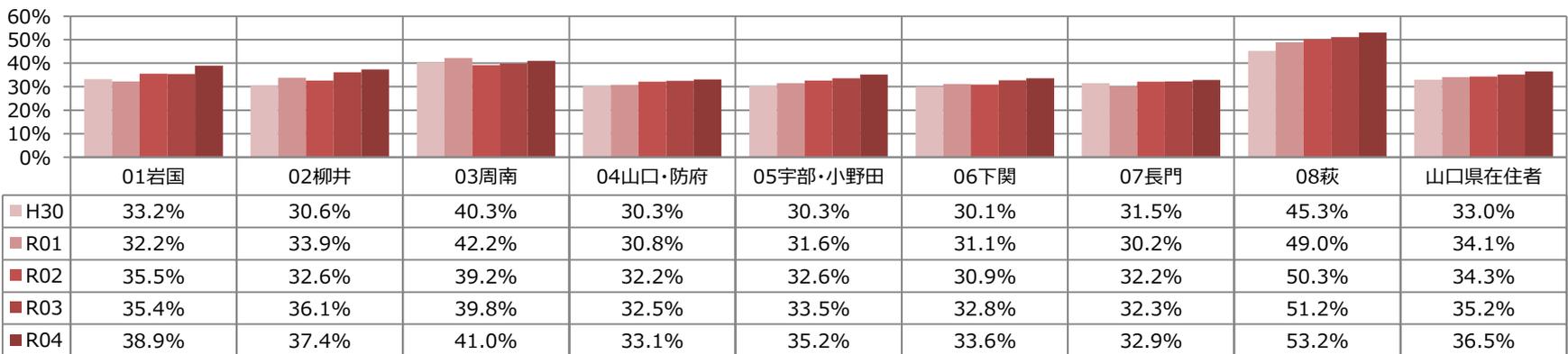
○ すべての医療圏で、5年前と比べて男女とも増加している。

『日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

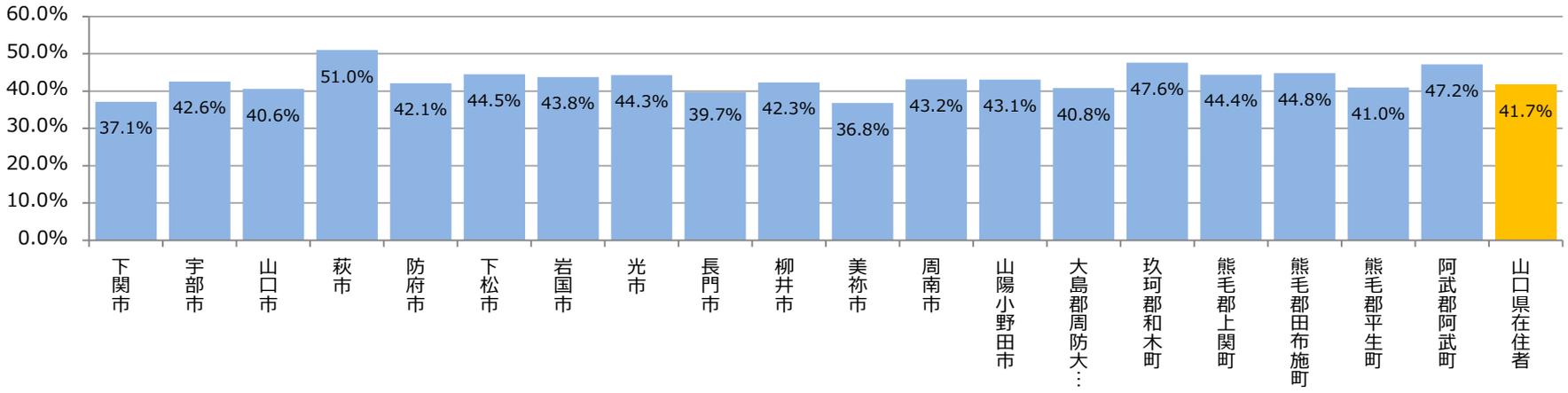


# 身体活動の市町別比較（令和4年度）

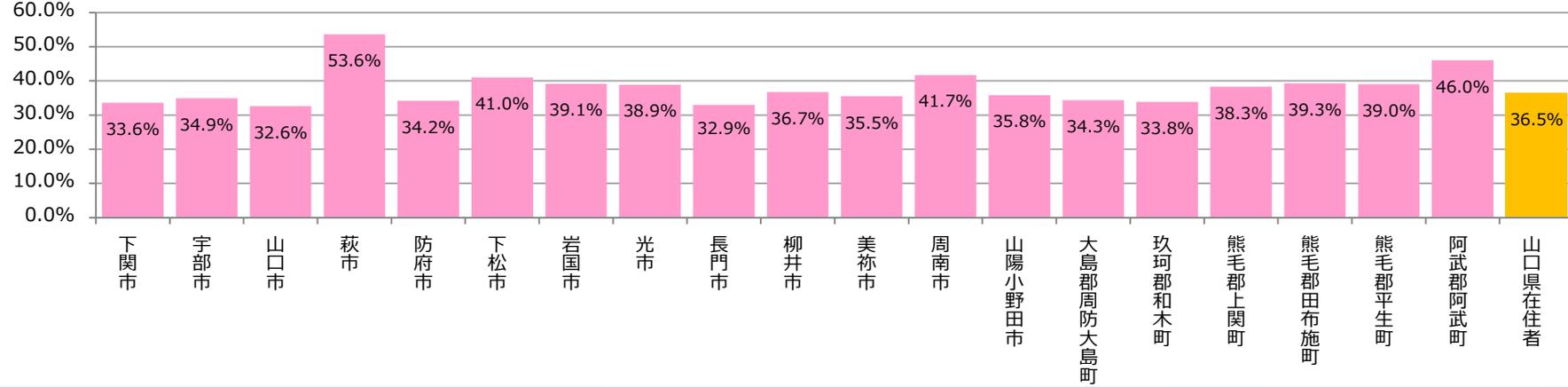
- 男性は萩市・和木町が高く、美祢市・下関市が低い。
- 女性は萩市・阿武町が高く、山口市・長門市が低い。

『日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

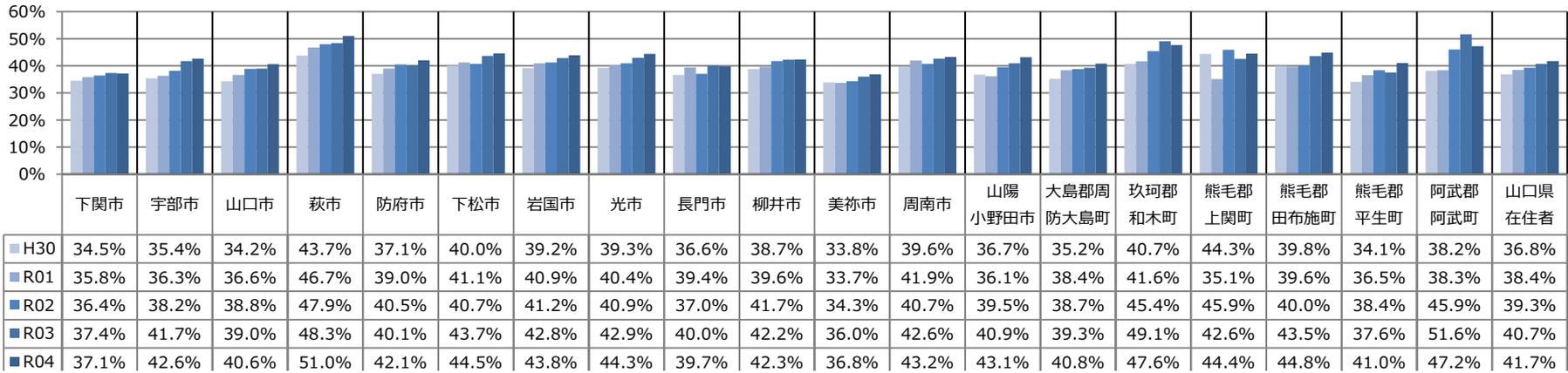


# 身体活動の市町別経年変化

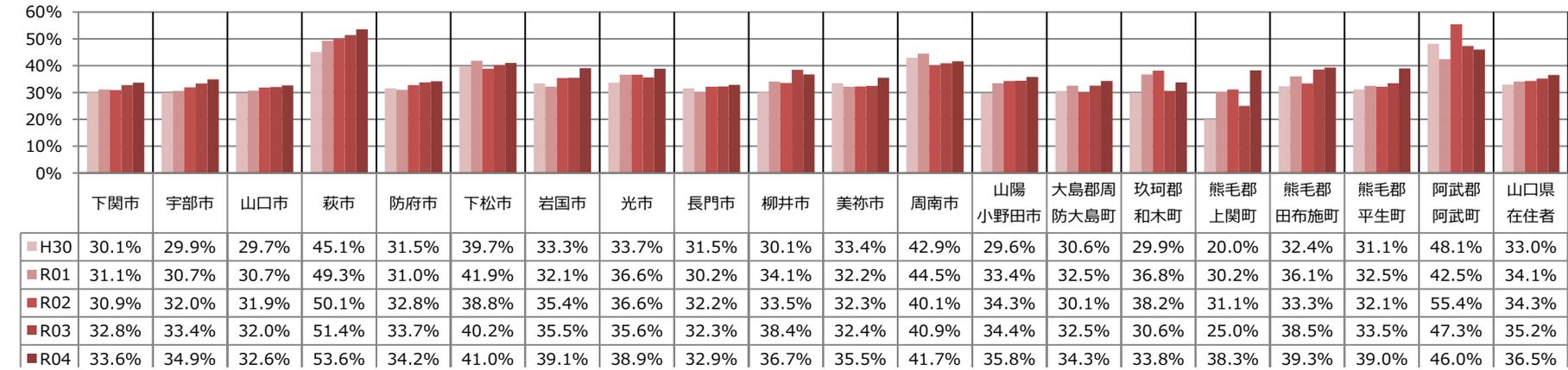
○ ほとんどの市町で、5年前と比べて男女とも増加している。

『日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

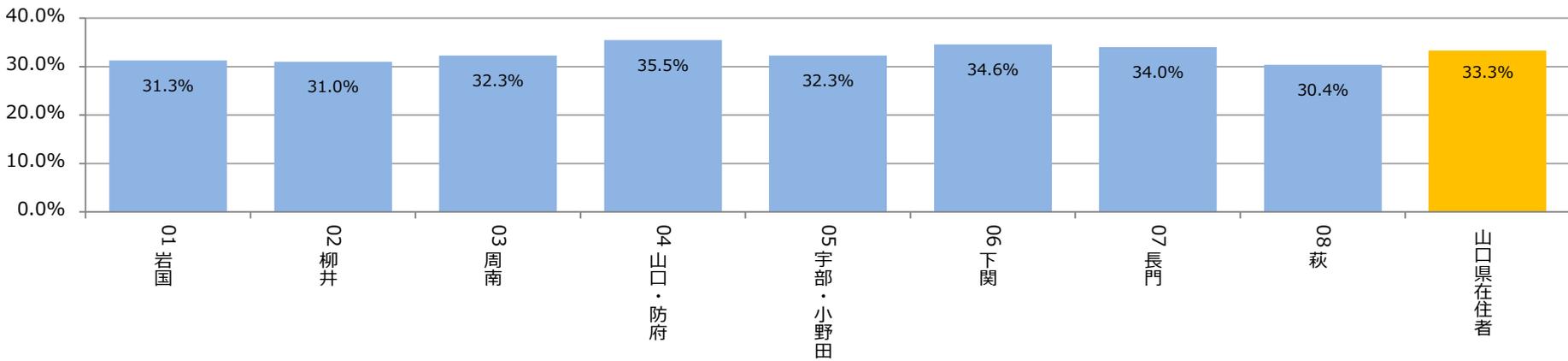


# 就寝前夕食の二次医療圏別比較（令和4年度）

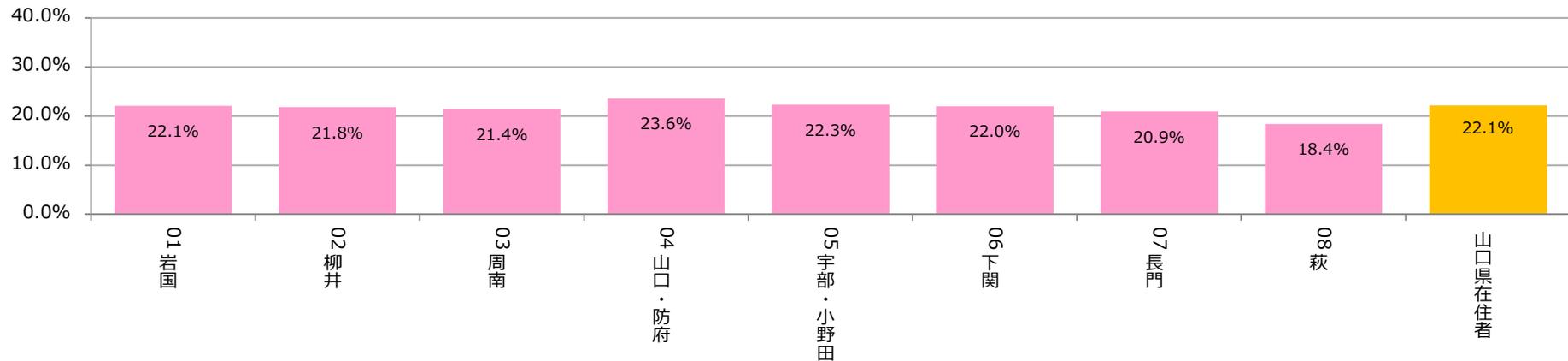
- 男性は山口防府圏・下関圏が高く、萩圏・柳井圏が低い。
- 女性は山口防府圏・宇部小野田圏が高く、萩圏・長門圏が低い。

『就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

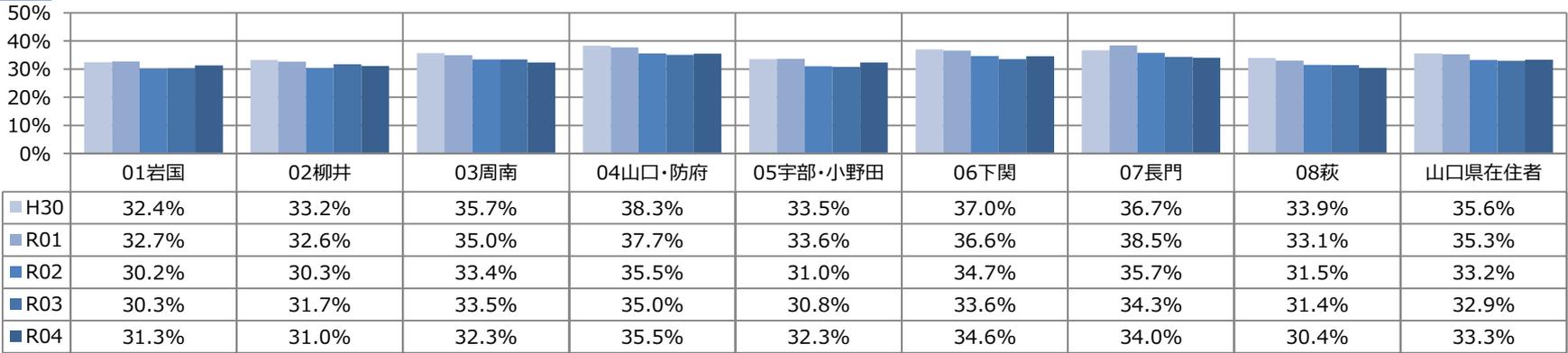


# 就寝前夕食の二次医療圏別経年変化

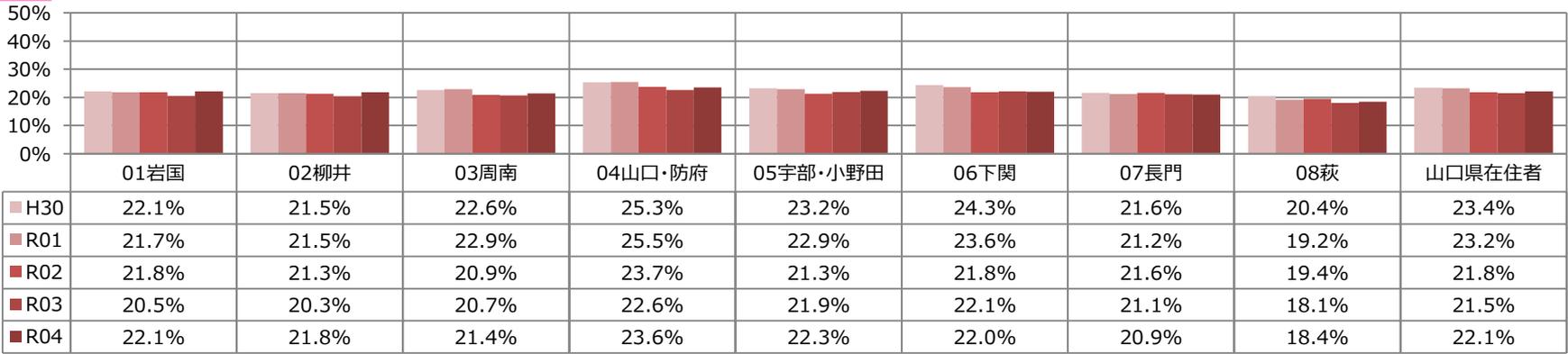
○ ほとんどの医療圏で5年前より**減少または横ばい**となっている。

『就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

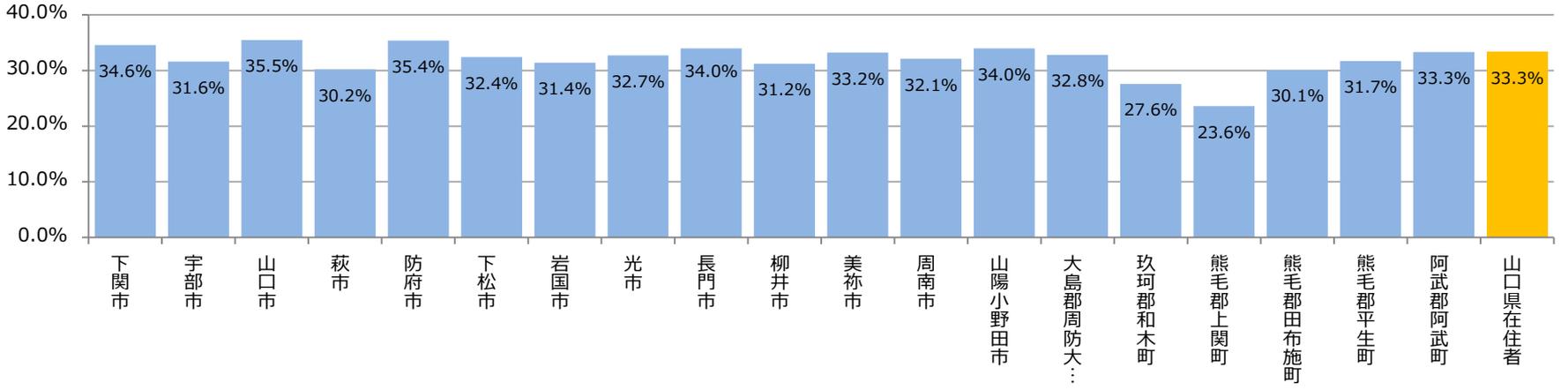


# 就寝前夕食の市町別比較（令和4年度）

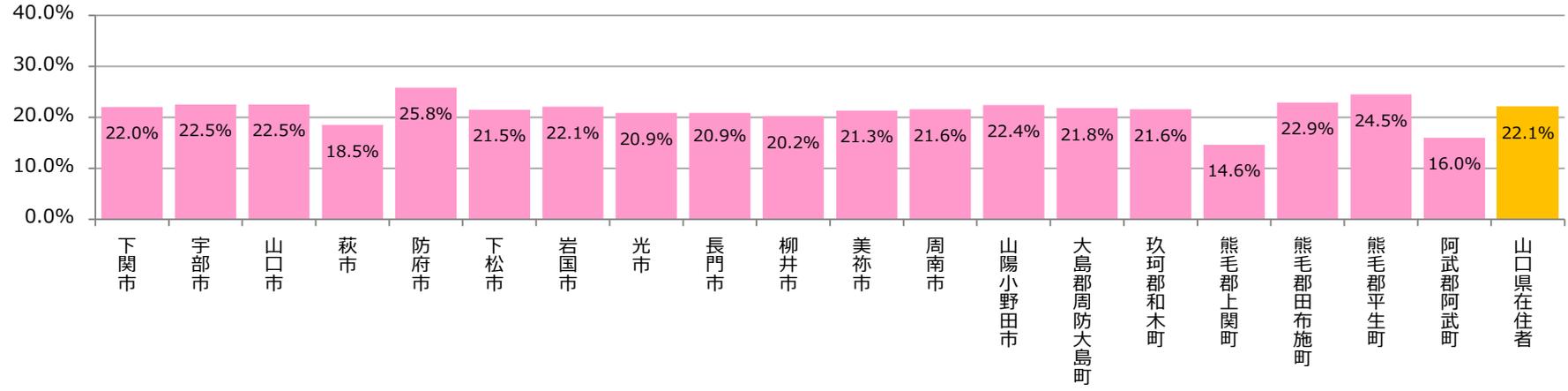
- 男性は山口市・防府市が高く、上関町・和木町が低い。
- 女性は防府市・平生町が高く、上関町・阿武町が低い。

『就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

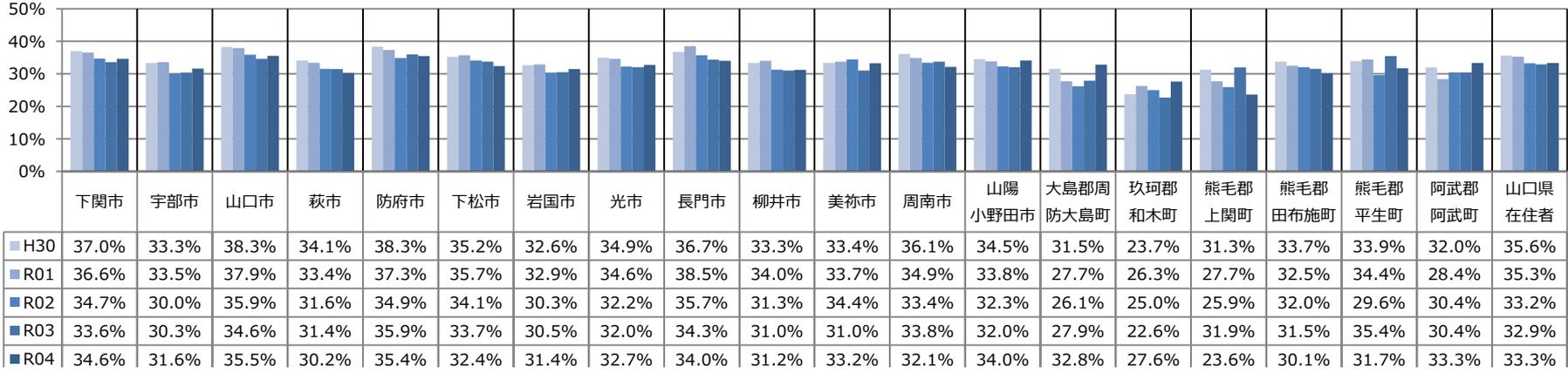


# 就寝前夕食の市町別経年変化

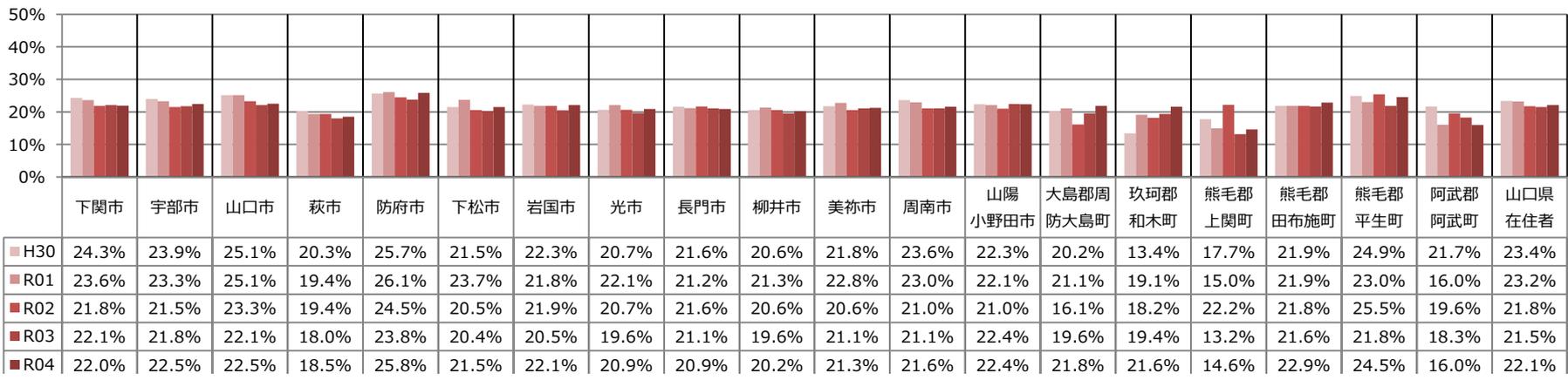
○ ほとんどの市町で5年前より減少または横ばいとなっている。

『就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

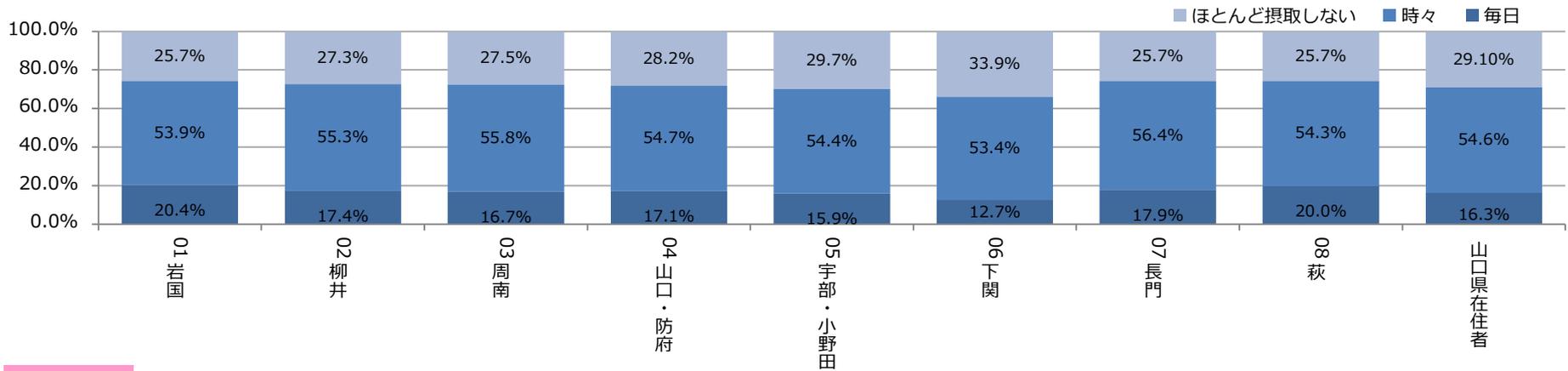


# 間食の二次医療圏別比較（令和4年度）

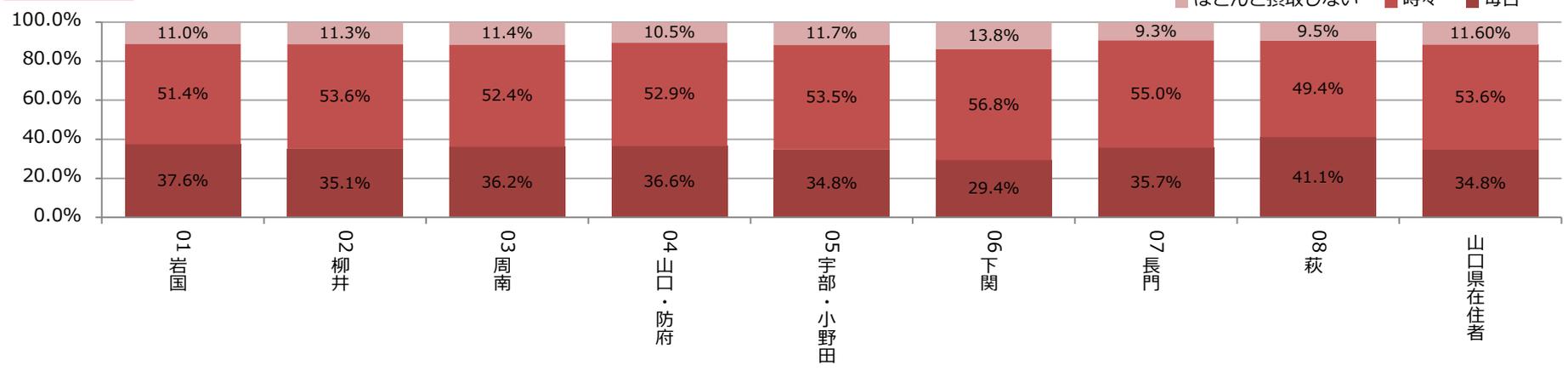
- 間食等をほとんどしない男性は約3割に対して女性は約1割と、**女性は男性よりも間食等を摂取している人が多い。**
- 間食等を毎日する男性は約1割から2割に対して女性は約3割から4割と、**女性は男性よりも間食等を毎日摂取している人が多い。**
- **医療圏ごとに大きな差はなく、どの医療圏も山口県平均並み。**

『朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか』との質問に対して、『毎日』『時々』『ほとんど摂取しない』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

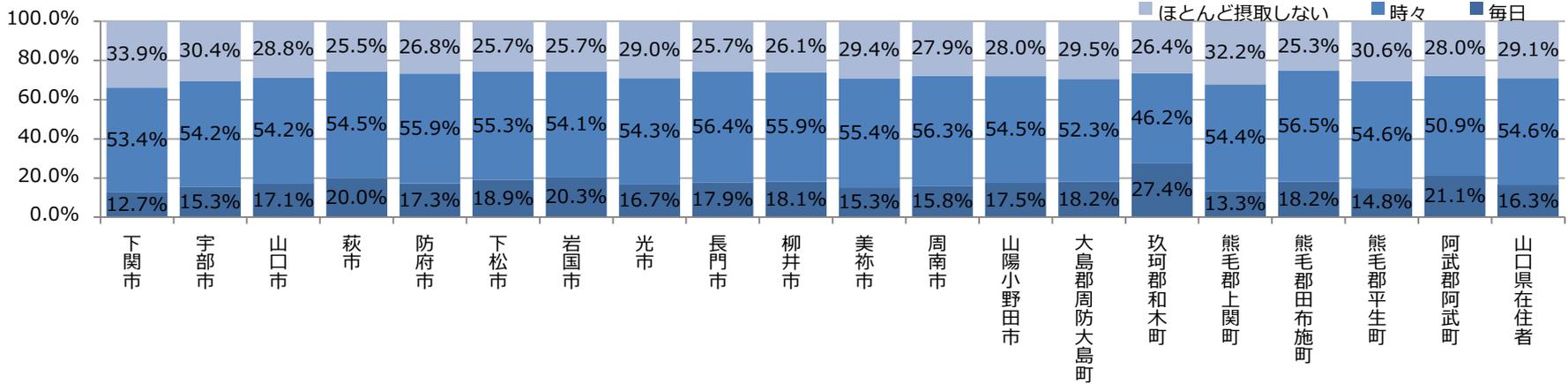


# 間食の市町別比較（令和4年度）

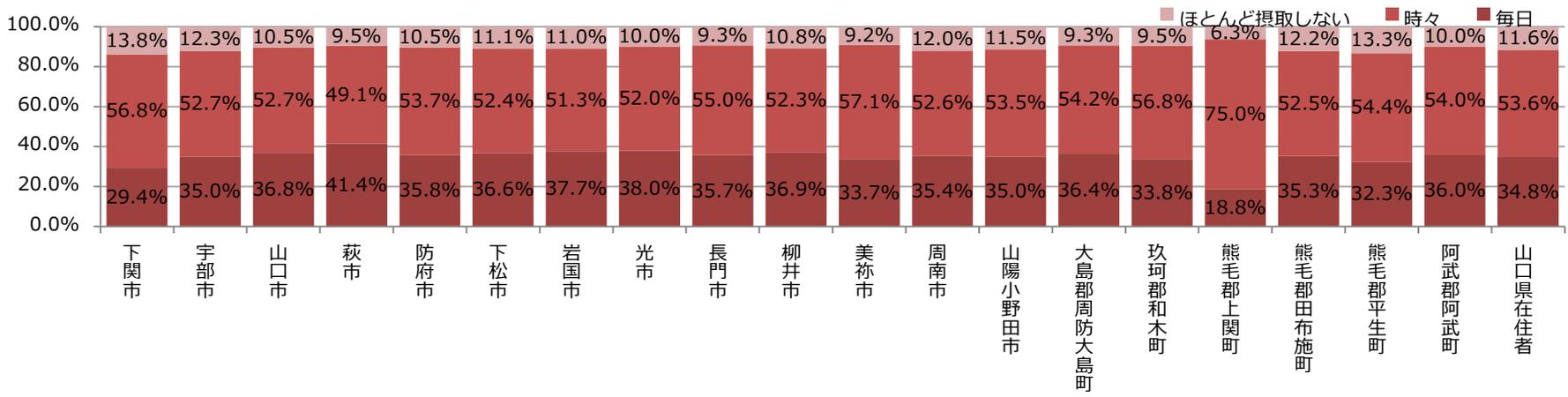
- 二次医療圏別と概ね同じ傾向であるが、**和木町の男性は約3割と若干高い。**
- また、**上関町の女性は間食等を時々又は毎日摂取する人の割合が約94%と、他の市町に比べて高い。**

『朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか』との質問に対して、『毎日』『時々』『ほとんど摂取しない』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

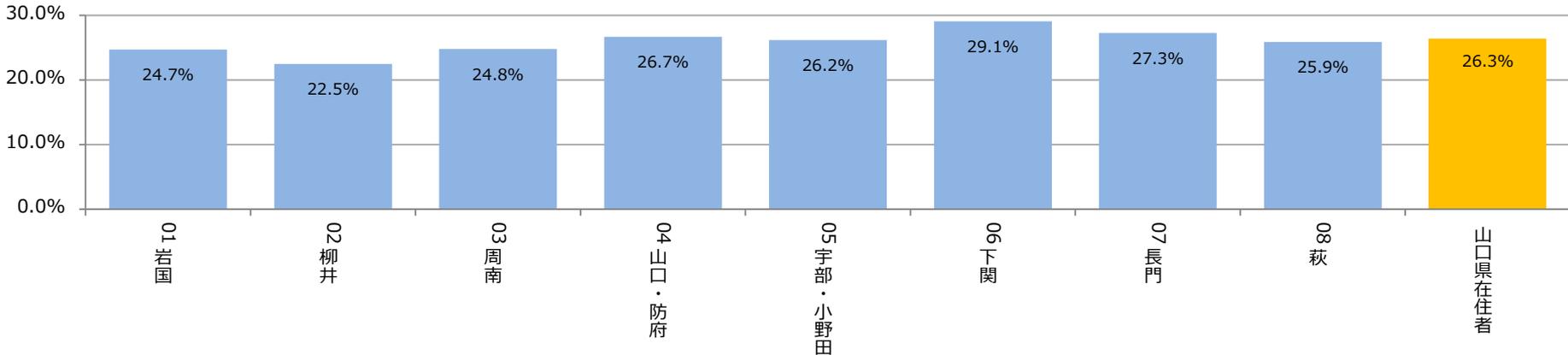


# 朝食欠食の二次医療圏別比較（令和4年度）

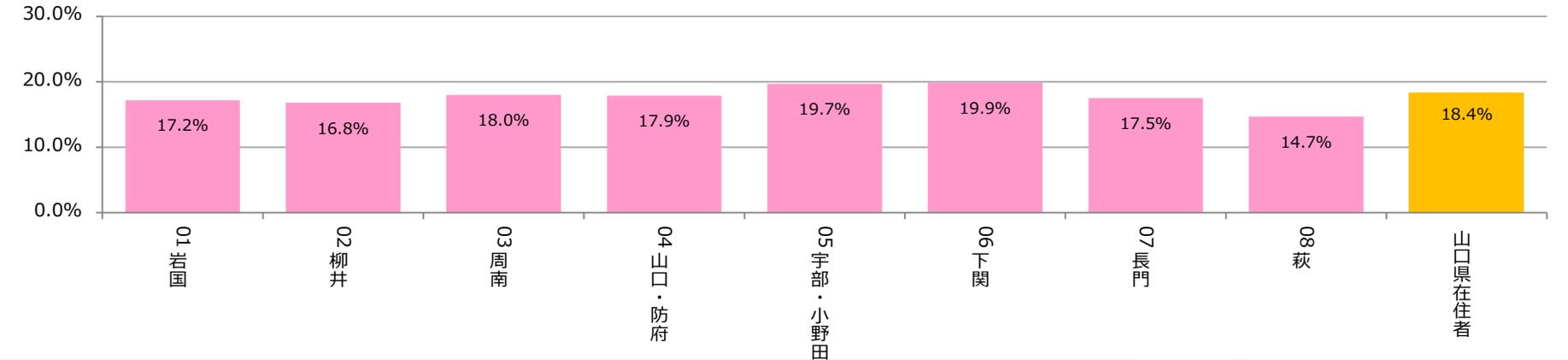
- 男性は下関圏・長門圏が高く、柳井圏・岩国圏が低い。
- 女性は下関圏・宇部小野田圏が高く、萩圏・柳井圏が低い。

『朝食を抜くことが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

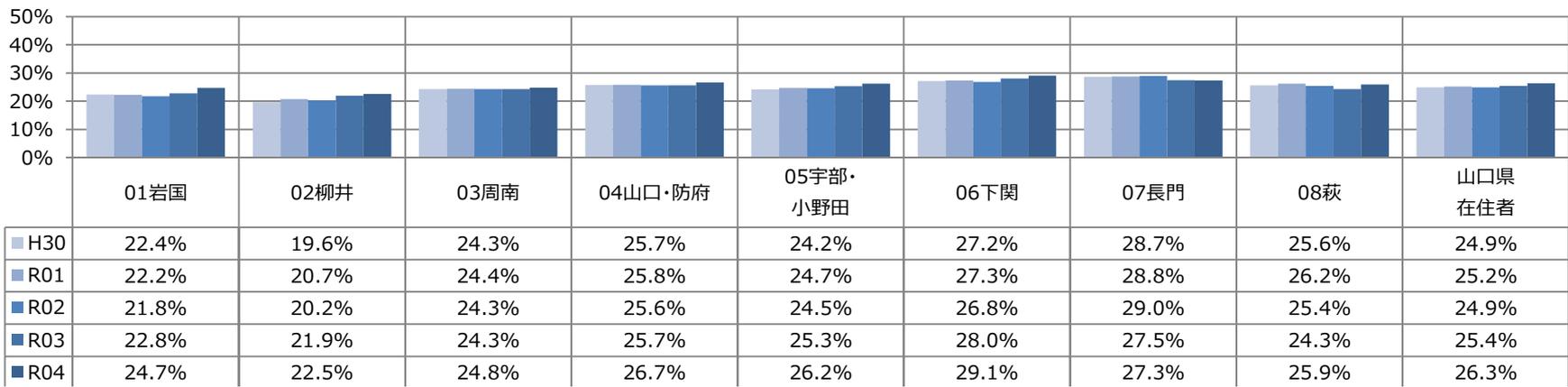


# 朝食欠食の二次医療圏別経年変化

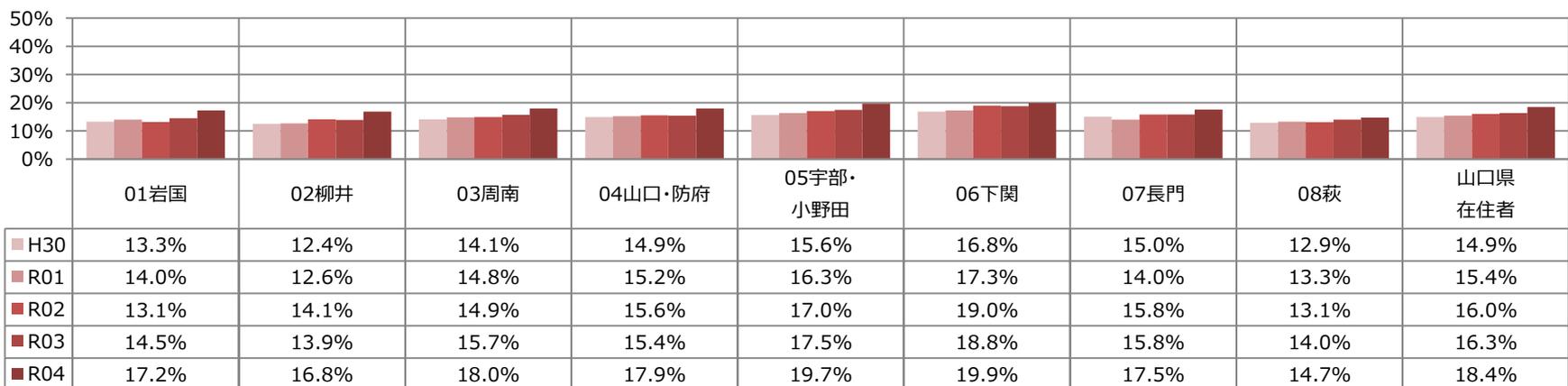
○ ほとんどの医療圏で5年前より**増加または横ばい**となっている。

『朝食を抜くことが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

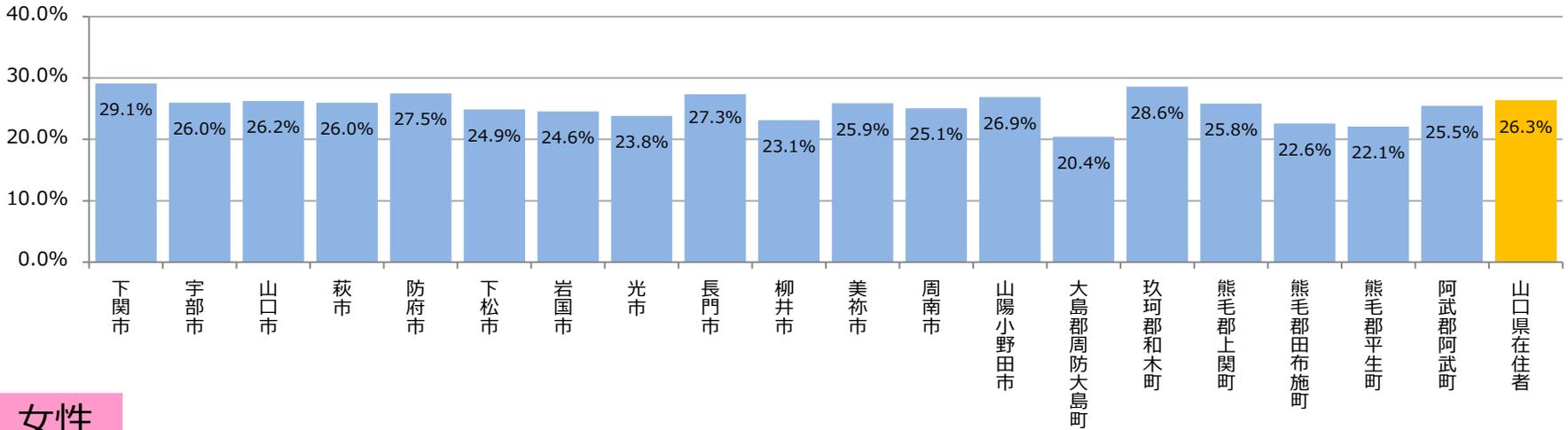


# 朝食欠食者の市町別比較（令和4年度）

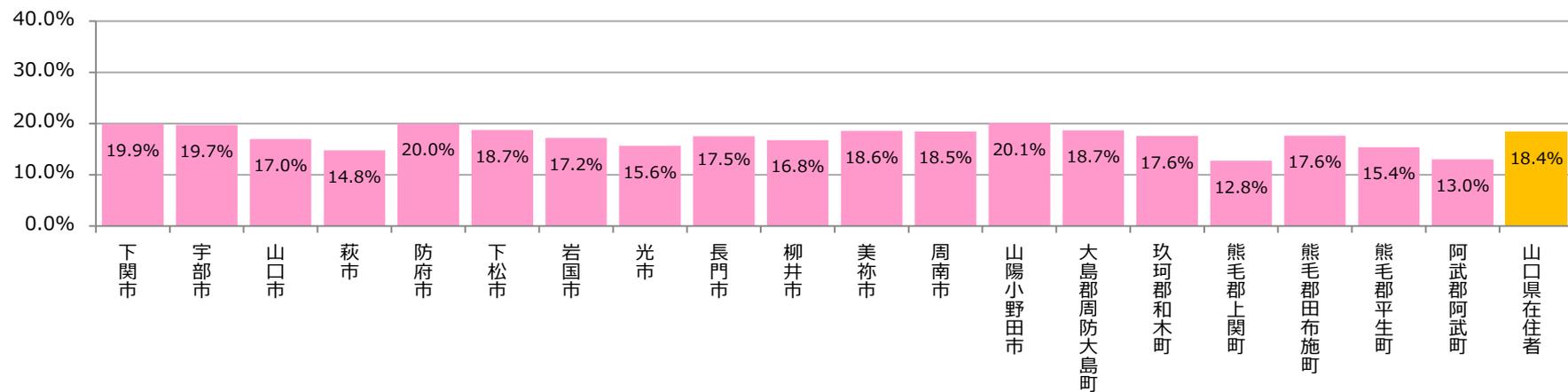
- 男性は下関市・和木町が高く、周防大島町・平生町が低い。
- 女性は山陽小野田市・防府市が高く、上関町・阿武町が低い。

『朝食を抜くことが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

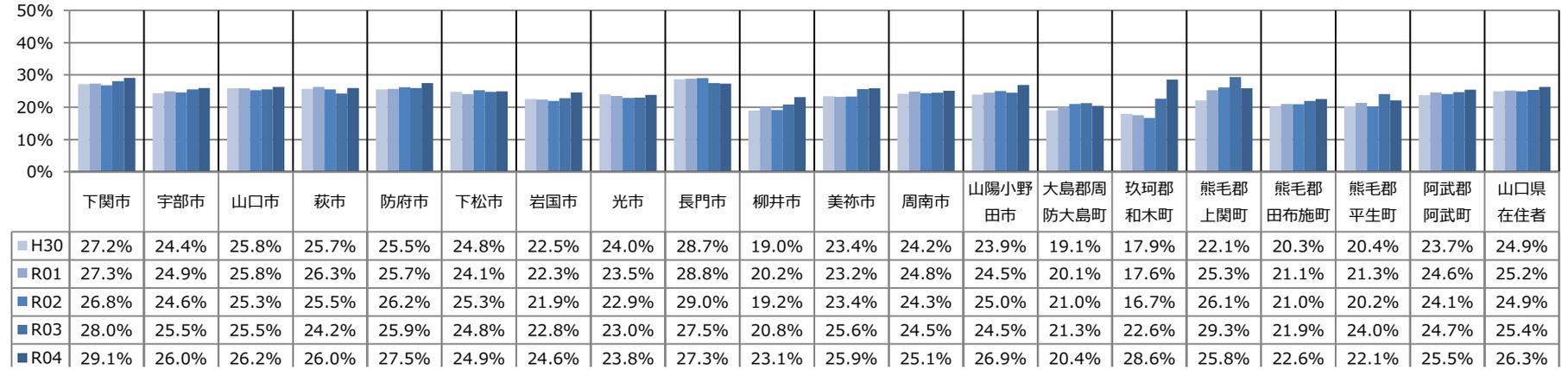


# 朝食欠食者の市町別経年変化

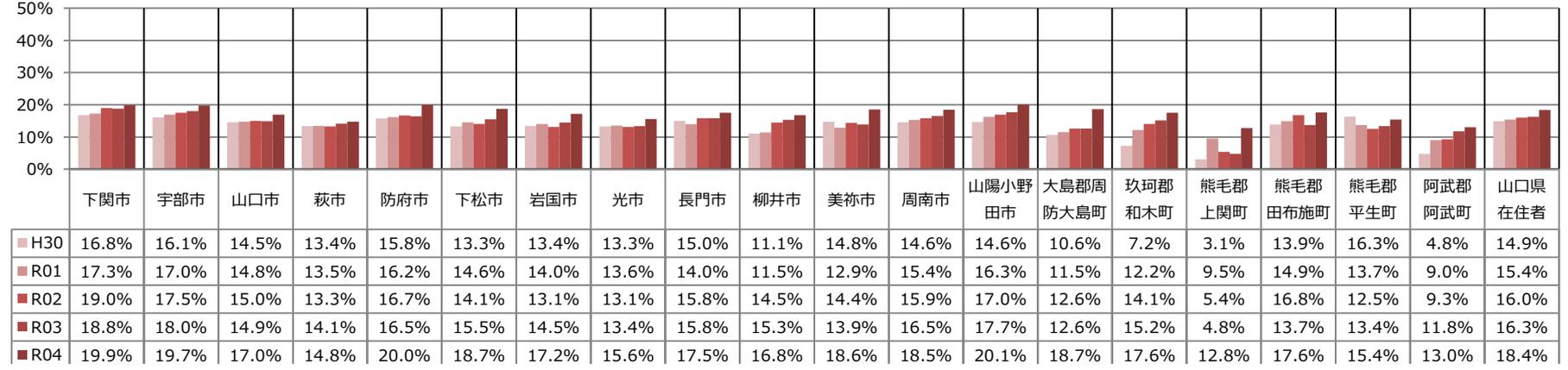
○ ほとんどの市町で5年前より**増加または横ばい**となっている。

『朝食を抜くことが週に3回以上ある』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

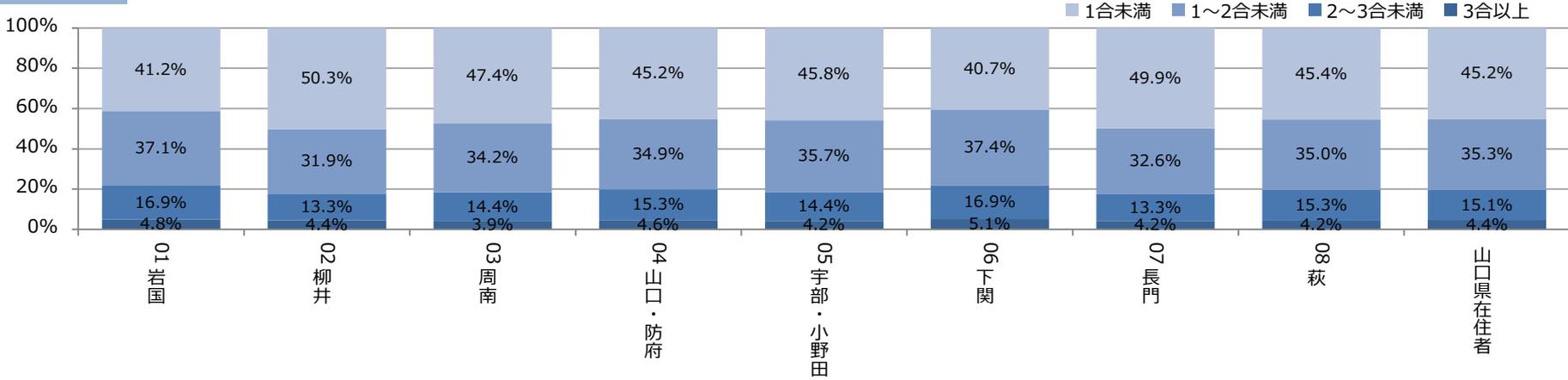


# 飲酒量の二次医療圏別比較（令和4年度）

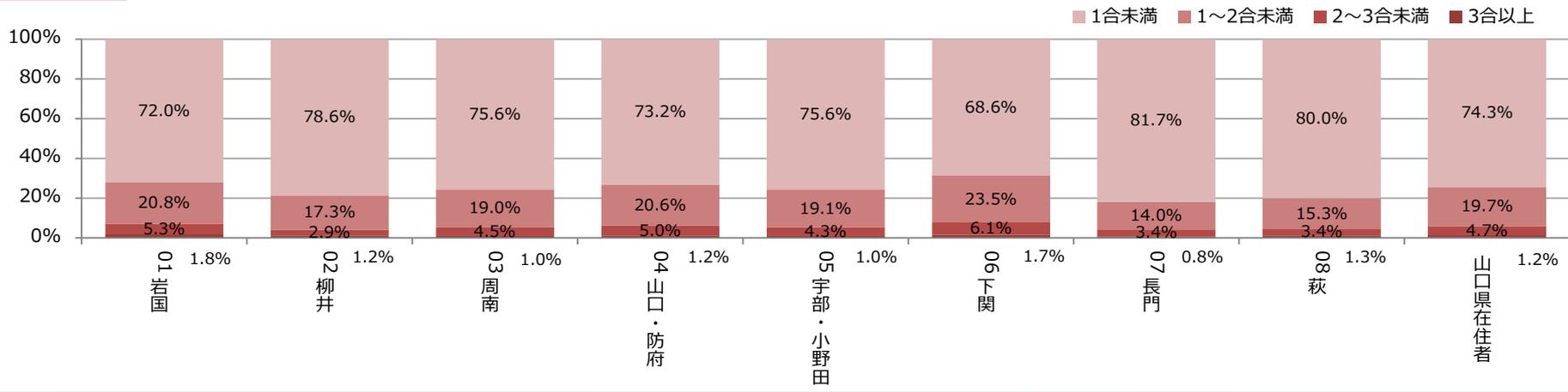
- 男性は1合未満が概ね4割～5割、1～2合未満が概ね3～4割、2合以上が約2割であり、概ねどの医療圏も同じ割合となっている。
- 女性は1合未満が概ね7割～8割、1～2合未満が概ね2割、2合以上が1割未満であり、概ねどの医療圏も同じ割合となっている。

『飲酒日の1日当たりの飲酒量』との質問に対して、『1合未満』『1～2合未満』『2～3合未満』『3合以上』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

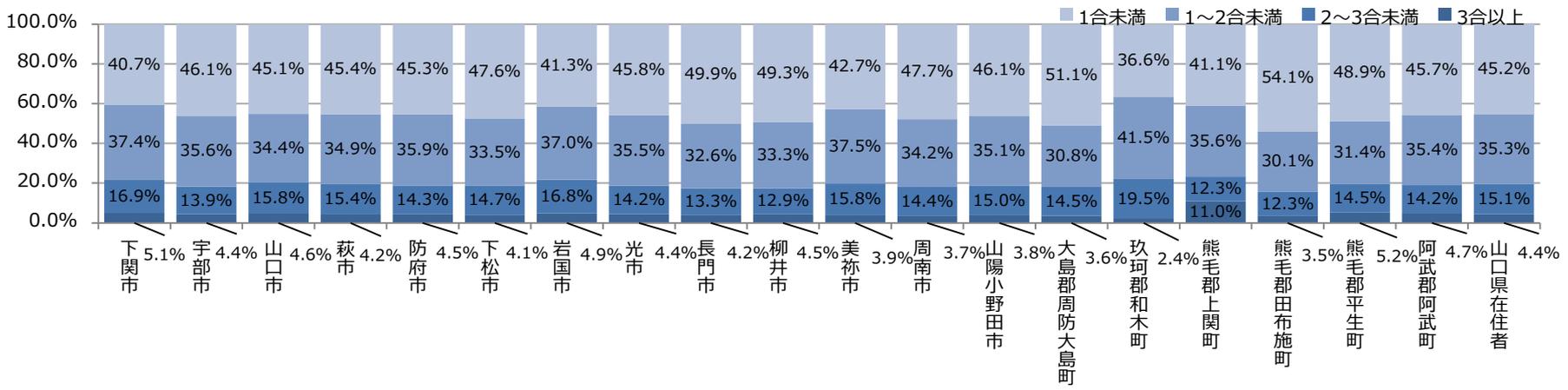


# 飲酒量の市町別比較（令和4年度）

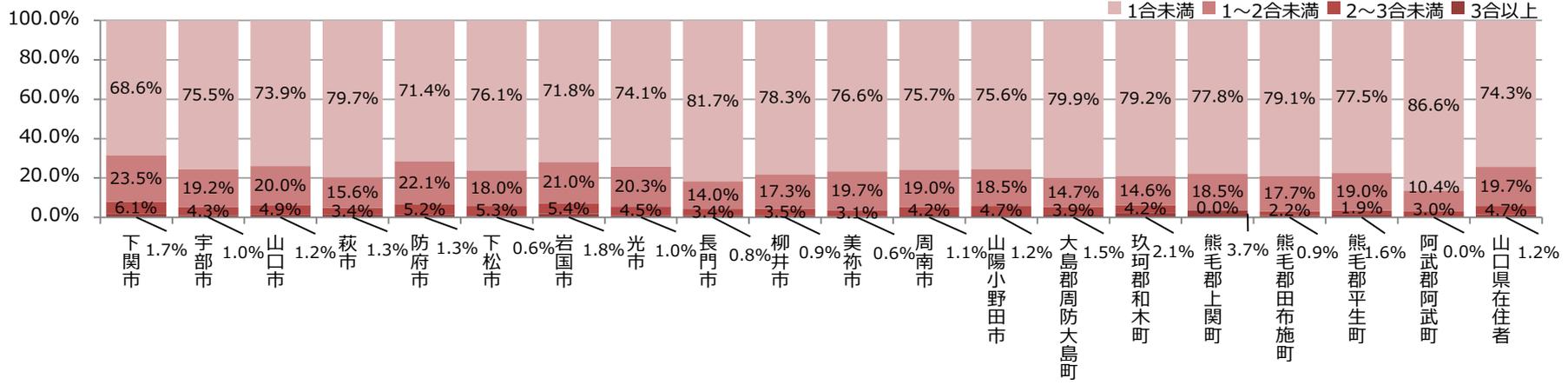
○ 二次医療圏別と概ね同じ傾向にあるが、**和木町の男性は1合未満の割合や若干低い。**  
 ○ また、**阿武町の女性は1合未満が若干高い。**

『飲酒日の1日当たりの飲酒量』との質問に対して、『1合未満』『1～2合未満』『2～3合未満』『3合以上』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

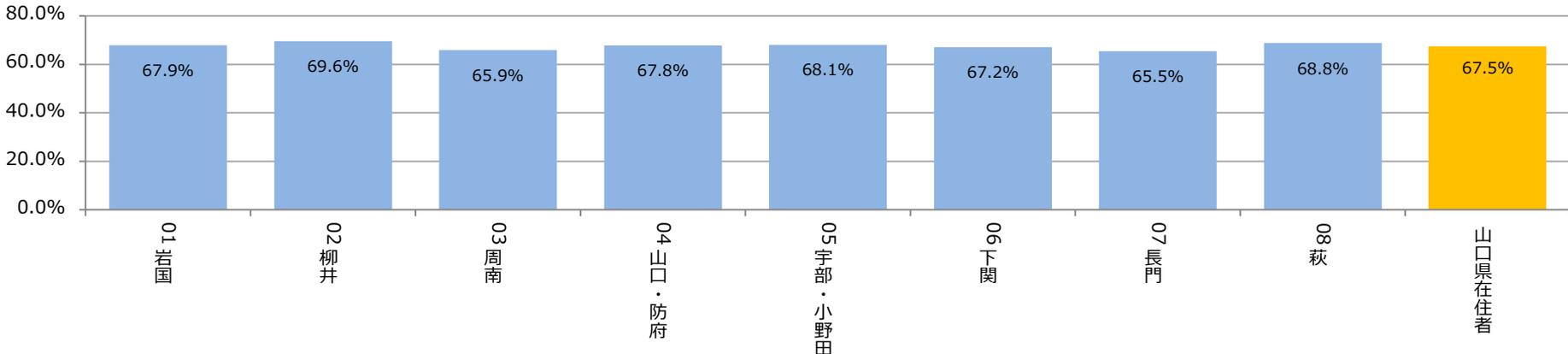


# 睡眠状況の二次医療圏別比較（令和4年度）

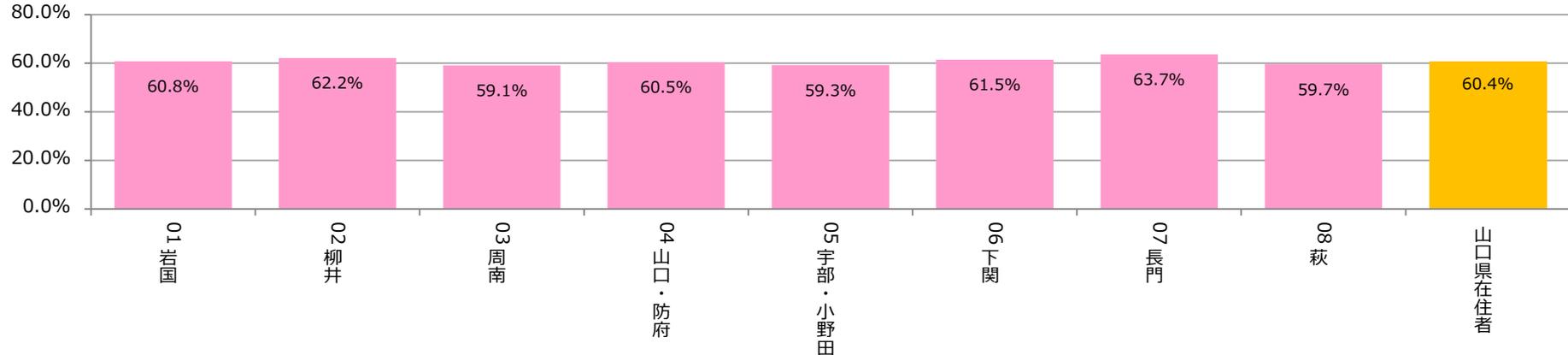
- 男性は柳井圏・萩圏が高く、柳井圏・周南圏が低い。
- 女性は長門圏・柳井圏が高く、周南圏・宇野小野田圏が低い。

『睡眠で休養が十分とれている』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

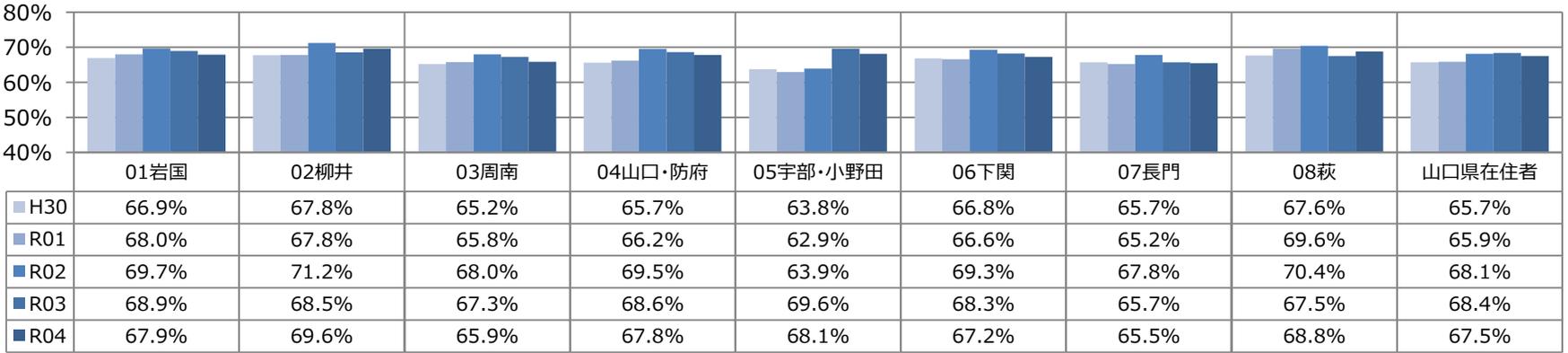


# 睡眠状況の二次医療圏別経年変化

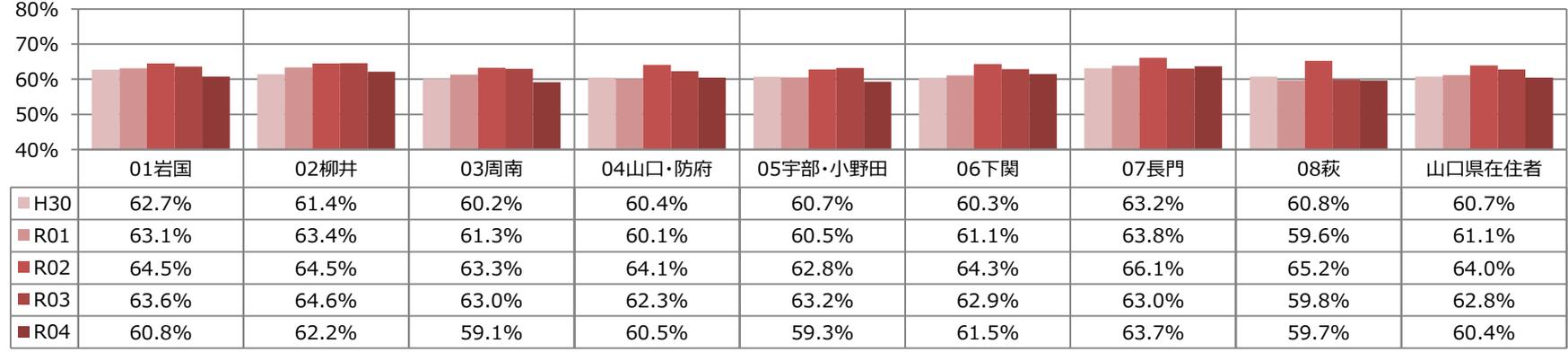
○ ほとんどの医療圏で5年前より**増加または横ばい**となっている。

『睡眠で休養が十分とれている』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

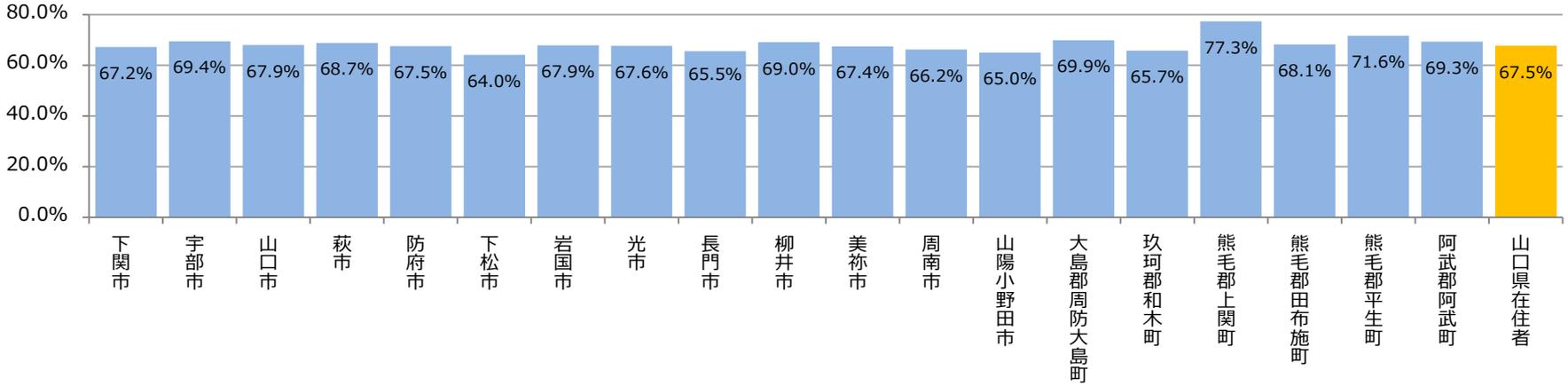


# 睡眠状況の市町別比較（令和4年度）

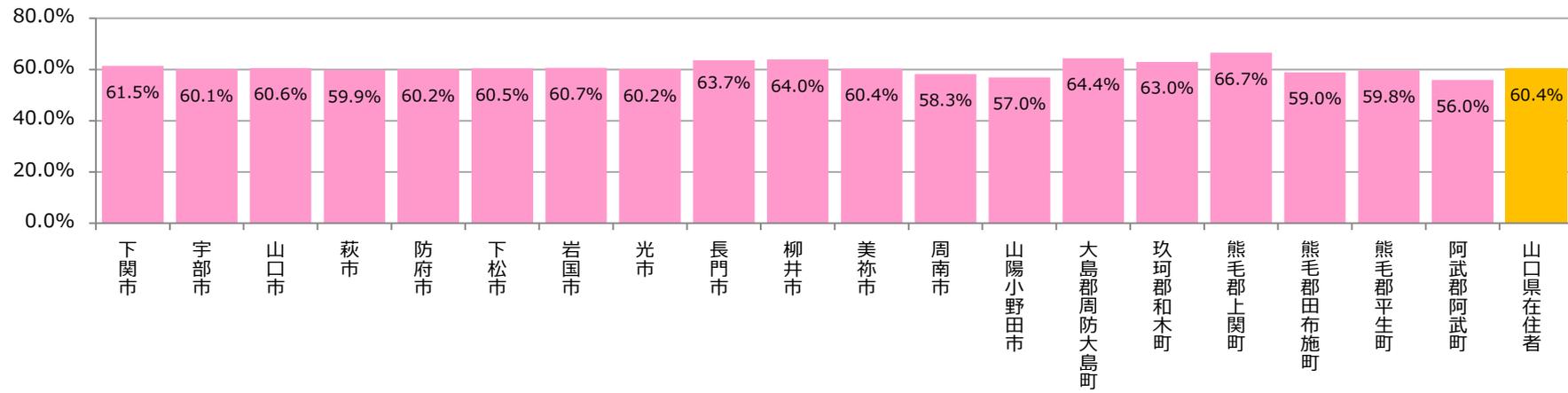
- 男性は上関町・平生町が高く、下松市・山陽小野田市が低い。
- 女性は上関町・周防大島町が高く、阿武町・山陽小野田市が低い。

『睡眠で休養が十分とれている』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

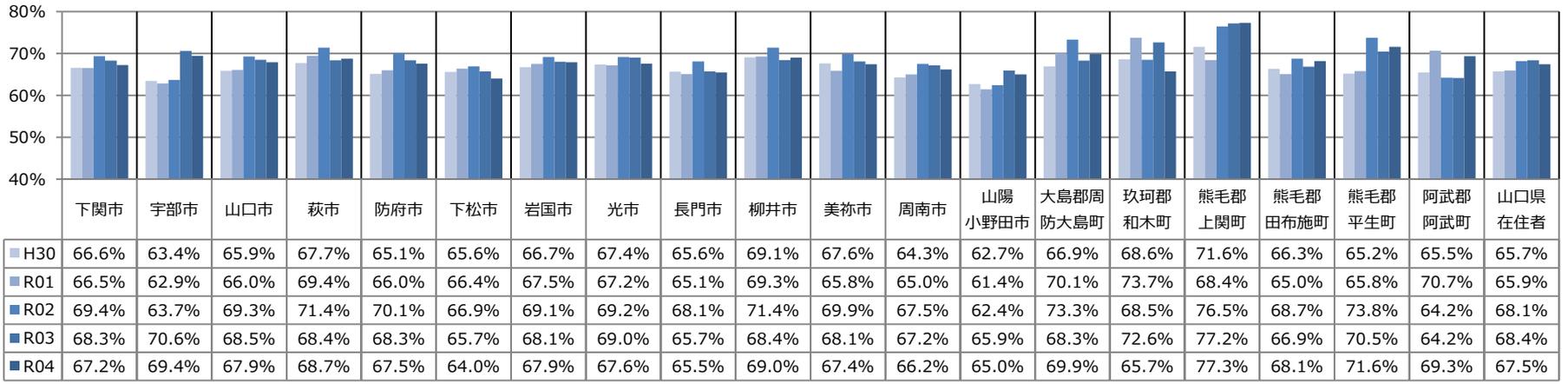


# 睡眠状況の市町別経年変化

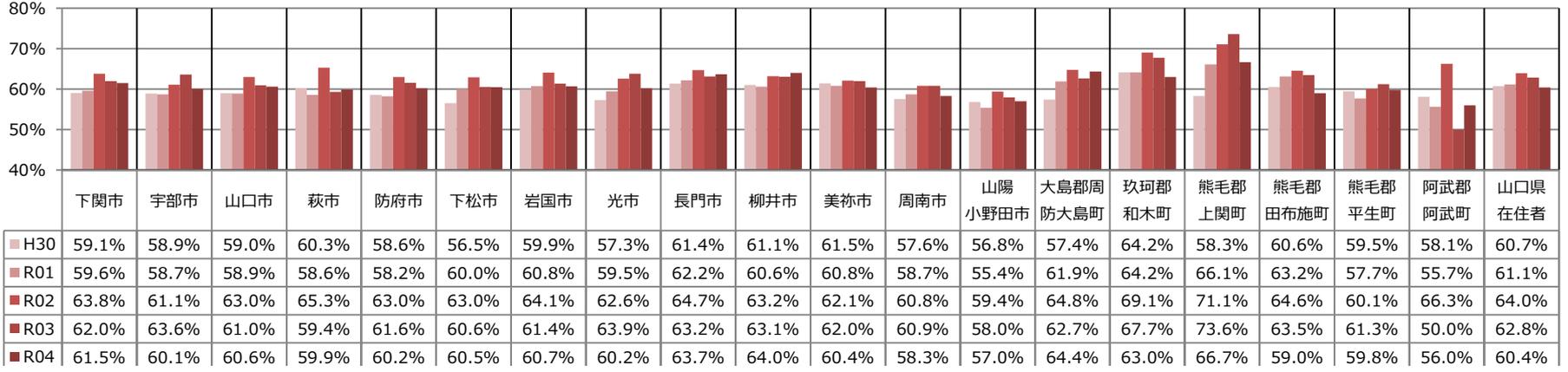
○ほとんどの市町で5年前より増加している。

『睡眠で休養が十分とれている』との質問に対して、『はい』と答えた人の割合

## 男性



## 女性

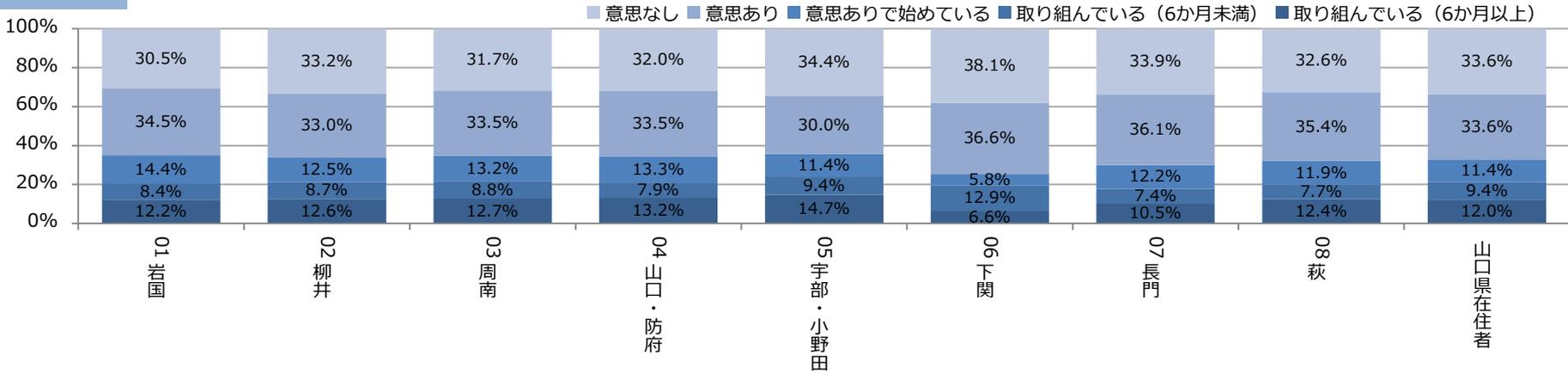


# 生活改善状況の二次医療圏別比較（令和4年度）

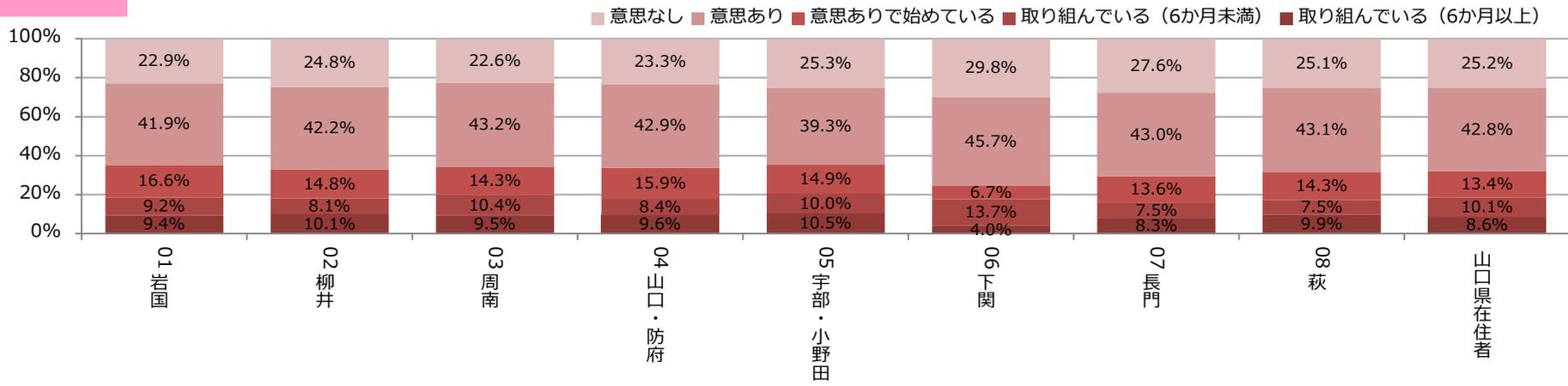
○ 生活習慣の改善をしようと思う人（取組中含む）は**男性では約66%と3人に2人、女性では約75%と4人に3人の割合**となっている。  
 ○ 二次医療圏別に見ると、**下関圏はやや低く、男性は約62%、女性は約70%**となっている。

『運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。』との質問に対して、以下の回答した人との割合

## 男性



## 女性

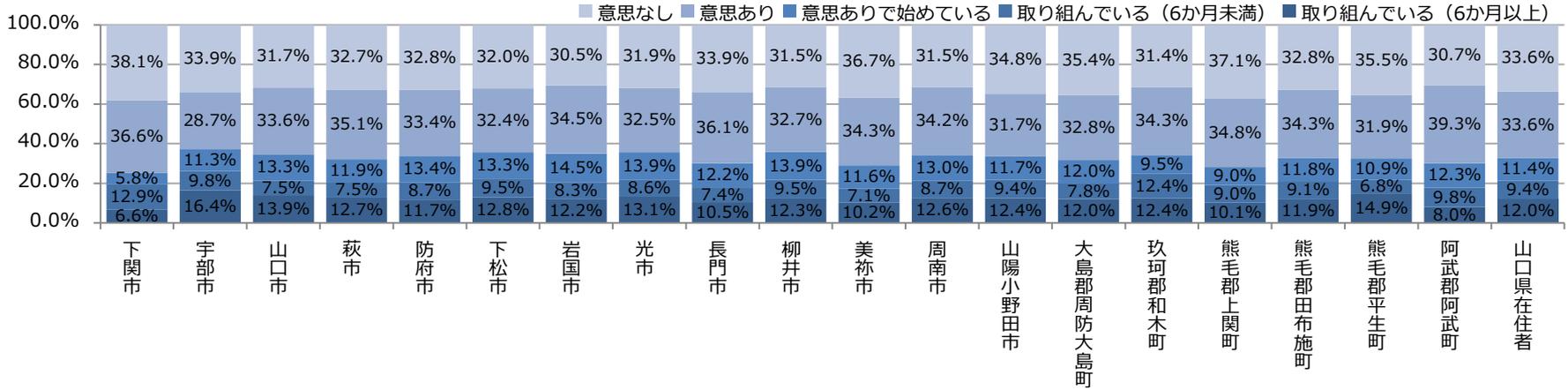


# 生活改善状況の市町別比較（令和4年度）

○ 生活習慣の改善をしようと思う人（取組中含む）を市町別にみると、男性は下関市がやや低く約62%、女性は阿武町やや低く約75%となっている。

『運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。』との質問に対して、以下の回答した人との割合

## 男性



## 女性

